

阪南市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
結果報告書

令和8年3月  
阪南市

## 目 次

I 調査概要.....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査概要 .....	1
3. 回収状況 .....	1
4. 報告書を見る際の注意事項 .....	1
II 調査結果.....	2
1. 男女の平等感・家庭生活について .....	2
2. 就労、女性の活躍促進について .....	47
3. 教育に関する考え方について .....	70
4. セクシュアル・ハラスメント、DV などについて .....	96
5. 多様な性について .....	122
6. 災害対策などについて .....	131
7. 男女共同参画に関する施策全般について.....	135
8. あなたご自身について .....	153

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

本調査は、市の男女共同参画に関する意識や現状等をお伺いし、「阪南市男女共同参画プラン（第4次）」の策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2. 調査概要

- ◇調査対象：阪南市在住の16歳以上の方2,500人
- ◇調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収、WEB回答による本人記入方式
- ◇調査期間：令和7年12月22日（月）～令和8年1月16日（金）

## 3. 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
2,500人	827人	33.1%

## 4. 報告書を見る際の注意事項

- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率が100%にならない場合があります。
- 1つの質問に2つ以上答えることができる“複数回答”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合があります。
- サンプル数が10未満のものについては、分析文を省略している場合があります。

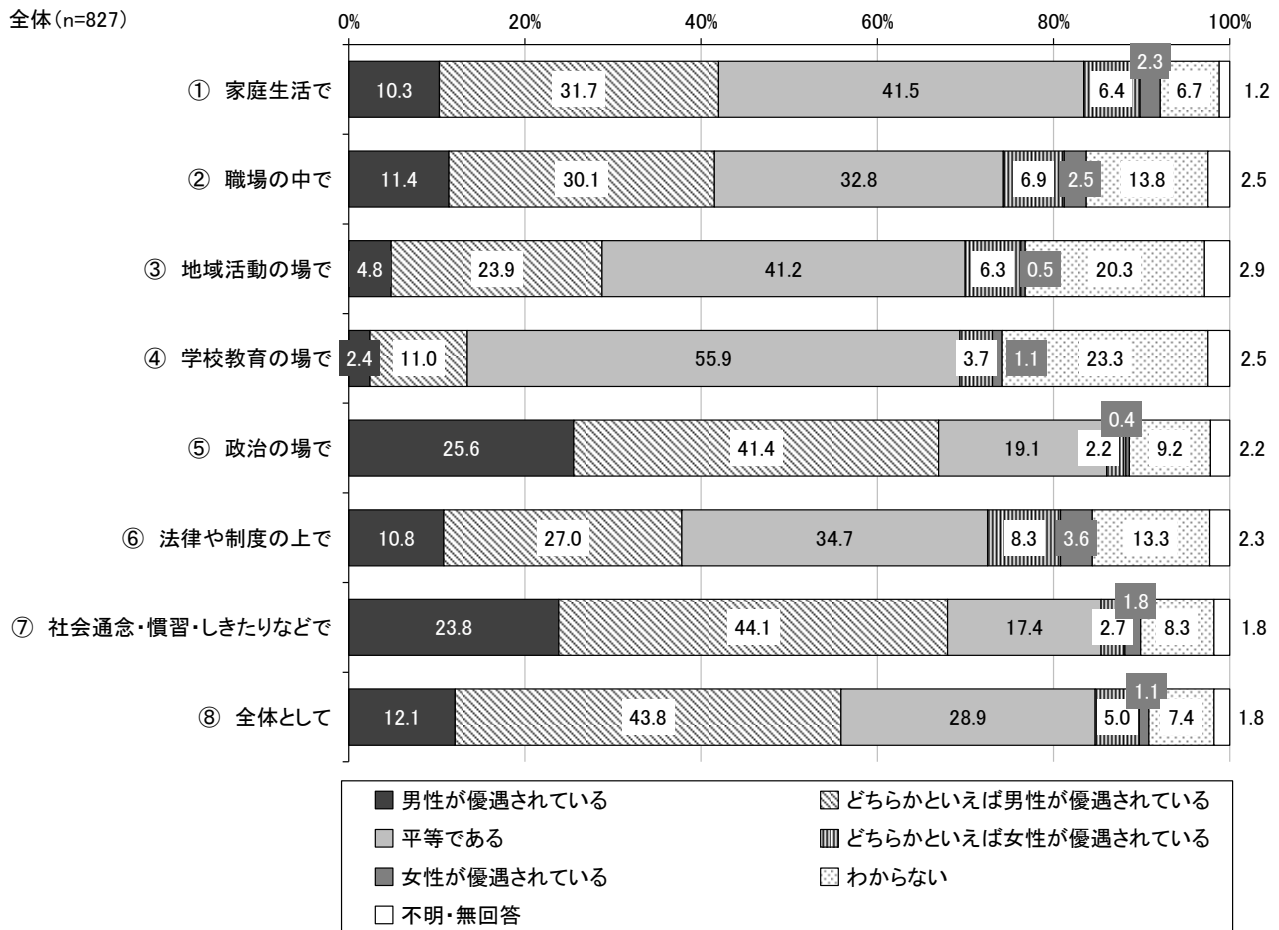
## Ⅱ 調査結果

### 1. 男女の平等感・家庭生活について

問1 あなたは、次の分野において、男女の地位が平等だと思いますか。

(①から⑧の項目ごとに、1つに○)

男女の地位の平等感についてみると、「平等である」が〔④学校教育の場で〕で55.9%と最も高く、次いで〔①家庭生活で〕で41.5%、〔③地域活動の場で〕で41.2%となっています。

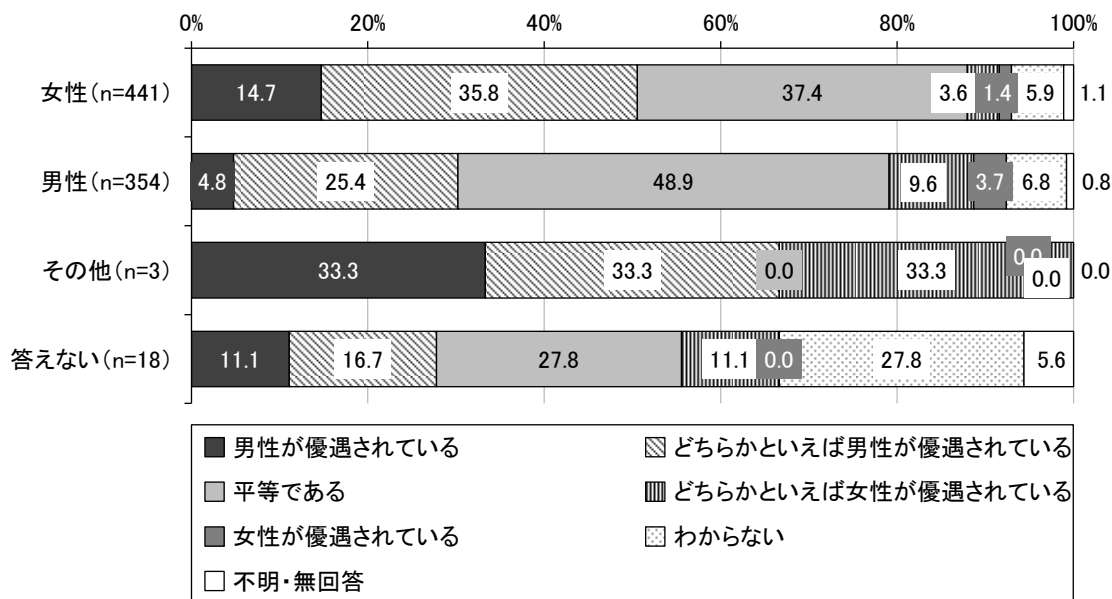


「① 家庭生活で」

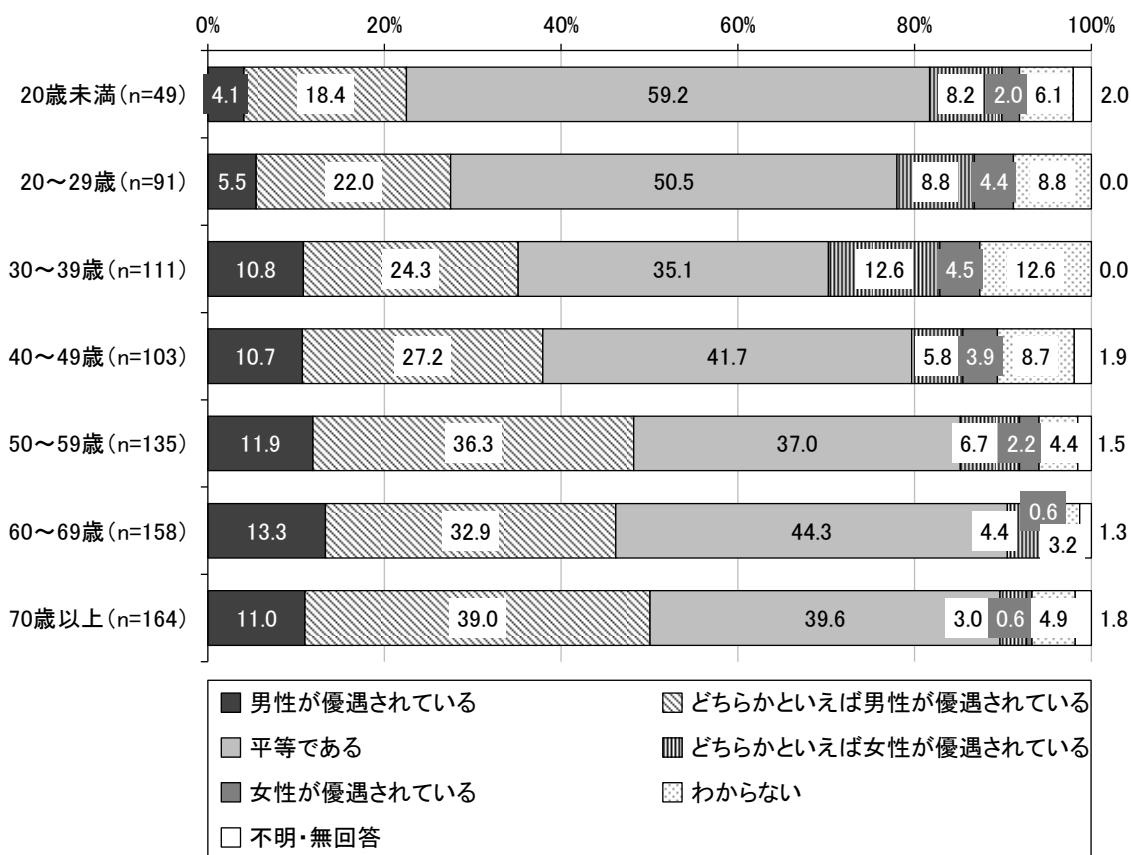
性別でみると、男女ともに「平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「平等である」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

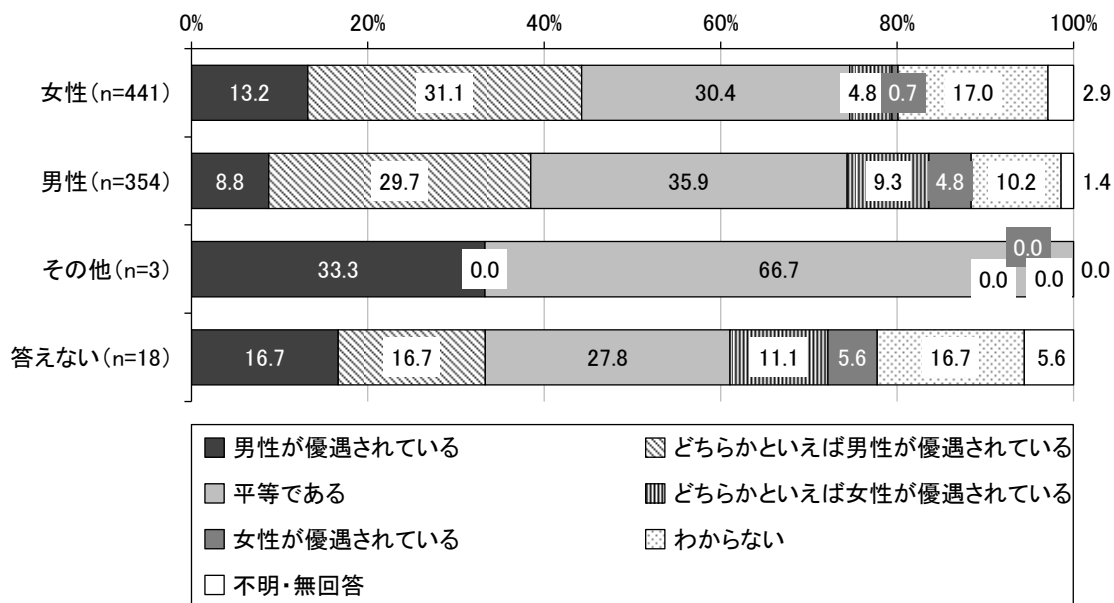


《② 職場の中で》

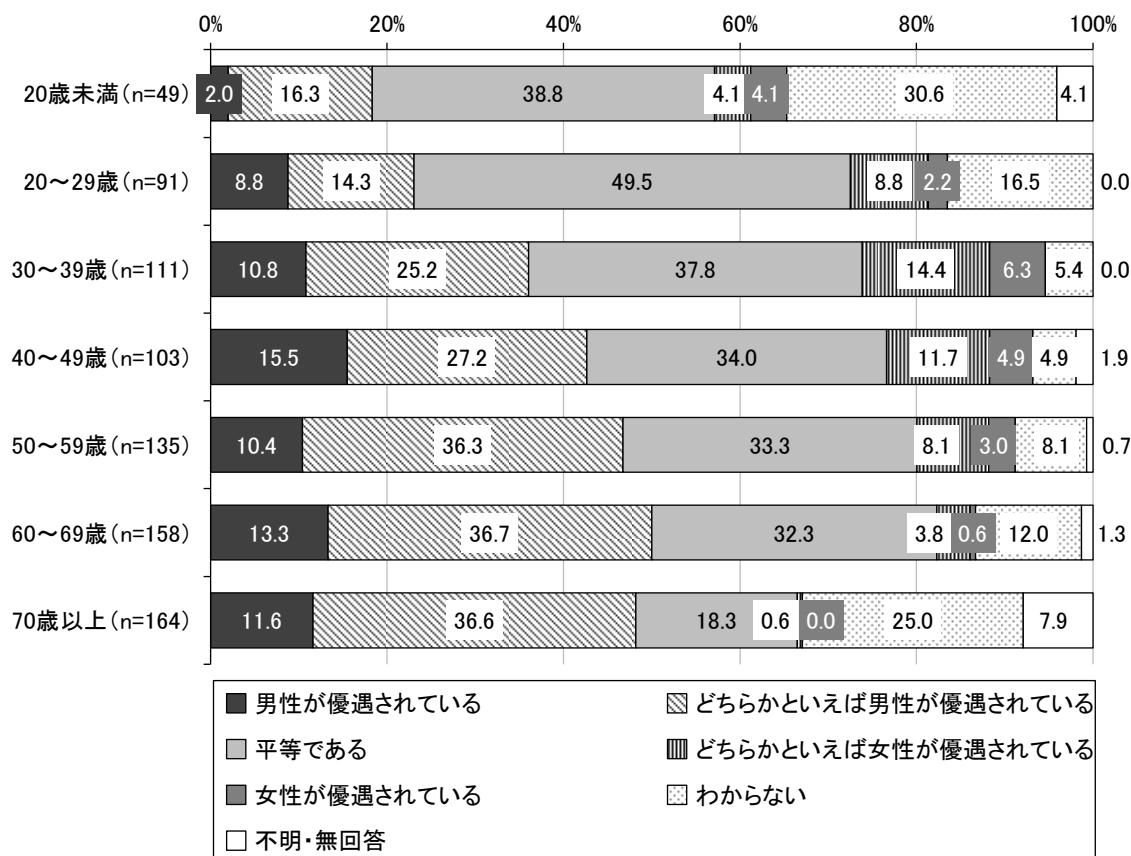
性別でみると、女性では「どちらかといえば男性が優遇されている」、男性では「平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、50歳以上では「どちらかといえば男性が優遇されている」、それ以外の年代では「平等である」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

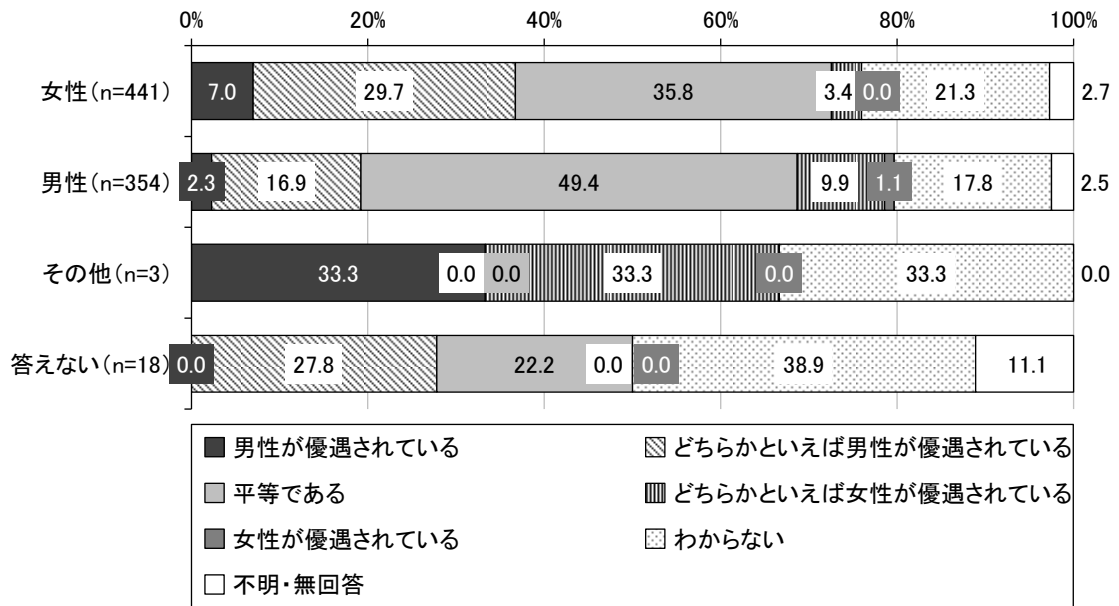


「③ 地域活動の場で」

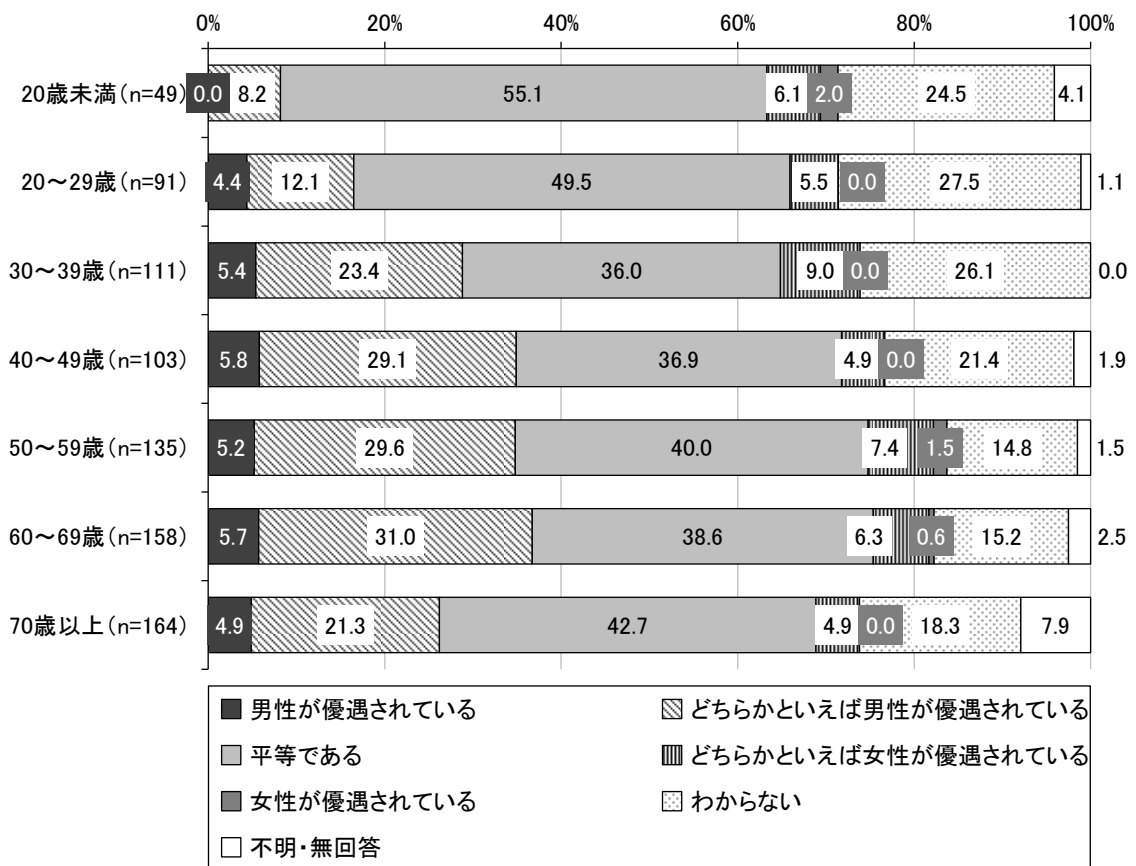
性別でみると、男女ともに「平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「平等である」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

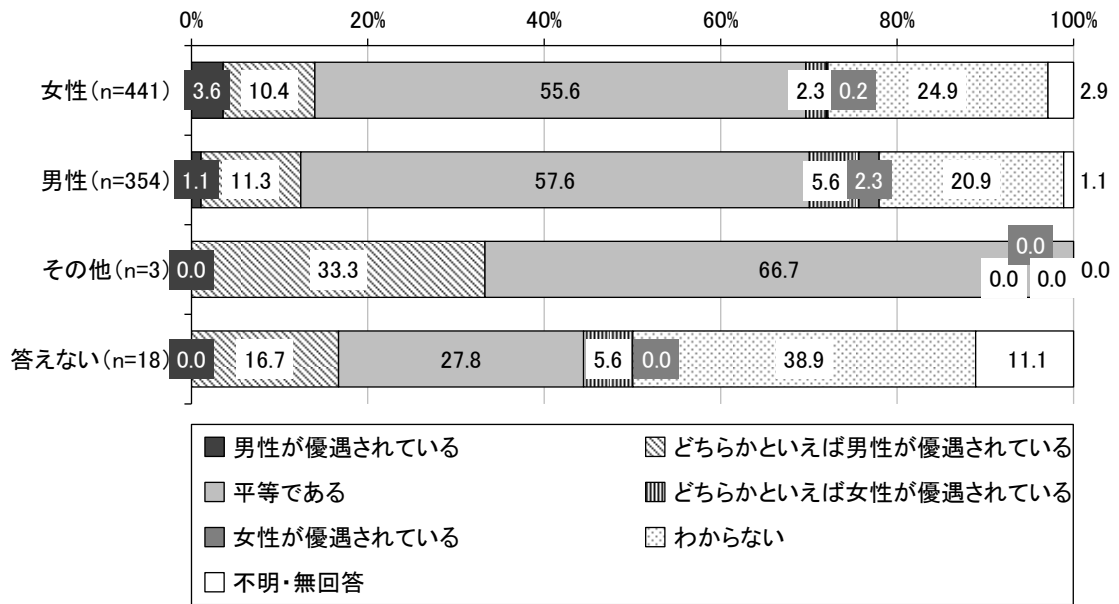


「④ 学校教育の場で」

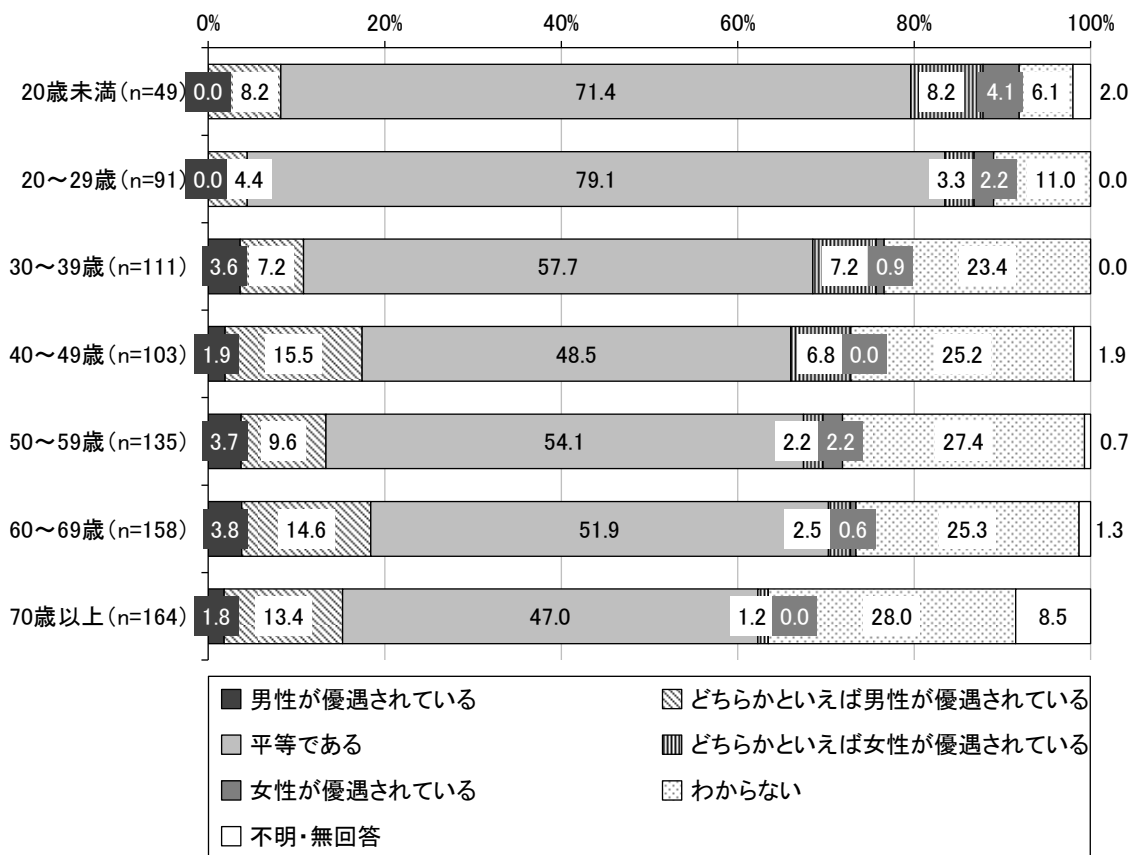
性別でみると、男女ともに「平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「平等である」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

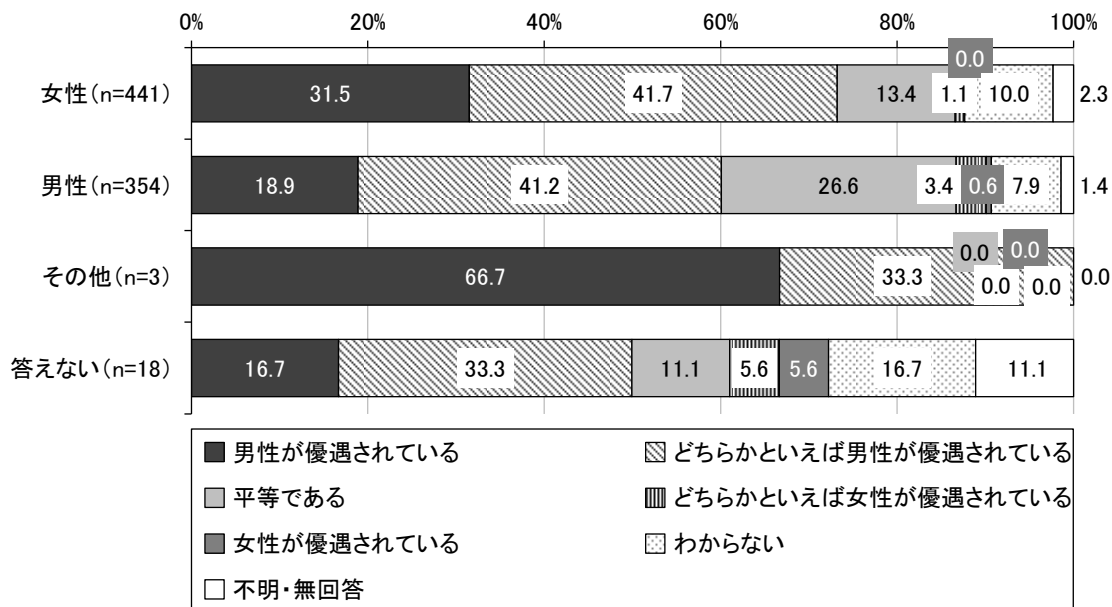


「政治の場」

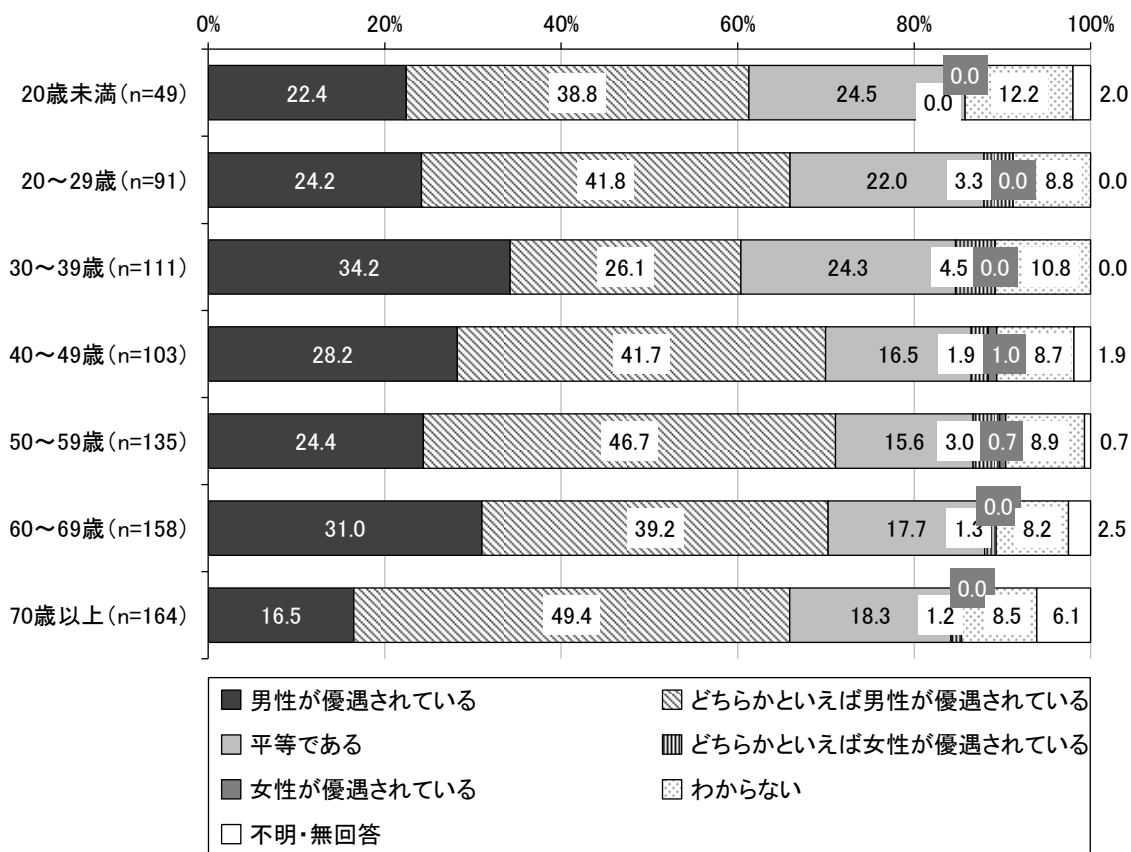
性別でみると、男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。

年代別でみると、30～39歳では「男性が優遇されている」、それ以外の年代では「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

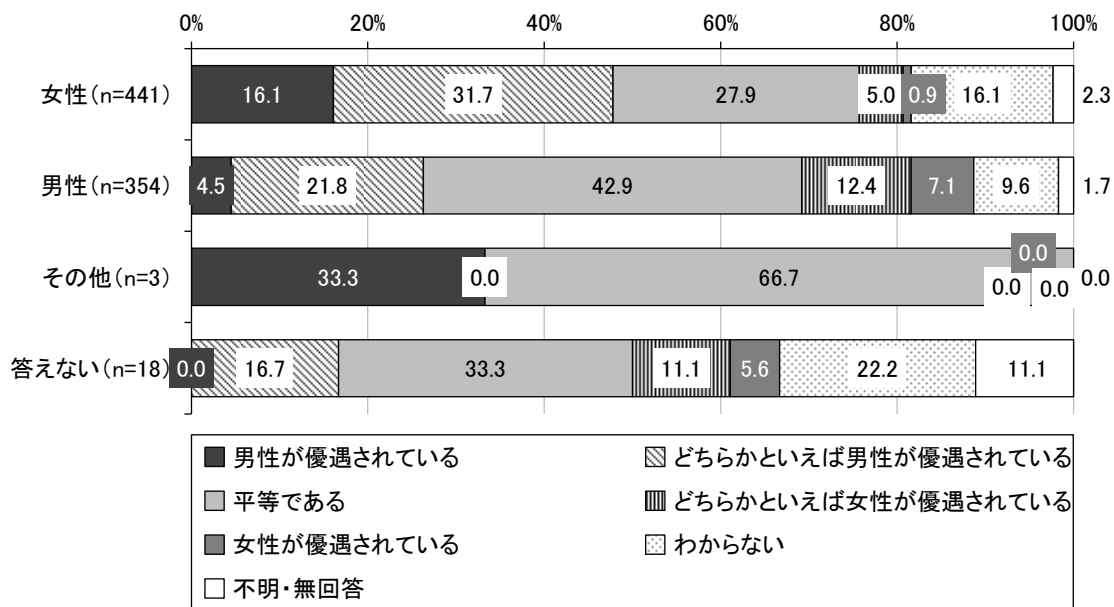


「⑥ 法律や制度の上で」

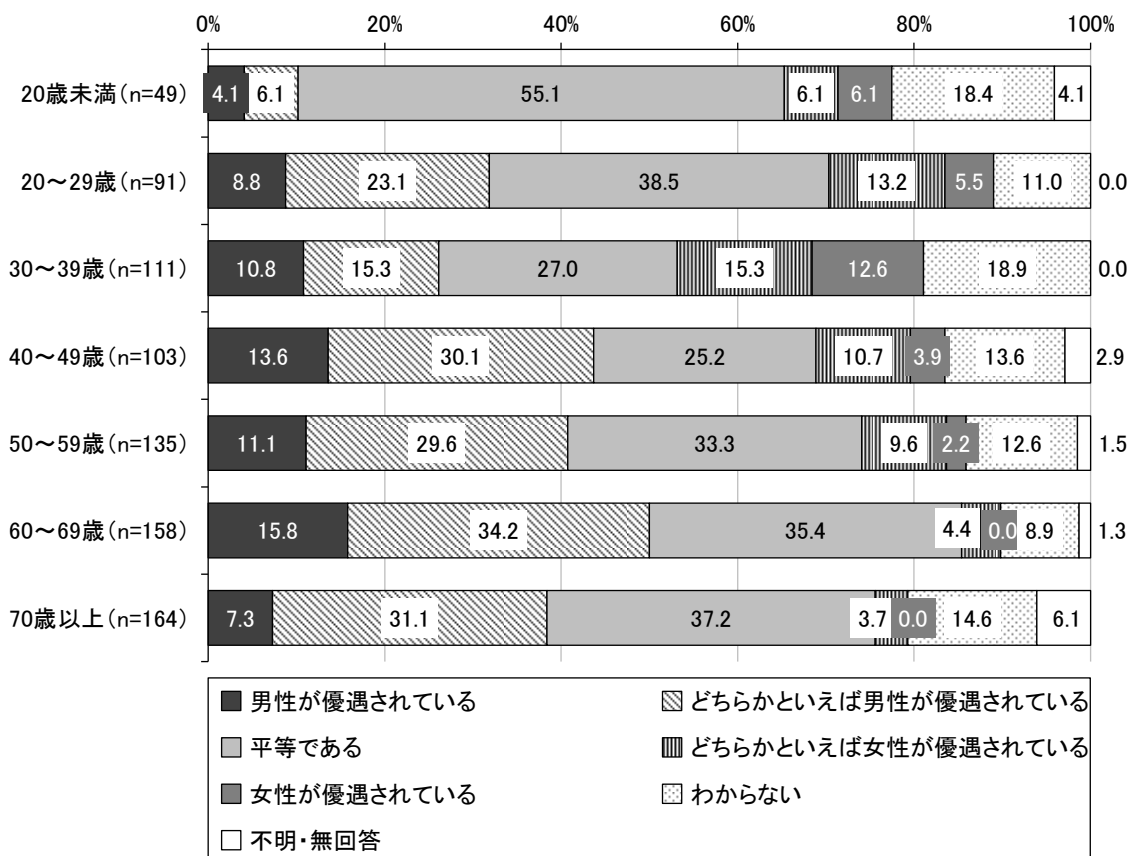
性別でみると、女性では「どちらかといえば男性が優遇されている」、男性では「平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、40～49歳では「どちらかといえば男性が優遇されている」、それ以外の年代では「平等である」が最も高くなっています。

【性別】



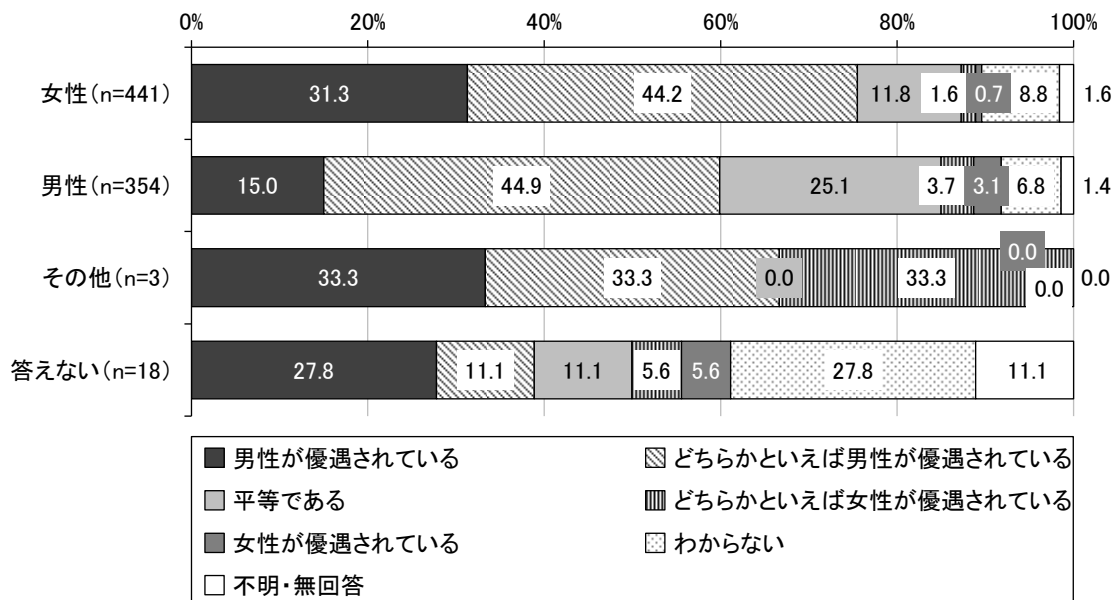
【年代別】



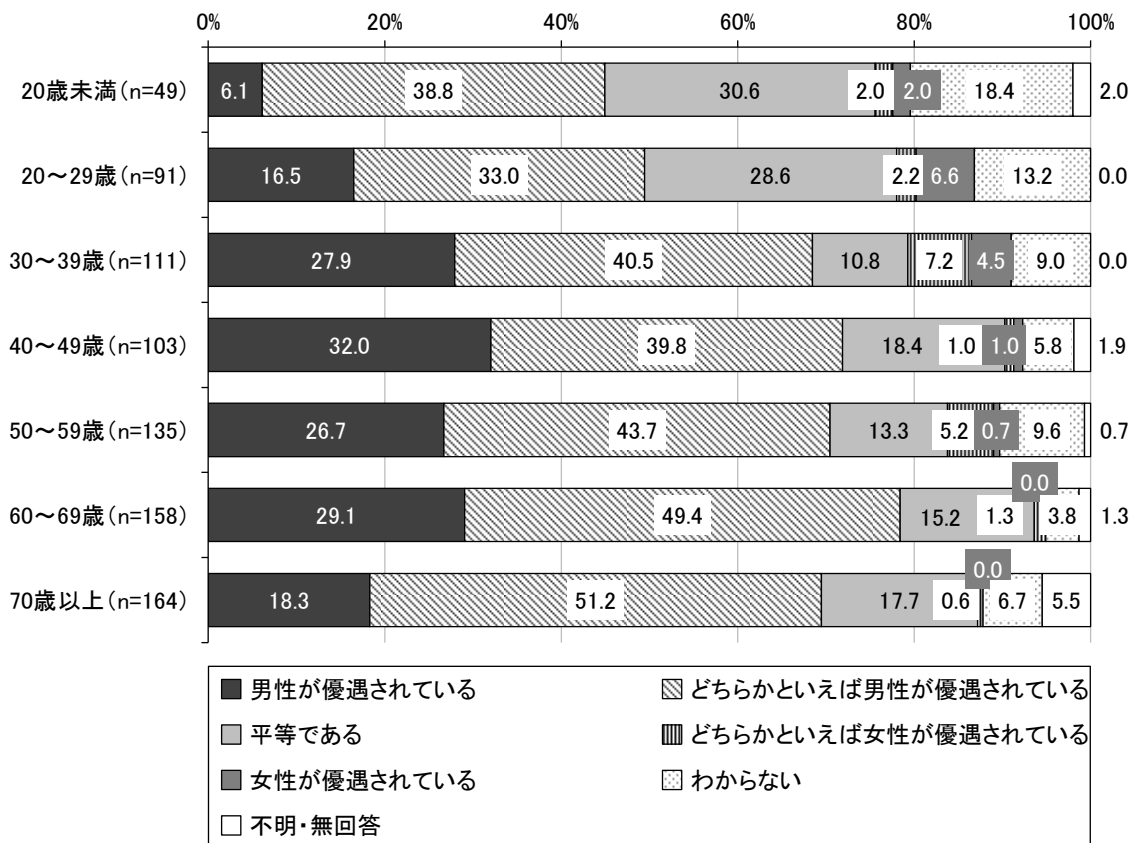
◀⑦ 社会通念・慣習・しきたりなどで▶

性別でみると、男女ともに「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

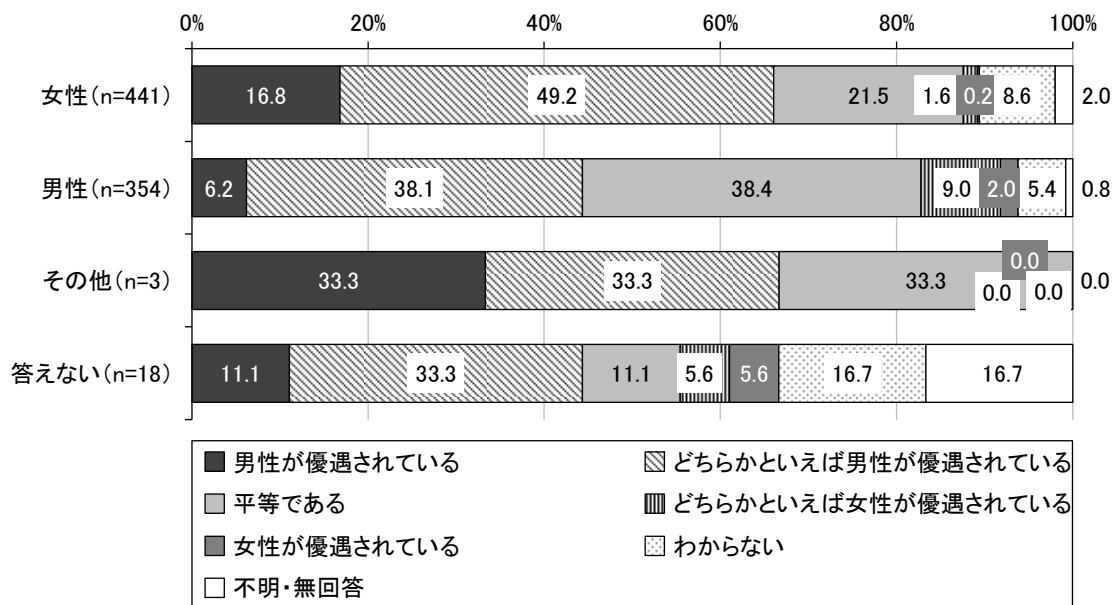


«⑧ 全体として»

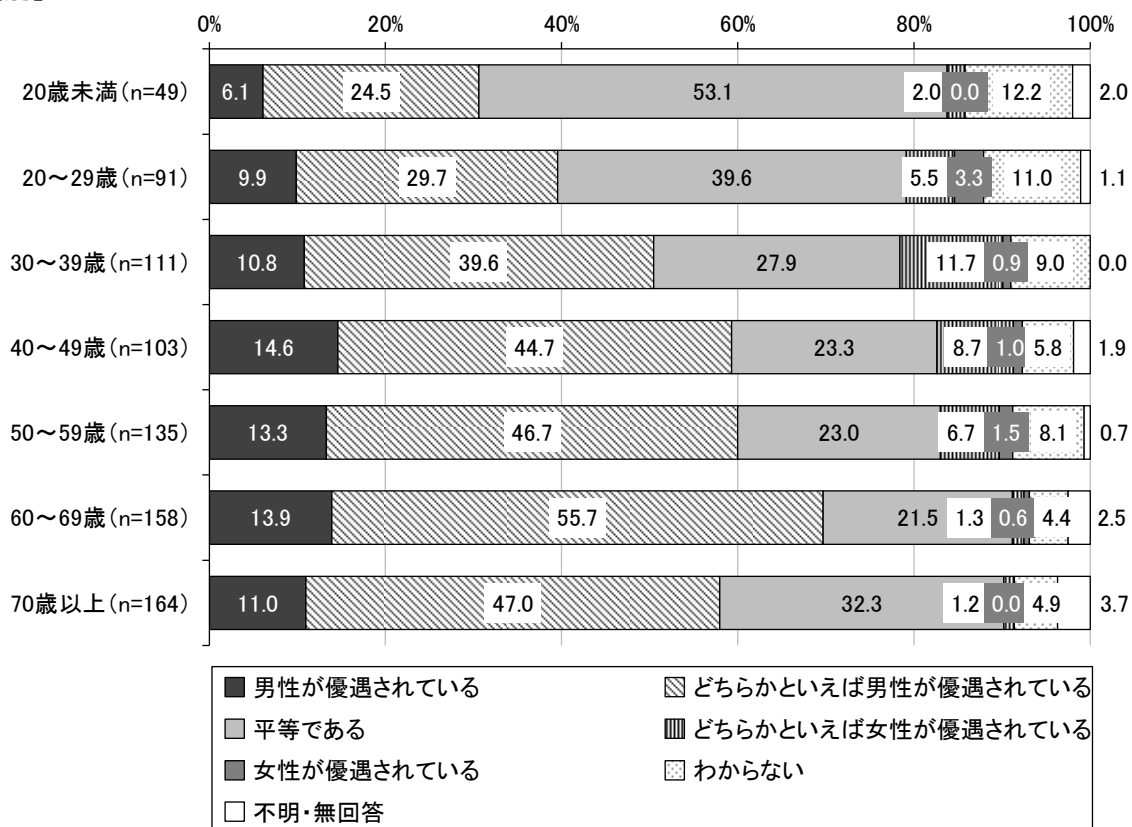
性別でみると、女性では「どちらかといえば男性が優遇されている」、男性では「平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満、20～29歳では「平等である」、それ以外の年代では「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。

【性別】

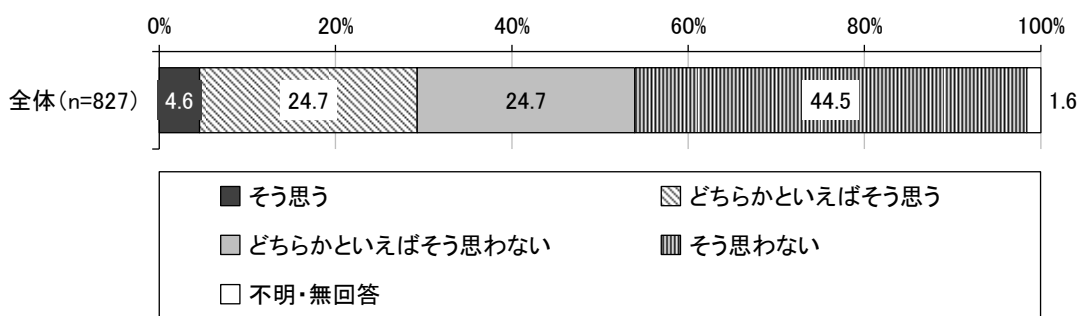


【年代別】



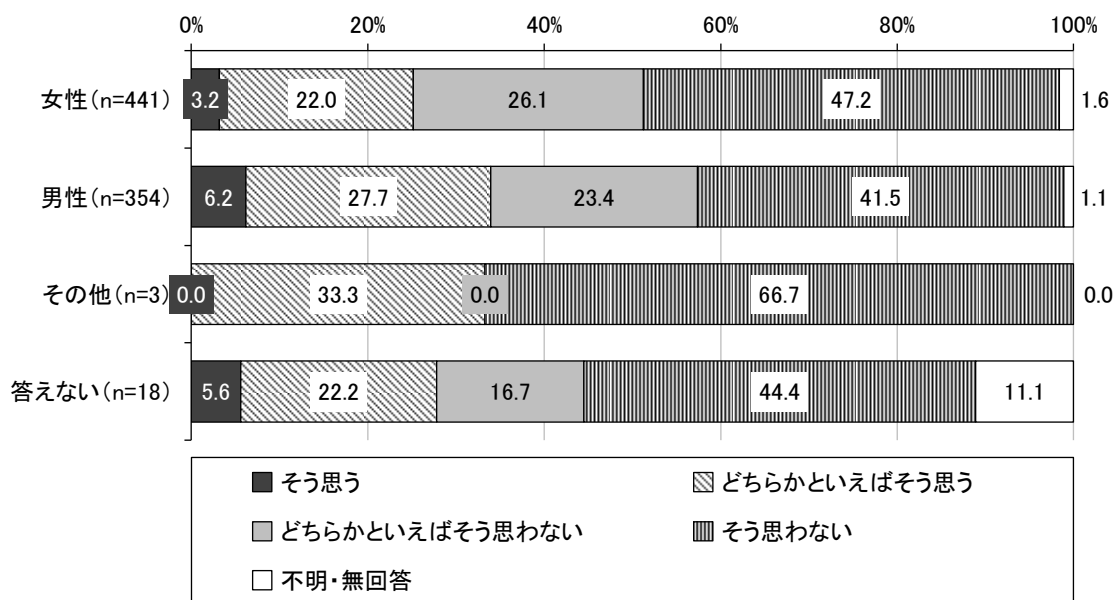
問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して、あなたはどうお考えですか。(1つに○)

「男は仕事、女は家庭」という考え方についてみると、「そう思わない」が44.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が同率で24.7%、「そう思う」が4.6%となっています。



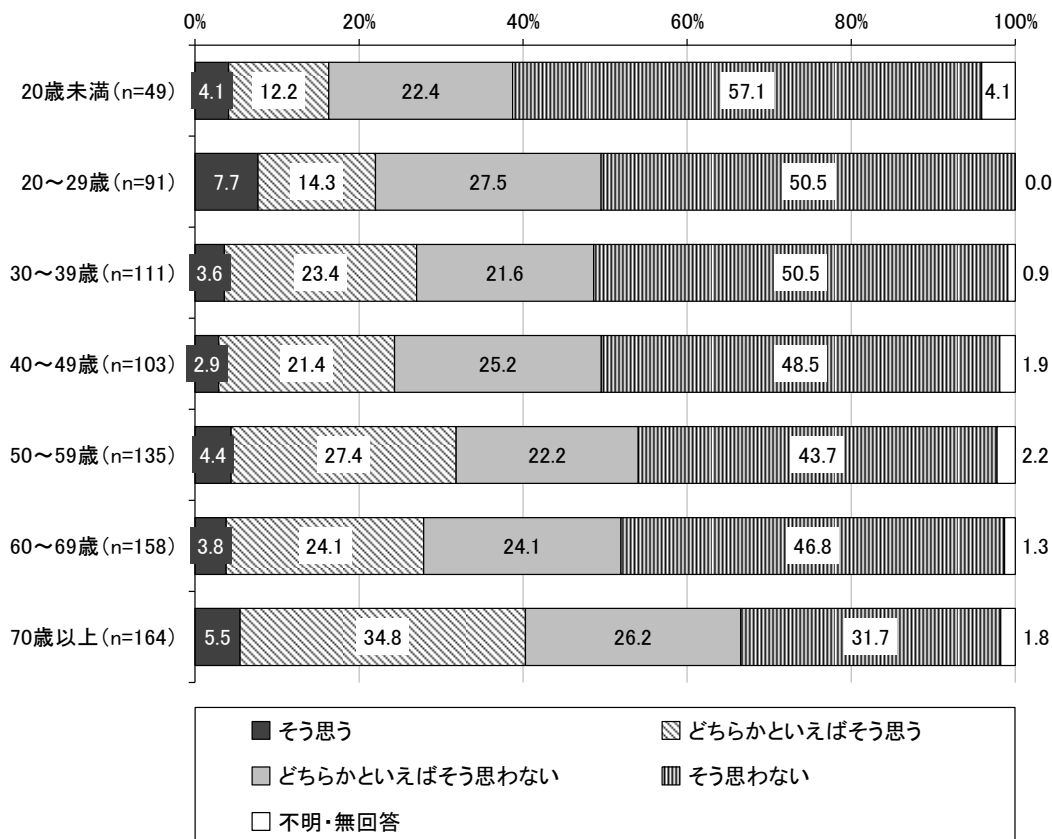
【性別】

性別でみると、男女ともに「そう思わない」が最も高くなっています。



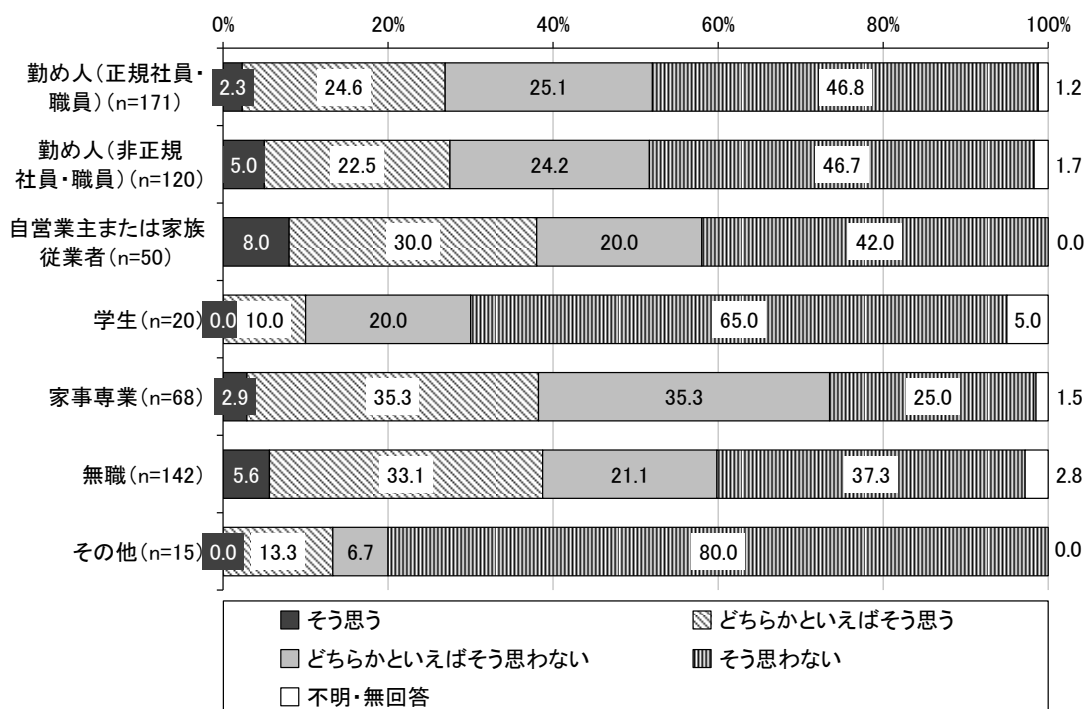
### 【年代別】

年代別でみると、70歳以上では「どちらかといえばそう思う」、それ以外の年代では「そう思わない」が最も高くなっています。



### 【職業別】

職業別でみると、家事専業では「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」、それ以外の職業では「そう思わない」が最も高くなっています。

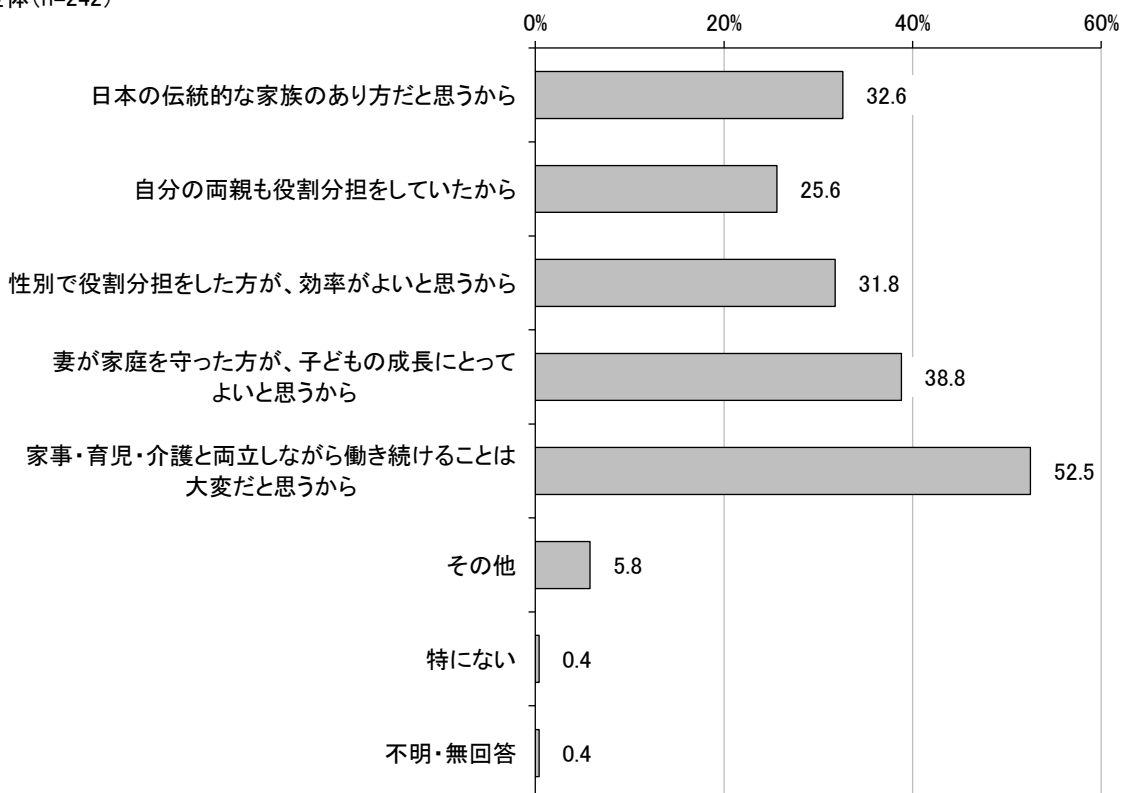


問2で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選んだ方におうかがいします。

問3 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

理由についてみると、「家事・育児・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思うから」が52.5%と最も高く、次いで「妻が家庭を守った方が、子どもの成長にとってよいと思うから」が38.8%、「日本の伝統的な家族のあり方だと思うから」が32.6%となっています。

全体 (n=242)



### 【性別、年代別】

性別で見ると、男女ともに「家事・育児・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思うから」が最も高くなっています。

年代別で見ると、70歳以上では「日本の伝統的な家族のあり方だ」と思うから、それ以外の年代では「家事・育児・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思うから」が最も高くなっています。

単位：%		だと思 うから	自 分の 両親 も役 割分 担を して	効 率 がよ い と思 う から	性 別 で 役 割 分 担 を し た 方 が、	か ら も 妻 が 成 長 に と つ つ た 方 が、 子 ど	と 思 う か ら	家 事 ・ 育 児 ・ 介 護 と 両 立 し な	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
性別	女性(n=111)	32.4	28.8	27.9	<b>34.2</b>	<b>65.8</b>	4.5	0.0	0.0		
	男性(n=120)	33.3	22.5	36.7	<b>40.8</b>	<b>42.5</b>	6.7	0.8	0.8		
	その他(n=1)	0.0	<b>100.0</b>	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0		
	答えない(n=5)	20.0	20.0	40.0	<b>60.0</b>	<b>60.0</b>	0.0	0.0	0.0		
年代別	20歳未満(n=8)	<b>50.0</b>	37.5	12.5	37.5	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0		
	20～29歳(n=20)	15.0	<b>30.0</b>	25.0	15.0	<b>35.0</b>	10.0	0.0	5.0		
	30～39歳(n=30)	16.7	23.3	<b>36.7</b>	26.7	<b>66.7</b>	16.7	0.0	0.0		
	40～49歳(n=25)	24.0	20.0	32.0	<b>36.0</b>	<b>64.0</b>	0.0	0.0	0.0		
	50～59歳(n=43)	23.3	18.6	37.2	<b>44.2</b>	<b>53.5</b>	4.7	0.0	0.0		
	60～69歳(n=44)	36.4	18.2	38.6	<b>43.2</b>	<b>54.5</b>	2.3	2.3	0.0		
	70歳以上(n=66)	<b>48.5</b>	33.3	27.3	45.5	<b>47.0</b>	4.5	0.0	0.0		

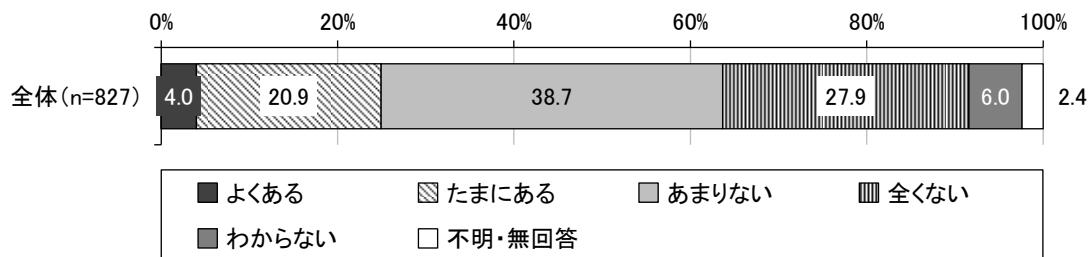
【職業別】

職業別でみると、無職では「日本の伝統的な家族のあり方だと思ふから」、それ以外の職業では「家事・育児・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思ふから」が最も高くなっています。

単位：%		だと思ふから	日本の伝統的な家族のあり方	いたから	自分の両親も役割分担をして	効率がよいと思ふから	性別で役割分担をした方が、	からの成長にとつてよいと思ふ	妻が家庭を守つた方が、子ども	がら働き続けることは大変だと思ふから	家事・育児・介護と両立しながら	その他	特にな	不明・無回答
職業別	勤め人(正規社員・職員)(n=46)	26.1	8.7	37.0	<b>45.7</b>	<b>58.7</b>	8.7	0.0	0.0					
	勤め人(非正規社員・職員)(n=33)	24.2	21.2	<b>30.3</b>	<b>30.3</b>	<b>69.7</b>	3.0	0.0	0.0					
	自営業主または家族従業者(n=19)	26.3	36.8	31.6	<b>42.1</b>	<b>52.6</b>	5.3	0.0	0.0					
	学生(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	0.0					
	家事専業(n=26)	42.3	30.8	34.6	<b>46.2</b>	<b>61.5</b>	0.0	0.0	0.0					
	無職(n=55)	<b>50.9</b>	32.7	27.3	<b>45.5</b>	43.6	3.6	1.8	0.0					
	その他(n=2)	<b>100.0</b>	0.0	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0					

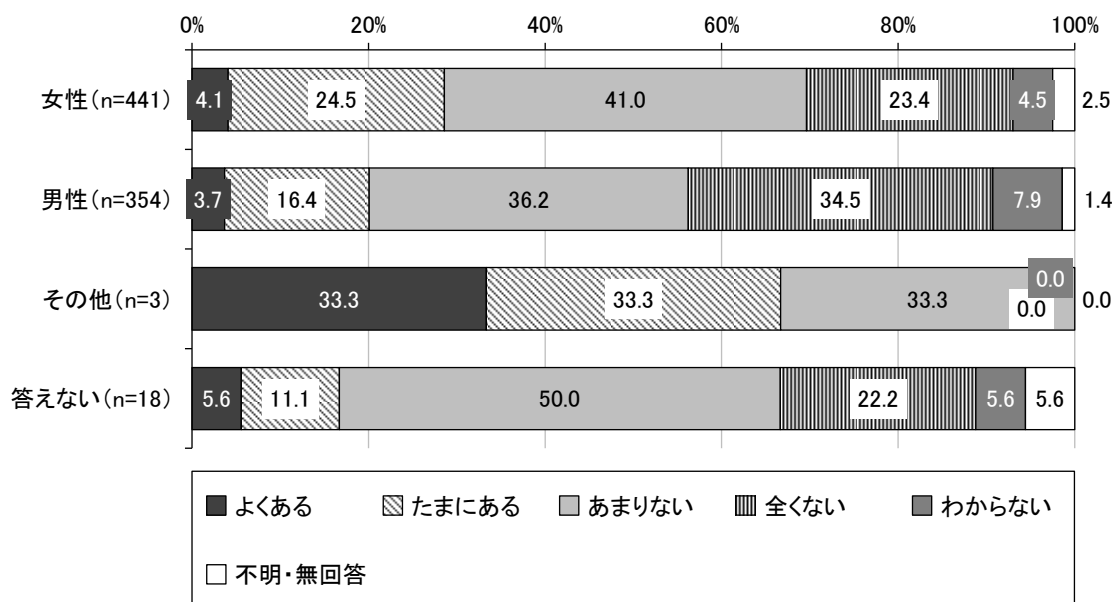
問4 あなたは、ここ2、3年で「男だから・女だから」という理由で、希望と異なる選択をしたことがありますか。(1つに〇)

ここ2、3年における、「男だから・女だから」という理由で希望と異なる選択をした経験についてみると、「あまりない」が38.7%と最も高く、次いで「全くない」が27.9%、「たまにある」が20.9%となっています。



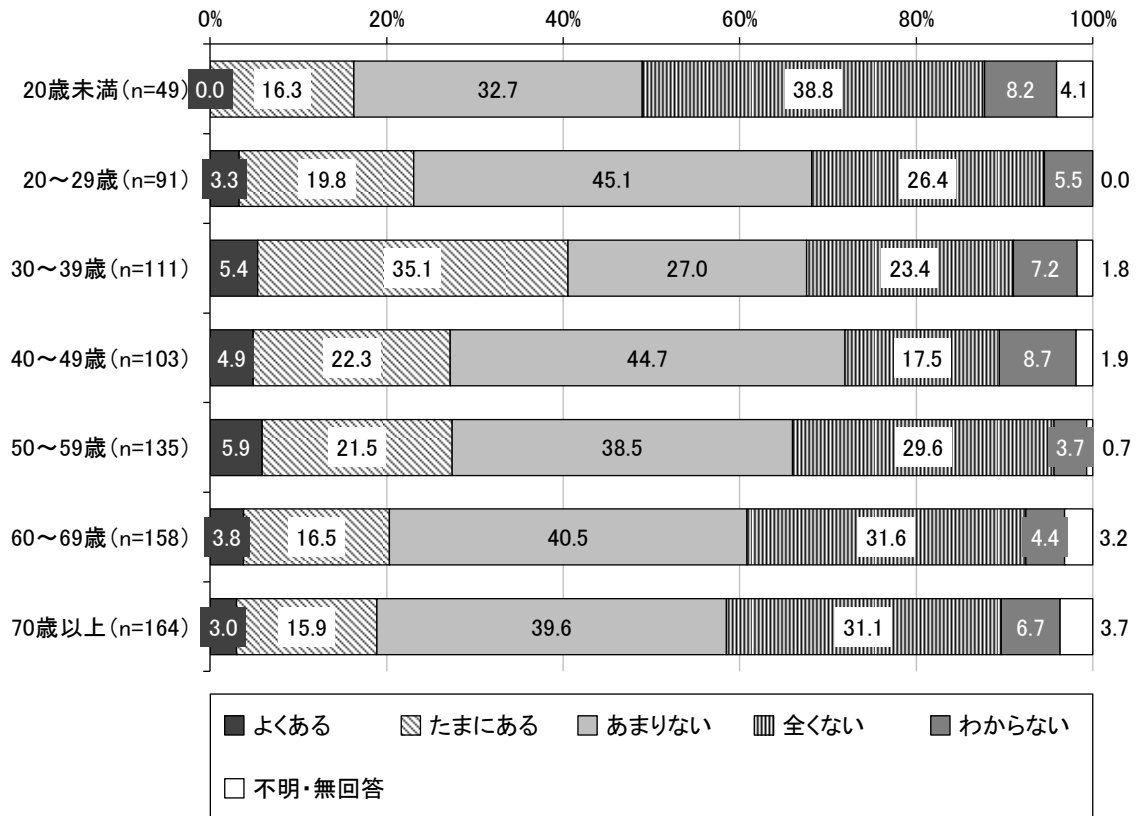
【性別】

性別でみると、男女ともに「あまりない」が最も高くなっています。



## 【年代別】

年代別でみると、20歳未満では「全くない」、30～39歳では「たまにある」、それ以外の年代では「あまりない」が最も高くなっています。



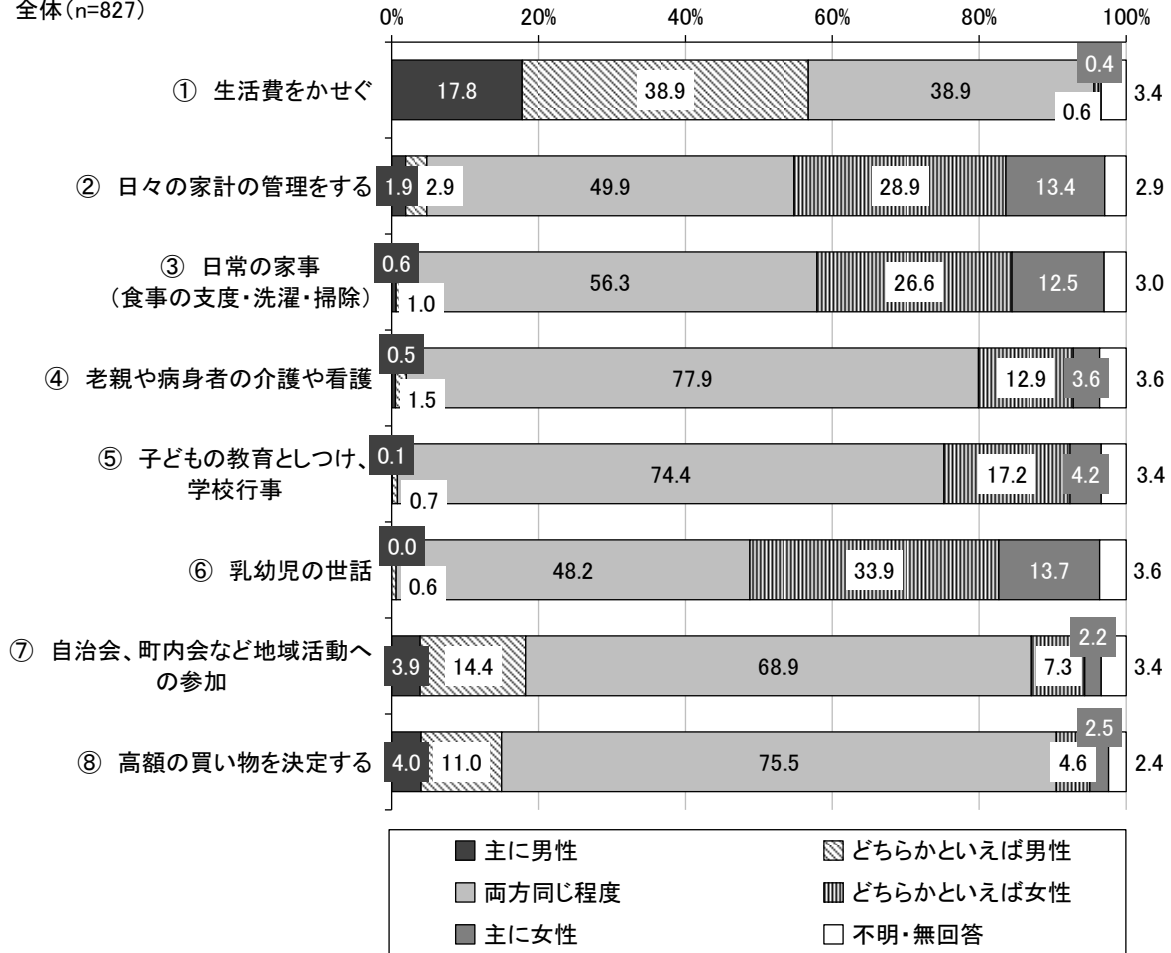
問5 日常的な家庭での役割分担についてお答えください。

「A 理想」はすべての方がお答えください。「B 現実」は配偶者・パートナーがいる(いた)方がお答えください。(A、Bそれぞれ①から⑧の項目ごとに、1つに〇)

≪ A 理想 ≫

「A 理想」については、[①生活費をかせぐ]を除くすべての項目で「両方同じ程度」が最も高くなっています。一方、[①生活費をかせぐ]で「どちらかといえば男性」「両方同じ程度」が同率で高くなっています。

全体(n=827)

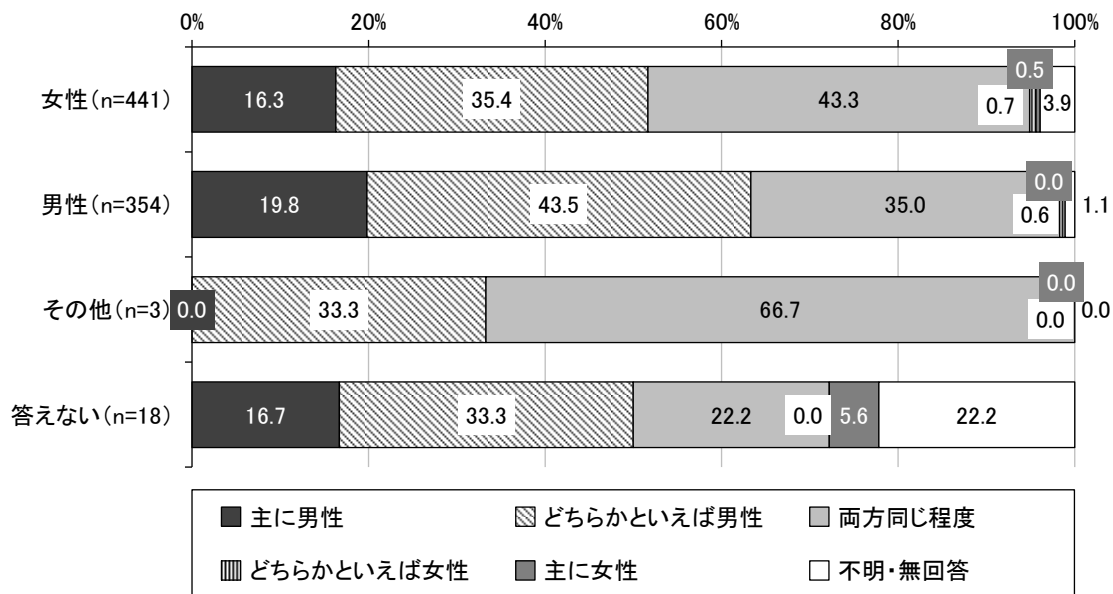


「① 生活費をかせぐ（理想）」

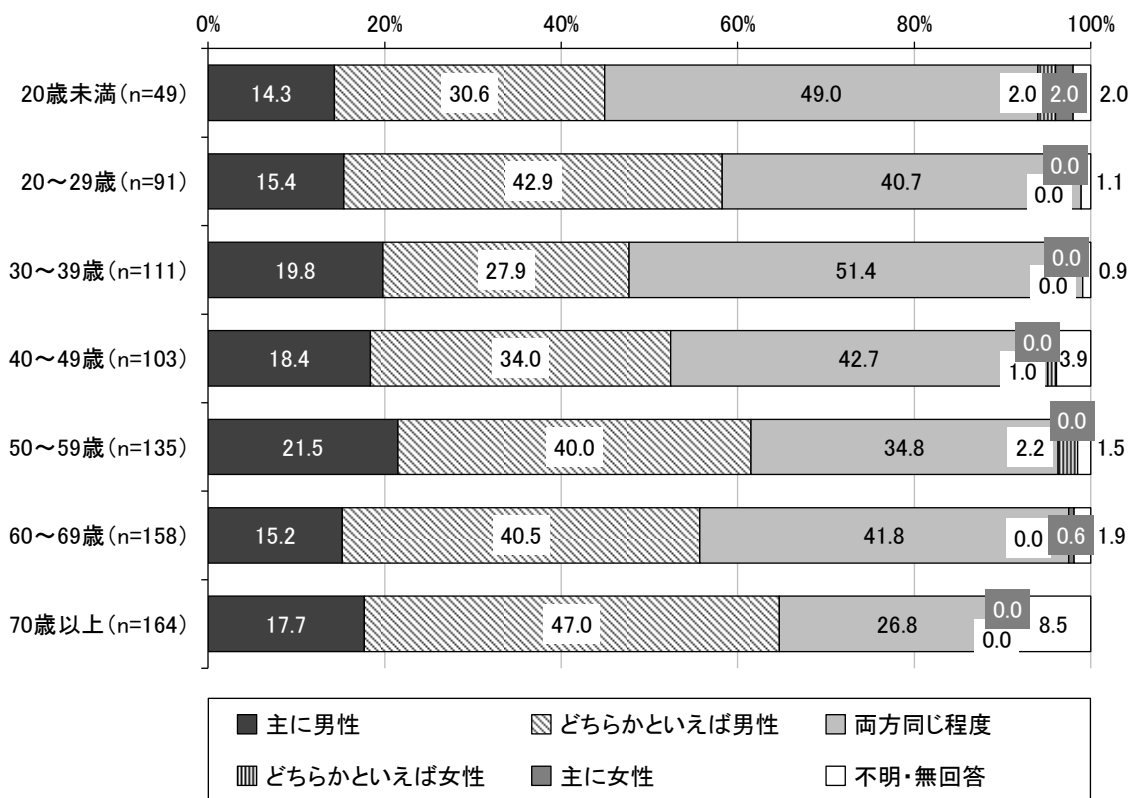
性別でみると、女性では「両方同じ程度」、男性では「どちらかといえば男性」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満、30～39歳、40～49歳、60～69歳では「両方同じ程度」、それ以外の年代では「どちらかといえば男性」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

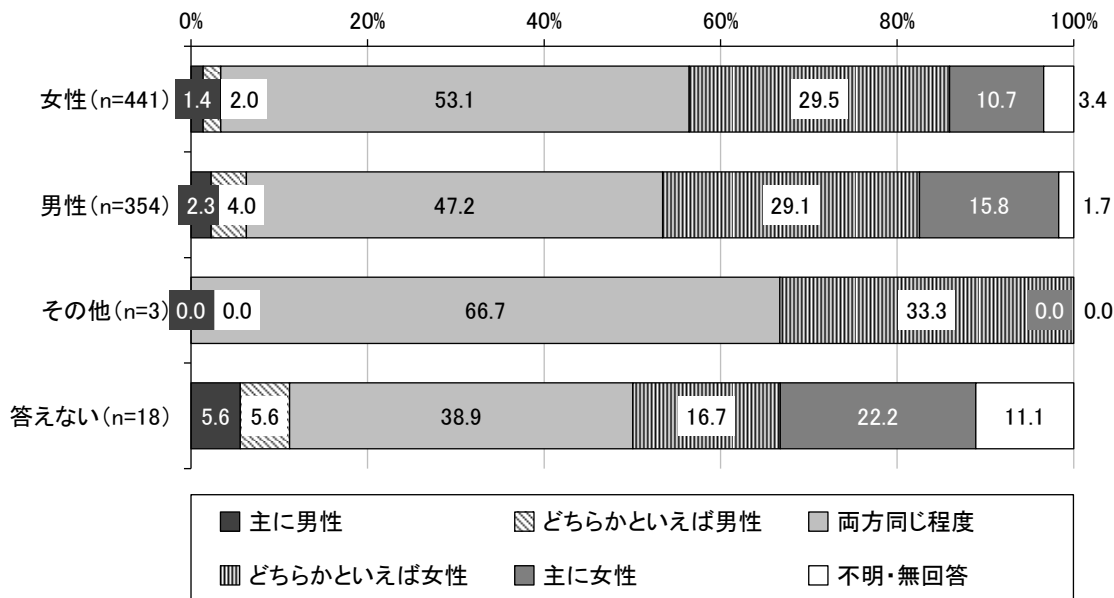


「② 日々の家計の管理をする（理想）」

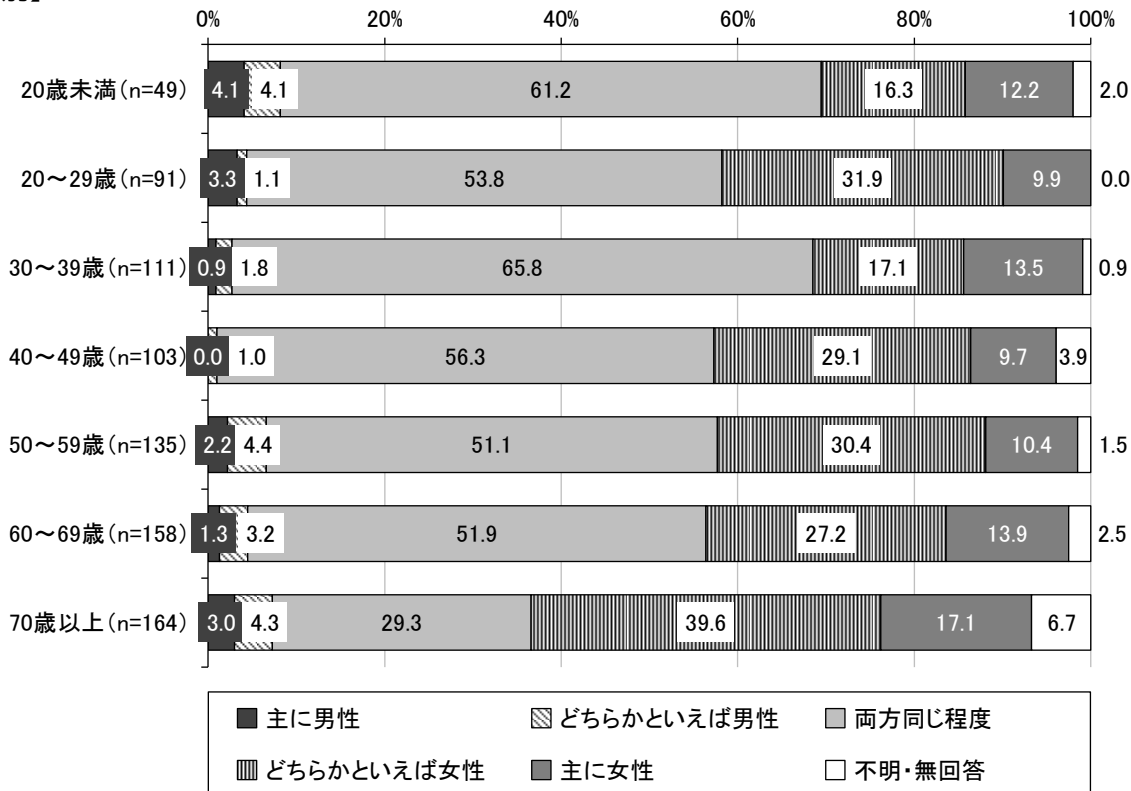
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「どちらかといえば女性」、それ以外の年代では「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

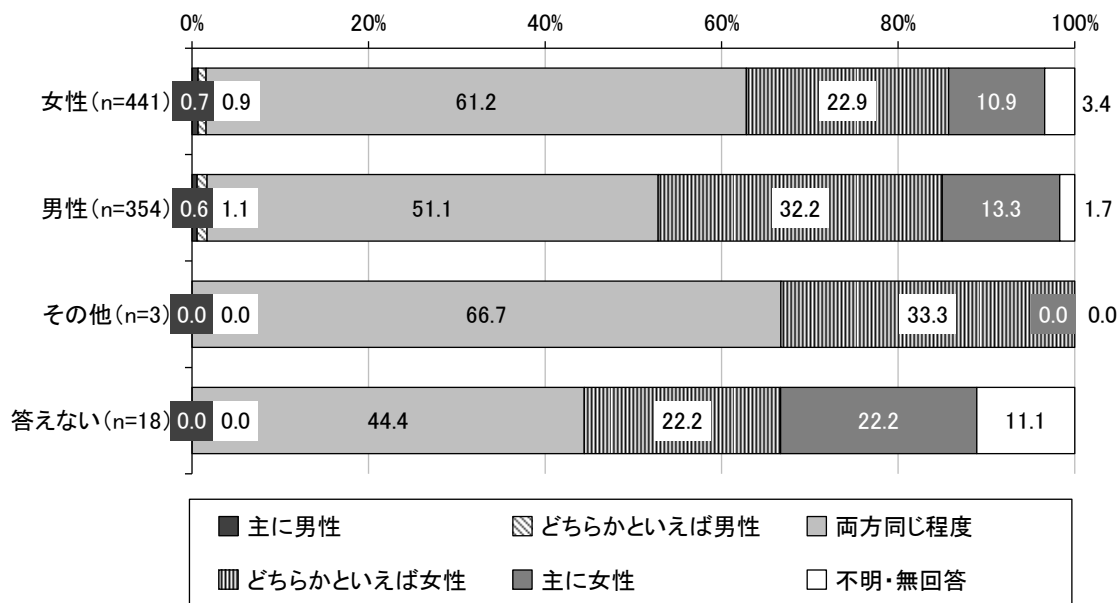


◀③ 日常の家事（食事の支度・洗濯・掃除）（理想）▶

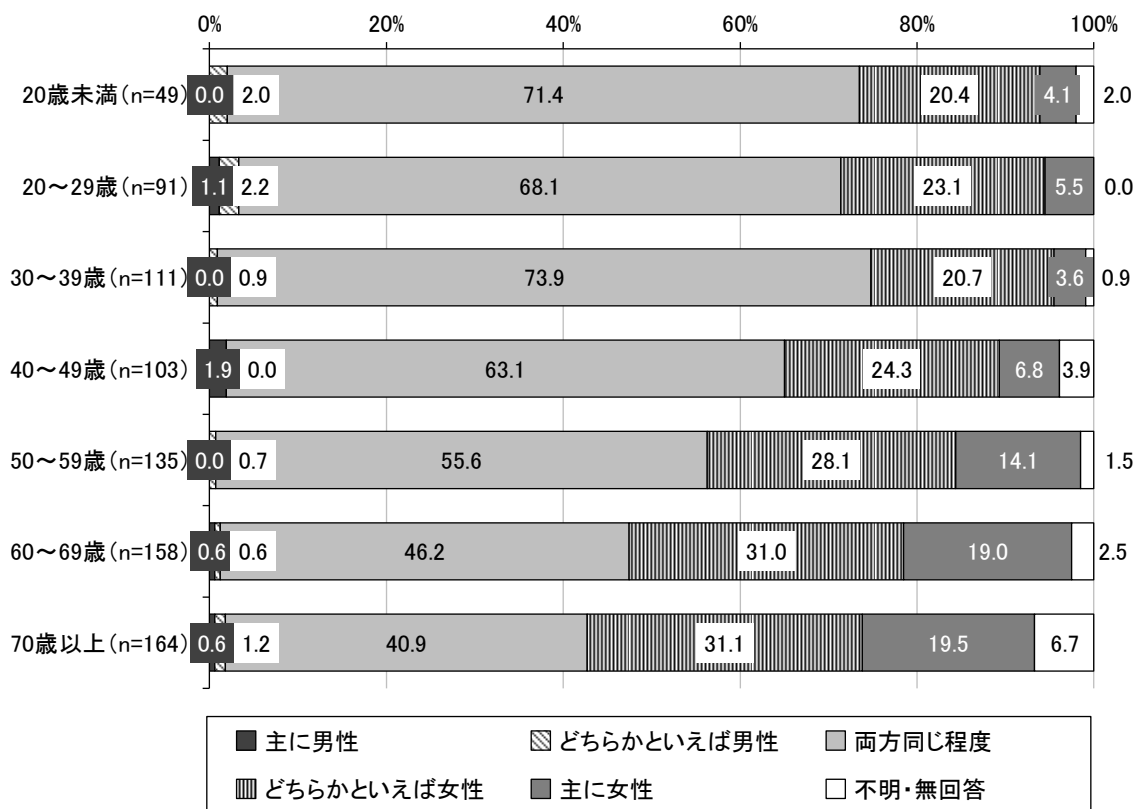
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

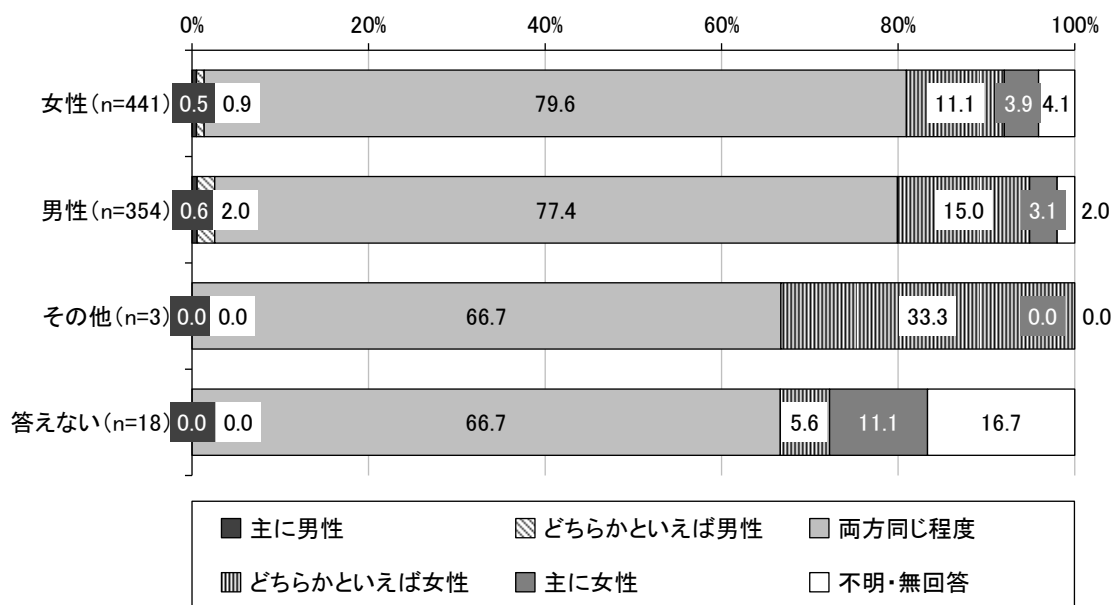


◀④ 老親や病身者の介護や看護（理想）▶

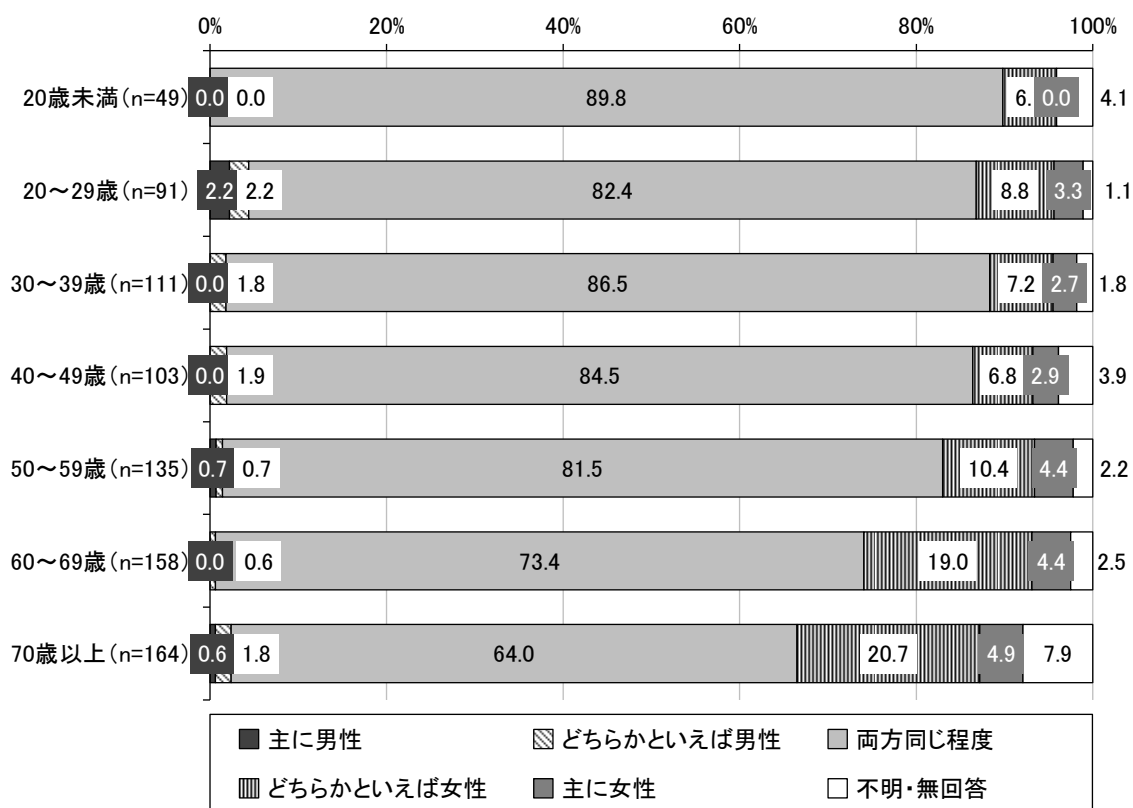
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

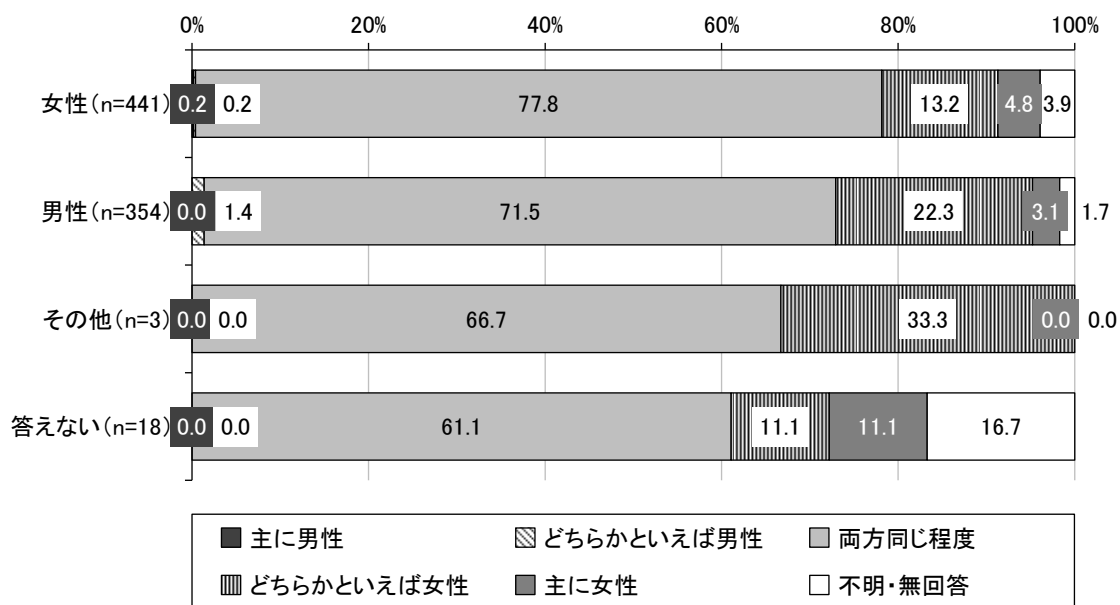


「子どもの教育としつけ、学校行事（理想）」

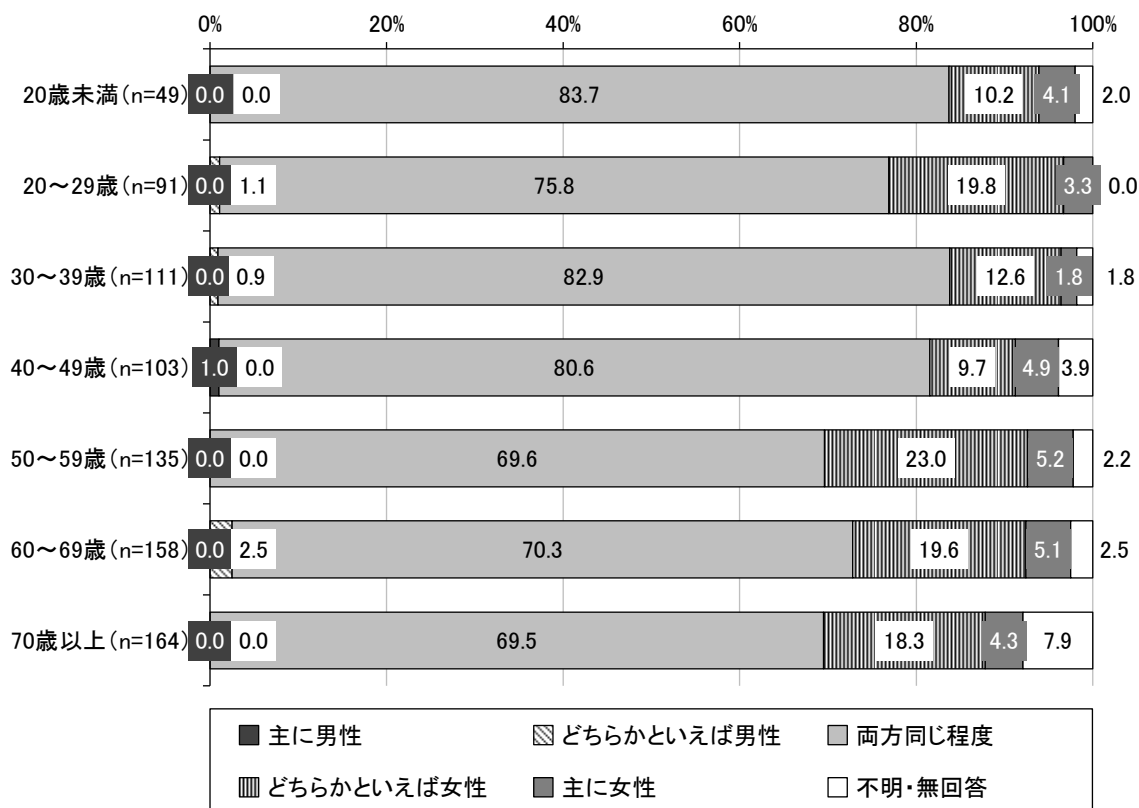
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

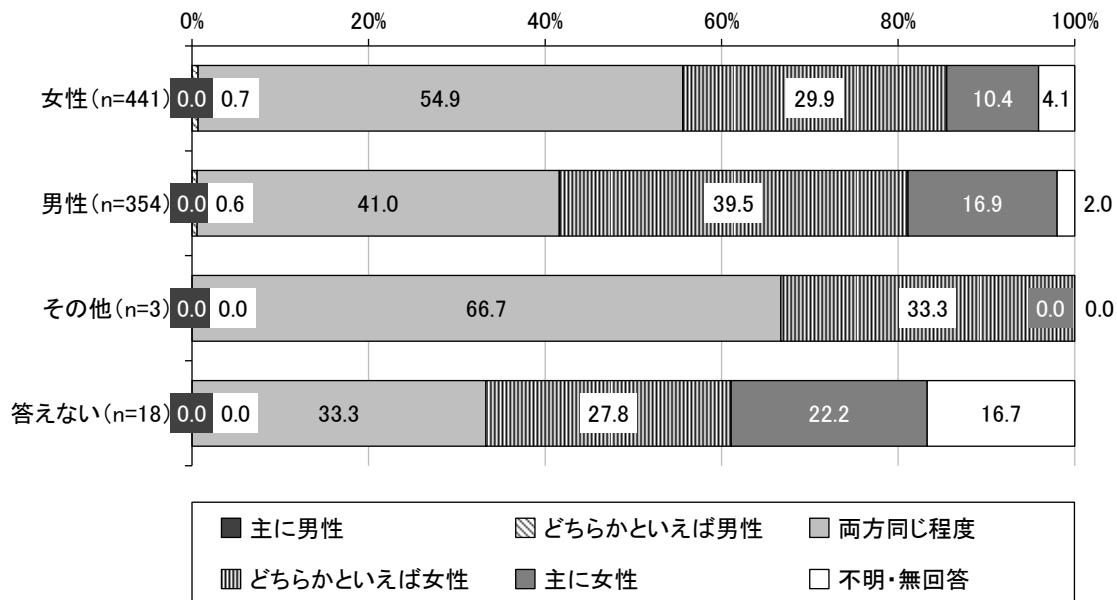


「⑥ 乳幼児の世話（理想）」

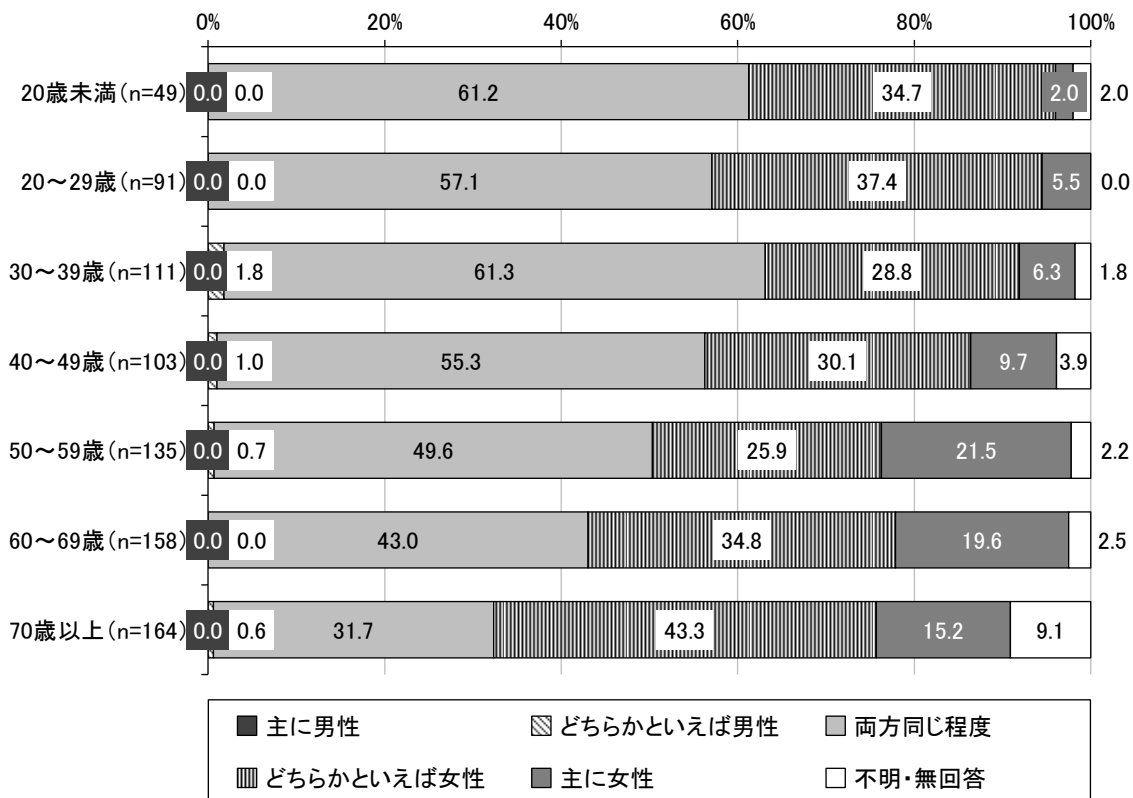
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「どちらかといえば女性」、それ以外の年代では「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

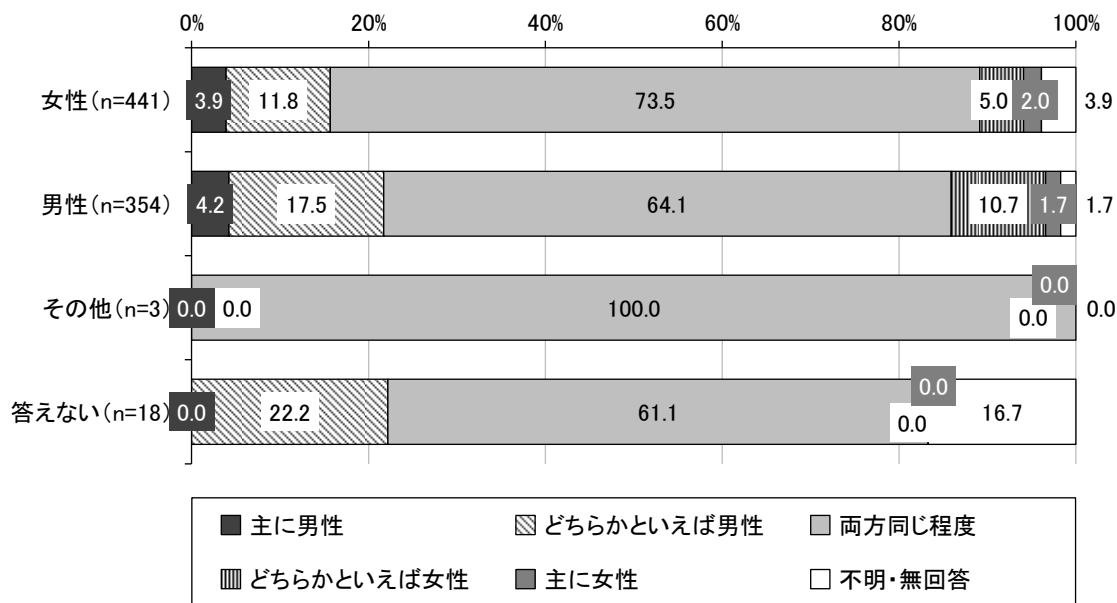


◀⑦ 自治会、町内会など地域活動への参加（理想）▶

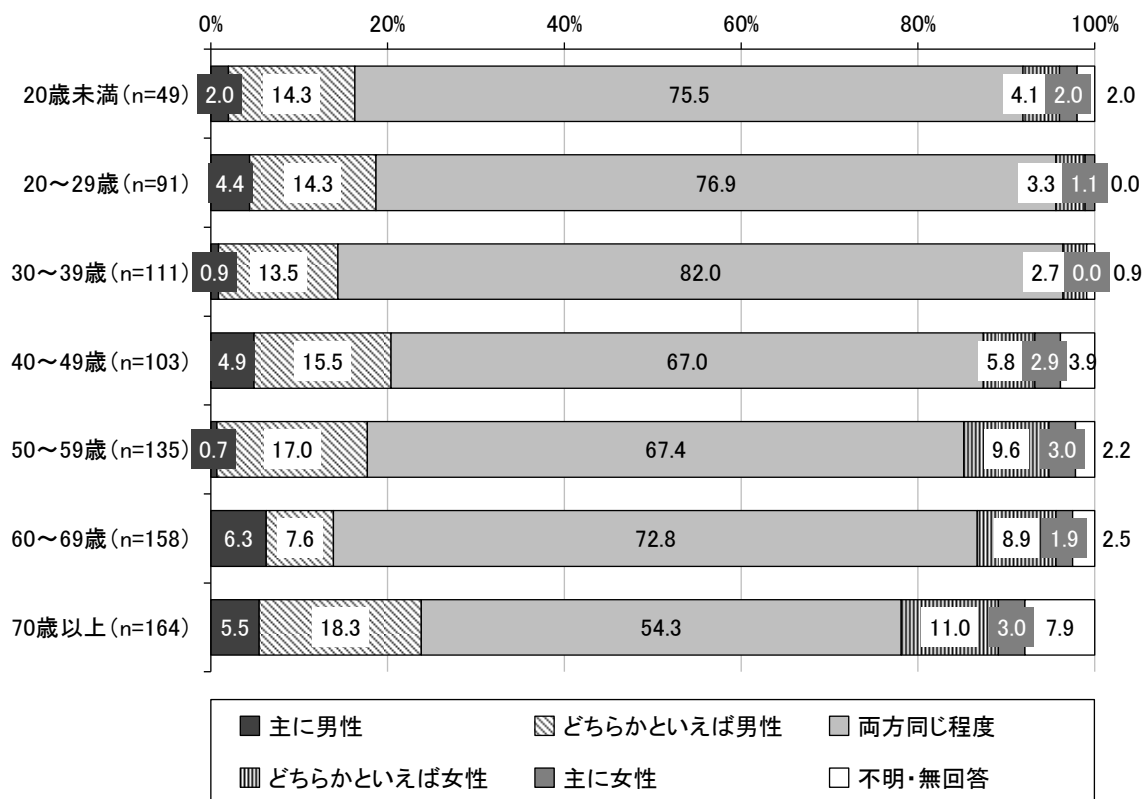
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

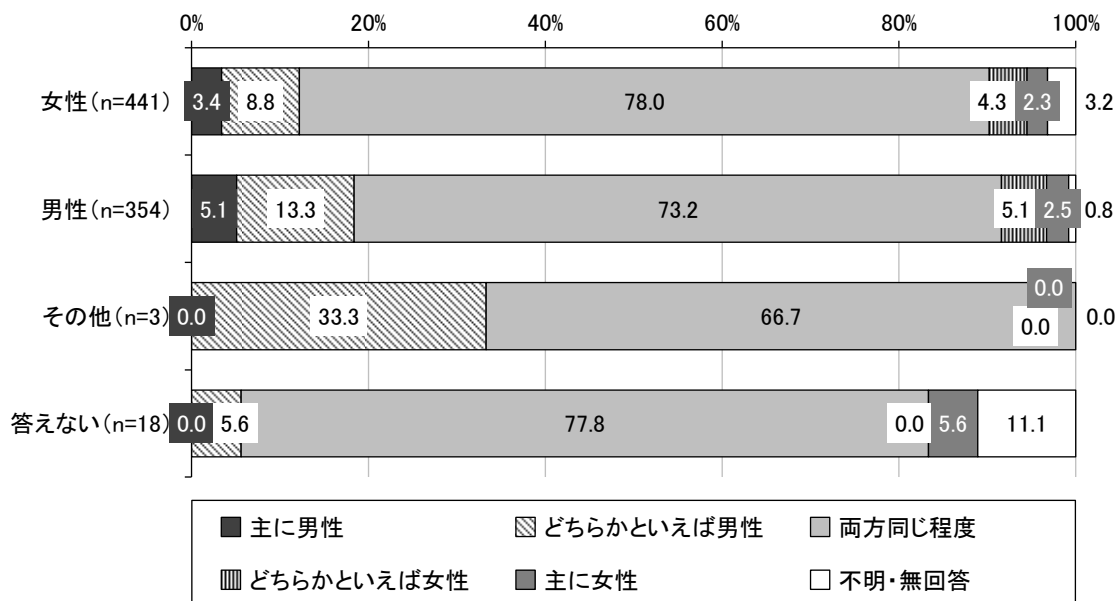


◀⑧ 高額の買い物を決定する（理想）▶

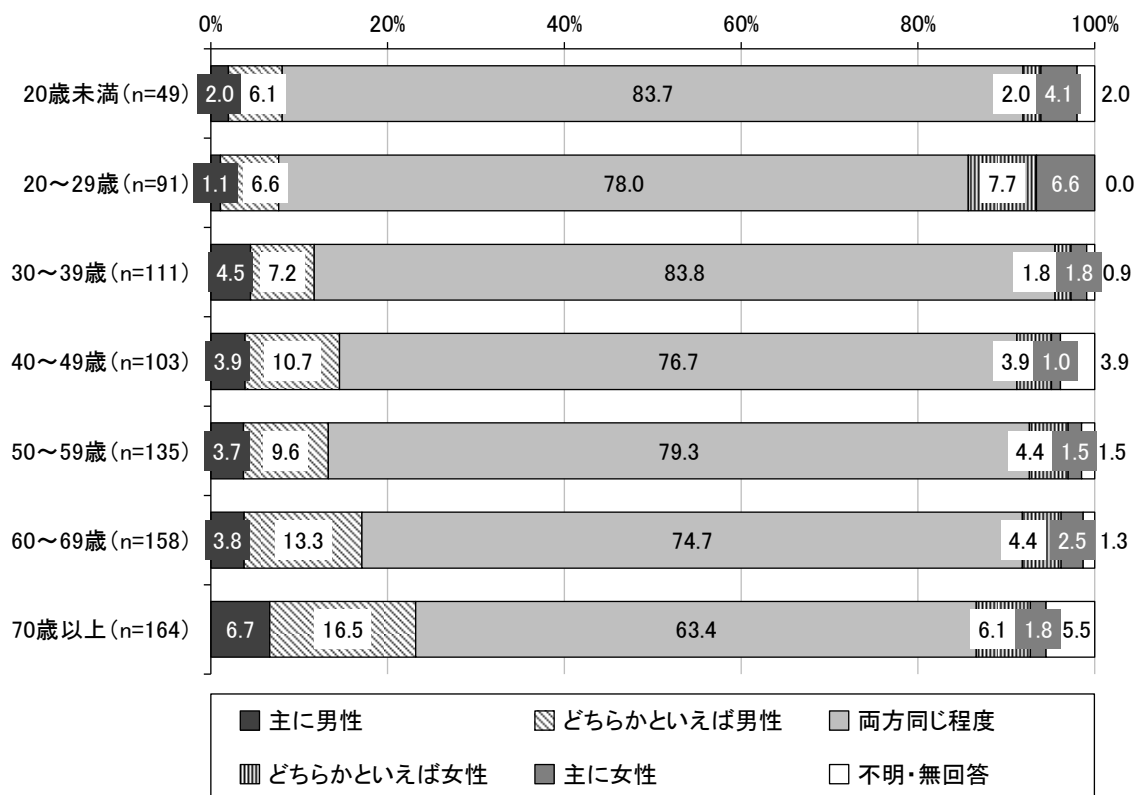
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】

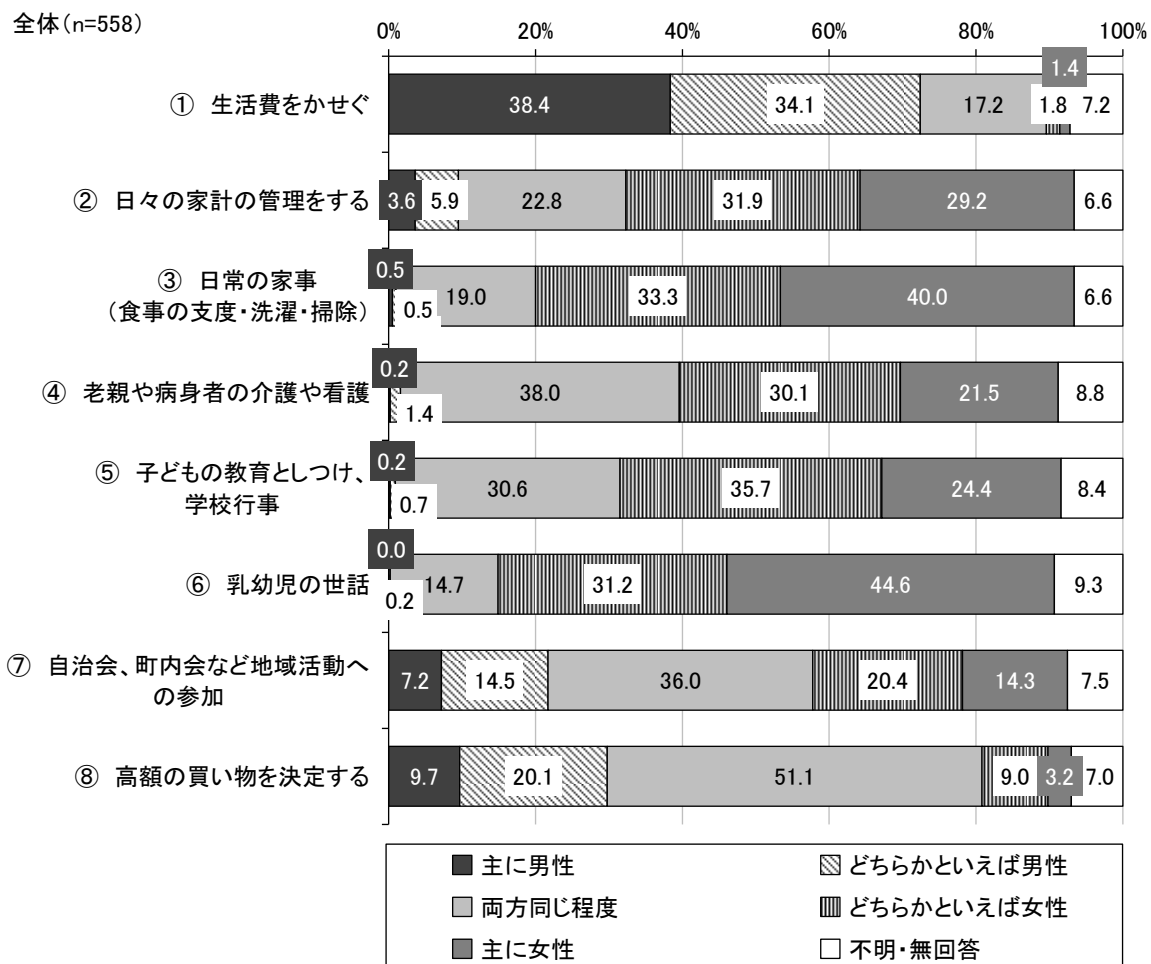


【年代別】



「B 現実」

「B現実」については、[④老親や病身者の介護や看護] [⑦自治会、町内会など地域活動への参加] [⑧高額な買い物を決定する]で「両方同じ程度」が最も高くなっています。一方、[①生活費をかせぐ]で「主に男性」、[②日々の家計の管理をする] [⑤子どもの教育としつけ、学校行事]で「どちらかといえば女性」、[③日常の家事（食事の支度・洗濯・掃除）] [⑥乳幼児の世話]で「主に女性」が最も高くなっています。

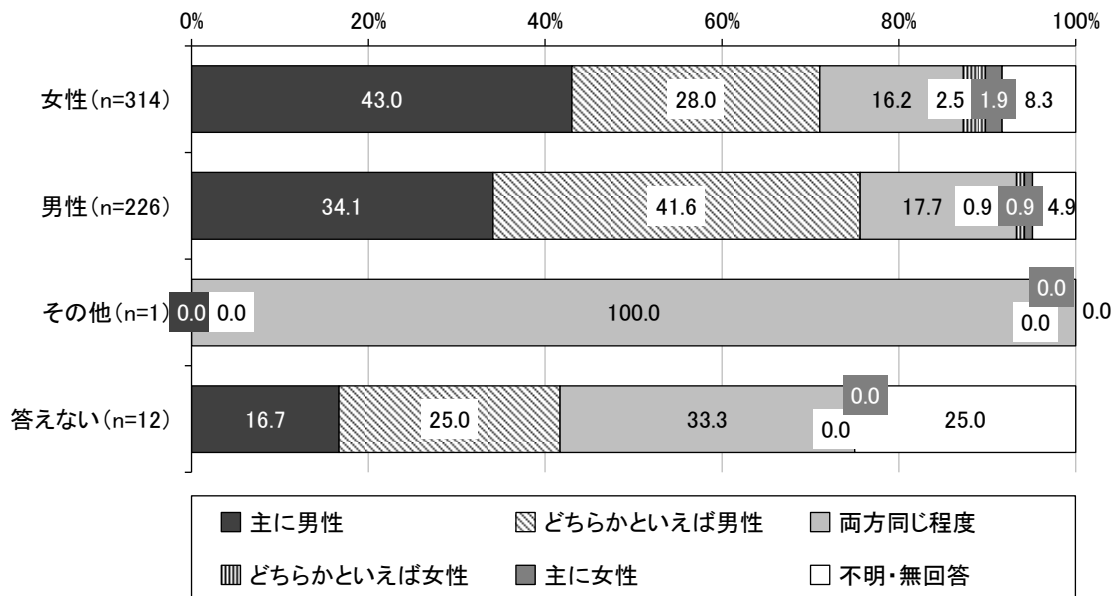


「① 生活費をかせぐ（現実）」

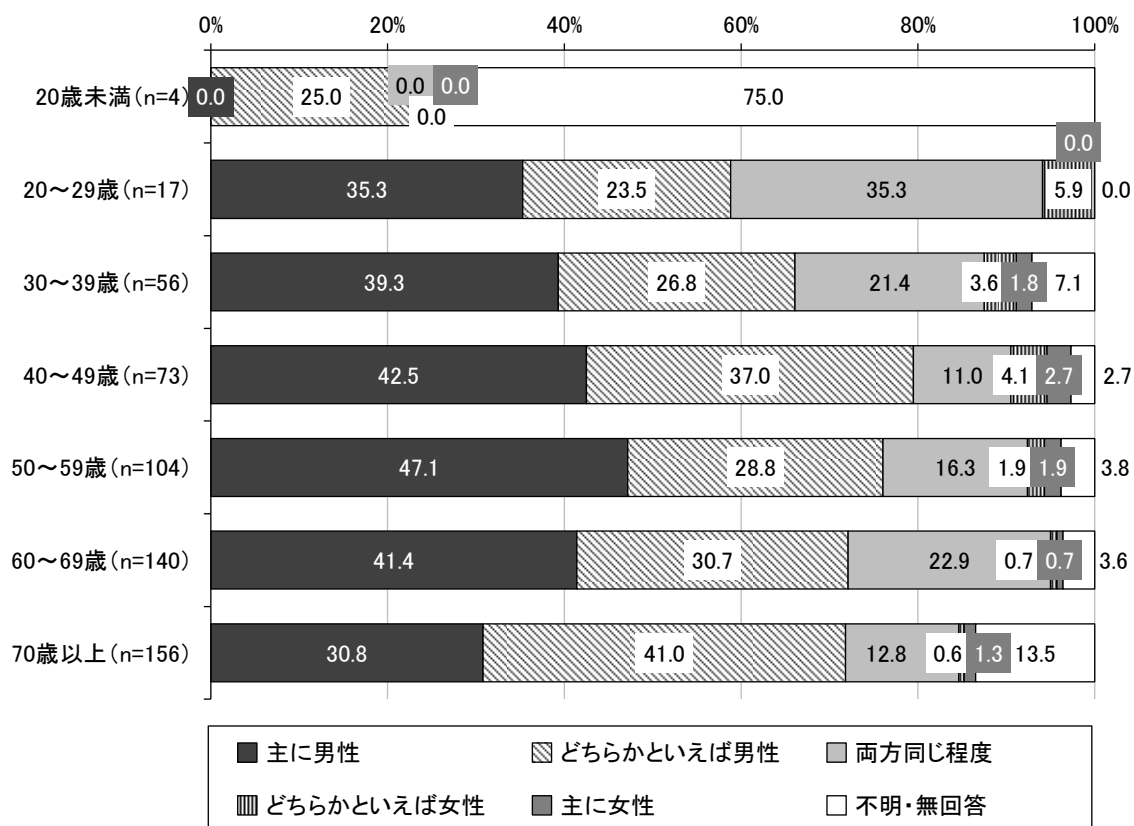
性別でみると、女性では「主に男性」、男性では「どちらかといえば男性」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「どちらかといえば男性」、20～29歳では「主に男性」「両方同じ程度」程度、それ以外の年代では「主に男性」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

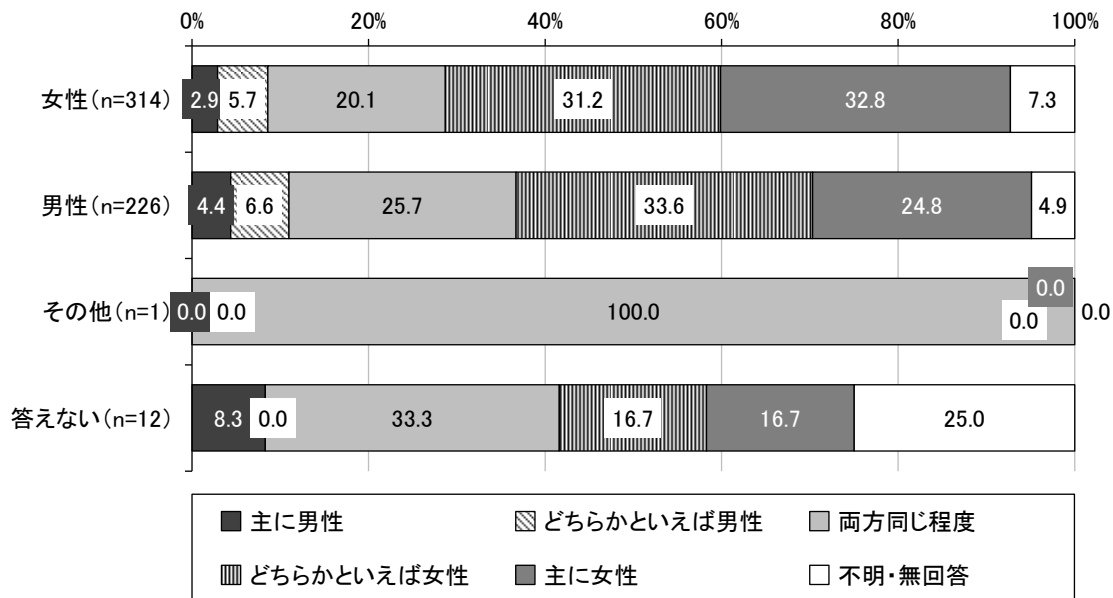


「② 日々の家計の管理をする（現実）」

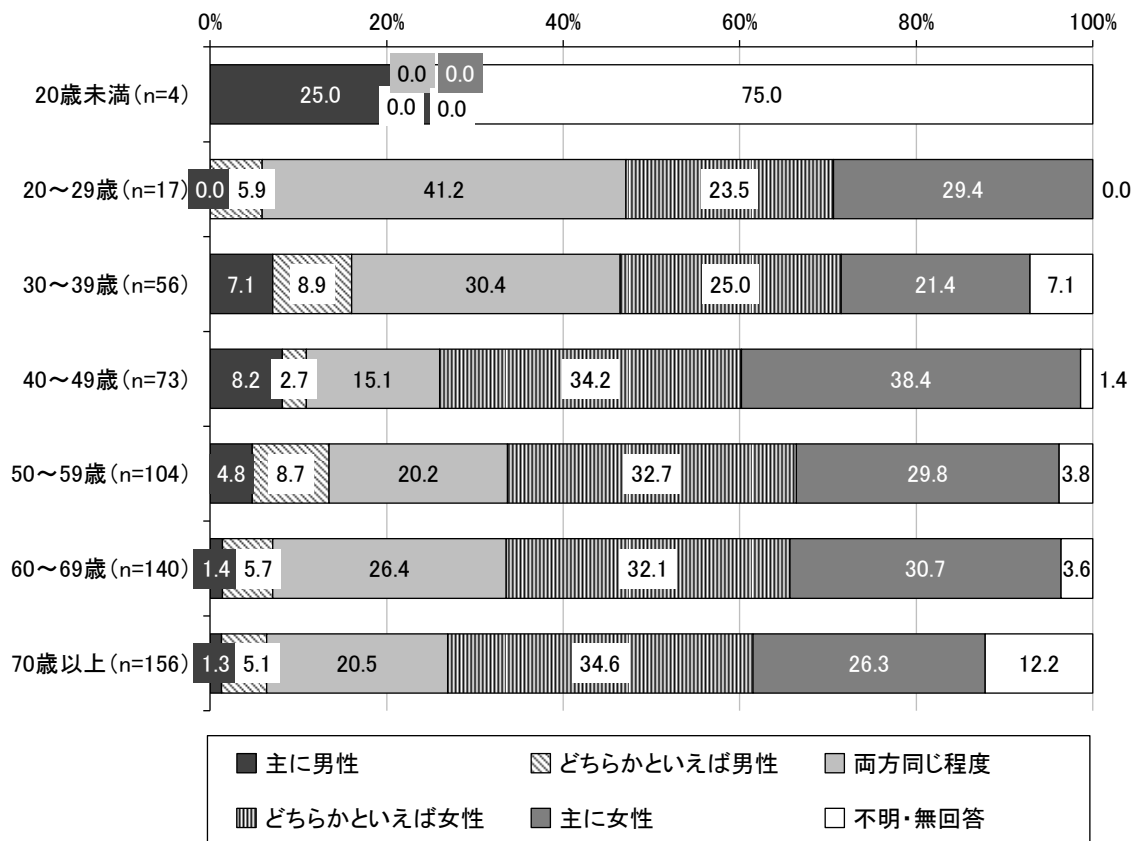
性別でみると、女性では「主に女性」、男性では「どちらかといえば女性」が最も高くなっています。

年代別でみると、20～29歳、30～39歳では「両方同じ程度」、40～49歳では「主に女性」、それ以外の年代では「どちらかといえば女性」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

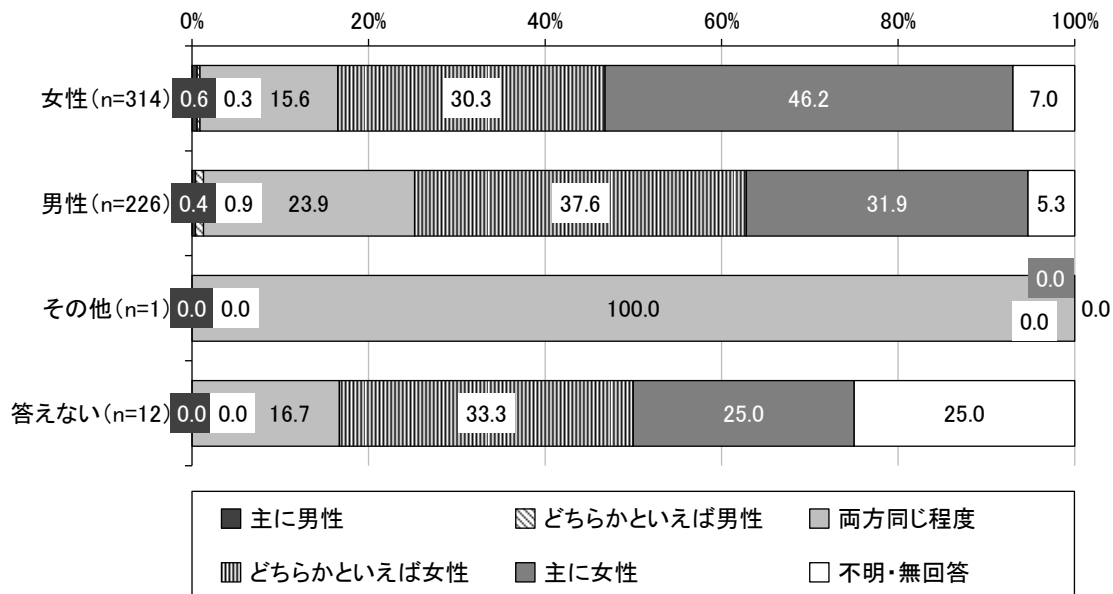


「③ 日常の家事（食事の支度・洗濯・掃除）（現実）」

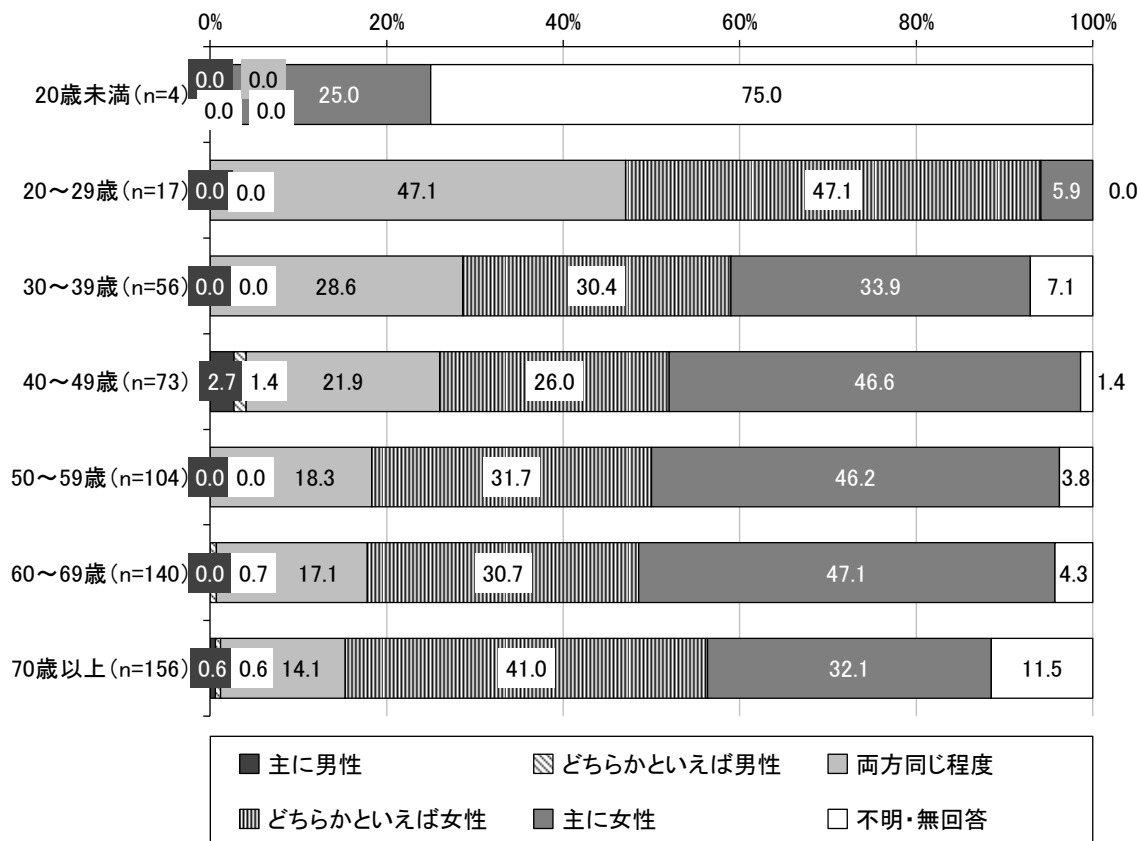
性別でみると、女性では「主に女性」、男性では「どちらかといえば女性」が最も高くなっています。

年代別でみると、20～29歳では「両方同じ程度」「どちらかといえば女性」、70歳以上では「どちらかといえば女性」、それ以外の年代では「主に女性」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

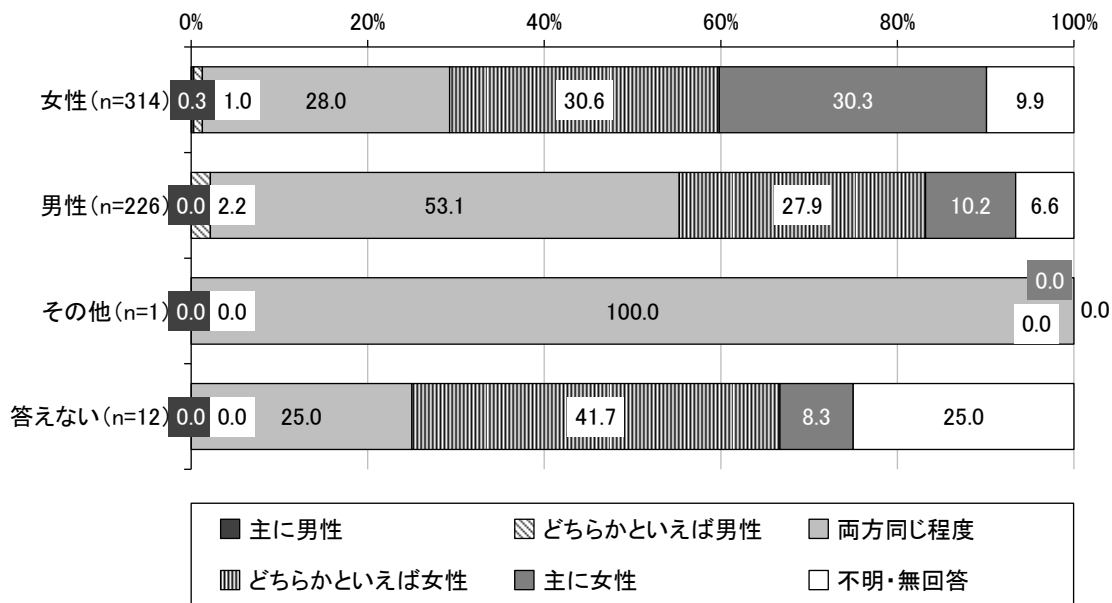


◀④ 老親や病身者の介護や看護（現実）▶

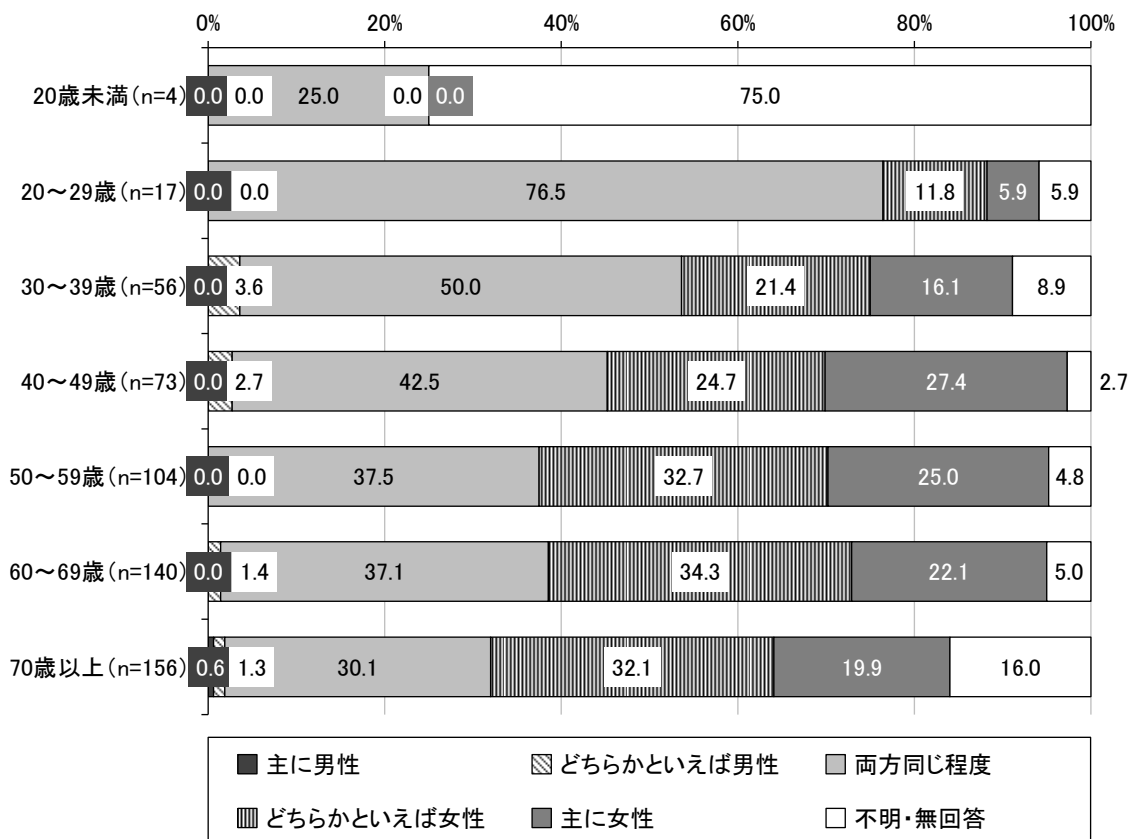
性別でみると、女性では「どちらかといえば女性」、男性では「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「どちらかといえば女性」、それ以外の年代では「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

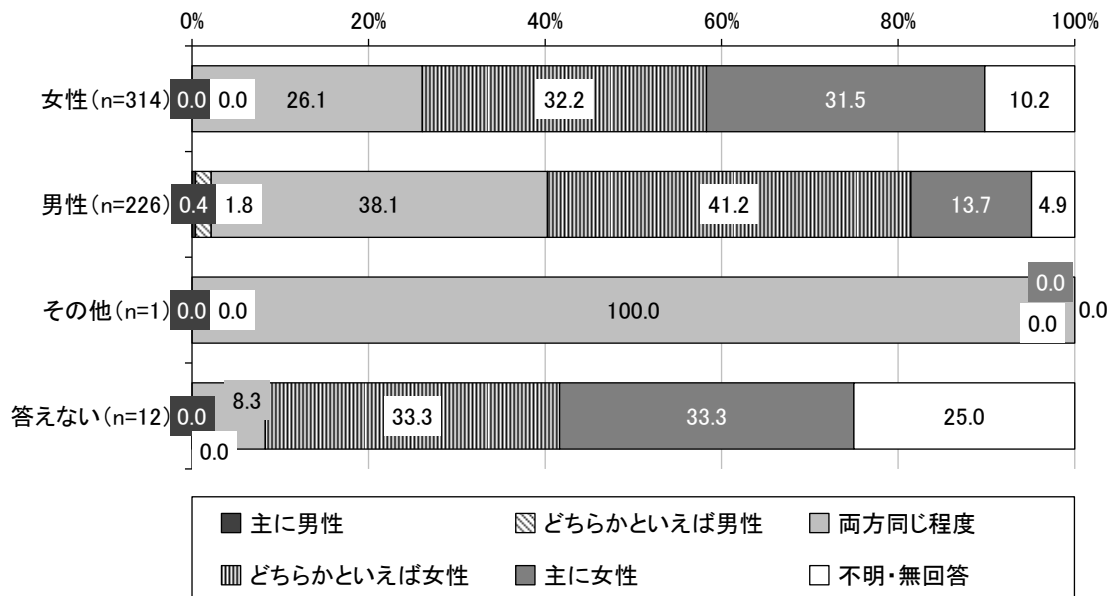


「子どもの教育としつけ、学校行事（現実）」

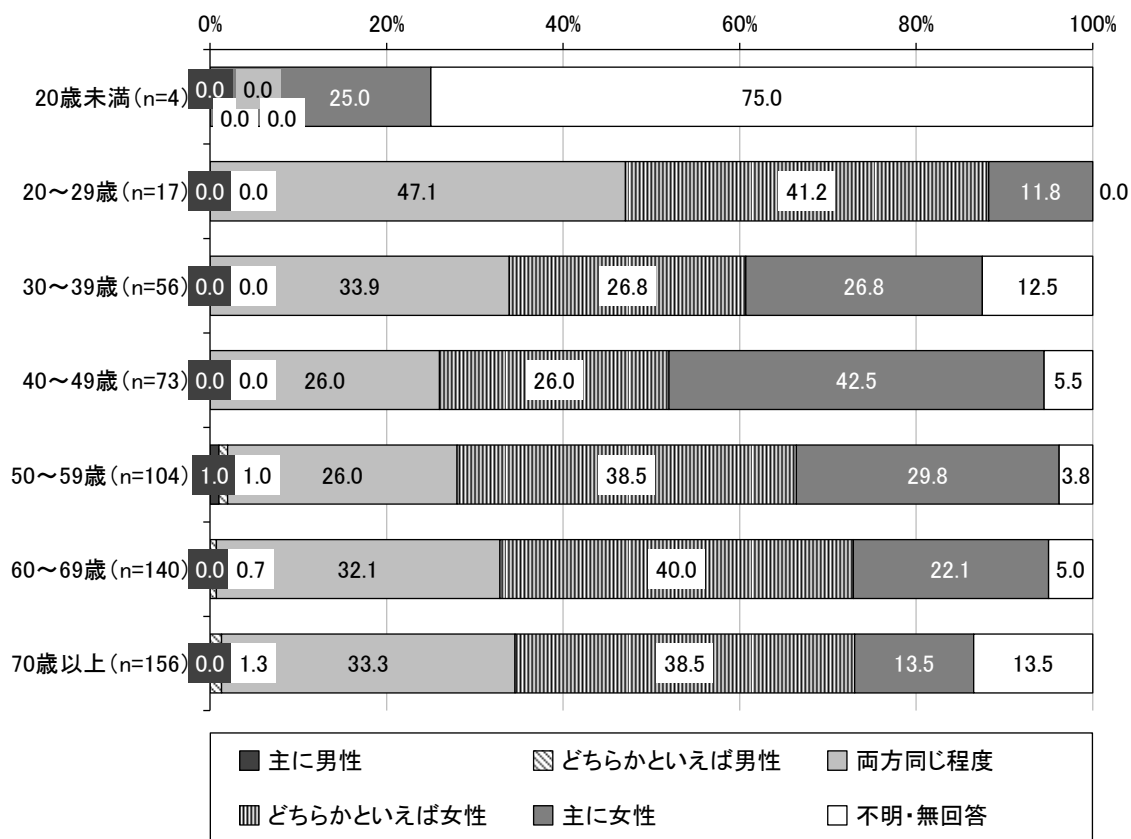
性別でみると、男女ともに「どちらかといえば女性」が最も高くなっています。

年代別でみると、20～29歳、30～39歳では「両方同じ程度」、40～49歳では「主に女性」、それ以外の年代では「どちらかといえば女性」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

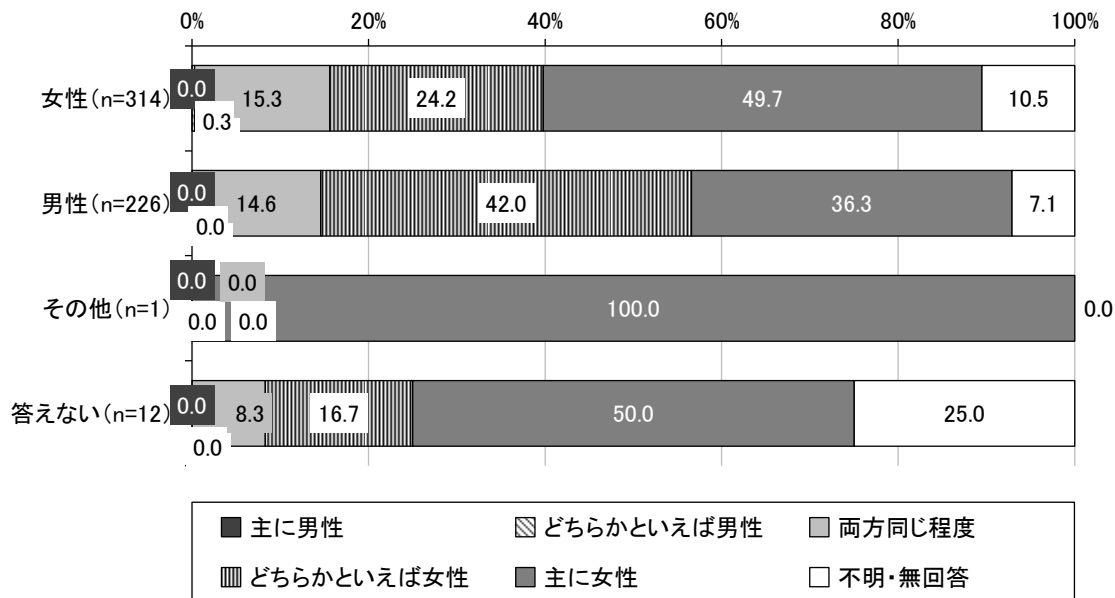


「⑥ 乳幼児の世話（現実）」

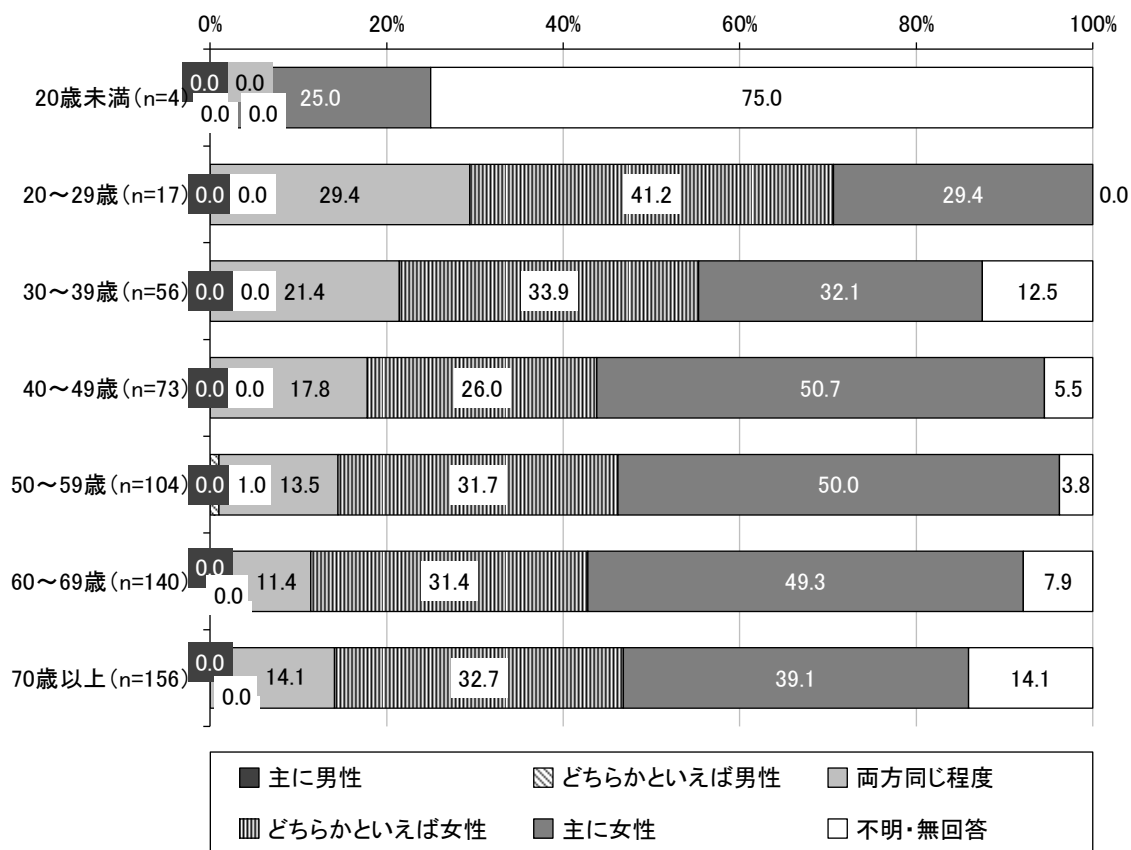
性別でみると、女性では「主に女性」、男性では「どちらかといえば女性」が最も高くなっています。

年代別でみると、20～29歳、30～39歳では「どちらかといえば女性」、それ以外の年代では「主に女性」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

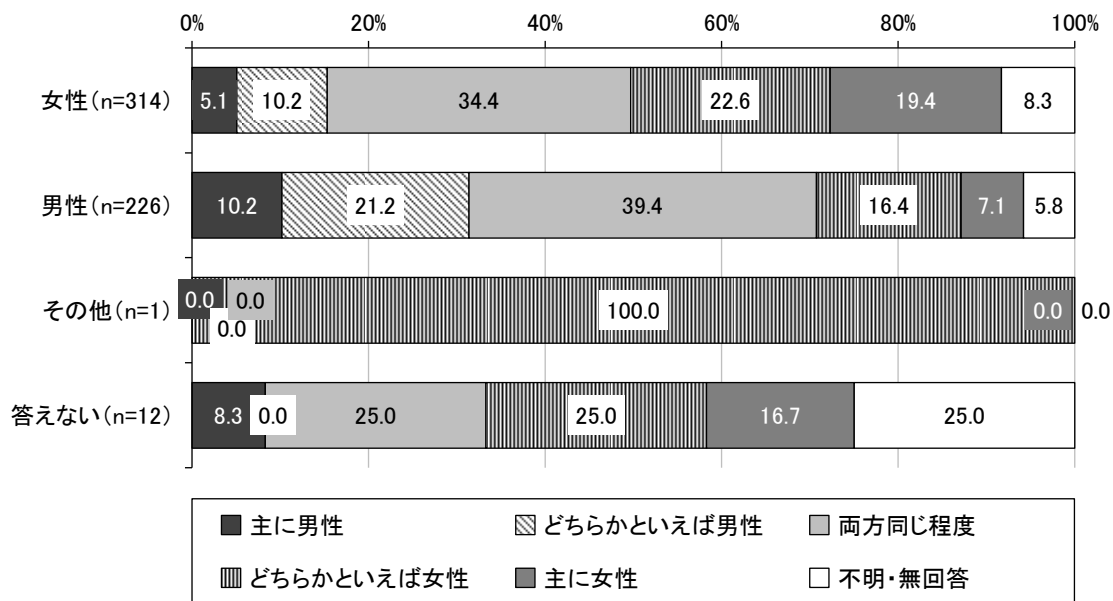


◀⑦ 自治会、町内会など地域活動への参加（現実）▶

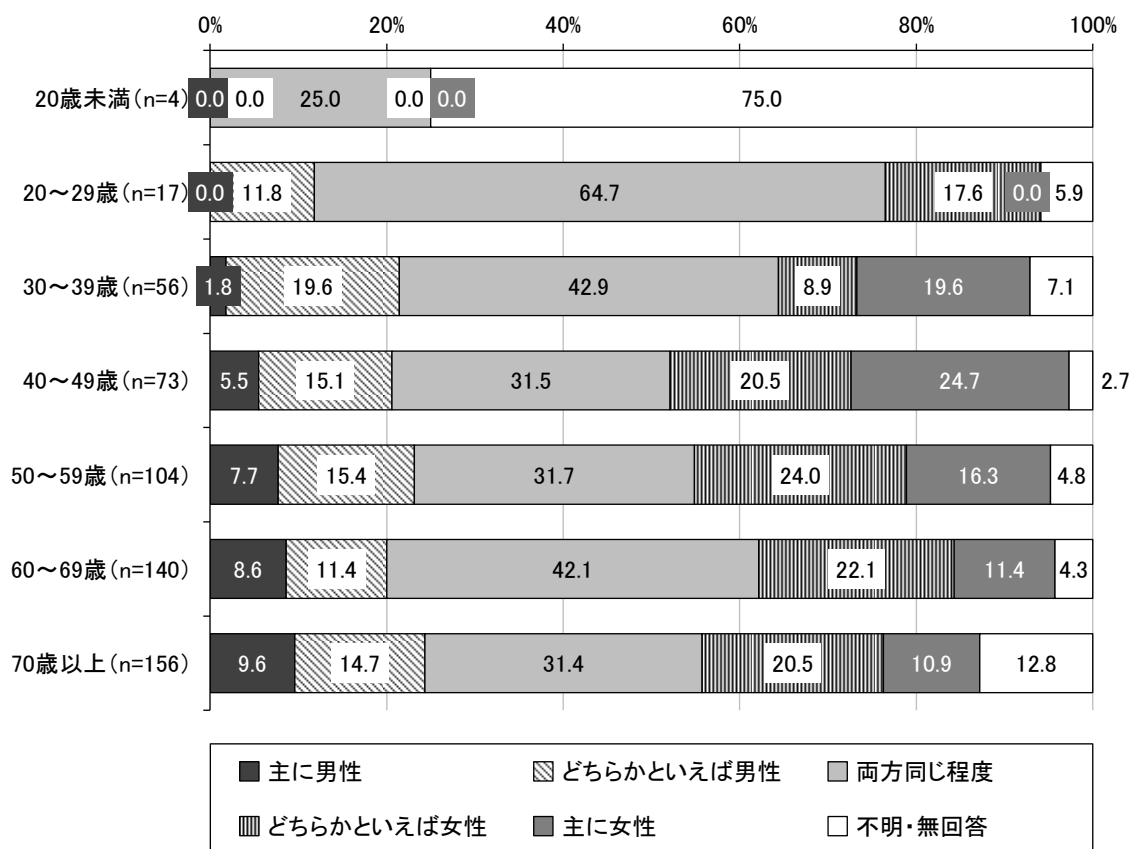
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

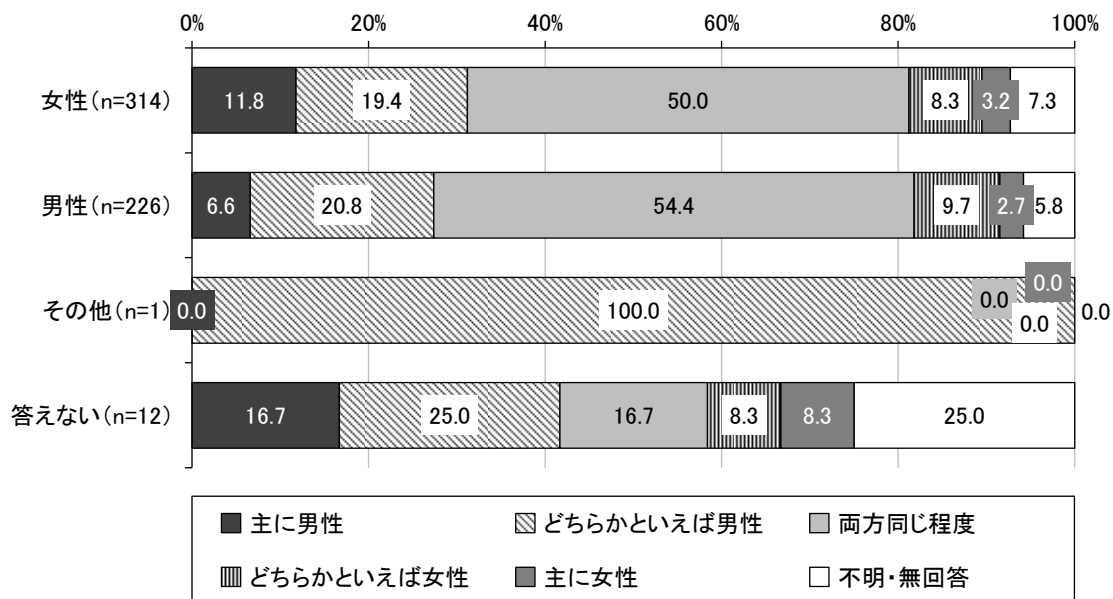


◀⑧ 高額の買い物を決定する（現実）▶

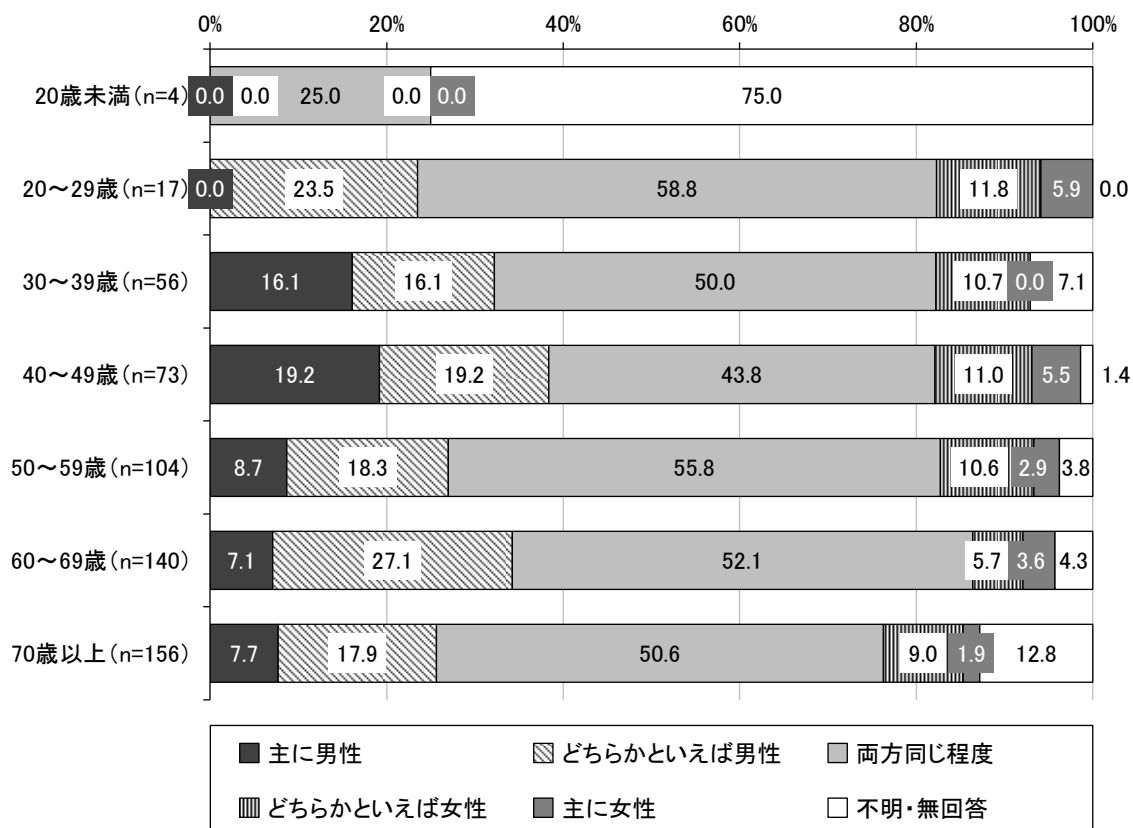
性別でみると、男女ともに「両方同じ程度」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「両方同じ程度」が最も高くなっています。

【性別】

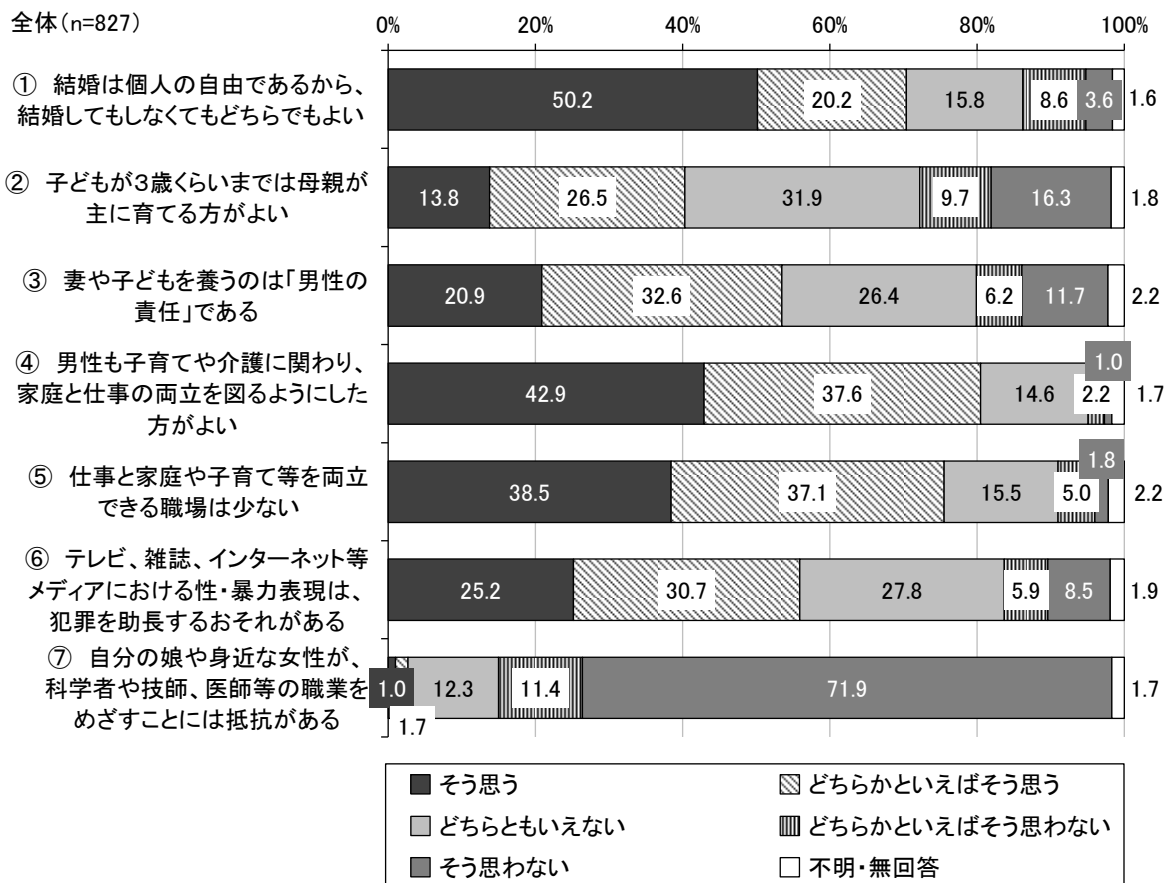


【年代別】



問6 あなたは、次のことをどのように思いますか。(①から⑦の項目ごとに、1つに○)

次のことをどのように思いますかについては、「そう思う」が[①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい]で50.2%と最も高く、次いで[④男性も子育てや介護に関わり、家庭と仕事の両立を図るようにした方がよい]で42.9%、[⑤仕事と家庭や子育て等を両立できる職場は少ない]で38.5%となっています。一方、「そう思わない」が[⑦自分の娘や身近な女性が、科学者や技師、医師等の職業をめざすことには抵抗がある]で71.9%と最も高くなっています。

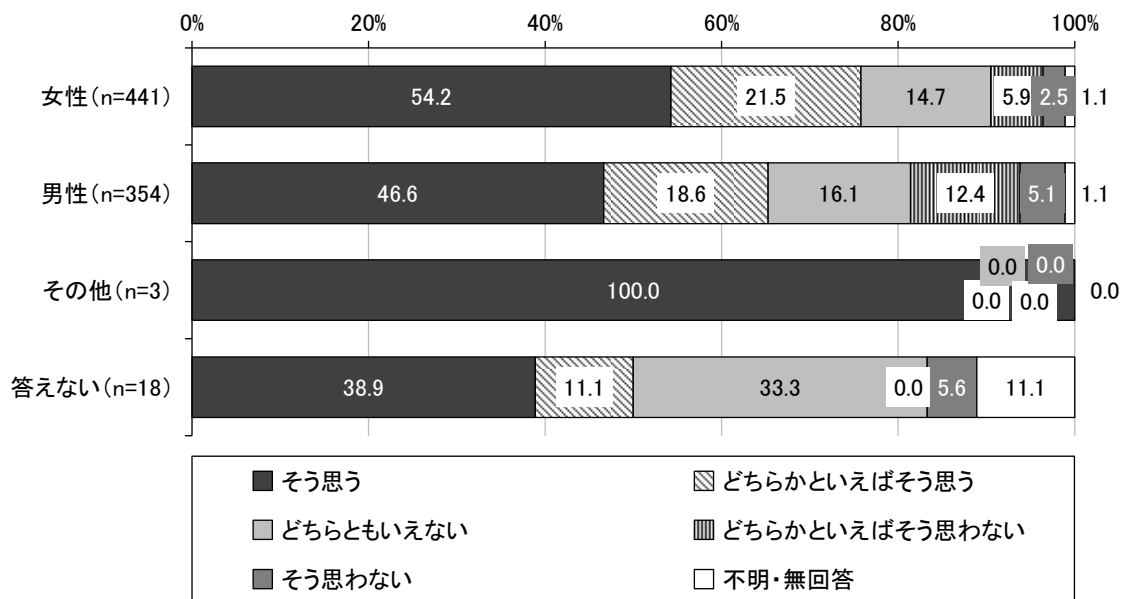


「① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」

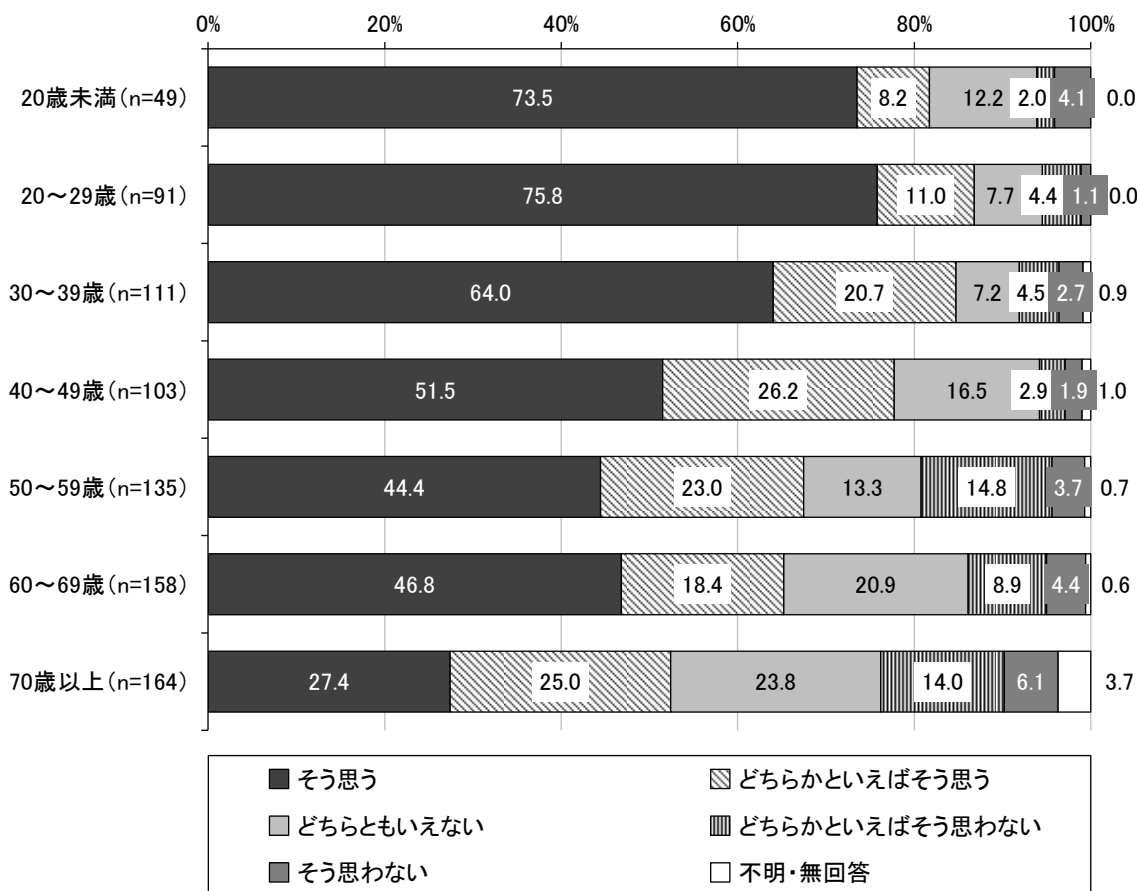
性別でみると、男女ともに「そう思う」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「そう思う」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

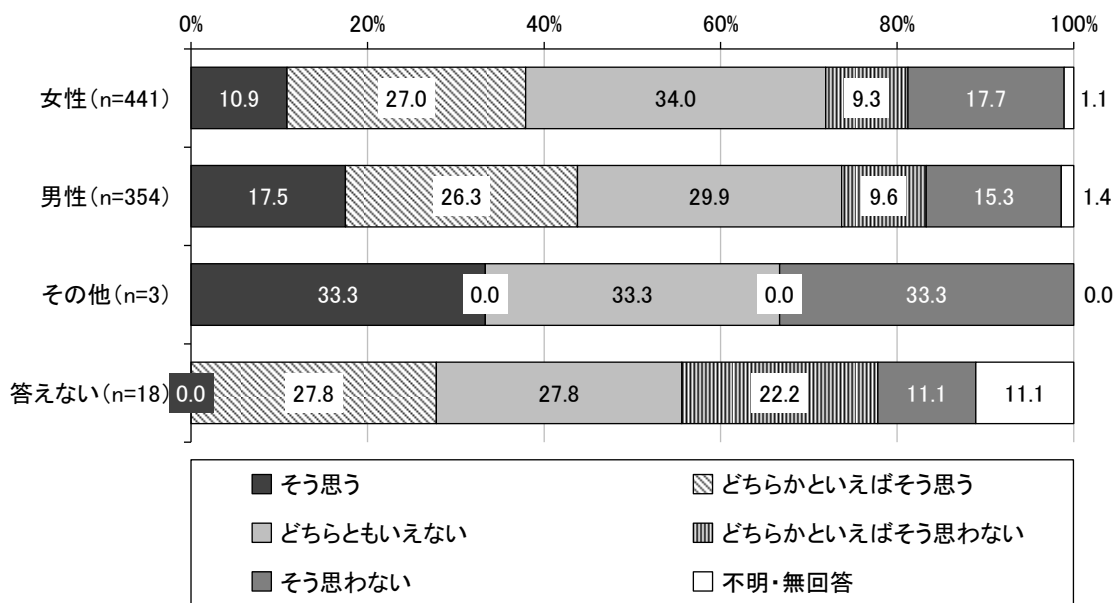


《② 子どもが3歳くらいまでは母親が主に育てる方がよい》

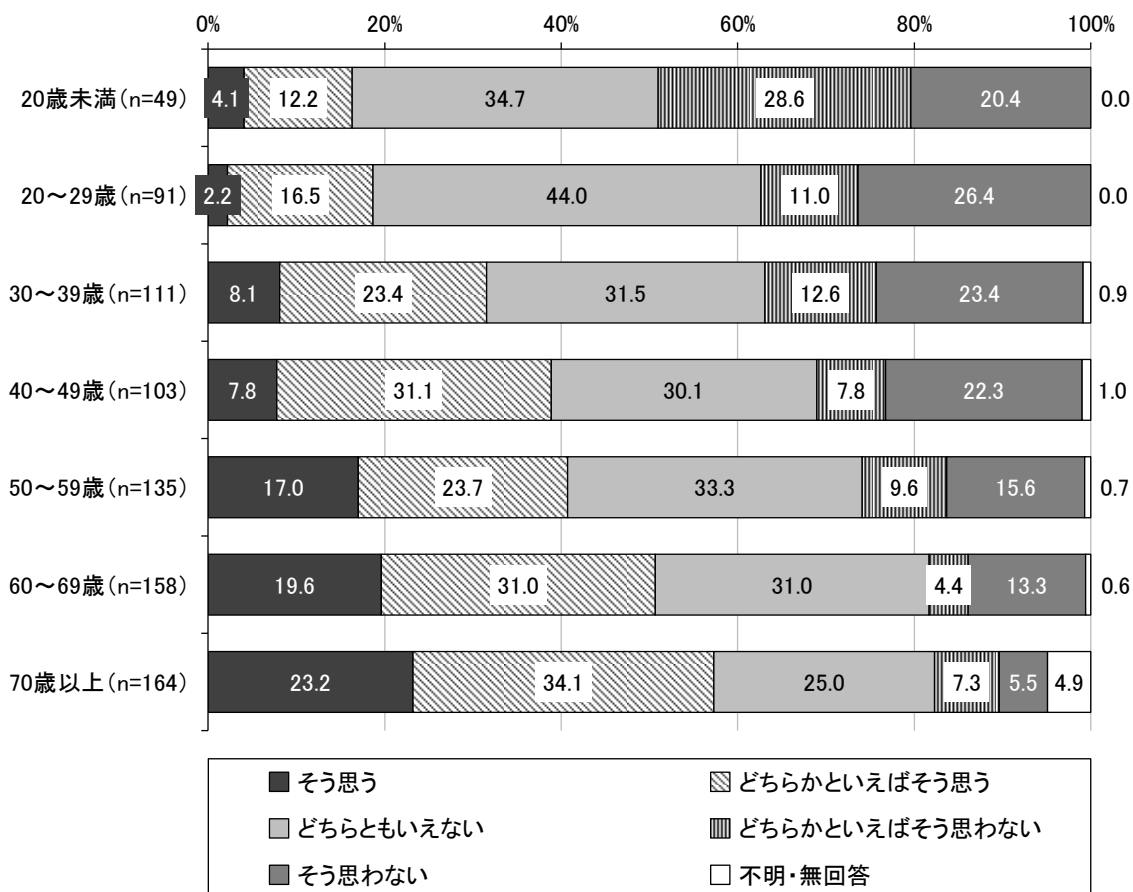
性別でみると、男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっています。

年代別でみると、40～49歳、70歳以上では「どちらかといえばそう思う」、60～69歳では「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」、それ以外の年代では「どちらともいえない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

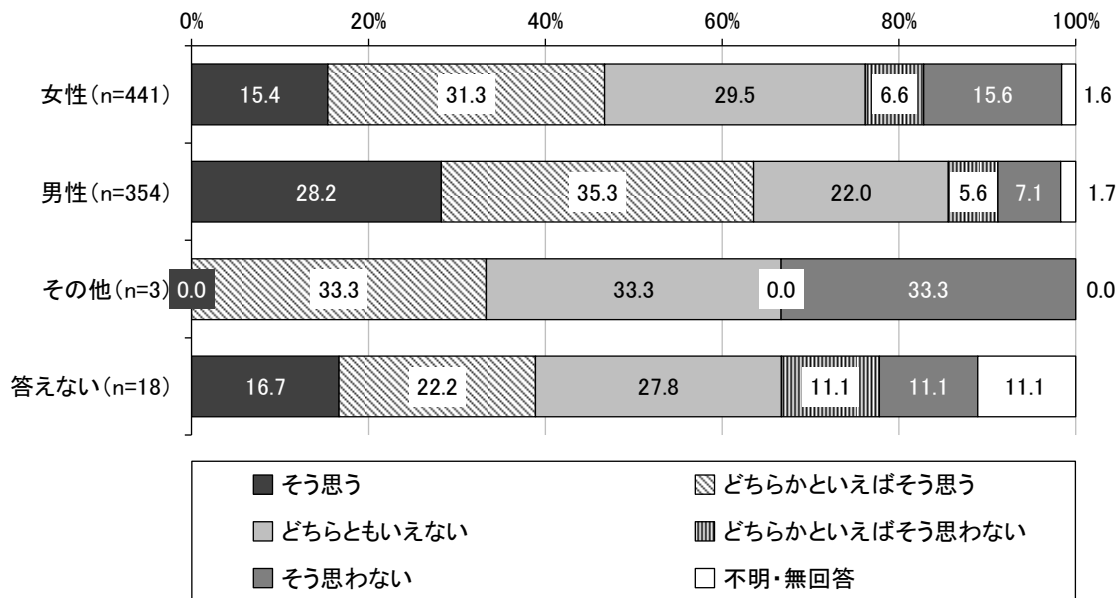


「妻や子どもを養うのは「男性の責任」である」

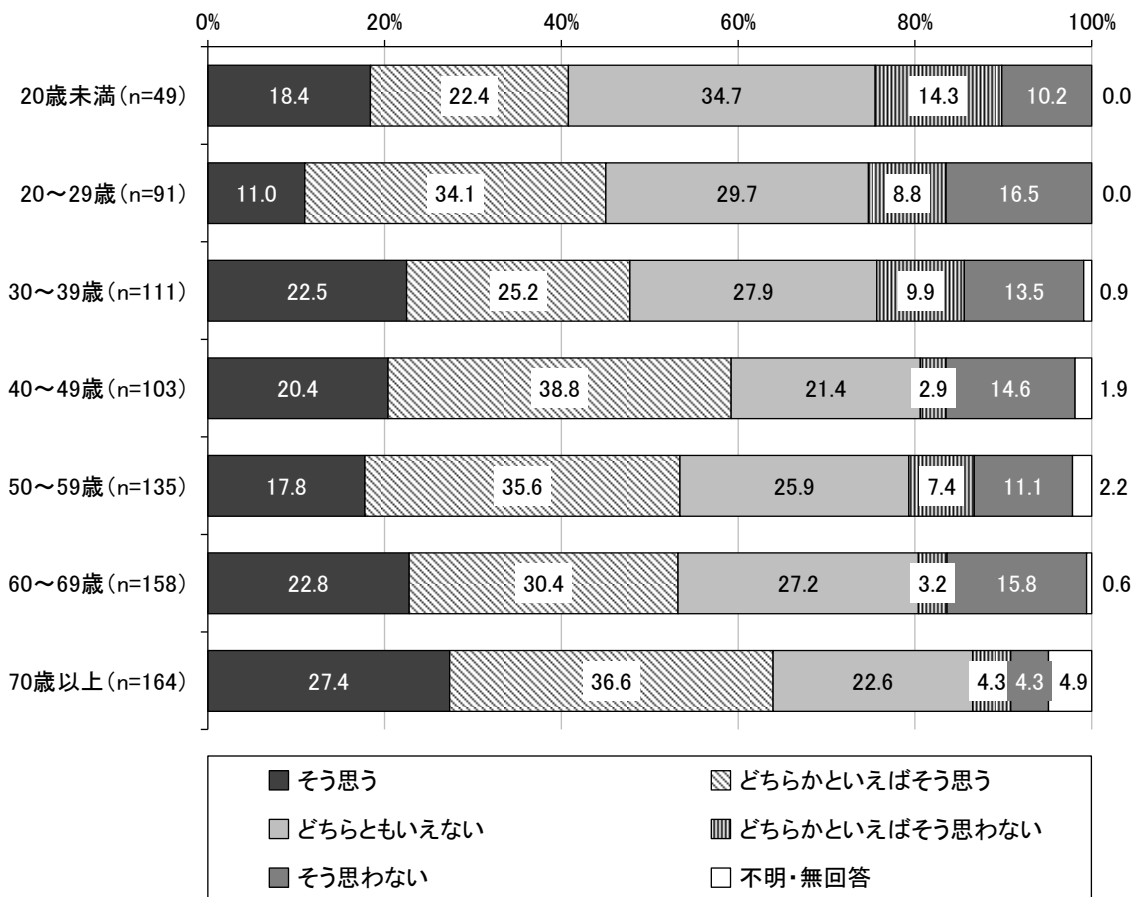
性別でみると、男女ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満、30～39歳では「どちらともいえない」、それ以外の年代では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

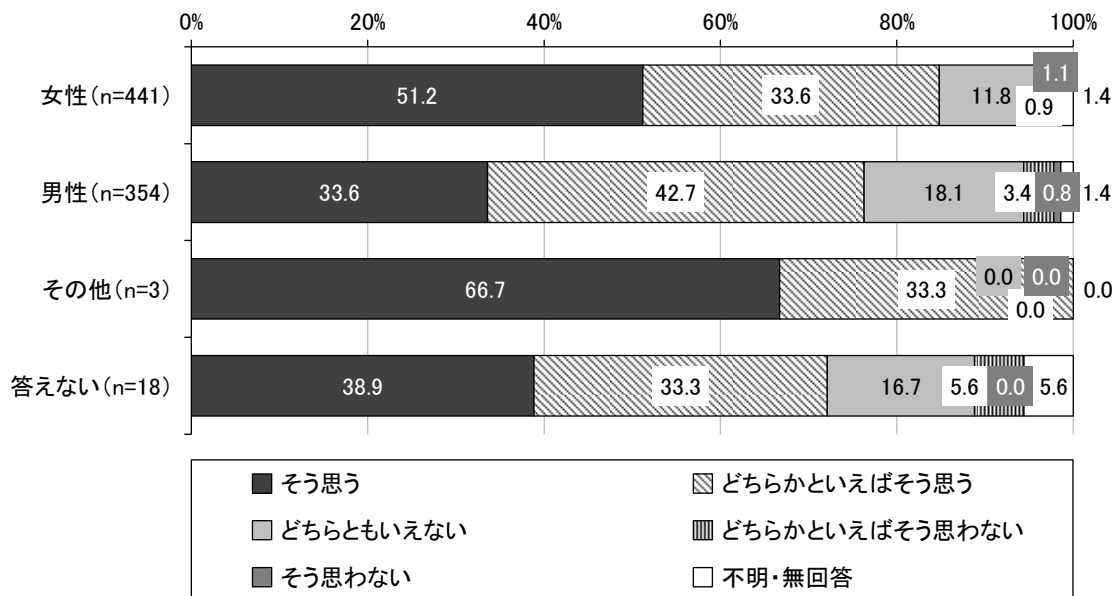


「④ 男性も子育てや介護に関わり、家庭と仕事の両立を図るようにした方がよい」

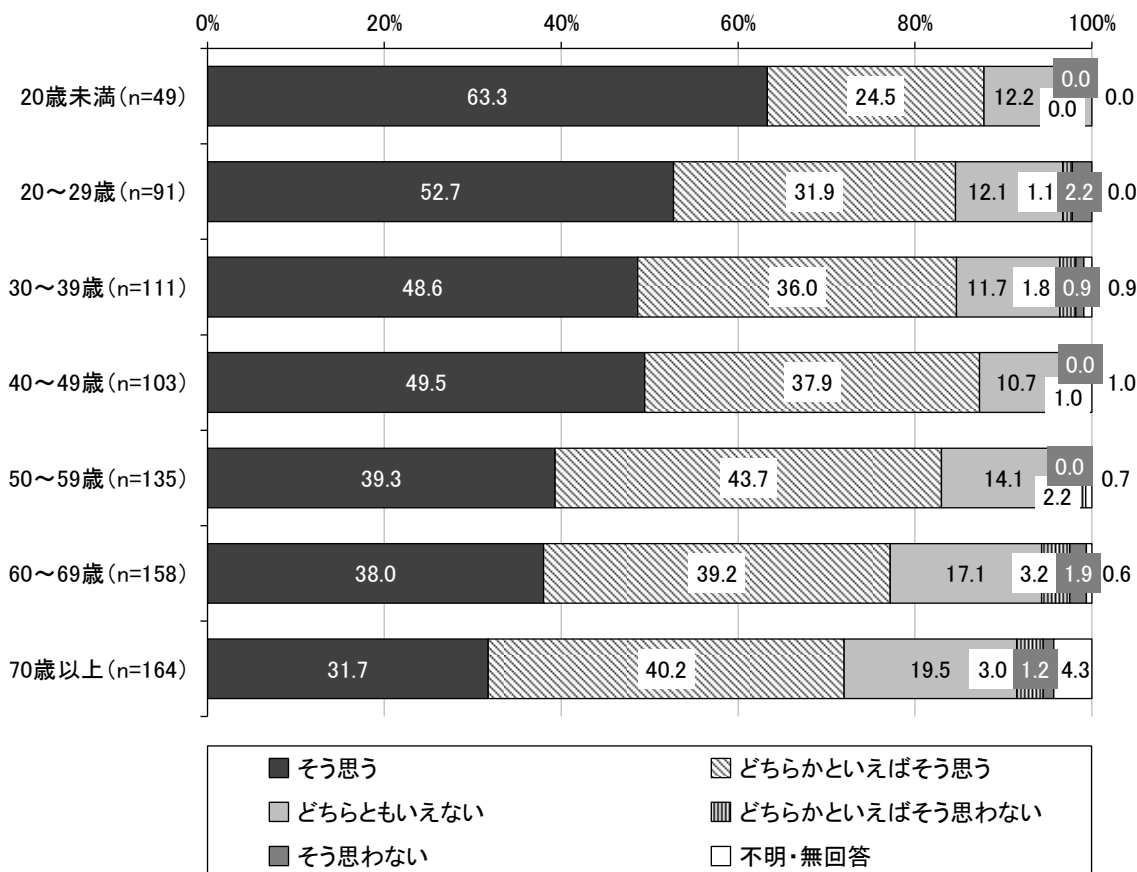
性別でみると、女性では「そう思う」、男性では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

年代別でみると、50歳以上では「どちらかといえばそう思う」、それ以外の年代では「そう思う」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

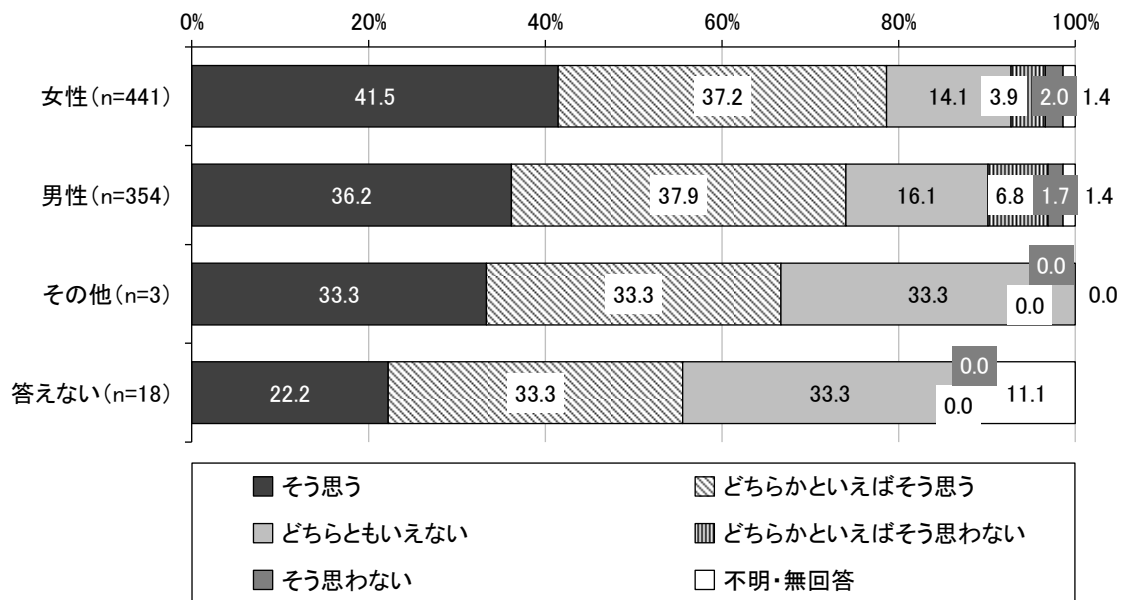


「⑤ 仕事と家庭や子育て等を両立できる職場は少ない」

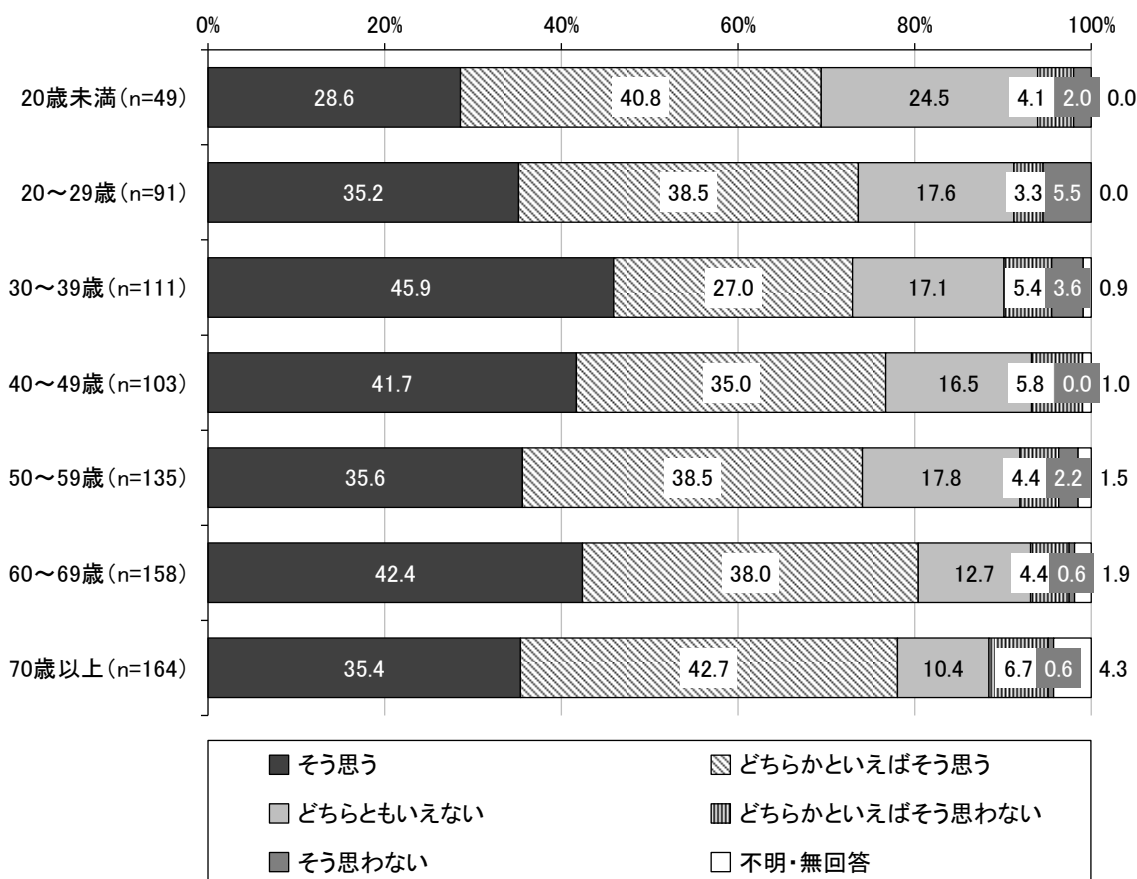
性別でみると、女性では「そう思う」、男性では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

年代別でみると、30～39歳、40～49歳、60～69歳では「そう思う」、それ以外の年代では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

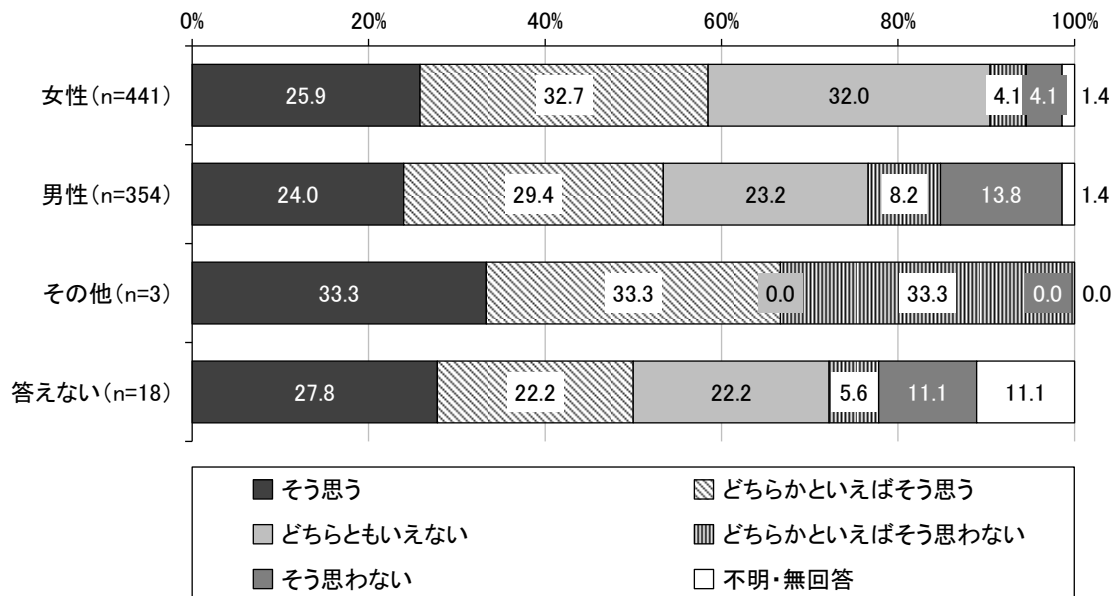


「⑥ テレビ、雑誌、インターネット等メディアにおける性・暴力表現は、犯罪を助長するおそれがある」

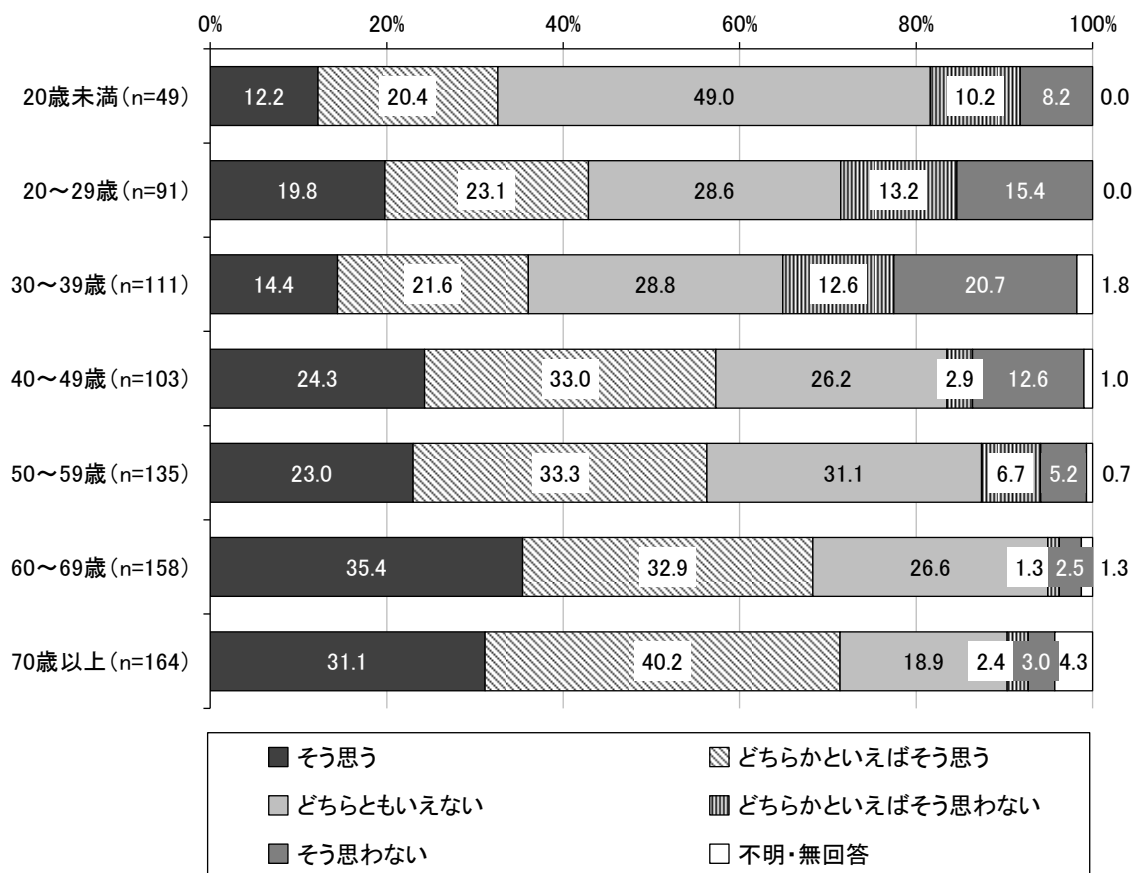
性別でみると、男女ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

年代別でみると、40～49歳、50～59歳、70歳以上では「どちらかといえばそう思う」、60～69歳では「そう思う」、それ以外の年代では「どちらともいえない」が最も高くなっています。

【性別】

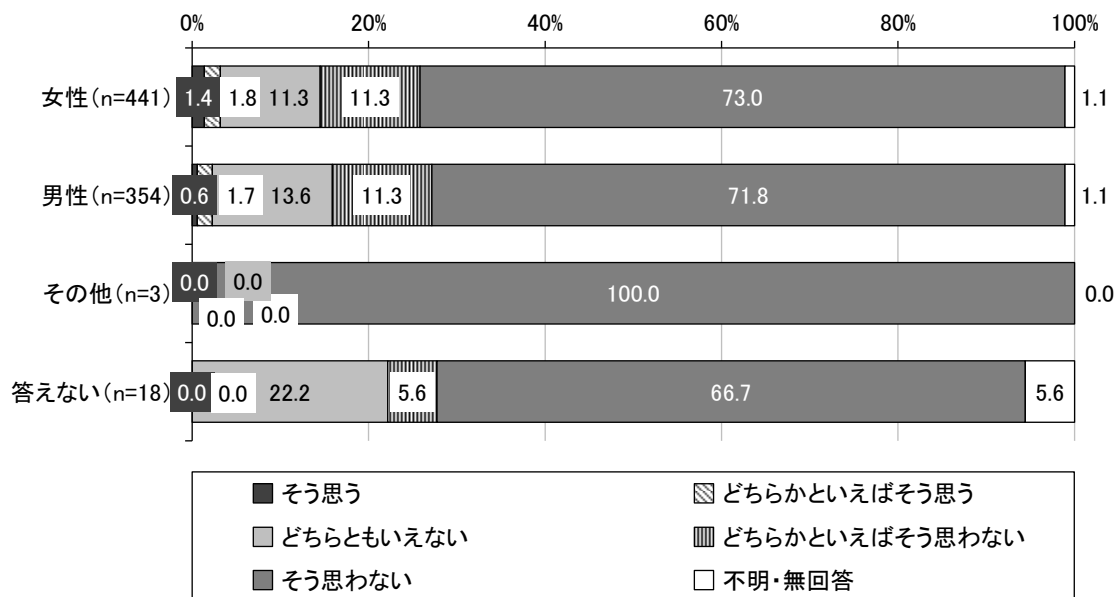


【年代別】

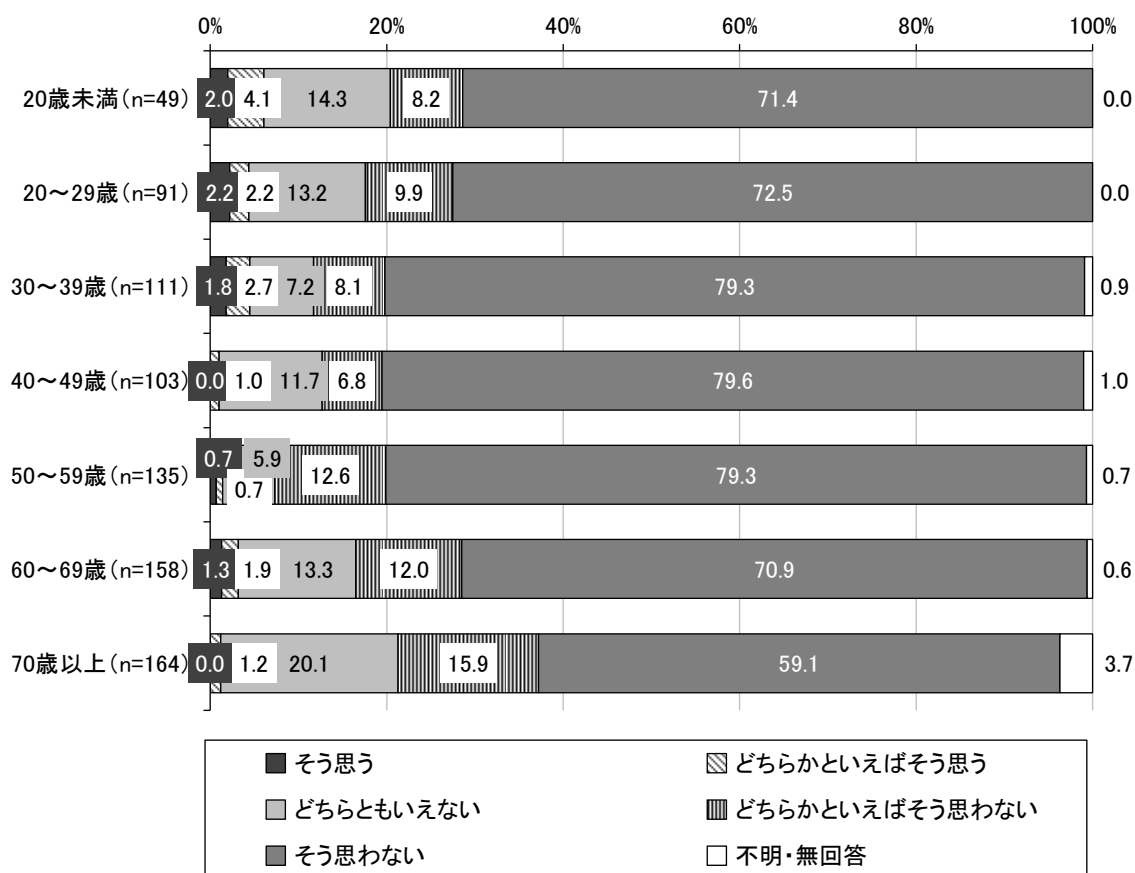


◀⑦ 自分の娘や身近な女性が、科学者や技師、医師等の職業をめざすことには抵抗がある▶  
 性別でみると、男女ともに「そう思わない」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「そう思わない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

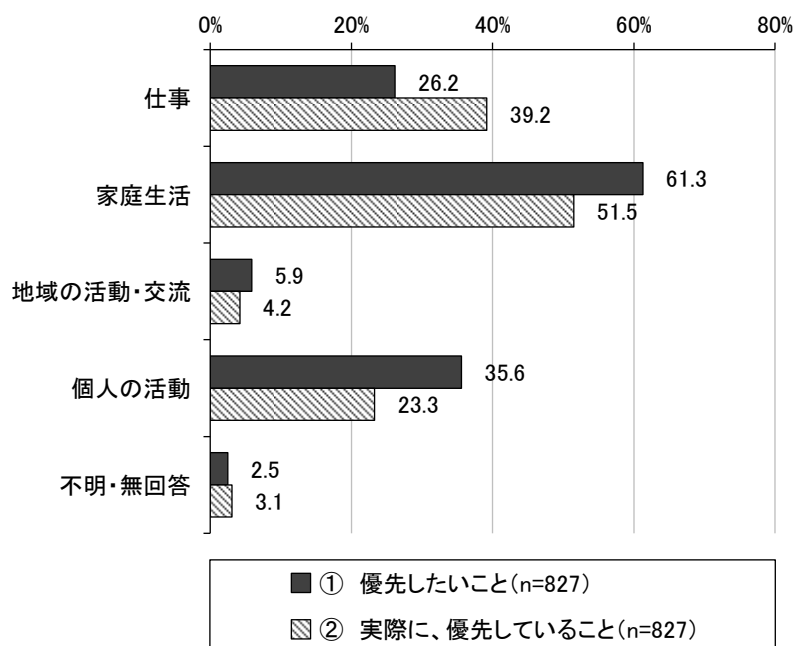


問7 生活の中で、あなたが優先したいこと、実際に優先していることは何ですか。

(①と②の項目ごとに、当てはまるものすべてに○)

「①優先したいこと」についてみると、「家庭生活」が61.3%と最も高く、次いで「個人の活動」が35.6%、「仕事」が26.2%となっています。

「②実際に、優先していること」についてみると、「家庭生活」が51.5%と最も高く、次いで「仕事」が39.2%、「個人の活動」が23.3%となっています。



【性別、年代別】

≪① 優先したいこと≫

性別でみると、男女ともに「家庭生活」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満、20～29歳では「個人の活動」、それ以外の年代では「家庭生活」が最も高くなっています。

単位：%		仕事	家庭生活	地域の活動・交流	個人の活動	不明・無回答
性別	女性(n=441)	20.2	<b>68.3</b>	5.0	<b>37.0</b>	2.5
	男性(n=354)	34.2	<b>54.0</b>	7.1	<b>34.7</b>	1.4
	その他(n=3)	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	0.0	<b>33.3</b>	0.0
	答えない(n=18)	22.2	<b>38.9</b>	5.6	<b>33.3</b>	11.1
年代別	20歳未満(n=49)	34.7	<b>42.9</b>	2.0	<b>53.1</b>	4.1
	20～29歳(n=91)	18.7	<b>53.8</b>	3.3	<b>54.9</b>	1.1
	30～39歳(n=111)	29.7	<b>62.2</b>	6.3	<b>49.5</b>	1.8
	40～49歳(n=103)	27.2	<b>65.0</b>	3.9	<b>35.0</b>	1.0
	50～59歳(n=135)	29.6	<b>60.0</b>	8.1	<b>34.1</b>	0.7
	60～69歳(n=158)	24.7	<b>62.7</b>	5.7	<b>34.2</b>	1.3
	70歳以上(n=164)	<b>23.8</b>	<b>67.7</b>	7.9	15.2	4.3

«② 実際に、優先していること»

性別でみると、女性では「家庭生活」、男性では「仕事」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満、20～29歳では「個人の活動」、30～39歳、40～49歳では「仕事」、それ以外の年代では「家庭生活」が最も高くなっています。

単位：%		仕事	家庭生活	地域の活動・交流	個人の活動	不明・無回答
性別	女性(n=441)	<b>33.6</b>	<b>60.5</b>	3.2	21.8	2.7
	男性(n=354)	<b>46.3</b>	<b>41.0</b>	5.6	26.6	2.0
	その他(n=3)	<b>66.7</b>	<b>33.3</b>	0.0	0.0	0.0
	答えない(n=18)	<b>33.3</b>	<b>50.0</b>	0.0	5.6	22.2
年代別	20歳未満(n=49)	<b>34.7</b>	26.5	0.0	<b>55.1</b>	6.1
	20～29歳(n=91)	<b>37.4</b>	36.3	2.2	<b>47.3</b>	2.2
	30～39歳(n=111)	<b>48.6</b>	<b>45.9</b>	4.5	33.3	3.6
	40～49歳(n=103)	<b>51.5</b>	<b>46.6</b>	2.9	16.5	1.0
	50～59歳(n=135)	<b>51.1</b>	<b>54.8</b>	4.4	9.6	0.7
	60～69歳(n=158)	<b>38.0</b>	<b>56.3</b>	2.5	19.0	2.5
	70歳以上(n=164)	<b>18.9</b>	<b>67.7</b>	8.5	14.6	3.7

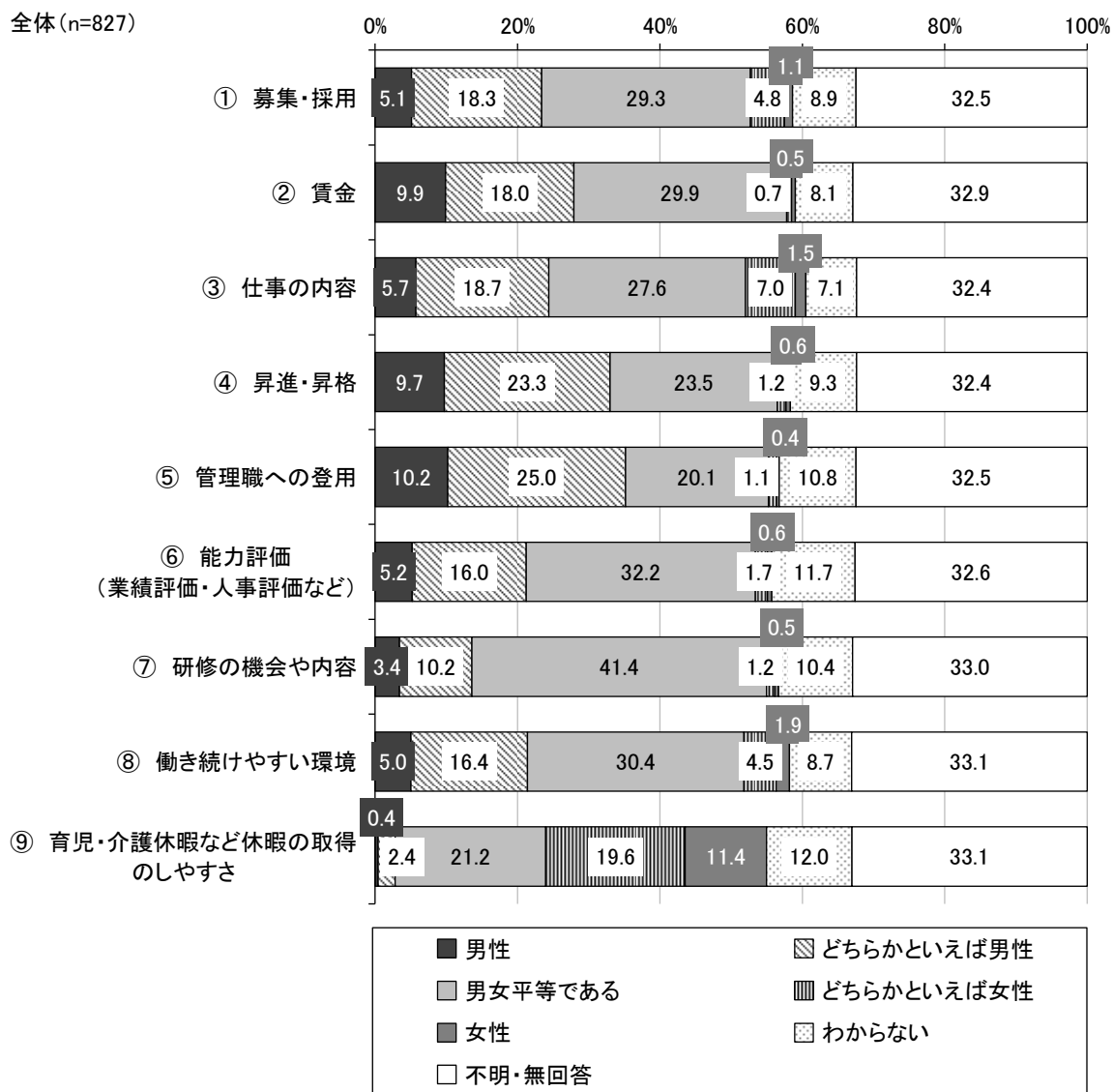
## 2. 就労、女性の活躍促進について

現在働いている方におうかがいします。出産・育児・介護などで休業・休職中の方もお答えください。

問8 職場において、男女どちらかが優遇されていると感じることはありますか。

(①から⑨の項目ごとに、1つに〇)

職場において、男女どちらかが優遇されていると感じることについては、『男性』が[⑤管理職への登用]、[④昇進・昇格]、『女性』が[⑨育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ]で最も高くなっています。



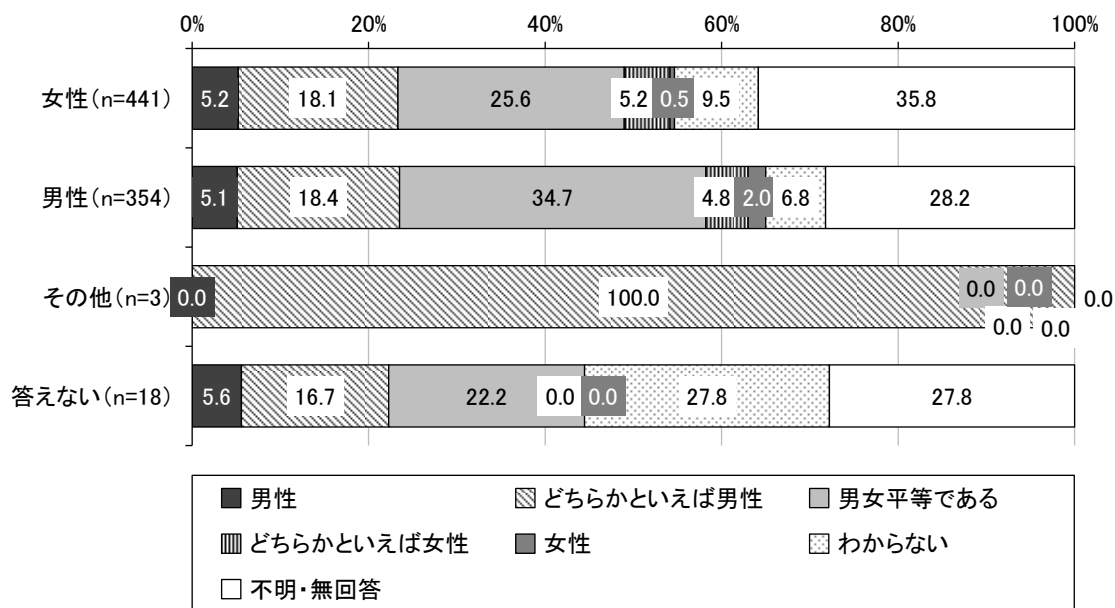
※『男性』…「男性」「どちらかといえば男性」の合計

※『女性』…「女性」「どちらかといえば女性」の合計

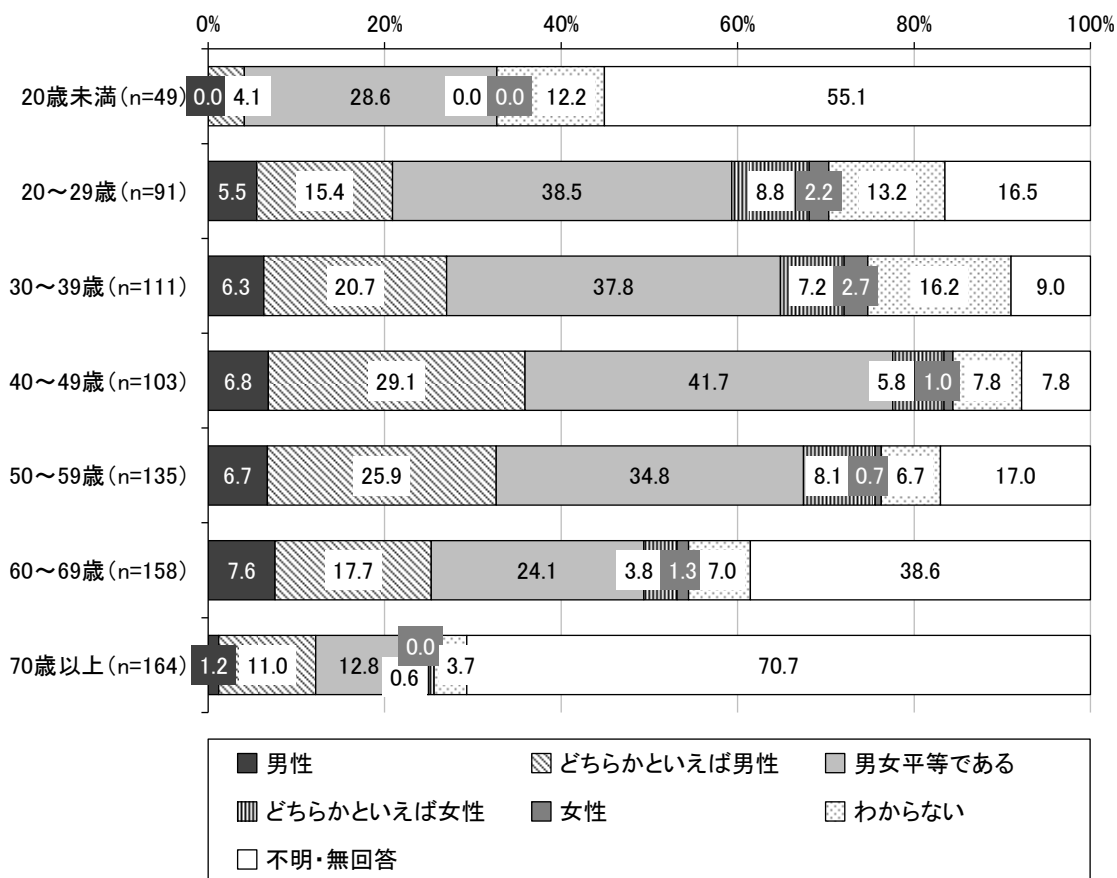
「① 募集・採用」

性別でみると、男女ともに「男女平等である」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男女平等である」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

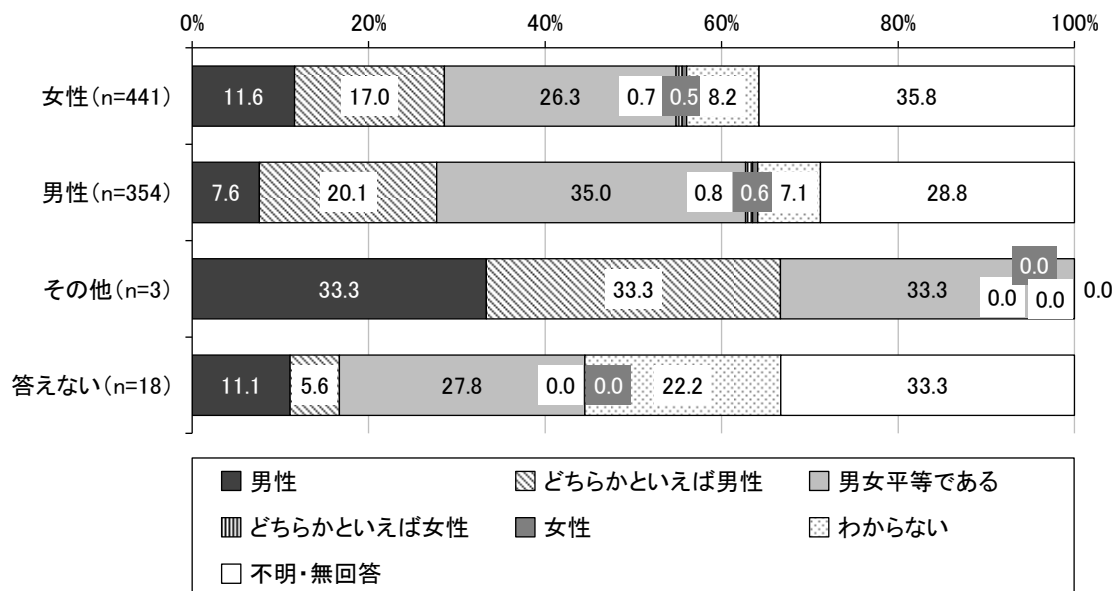


## 《② 賃金》

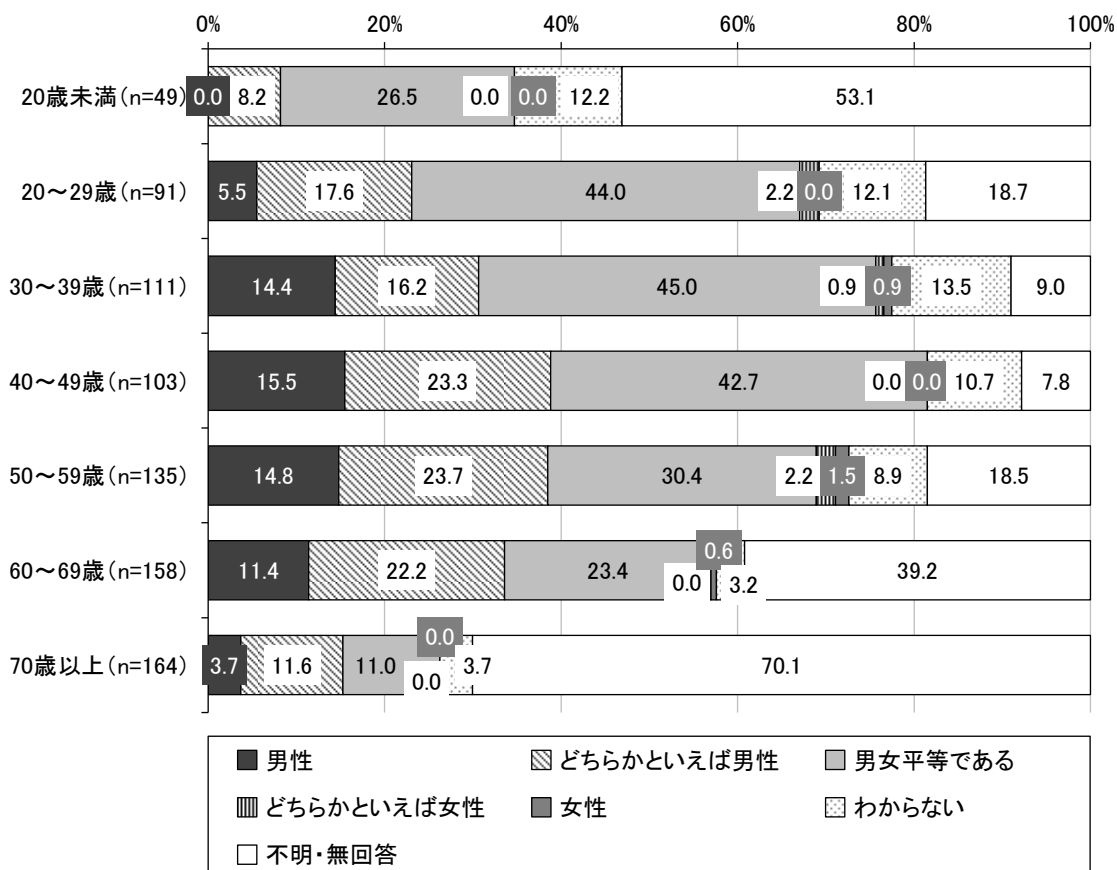
性別でみると、男女ともに「男女平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「どちらかといえば男性」、それ以外の年代では「男女平等である」が最も高くなっています。

### 【性別】



### 【年代別】

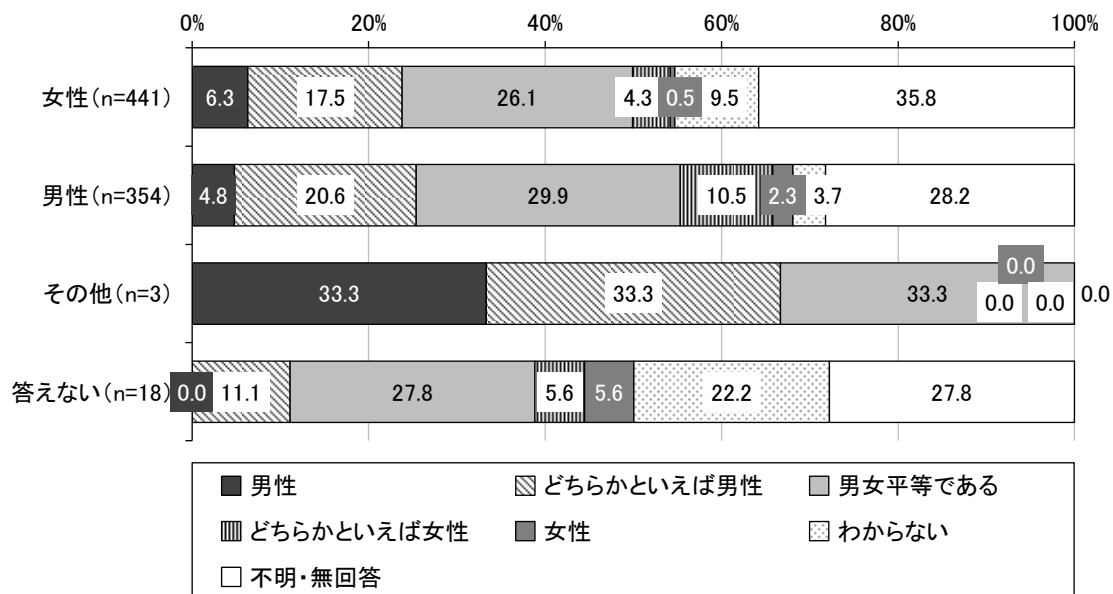


### 「③ 仕事の内容」

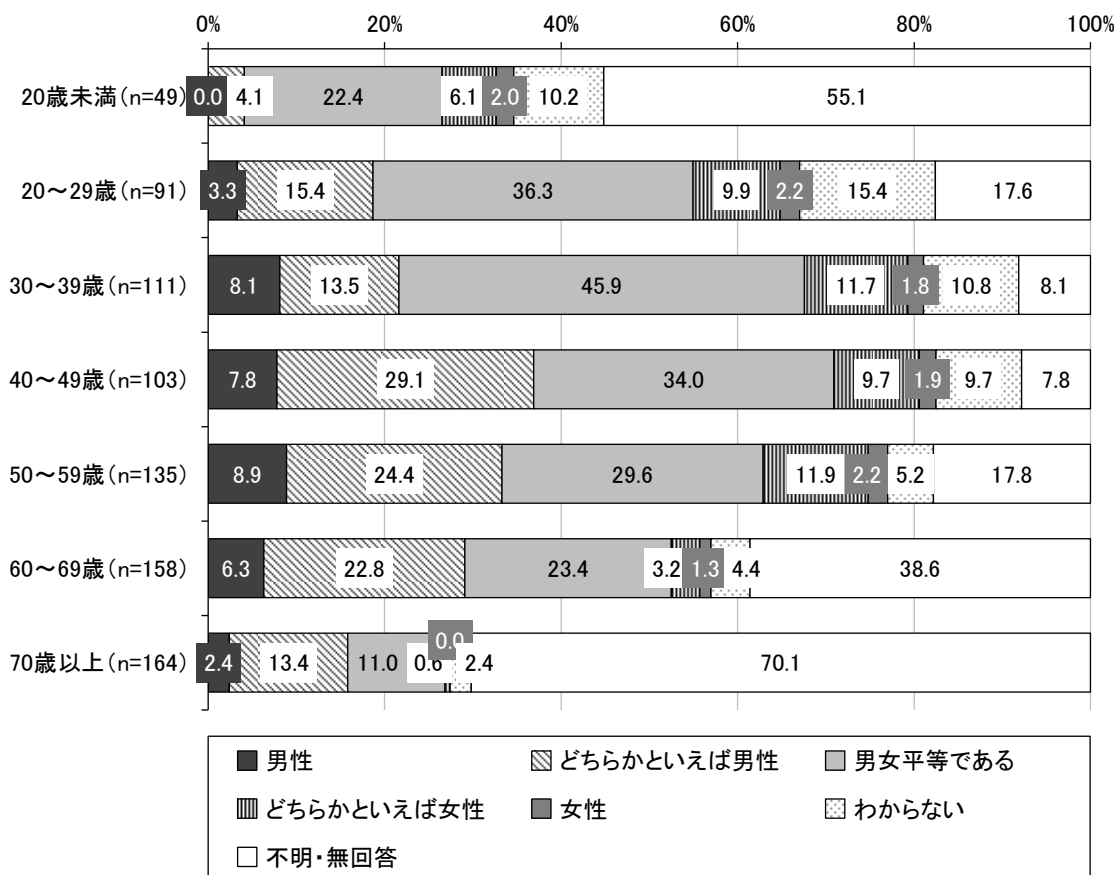
性別でみると、男女ともに「男女平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「どちらかといえば男性」、それ以外の年代では「男女平等である」が最も高くなっています。

#### 【性別】



#### 【年代別】

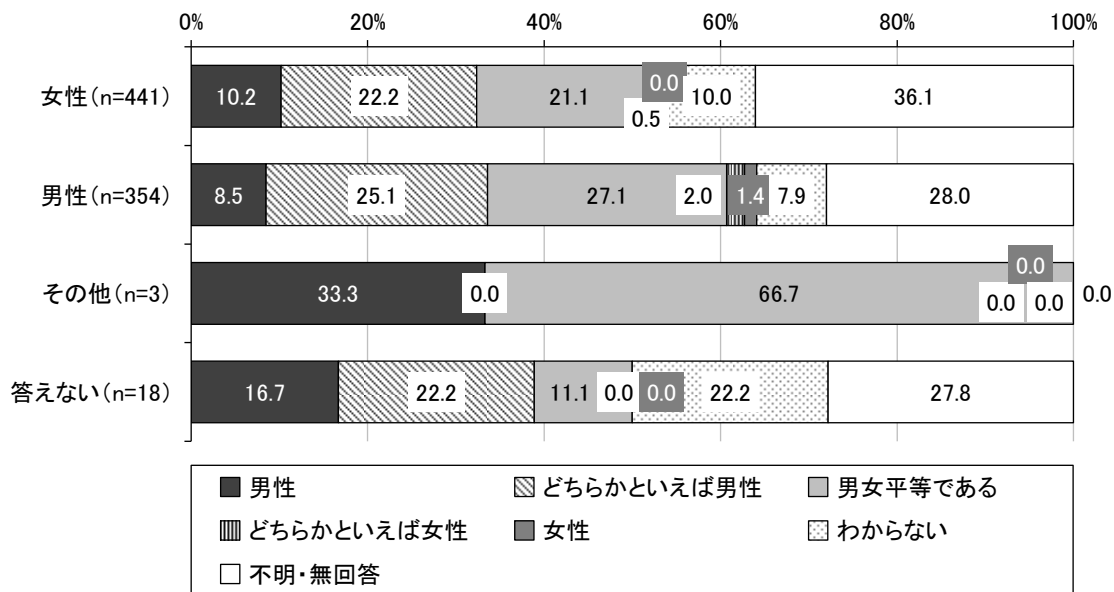


#### ④ 昇進・昇格

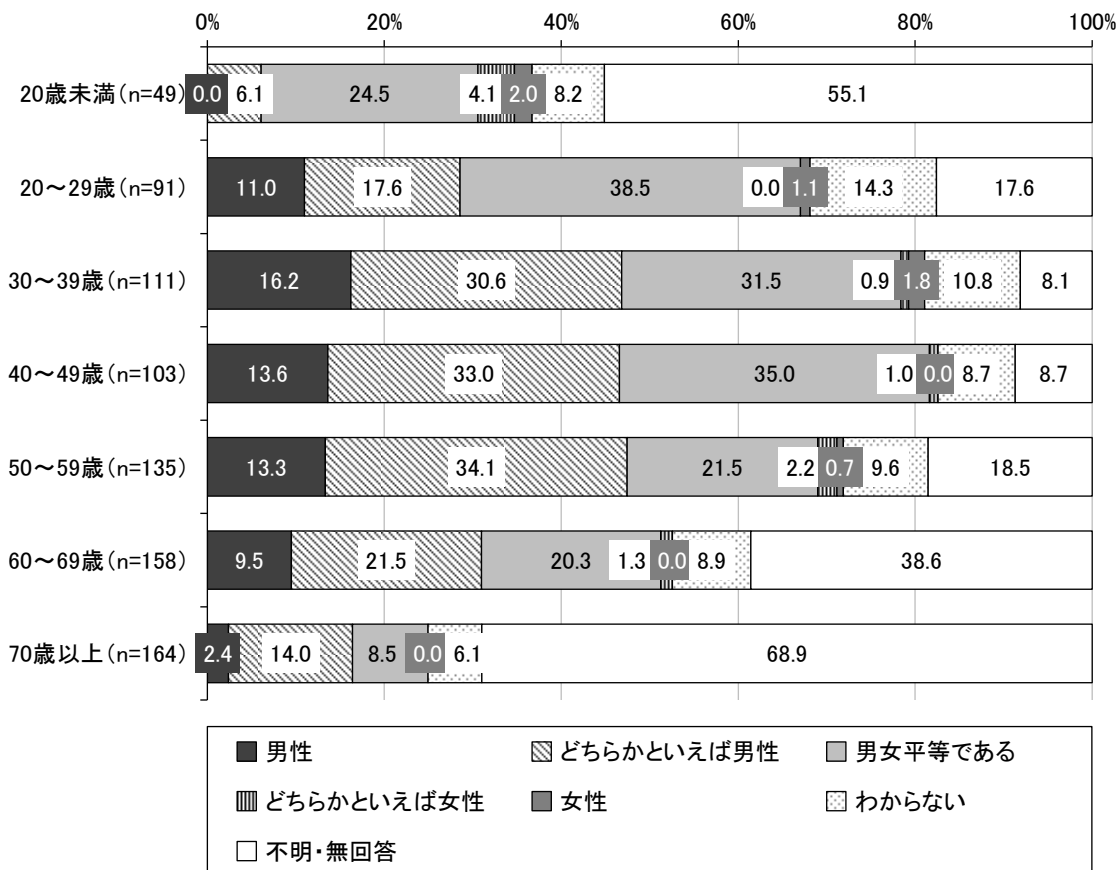
性別でみると、女性では「どちらかといえば男性」、男性では「男女平等である」が最も高くなっています。

年代別でみると、50歳以上では「どちらかといえば男性」、それ以外の年代では「男女平等である」が最も高くなっています。

#### 【性別】



#### 【年代別】

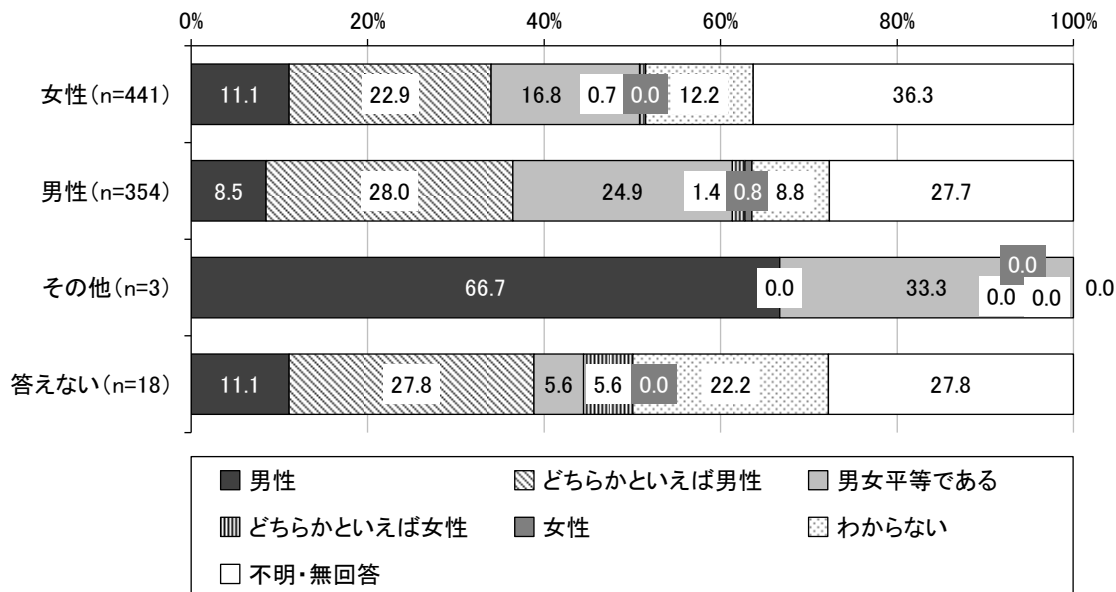


◀⑤ 管理職への登用▶

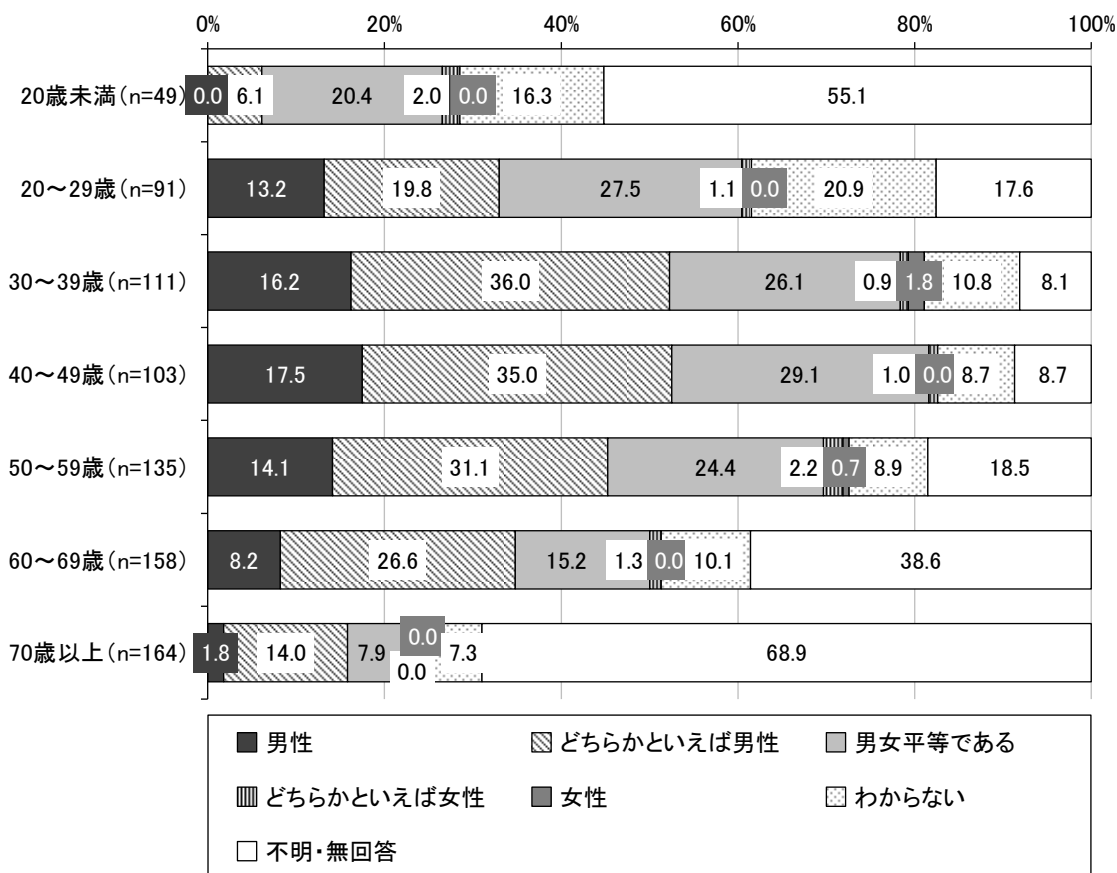
性別でみると、男女ともに「どちらかといえば男性」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満、20～29歳では「男女平等である」、それ以外の年代では「どちらかといえば男性」が最も高くなっています。

【性別】



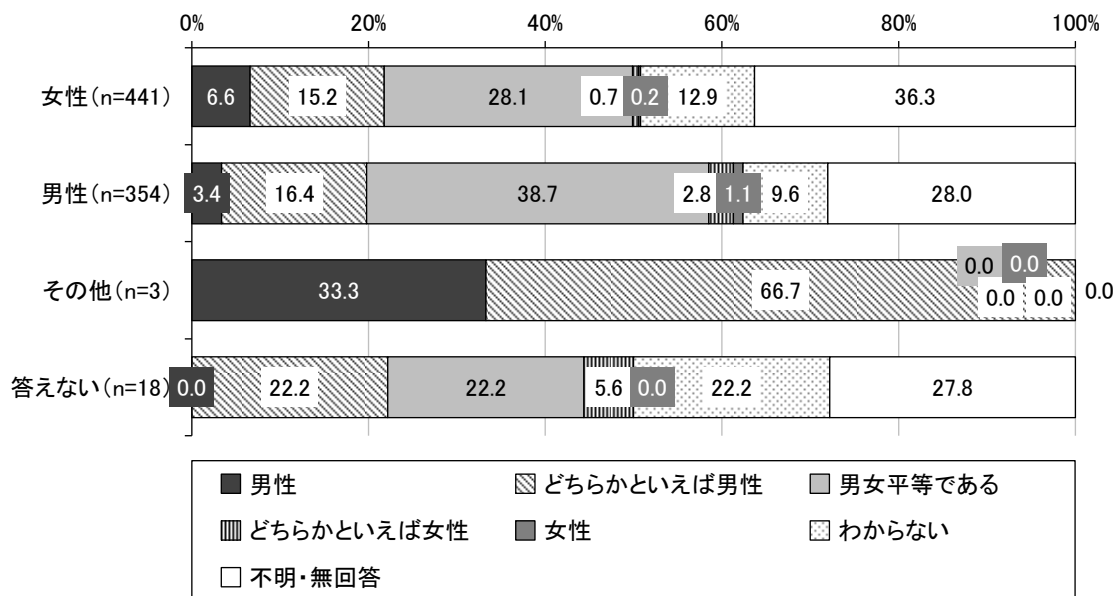
【年代別】



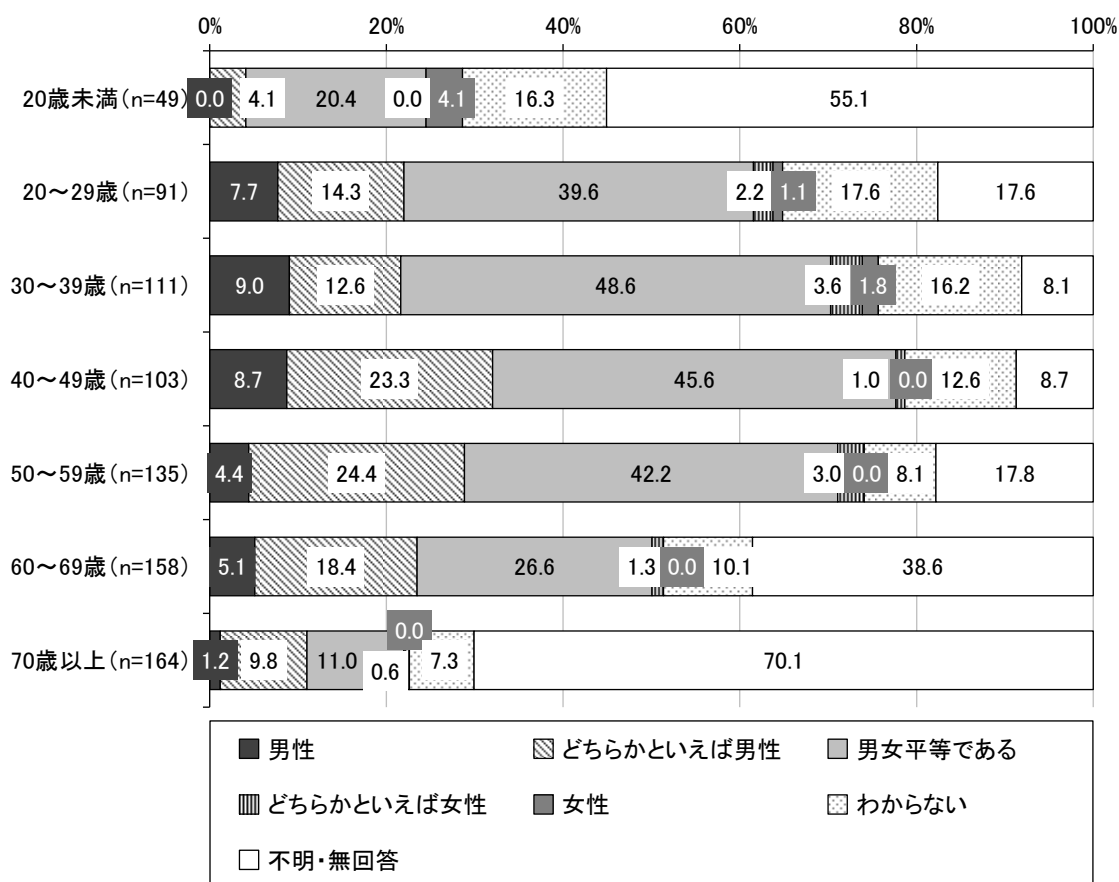
「⑥ 能力評価（業績評価・人事評価など）」

性別でみると、男女ともに「男女平等である」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男女平等である」が最も高くなっています。

【性別】



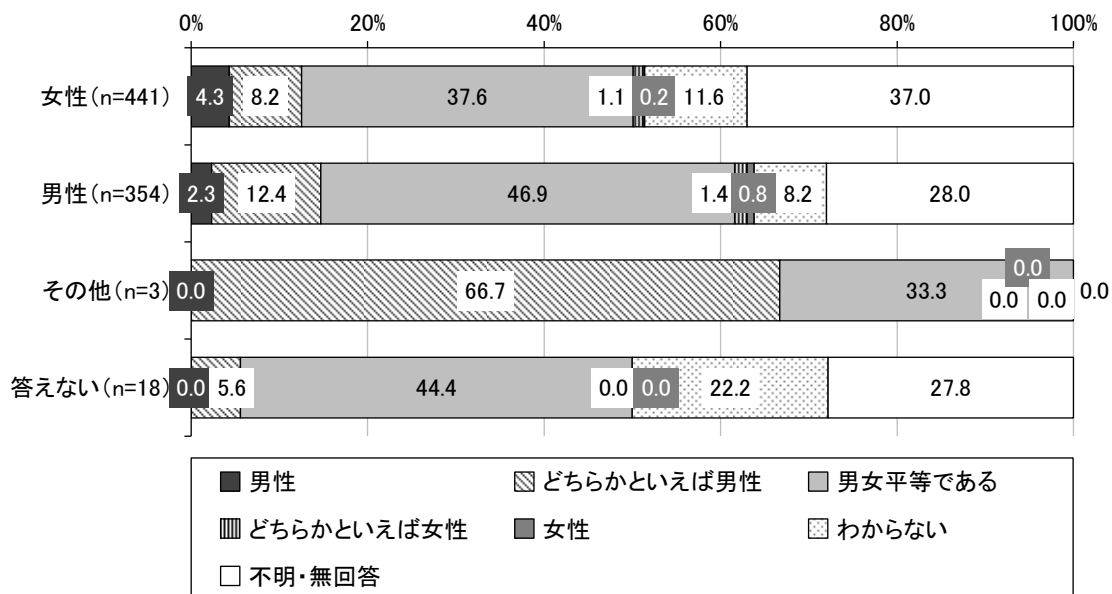
【年代別】



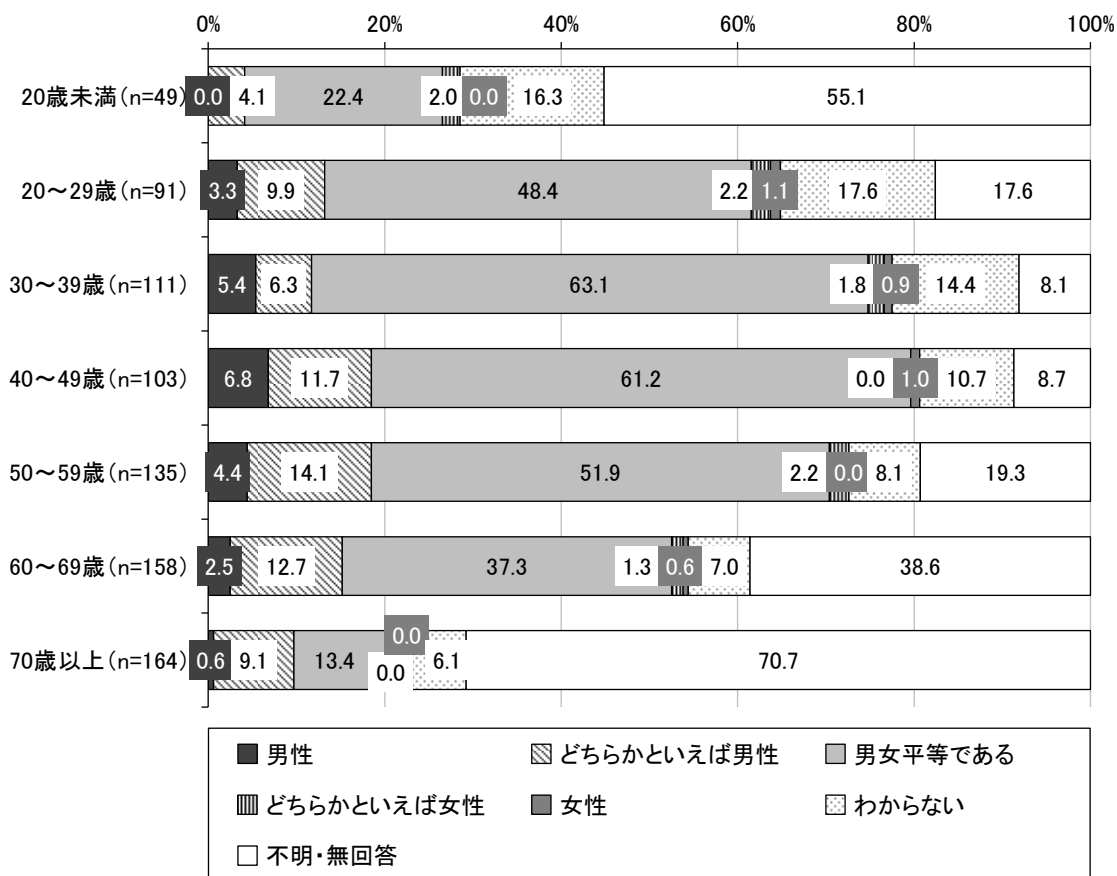
◀⑦ 研修の機会や内容▶

性別でみると、男女ともに「男女平等である」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男女平等である」が最も高くなっています。

【性別】



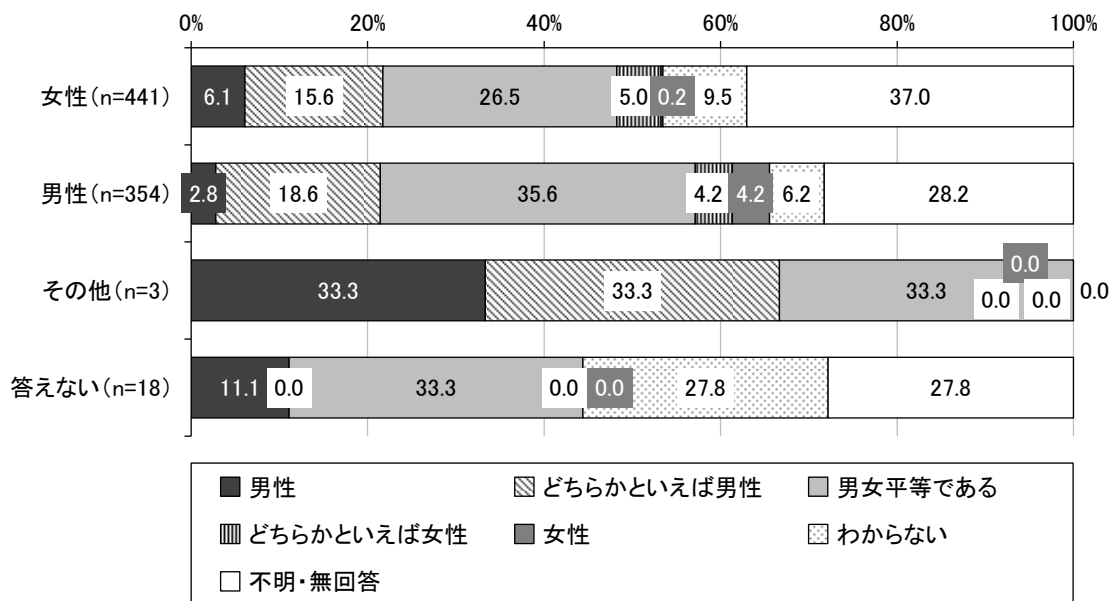
【年代別】



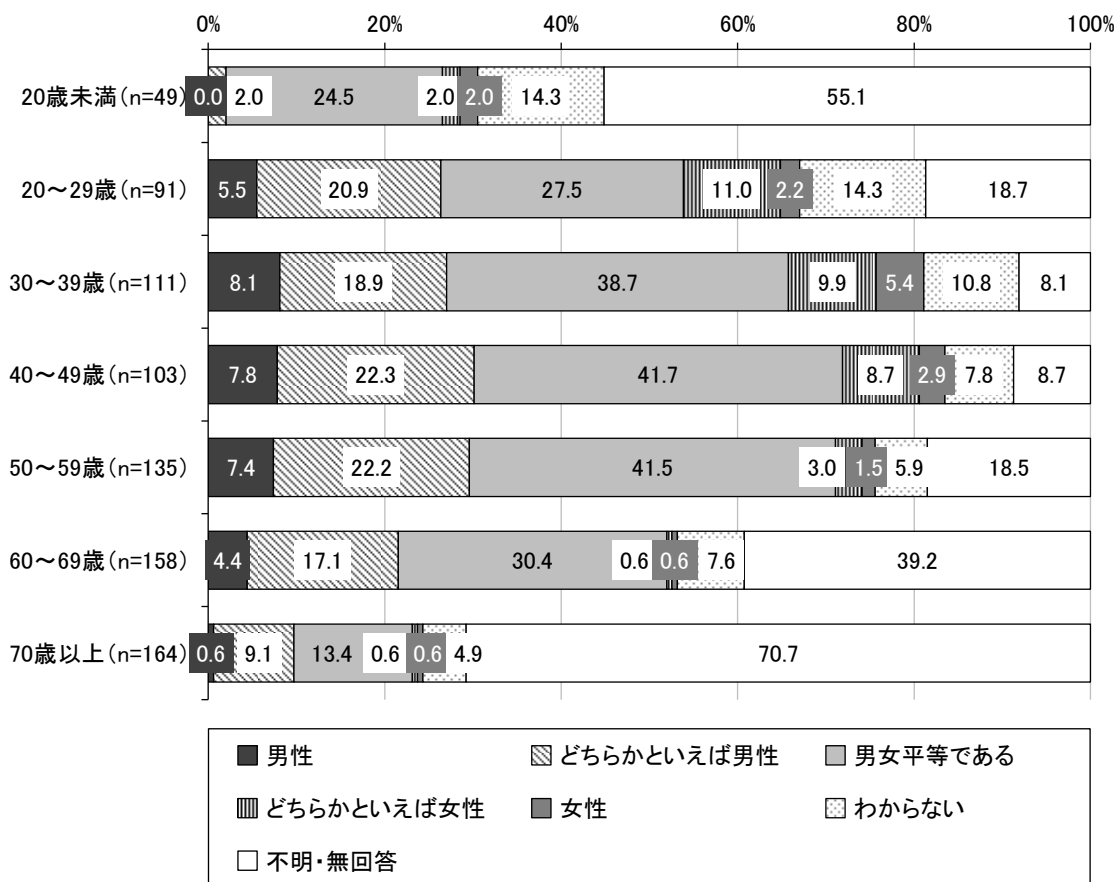
◀⑧ 働き続けやすい環境▶

性別でみると、男女ともに「男女平等である」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男女平等である」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

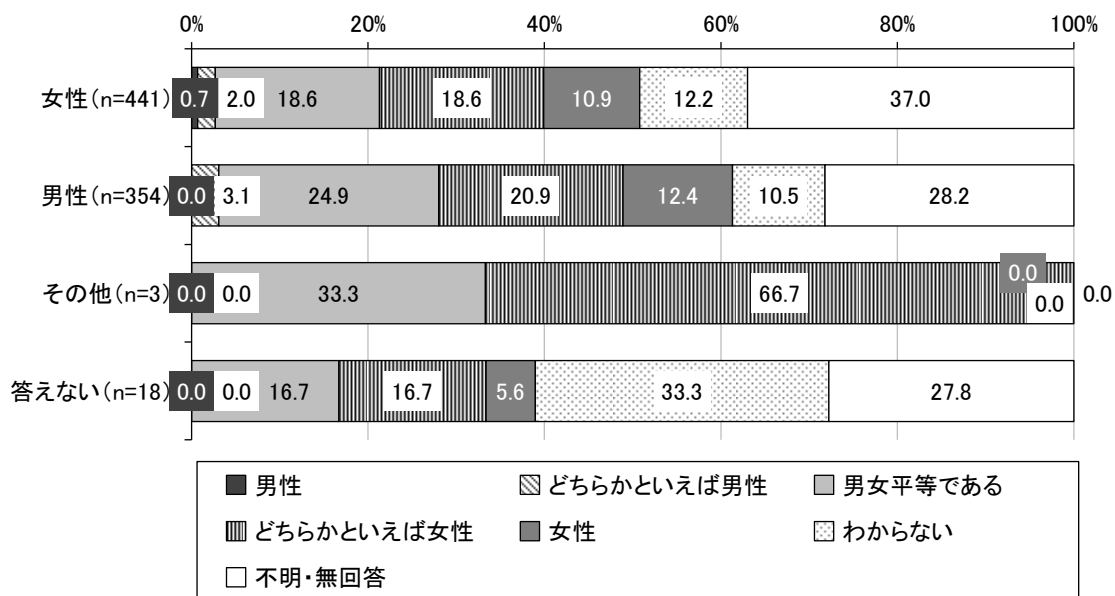


◀⑨ 育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ▶

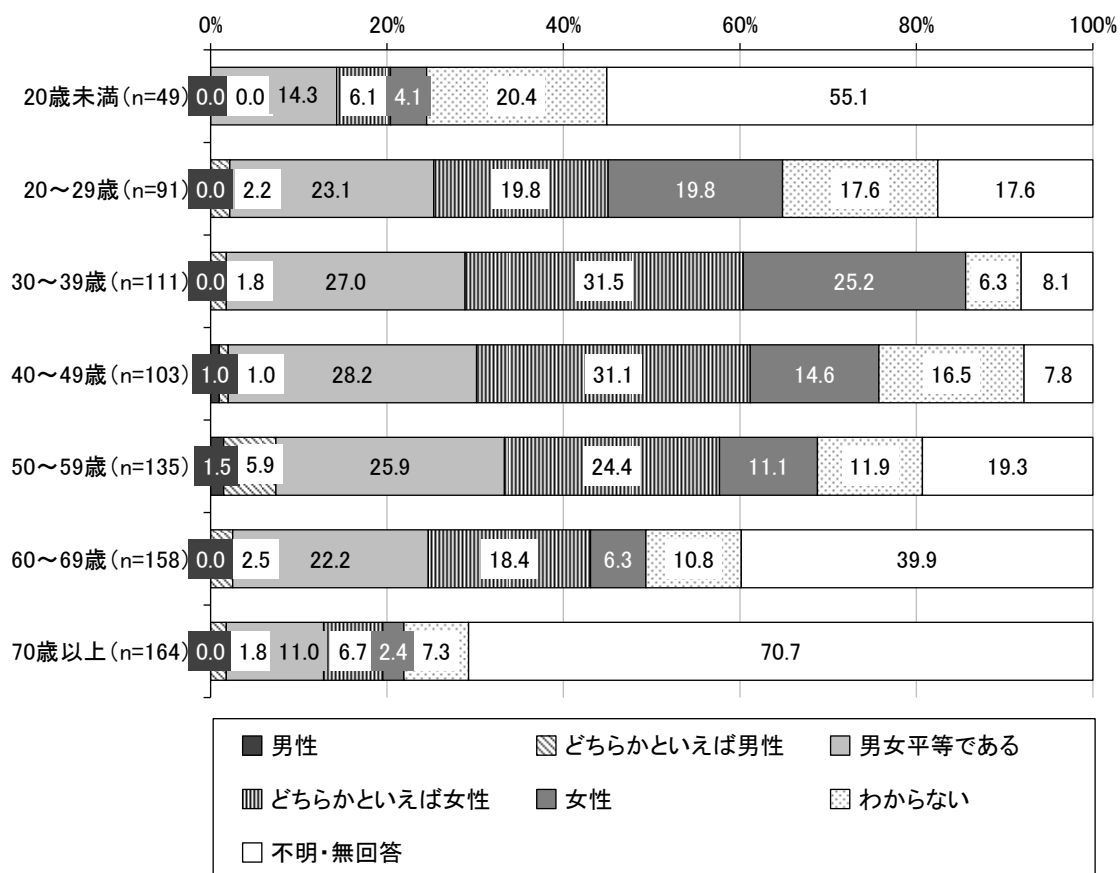
性別で見ると、女性では「男女平等である」「どちらかといえば女性」、男性では「男女平等である」が最も高くなっています。

年代別で見ると、20歳未満では「わからない」、30～39歳、40～49歳では「どちらかといえば女性」、それ以外の年代では「男女平等である」が最も高くなっています。

【性別】



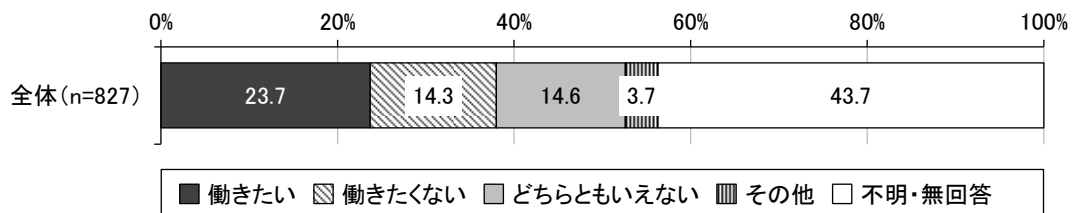
【年代別】



現在働いていない方におうかがいします。

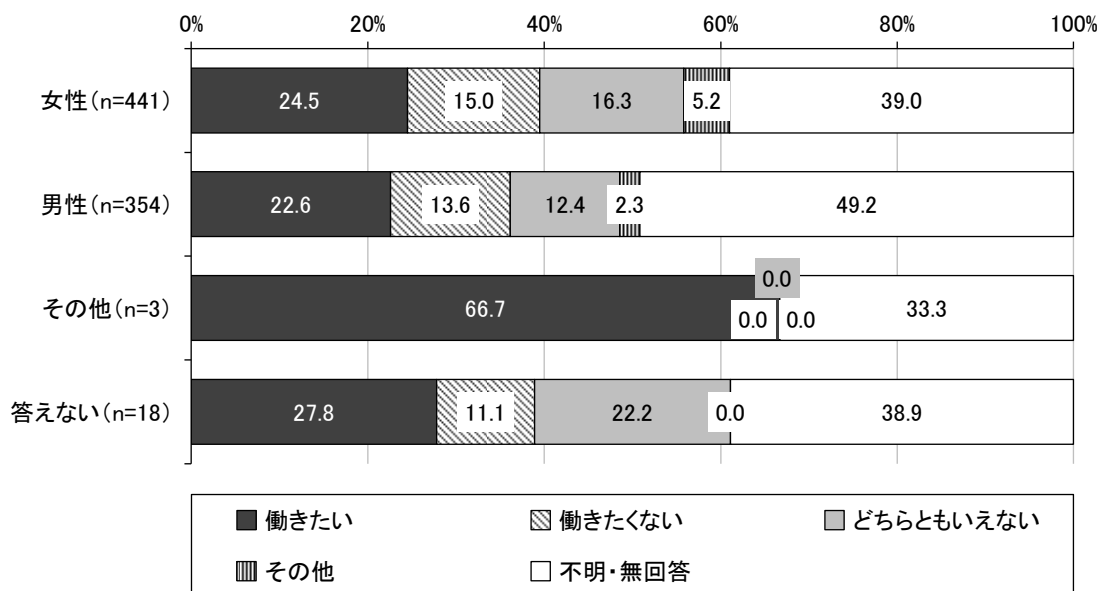
問9 あなたは、今後、働きたいですか。(1つに〇)

今後の就職意向についてみると、「働きたい」が23.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が14.6%、「働きたくない」が14.3%となっています。



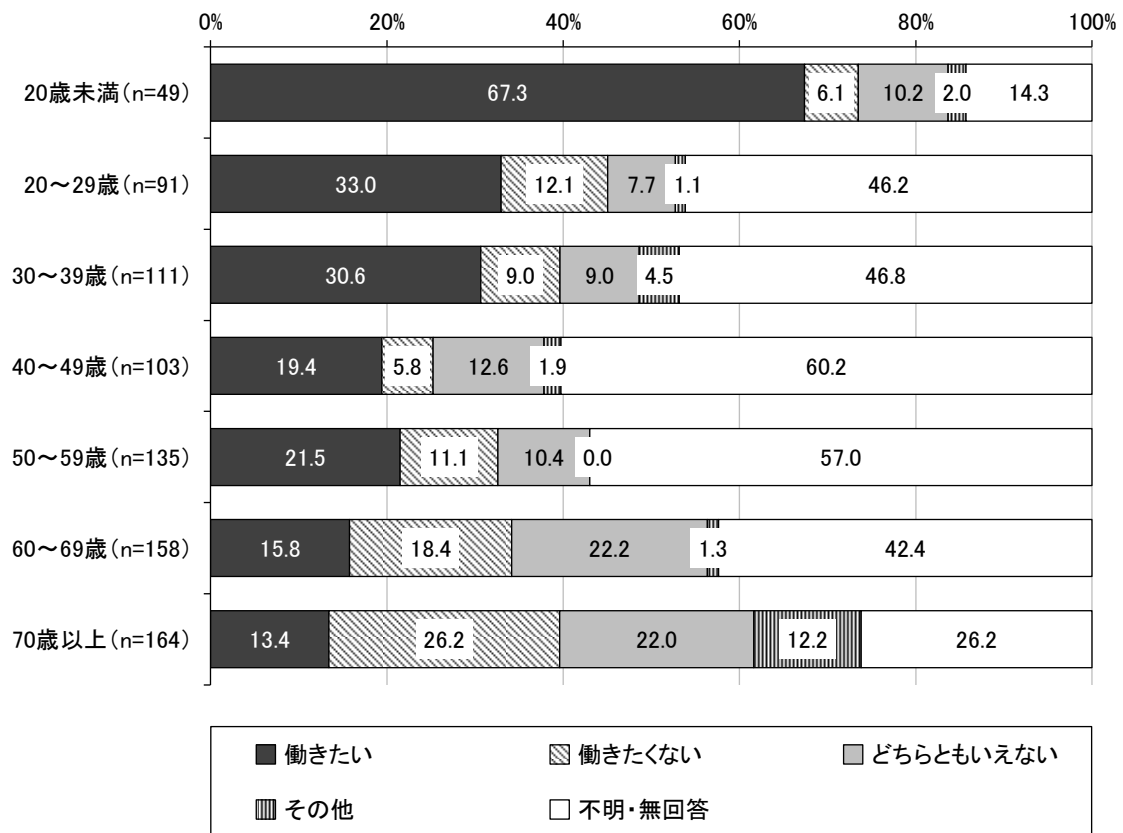
【性別】

性別でみると、男女ともに「働きたい」が最も高くなっています。



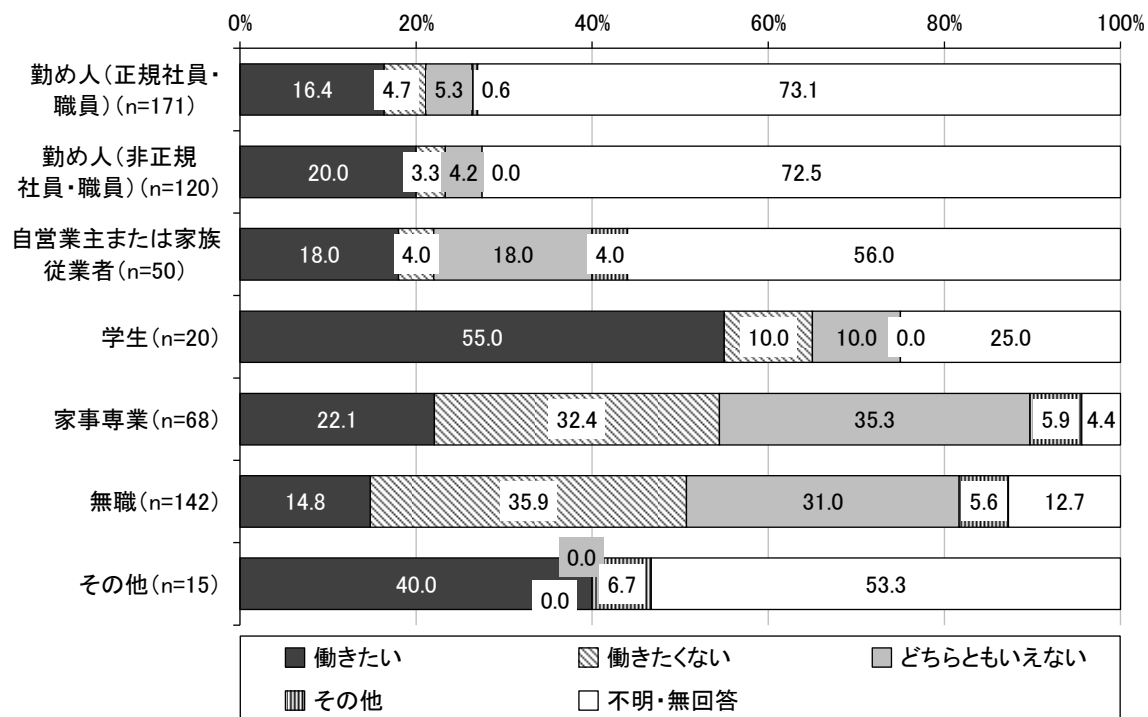
### 【年代別】

年代別でみると、60～69歳では「どちらともいえない」、70歳以上では「働きたくない」、それ以外の年代では「働きたい」が最も高くなっています。



## 【職業別】

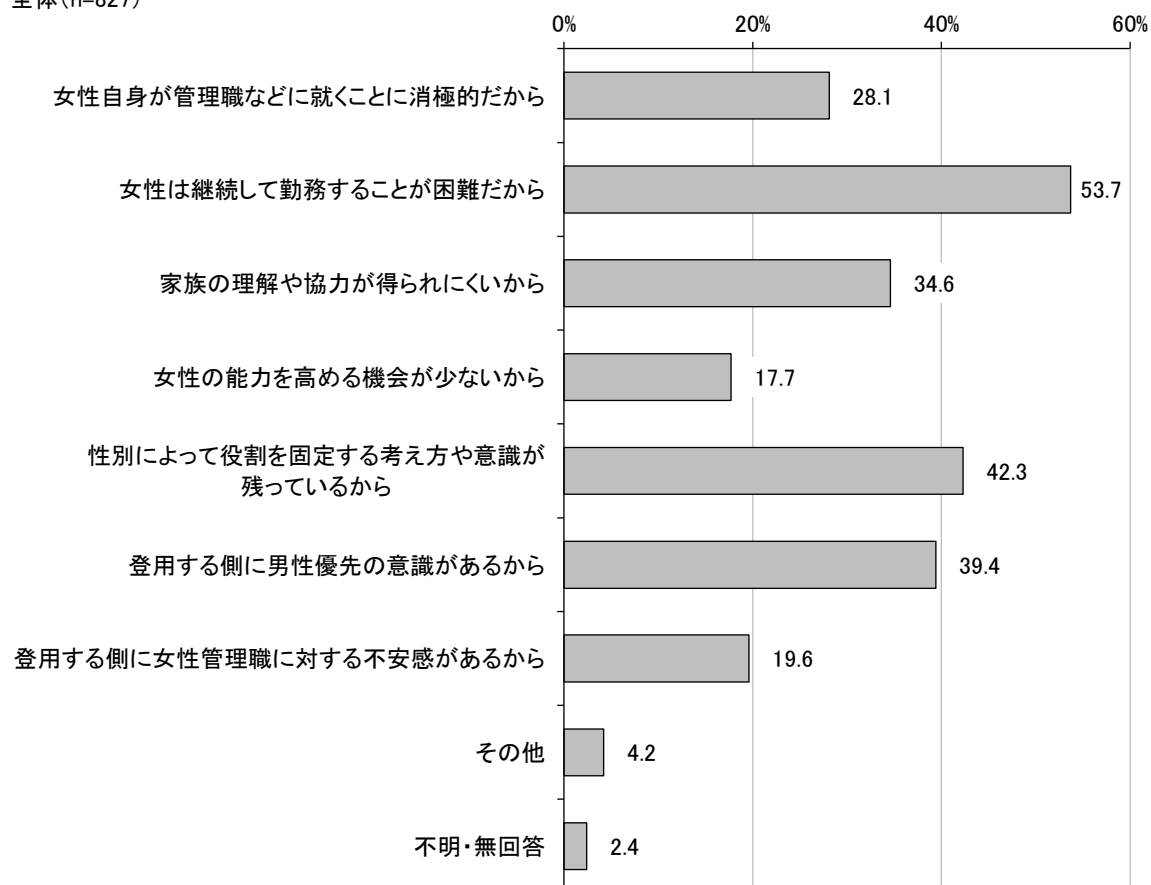
職業別でみると、家事専業では「どちらともいえない」、無職では「働きたくない」、自営業主または家族従事者では「働きたい」「どちらともいえない」、それ以外の職業では「働きたい」が最も高くなっています。



問 10 現状では、女性の管理職や指導的地位への登用が少ない状況にあります。その理由として、  
どのようなものがあると思いますか。(当てはまるものすべてに○)

女性の管理職や指導的地位への登用が少ない理由についてみると、「女性は継続して勤務することが困難だから」が 53.7%と最も高く、次いで「性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているから」が 42.3%、「登用する側に男性優先の意識があるから」が 39.4%となっています。

全体 (n=827)



### 【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「女性は継続して勤務することが困難だから」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているから」、それ以外の年代では「女性は継続して勤務することが困難だから」が最も高くなっています。

単位：%		女性自身に消極的 管理職などに就く	女性が継続して 勤務することが 困難だから	家族の理解や協力が 得られにくいから	女性の能力を高める 機会が少ないから	性別によって役割を 固定する考え方や意識 が残っているから	登用する側に男性優先の 意識があるから	登用する側に女性管理職 に対する不安感があるから	その他	不明・無回答
性別	女性(n=441)	25.2	<b>63.3</b>	42.6	20.0	<b>44.0</b>	43.3	22.7	3.4	1.4
	男性(n=354)	33.1	<b>42.4</b>	25.1	15.3	<b>40.7</b>	35.0	16.7	5.4	2.5
	その他(n=3)	0.0	<b>66.7</b>	0.0	0.0	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	0.0	0.0
	答えない(n=18)	11.1	<b>44.4</b>	33.3	16.7	<b>44.4</b>	<b>44.4</b>	11.1	5.6	5.6
年代別	20歳未満(n=49)	30.6	<b>46.9</b>	8.2	22.4	<b>61.2</b>	36.7	18.4	0.0	0.0
	20～29歳(n=91)	25.3	<b>54.9</b>	24.2	19.8	<b>40.7</b>	35.2	17.6	3.3	3.3
	30～39歳(n=111)	24.3	<b>61.3</b>	35.1	13.5	<b>41.4</b>	33.3	18.9	9.0	0.0
	40～49歳(n=103)	32.0	<b>61.2</b>	<b>41.7</b>	13.6	38.8	<b>41.7</b>	22.3	1.9	1.0
	50～59歳(n=135)	27.4	<b>51.1</b>	32.6	15.6	<b>38.5</b>	34.8	14.8	4.4	2.2
	60～69歳(n=158)	31.6	<b>44.3</b>	<b>43.0</b>	22.2	42.4	42.4	18.4	7.0	2.5
	70歳以上(n=164)	27.4	<b>57.3</b>	36.0	18.3	45.7	<b>46.3</b>	26.8	1.2	3.7

【職業別】

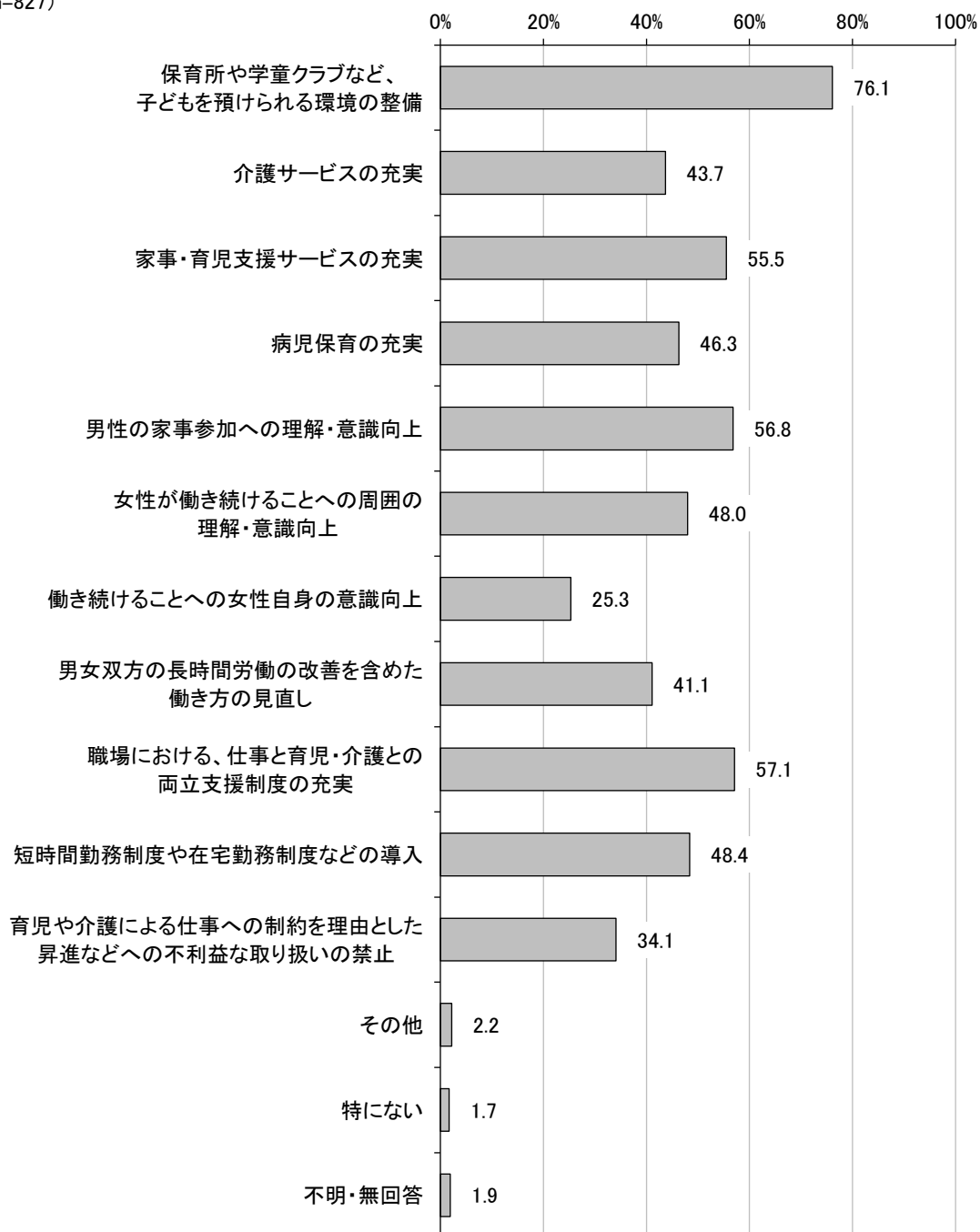
職業別でみると、学生では「性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているから」、その他では「女性は継続して勤務することが困難だから」「登用する側に男性優先の意識があるから」、それ以外の職業では「女性は継続して勤務することが困難だから」が最も高くなっています。

単位：%		こ女性 性に 自身 が消 極的 管理 職に 就く	が女 性は 継続 して 勤務 する こと	く家 族の 理解 や協 力が 得ら れに	ない 女性 の能 力を 高め る機 会が 少	性 別 に よ っ て 役 割 を 固 定 す る 考 え 方 や 意 識 が 残 っ て い る か ら	登 用 す る 側 に 男 性 優 先 の 意 識 が あ る か ら	登 用 す る 側 に 女 性 管 理 職 に 対 す る 不 安 感 が あ る か ら	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
職 業 別	勤め人(正規社員・ 職員)(n=171)	32.2	<b>48.0</b>	33.9	17.0	35.7	<b>36.8</b>	11.7	5.3	1.8
	勤め人(非正規社員・ 職員)(n=120)	26.7	<b>62.5</b>	<b>43.3</b>	15.8	39.2	37.5	18.3	1.7	1.7
	自営業主または家族 従業者(n=50)	30.0	<b>56.0</b>	32.0	16.0	<b>44.0</b>	38.0	16.0	4.0	4.0
	学生(n=20)	30.0	<b>55.0</b>	15.0	10.0	<b>65.0</b>	50.0	15.0	0.0	5.0
	家事専業(n=68)	14.7	<b>66.2</b>	38.2	13.2	42.6	<b>47.1</b>	22.1	5.9	0.0
	無職(n=142)	31.0	<b>54.2</b>	42.3	21.1	<b>43.7</b>	42.3	26.1	4.2	4.2
	その他(n=15)	46.7	<b>60.0</b>	26.7	40.0	46.7	<b>60.0</b>	40.0	6.7	0.0

問 11 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において何が重要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことについてみると、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が76.1%と最も高く、次いで「職場における、仕事と育児・介護との両立支援制度の充実」が57.1%、「男性の家事参加への理解・意識向上」が56.8%となっています。

全体 (n=827)



## 【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が最も高くなっています。

年代別でみると、20～29歳では「家事・育児支援サービスの充実」、それ以外の年代では「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が最も高くなっています。

単位：%		子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児支援サービスの充実	病児保育の充実	男性の家事参加への理解・意識向上	女性が働き続けることへの周知	働き続けることへの女性自身の意識向上	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の見直し	職場における、仕事と育児・介護との両立支援制度の充実	短時間勤務制度や在宅勤務制などの導入	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などの禁止	その他	特になし	不明・無回答
性別	女性(n=441)	<b>77.8</b>	48.3	55.3	53.7	<b>63.7</b>	53.1	24.7	44.7	62.6	51.2	38.8	2.0	1.6	1.1
	男性(n=354)	<b>75.7</b>	39.0	<b>56.2</b>	37.3	49.2	42.9	26.6	37.3	52.3	45.2	28.2	2.3	1.4	1.7
	その他(n=3)	33.3	33.3	<b>66.7</b>	33.3	<b>66.7</b>	<b>66.7</b>	0.0	33.3	33.3	<b>66.7</b>	<b>66.7</b>	33.3	0.0	0.0
	答えなし(n=18)	<b>66.7</b>	38.9	<b>66.7</b>	61.1	55.6	44.4	33.3	38.9	50.0	44.4	38.9	0.0	11.1	5.6
年代別	20歳未満(n=49)	<b>75.5</b>	20.4	59.2	28.6	<b>69.4</b>	49.0	26.5	36.7	38.8	44.9	40.8	0.0	2.0	0.0
	20～29歳(n=91)	<b>62.6</b>	30.8	<b>65.9</b>	40.7	51.6	41.8	19.8	45.1	57.1	53.8	29.7	1.1	2.2	2.2
	30～39歳(n=111)	<b>79.3</b>	38.7	<b>71.2</b>	56.8	58.6	48.6	29.7	49.5	58.6	54.1	40.5	3.6	0.0	0.0
	40～49歳(n=103)	<b>79.6</b>	49.5	53.4	49.5	<b>59.2</b>	46.6	19.4	35.9	<b>59.2</b>	44.7	31.1	3.9	0.0	1.0
	50～59歳(n=135)	<b>68.9</b>	43.0	42.2	41.5	<b>54.1</b>	46.7	20.0	36.3	<b>54.1</b>	46.7	28.9	2.2	3.7	1.5
	60～69歳(n=158)	<b>80.4</b>	50.6	54.4	55.1	57.0	51.9	27.8	43.0	<b>60.8</b>	48.1	40.5	2.5	1.3	1.9
	70歳以上(n=164)	<b>81.1</b>	52.4	53.0	41.5	56.7	50.6	30.5	40.2	<b>61.0</b>	47.0	31.1	1.2	2.4	3.0

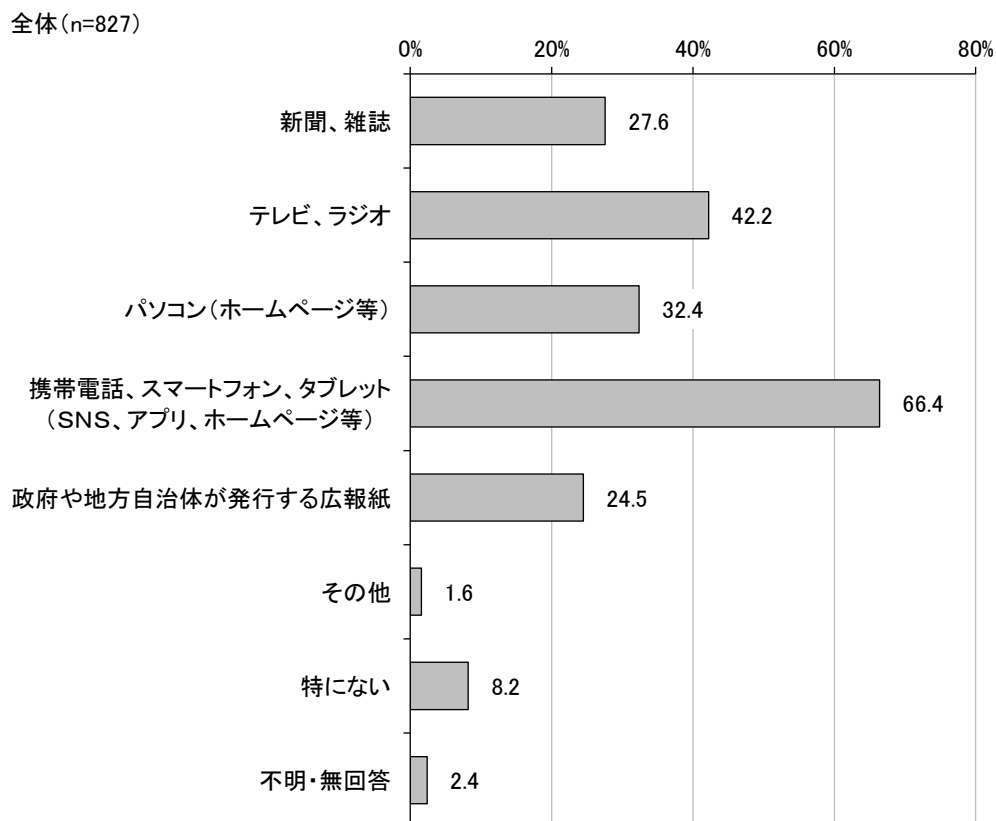
【職業別】

職業別でみると、すべての職業で「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が最も高くなっています。

単位：%		保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児支援サービスの充実	病児保育の充実	男性の家事参加への理解・意識向上	女性の理解・意識向上	働き続けることへの女性の意識向上	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の見直し	職場における、仕事と育児・介護との両立支援制度の充実・	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの制不利な取り扱いの禁止	その他	特になし	不明・無回答
職業別	勤め人(正規社員・職員)(n=171)	77.2	38.6	53.8	43.9	48.5	43.9	18.7	43.3	54.4	49.1	31.0	2.9	0.6	1.2
	勤め人(非正規社員・職員)(n=120)	76.7	41.7	53.3	49.2	61.7	52.5	23.3	42.5	62.5	51.7	33.3	1.7	1.7	1.7
	自営業主または家族従業者(n=50)	76.0	48.0	58.0	50.0	64.0	44.0	28.0	34.0	58.0	44.0	34.0	2.0	2.0	4.0
	学生(n=20)	75.0	30.0	55.0	45.0	55.0	40.0	45.0	50.0	65.0	40.0	40.0	5.0	5.0	0.0
	家事専業(n=68)	83.8	50.0	51.5	58.8	69.1	57.4	25.0	42.6	64.7	58.8	39.7	1.5	2.9	0.0
	無職(n=142)	78.9	50.0	49.3	45.1	57.0	50.0	26.8	41.5	55.6	44.4	35.2	1.4	2.1	2.8
	その他(n=15)	80.0	66.7	73.3	53.3	53.3	46.7	46.7	40.0	60.0	53.3	46.7	6.7	6.7	0.0

問 12 あなたは、女性の職業生活における活躍について情報を得る際に、どの媒体やツールを利用  
したいですか。(当てはまるものすべてに○)

女性の職業生活における活躍について情報を得る際の利用希望媒体やツールについてみると、「携帯電話、スマートフォン、タブレット（SNS、アプリ、ホームページ等）」が66.4%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」が42.2%、「パソコン（ホームページ等）」が32.4%となっています。



### 【性別、年代別】

性別で見ると、男女ともに「携帯電話、スマートフォン、タブレット（SNS、アプリ、ホームページ等）」が最も高くなっています。

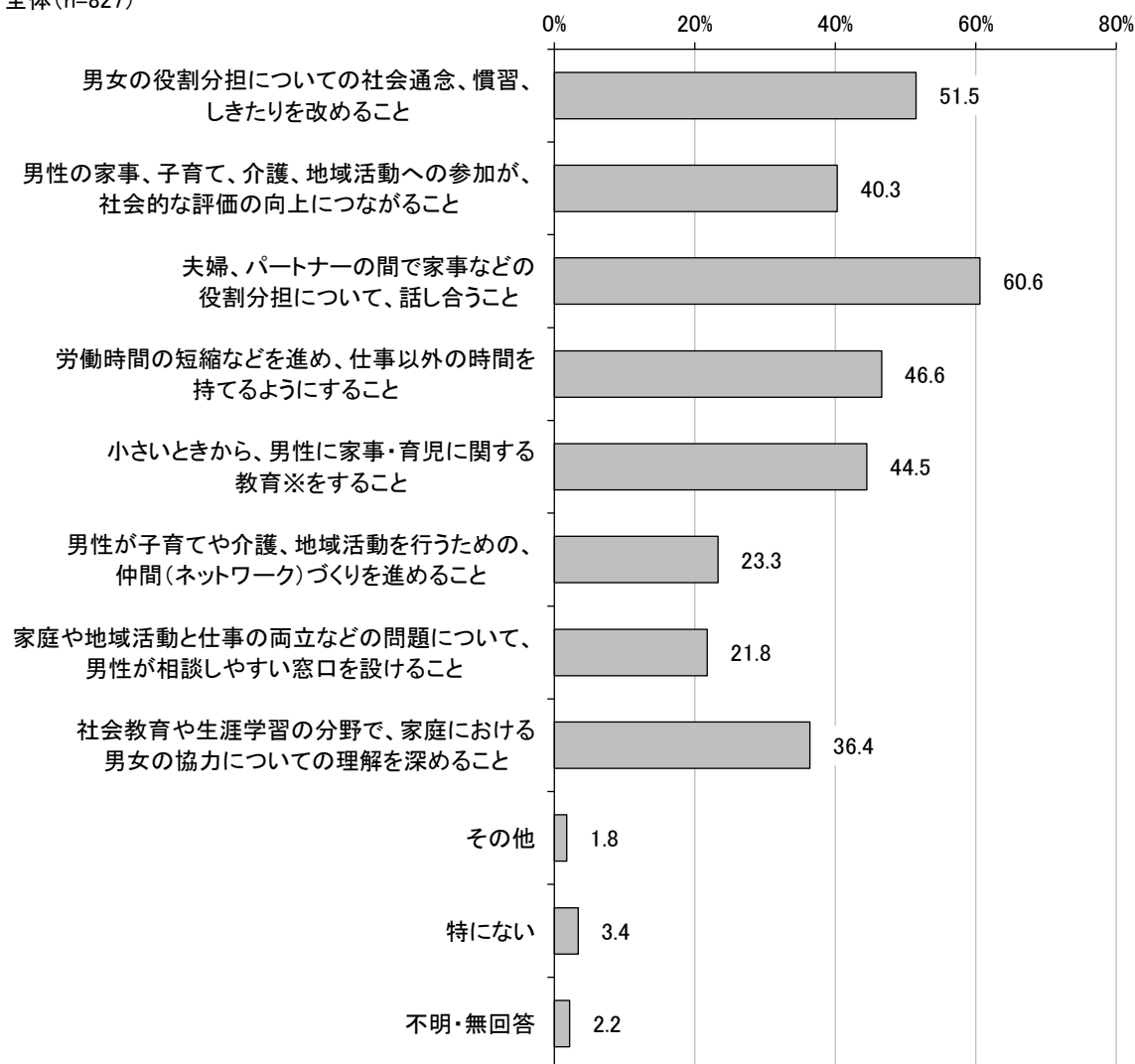
年代別で見ると、70歳以上では「テレビ、ラジオ」、それ以外の年代では「携帯電話、スマートフォン、タブレット（SNS、アプリ、ホームページ等）」が最も高くなっています。

単位：%		新聞、雑誌	テレビ、ラジオ	パソコン（ホームページ等）	携帯電話、スマートフォン、タブレット（SNS、アプリ、ホームページ等）	政府や地方自治体が発行する 広報紙	その他	特 に ない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	26.8	<b>43.3</b>	27.9	<b>71.7</b>	27.7	1.6	7.3	1.4
	男性(n=354)	29.9	<b>42.1</b>	38.4	<b>61.3</b>	21.5	1.4	9.3	2.5
	その他(n=3)	0.0	<b>66.7</b>	33.3	<b>100.0</b>	33.3	33.3	0.0	0.0
	答えない(n=18)	11.1	33.3	<b>38.9</b>	<b>50.0</b>	16.7	0.0	5.6	5.6
年代別	20歳未満(n=49)	10.2	<b>53.1</b>	24.5	<b>81.6</b>	10.2	0.0	6.1	0.0
	20～29歳(n=91)	9.9	29.7	<b>34.1</b>	<b>79.1</b>	14.3	1.1	7.7	4.4
	30～39歳(n=111)	9.9	27.0	<b>40.5</b>	<b>80.2</b>	15.3	1.8	11.7	0.0
	40～49歳(n=103)	23.3	<b>37.9</b>	34.0	<b>82.5</b>	20.4	1.9	2.9	1.9
	50～59歳(n=135)	23.7	<b>43.7</b>	32.6	<b>68.9</b>	23.0	1.5	7.4	1.5
	60～69歳(n=158)	39.9	<b>53.2</b>	34.8	<b>60.8</b>	29.1	1.3	7.0	3.2
	70歳以上(n=164)	<b>48.8</b>	<b>49.4</b>	26.2	40.9	41.5	2.4	11.0	2.4

**問 13 あなたは、男性が家事、育児、介護、地域活動などに参加するために、何が必要だと思いますか。（当てはまるものすべてに○）**

男性が家事、育児、介護、地域活動などに参加するために必要なことについてみると、「夫婦、パートナーの間で家事などの役割分担について、話し合うこと」が 60.6%と最も高く、次いで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が 51.5%、「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間を持てるようにすること」が 46.6%となっています。

全体 (n=827)



※家事・育児を一緒に行うなど家庭教育も含む

## 【性別、年代別】

性別で見ると、男女ともに「夫婦、パートナーの間で家事などの役割分担について、話し合うこと」が最も高くなっています。

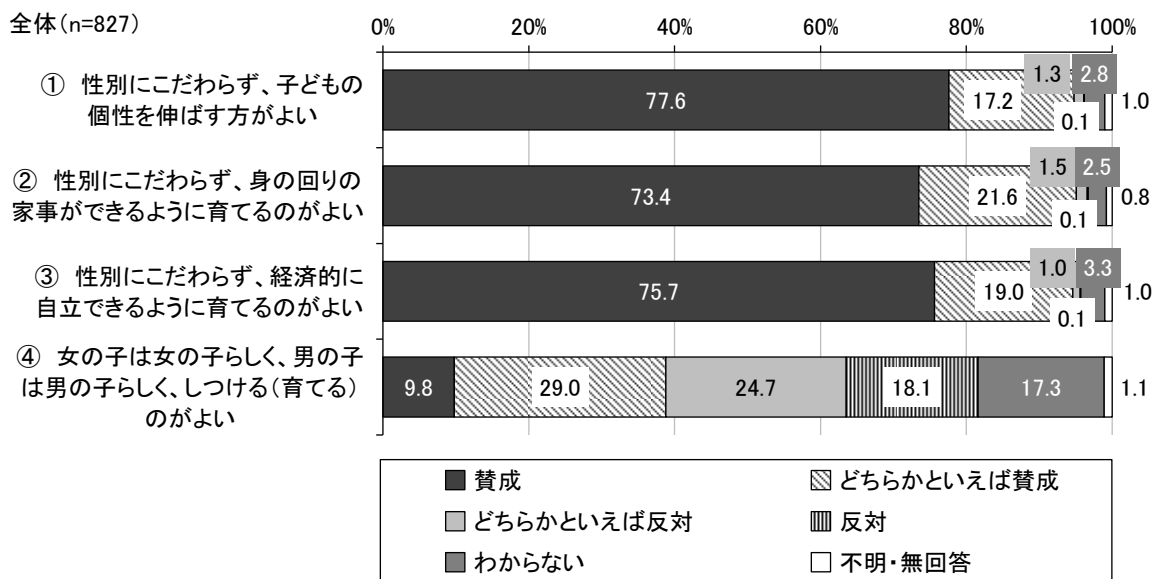
年代別で見ると、40～49歳では「夫婦、パートナーの間で家事などの役割分担について、話し合うこと」「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間を持てるようにすること」、それ以外の年代では「夫婦、パートナーの間で家事などの役割分担について、話し合うこと」が最も高くなっています。

単位：%		話し合うこと	家事の役割分担について	労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間を持てるようにすること	夫婦、パートナーの間で家事などの役割分担について、話し合うこと	子育てに関する教育をする	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間を促す	家庭や地域活動と仕事の両立	社会教育や生涯学習の分野	その他	特になし	不明・無回答
性別	女性(n=441)	57.1	43.8	65.1	46.0	56.9	24.7	24.7	39.7	1.1	3.2	1.1
	男性(n=354)	45.5	37.9	56.5	49.4	29.4	22.9	18.4	33.1	2.5	3.4	2.3
	その他(n=3)	100.0	33.3	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	答えない(n=18)	33.3	22.2	44.4	27.8	50.0	16.7	22.2	38.9	0.0	11.1	5.6
年齢別	20歳未満(n=49)	59.2	51.0	63.3	36.7	49.0	24.5	16.3	38.8	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(n=91)	41.8	34.1	64.8	53.8	37.4	18.7	17.6	31.9	0.0	7.7	2.2
	30～39歳(n=111)	47.7	46.8	64.0	52.3	48.6	25.2	24.3	36.0	3.6	4.5	0.9
	40～49歳(n=103)	53.4	40.8	54.4	54.4	46.6	19.4	23.3	35.9	2.9	1.9	1.9
	50～59歳(n=135)	44.4	37.0	60.7	45.9	45.9	25.2	22.2	36.3	2.2	3.0	1.5
	60～69歳(n=158)	58.9	44.3	62.7	46.8	43.0	25.3	25.9	34.8	1.9	1.9	3.2
	70歳以上(n=164)	56.1	36.6	57.9	39.6	43.9	23.2	20.1	41.5	1.2	4.3	1.8

### 3. 教育に関する考え方について

問 14 あなたは、家庭における子どもの教育方針について、どのようにお考えですか。お子さんがいない方も、子どもがいると仮定してお答えください。(①から④の項目ごとに、1つに○)

家庭における子どもの教育方針については、[①性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい] [②性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい] [③性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい] で「賛成」が7割以上と高くなっています。一方、[④女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつける(育てる)のがよい] で『賛成』が38.8%、『反対』が42.8%と反対が賛成を上回っています。



※『賛成』…「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計

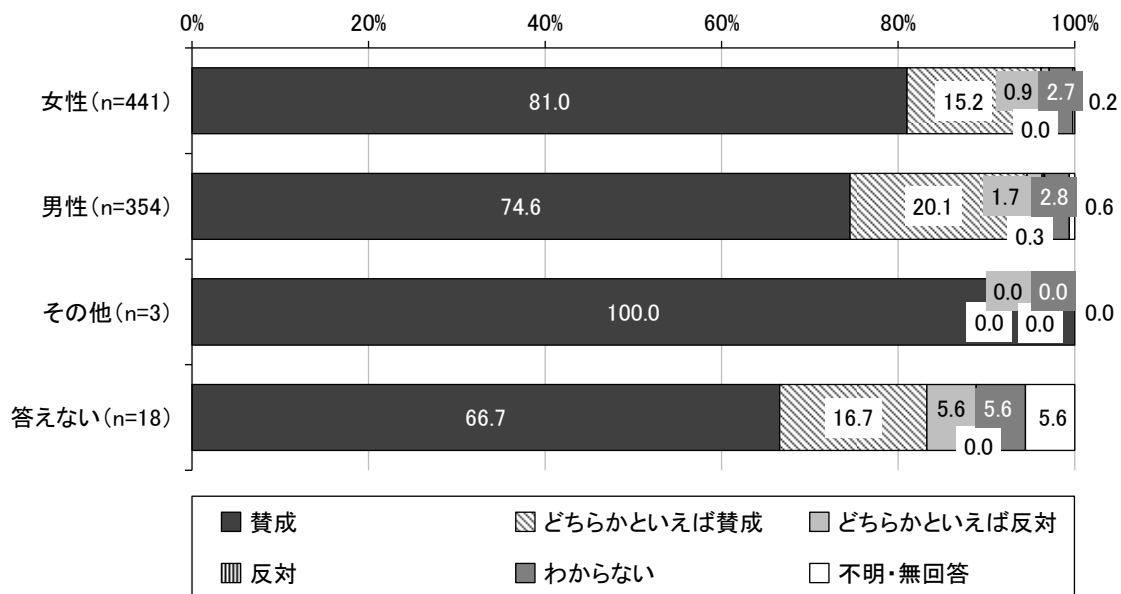
※『反対』…「反対」「どちらかといえば反対」の合計

「① 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい」

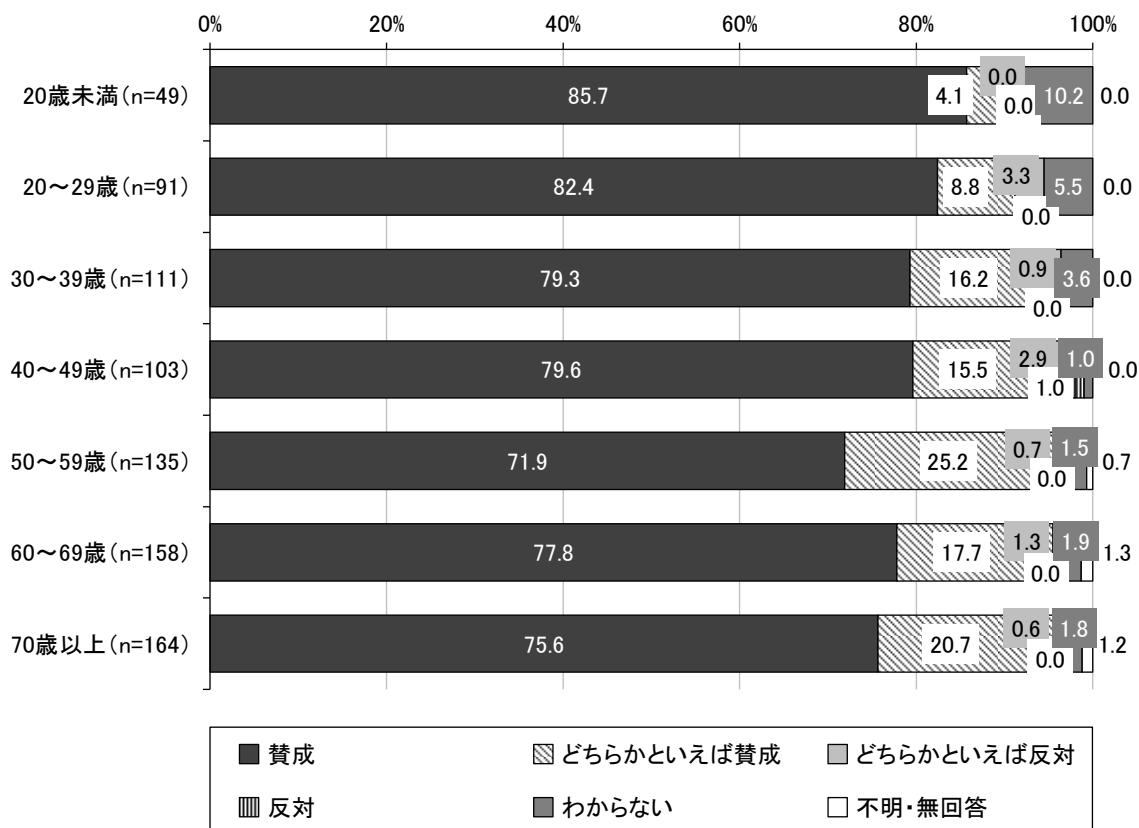
性別で見ると、男女ともに「賛成」が最も高くなっています。

年代別で見ると、すべての年代で「賛成」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

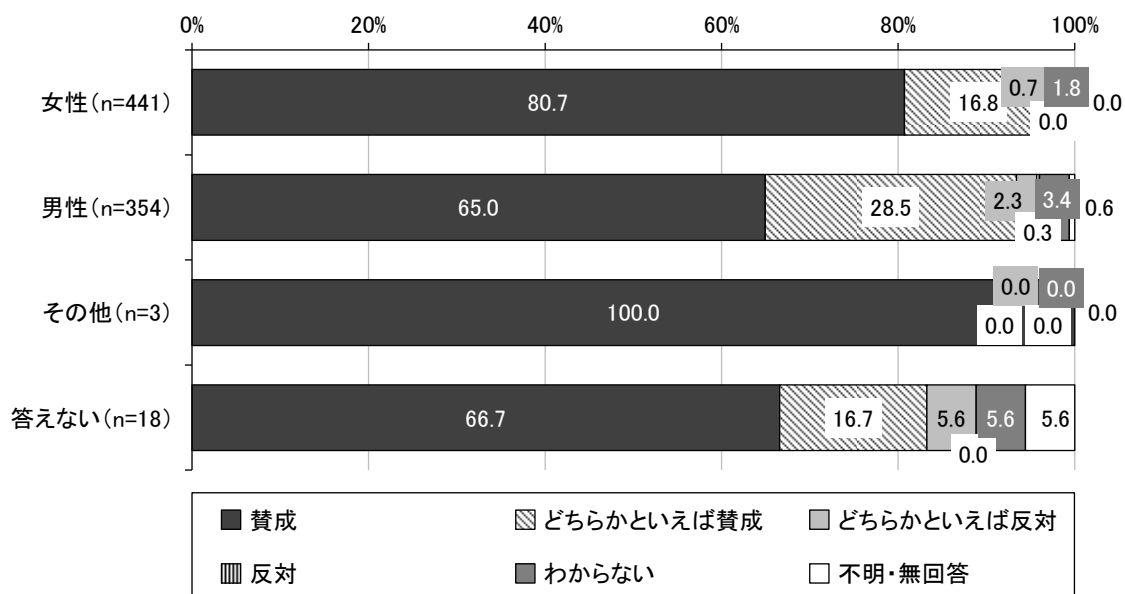


«② 性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい»

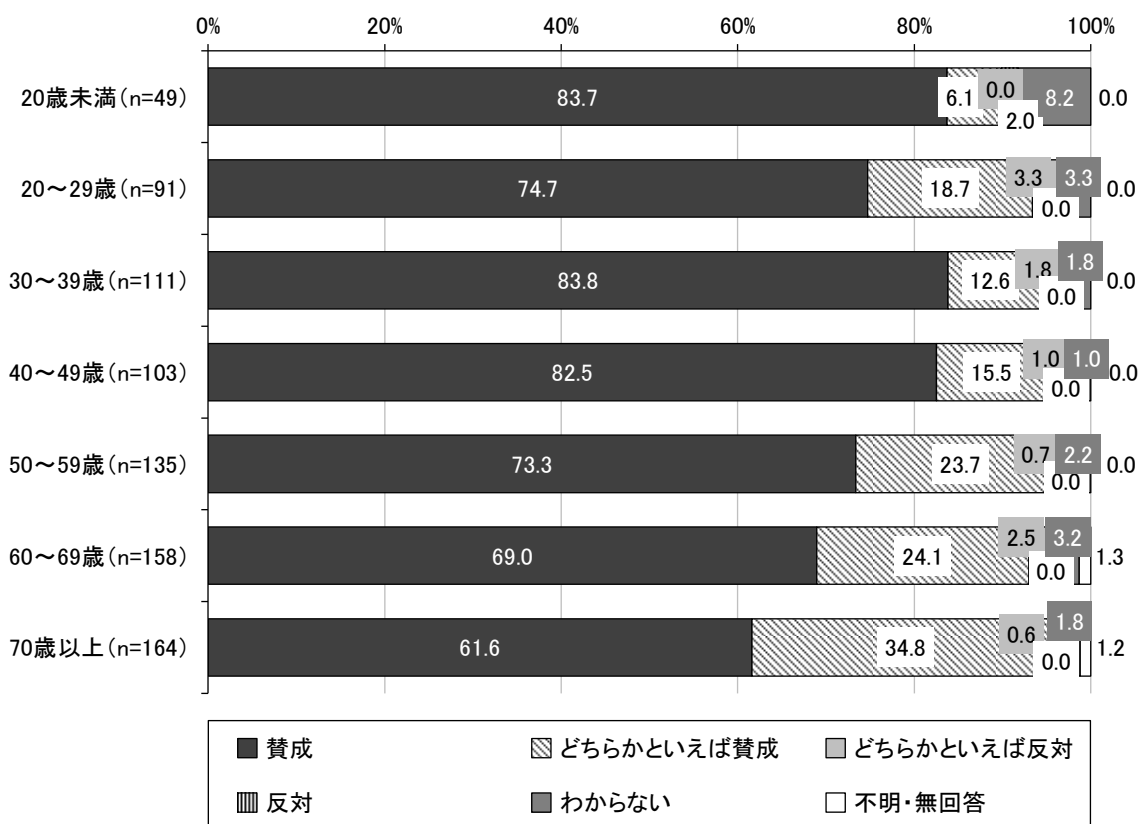
性別でみると、男女ともに「賛成」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「賛成」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

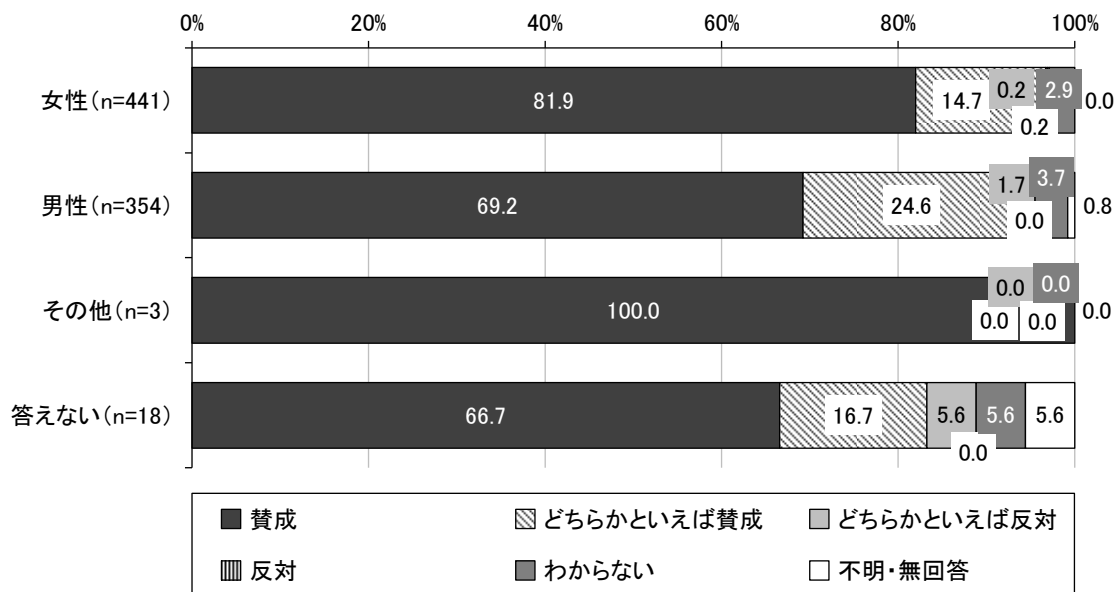


「③ 性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい」

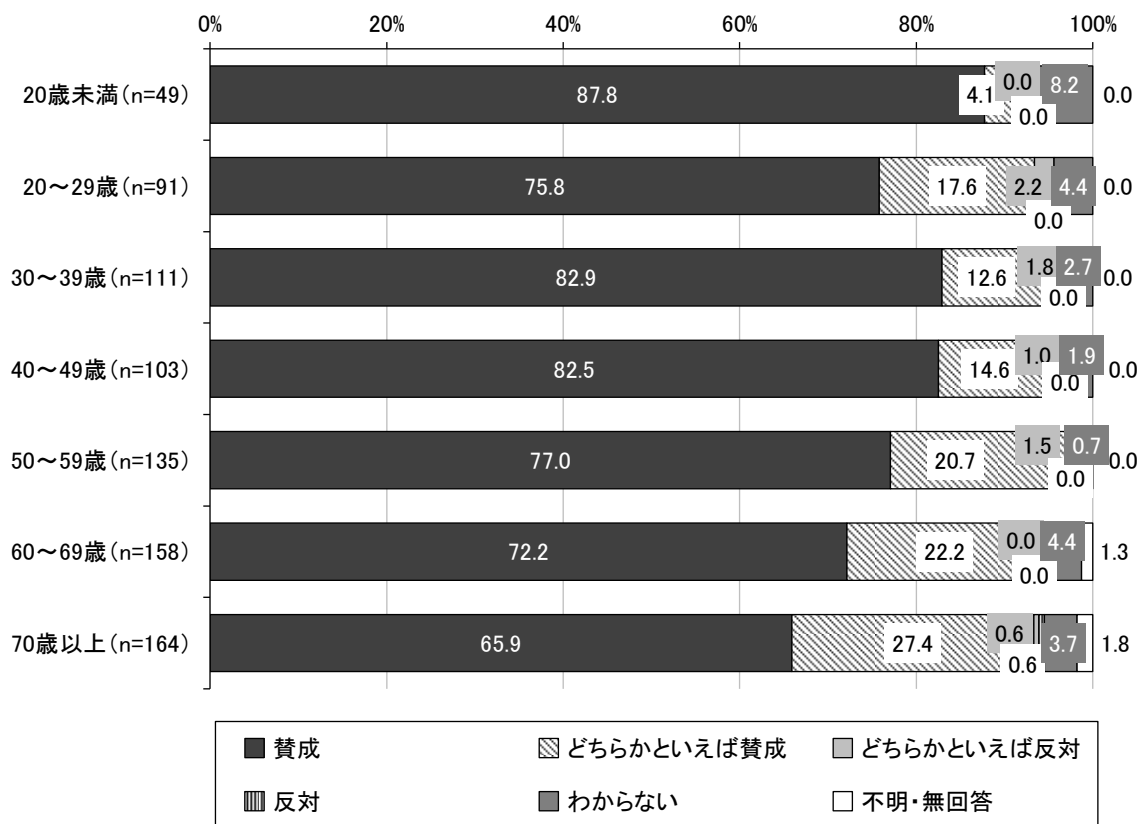
性別で見ると、男女ともに「賛成」が最も高くなっています。

年代別で見ると、すべての年代で「賛成」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

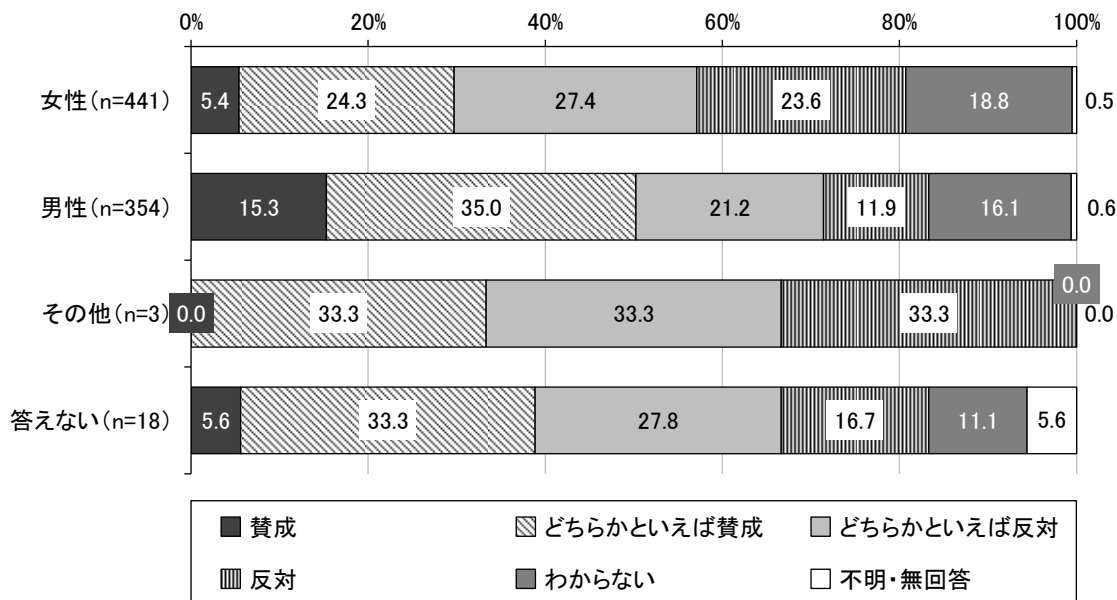


「④ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつける（育てる）のがよい」

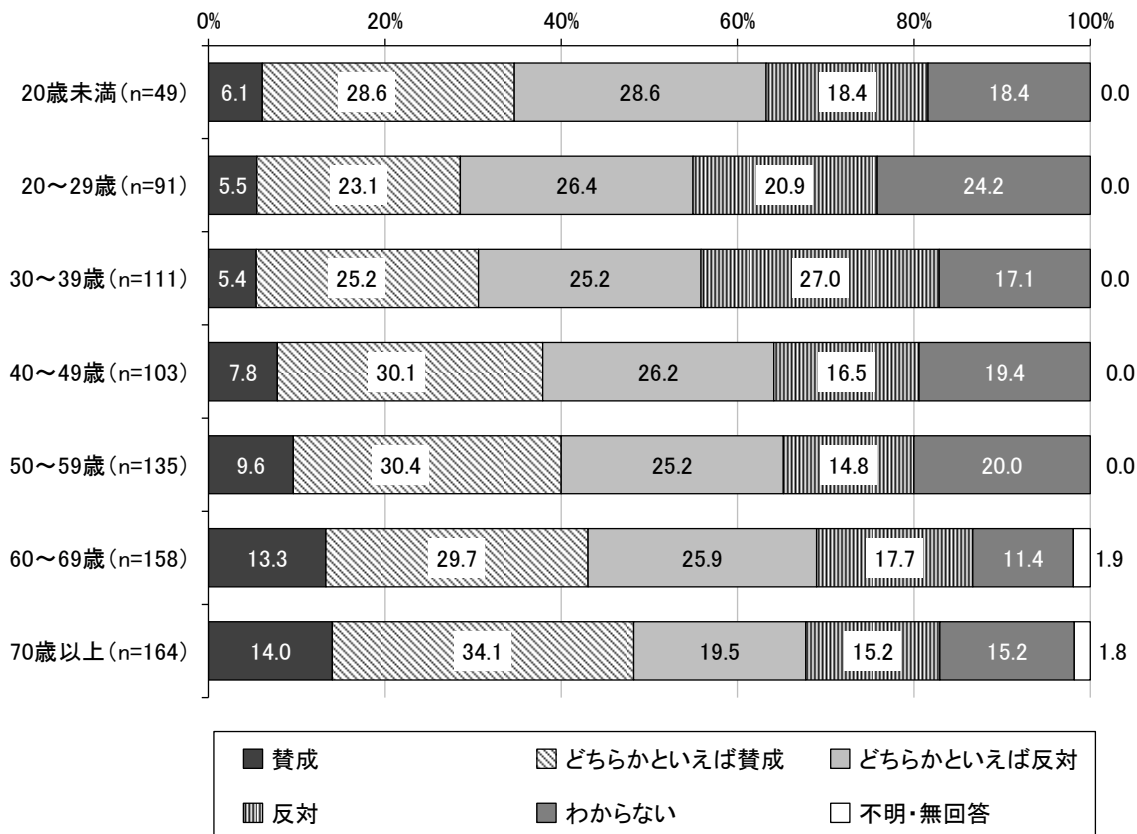
性別でみると、女性では「どちらかといえば反対」、男性では「どちらかといえば賛成」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「どちらかといえば賛成」「どちらかといえば反対」、20～29歳では「どちらかといえば反対」、30～39歳では「反対」、それ以外の年代では「どちらかといえば賛成」が最も高くなっています。

【性別】



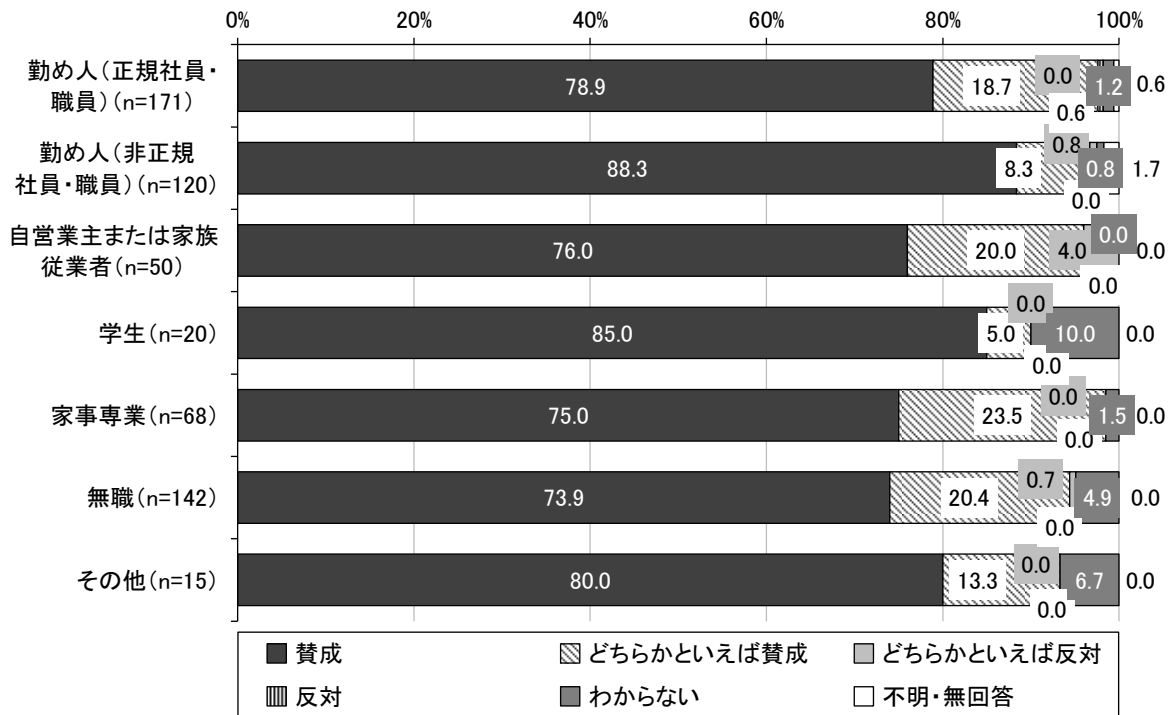
【年代別】



【職業別】

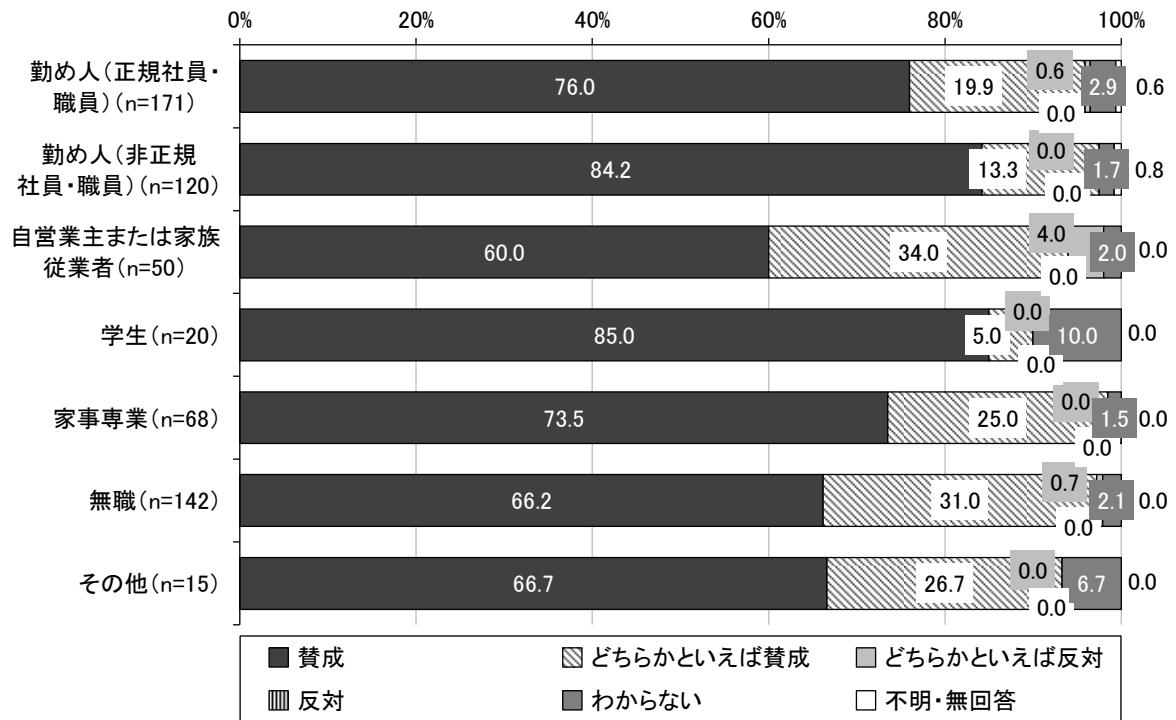
≪① 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい≫

職業別でみると、すべての職業で「賛成」が最も高くなっています。



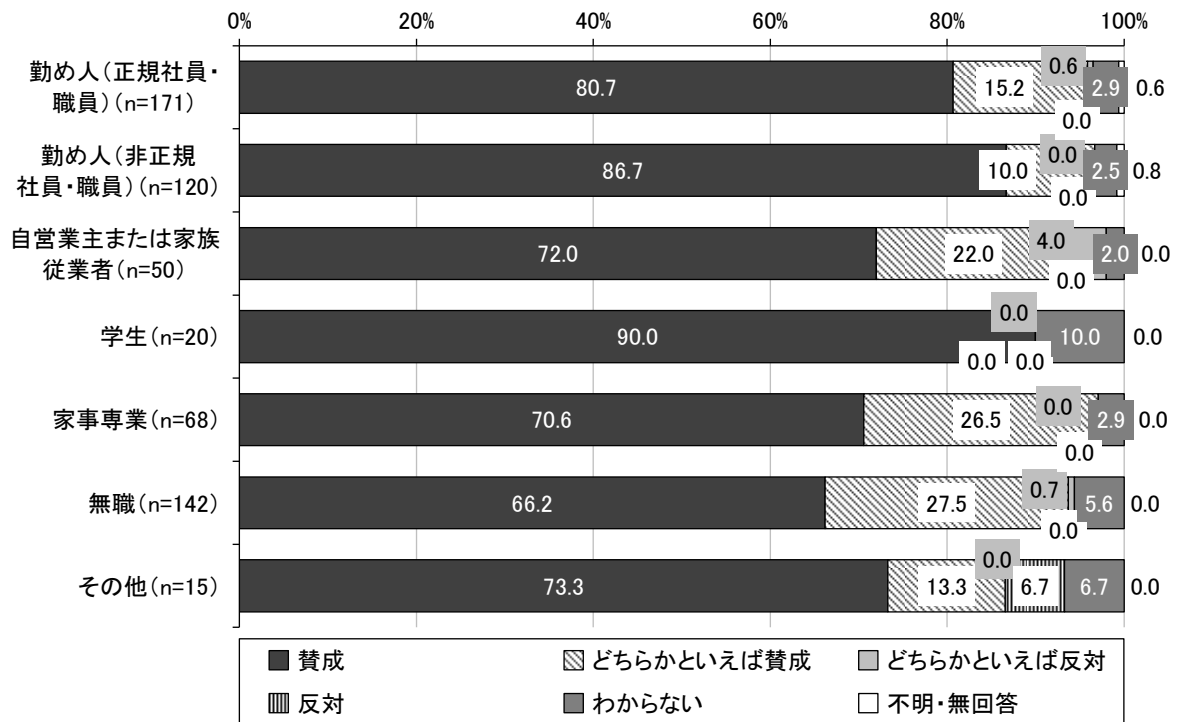
「② 性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい」

職業別でみると、すべての職業で「賛成」が最も高くなっています。



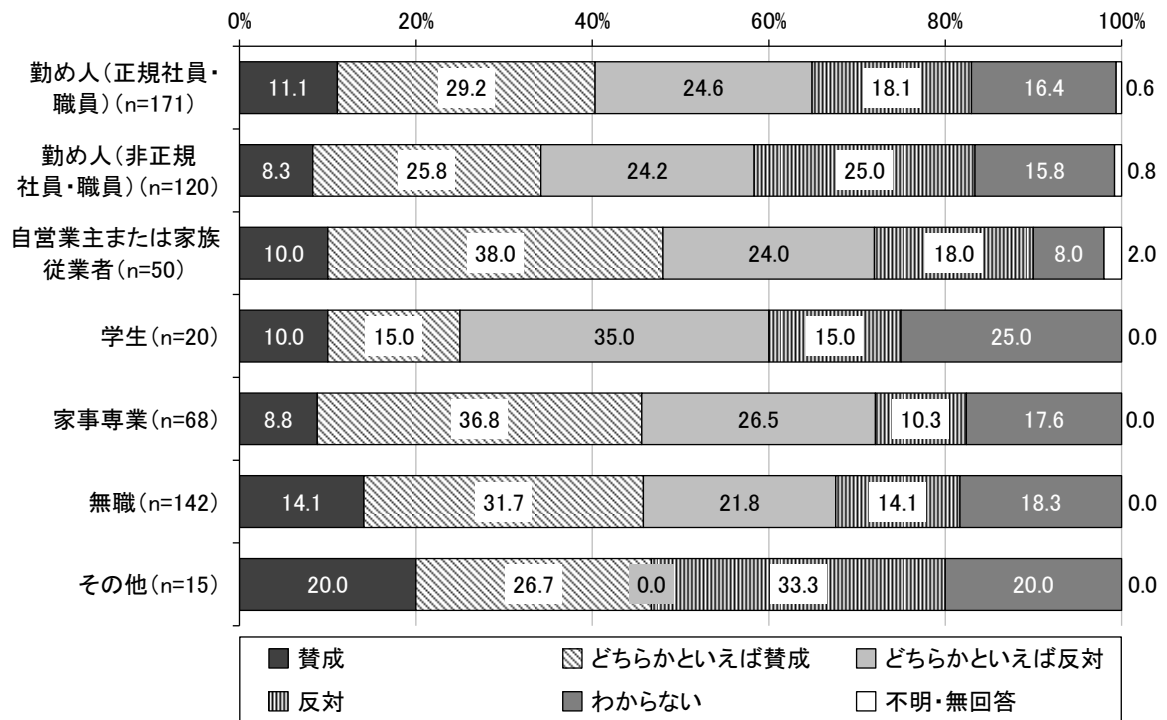
「③ 性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい」

職業別でみると、すべての職業で「賛成」が最も高くなっています。



「④ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく、しつける（育てる）のがよい」

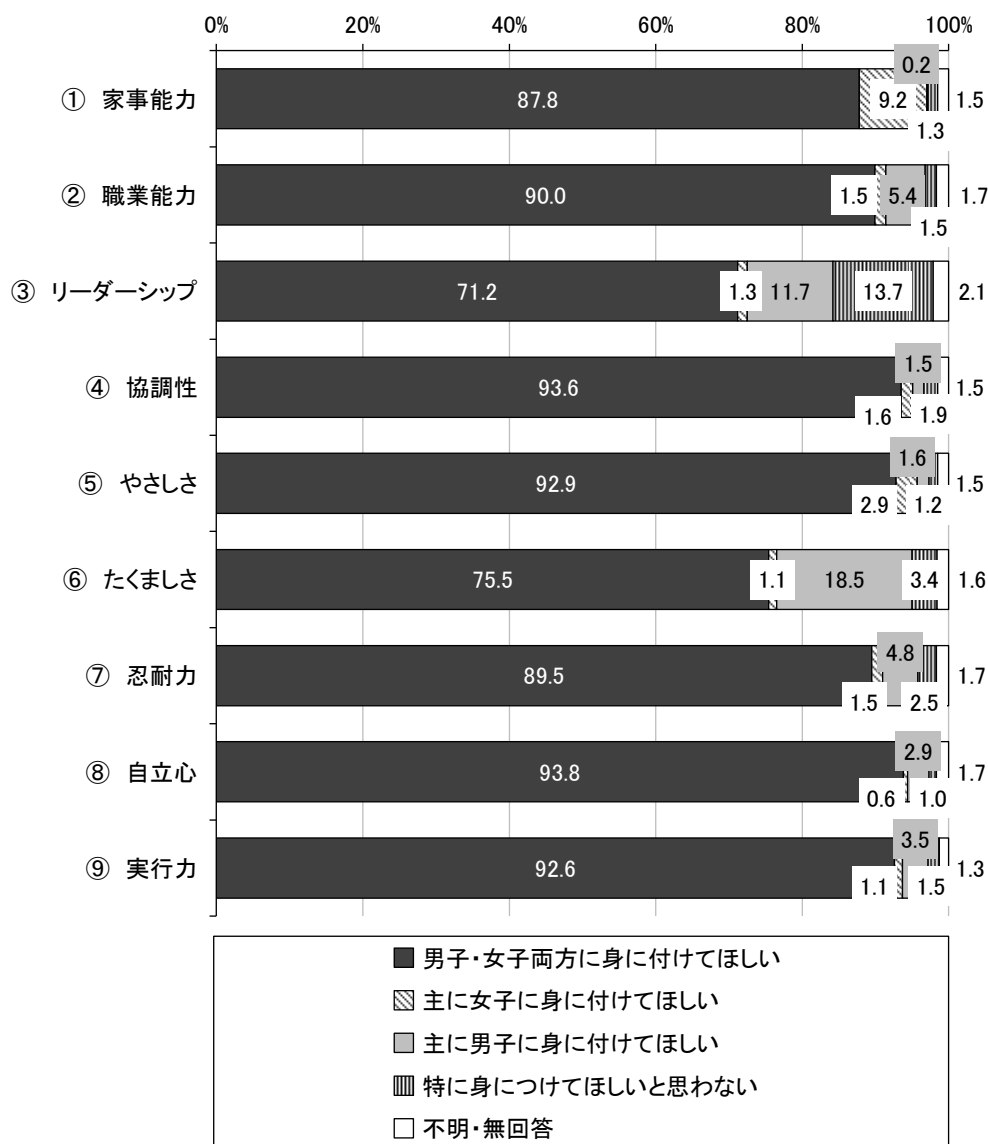
職業別でみると、学生では、「どちらかといえば反対」、その他では「反対」が最も高くなっています。



問 15 あなたは、お子さんにどのような能力や個性を期待しますか。お子さんがいない方も、子どもがいると仮定してお答えください。(①から⑨の項目ごとに、1つに○)

お子さんに期待する能力や個性についてみると、すべての項目において「男子・女子両方に身に付けてほしい」が7割以上と最も高くなっています。一方、「主に女子に身に付けてほしい」が〔①家事能力〕、「主に男子に身に付けてほしい」が〔⑥たくましさ〕〔③リーダーシップ〕で約1割～2割近くと高くなっています。

全体(n=827)

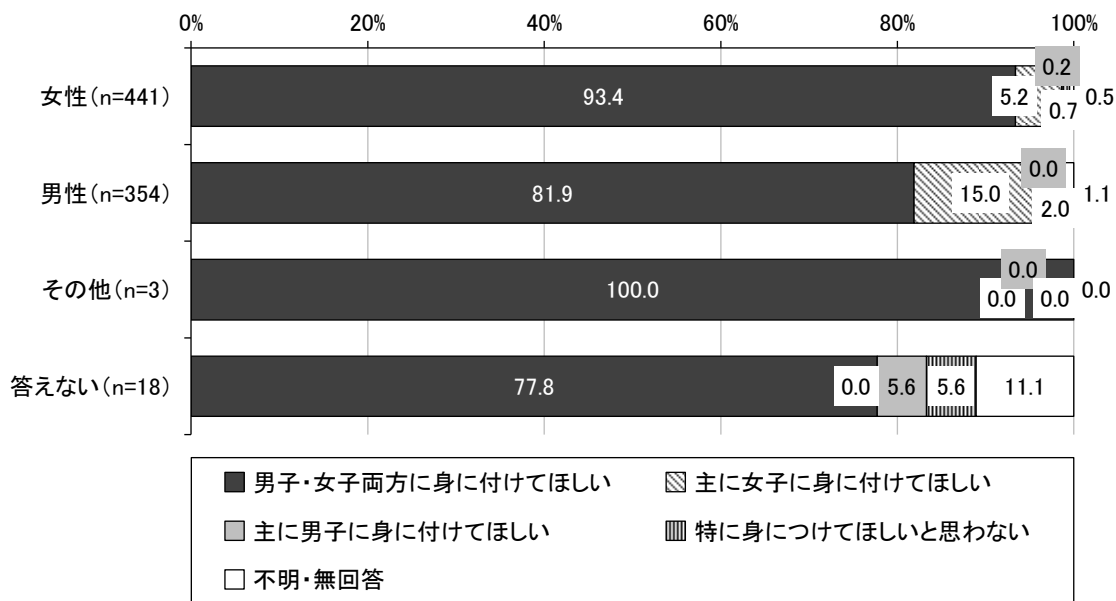


「① 家事能力」

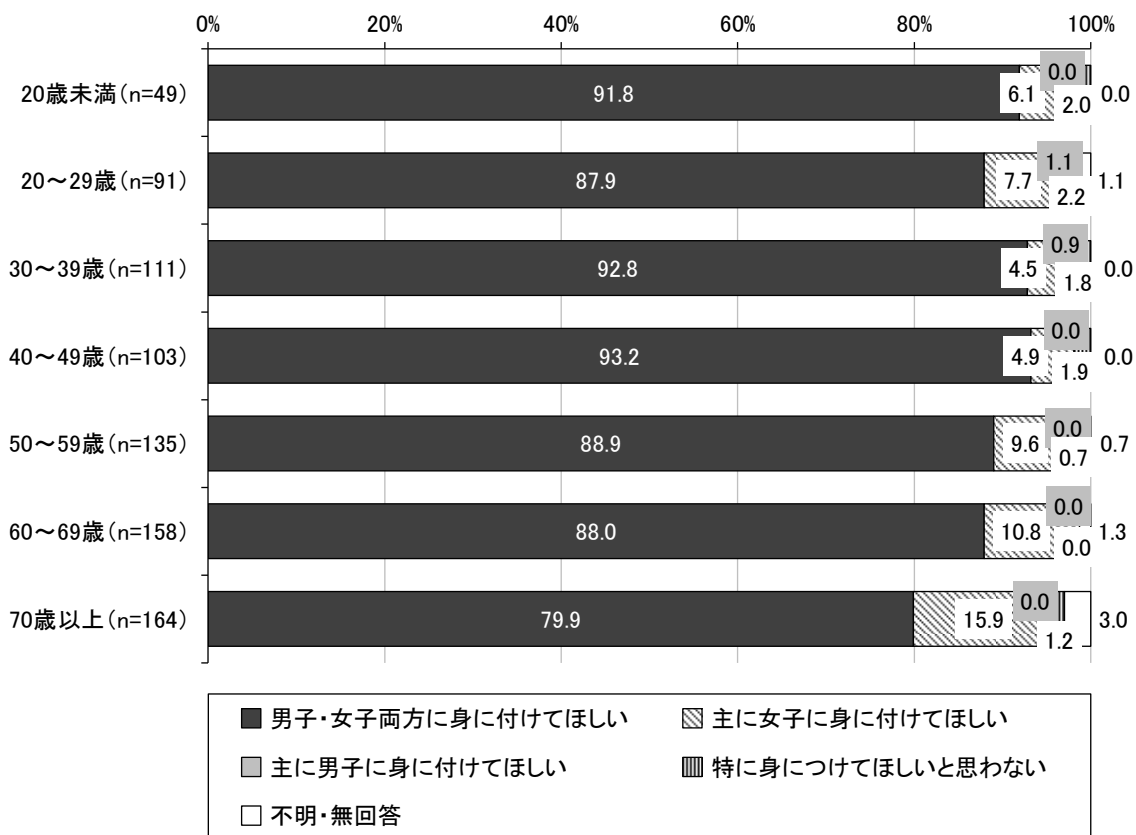
性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

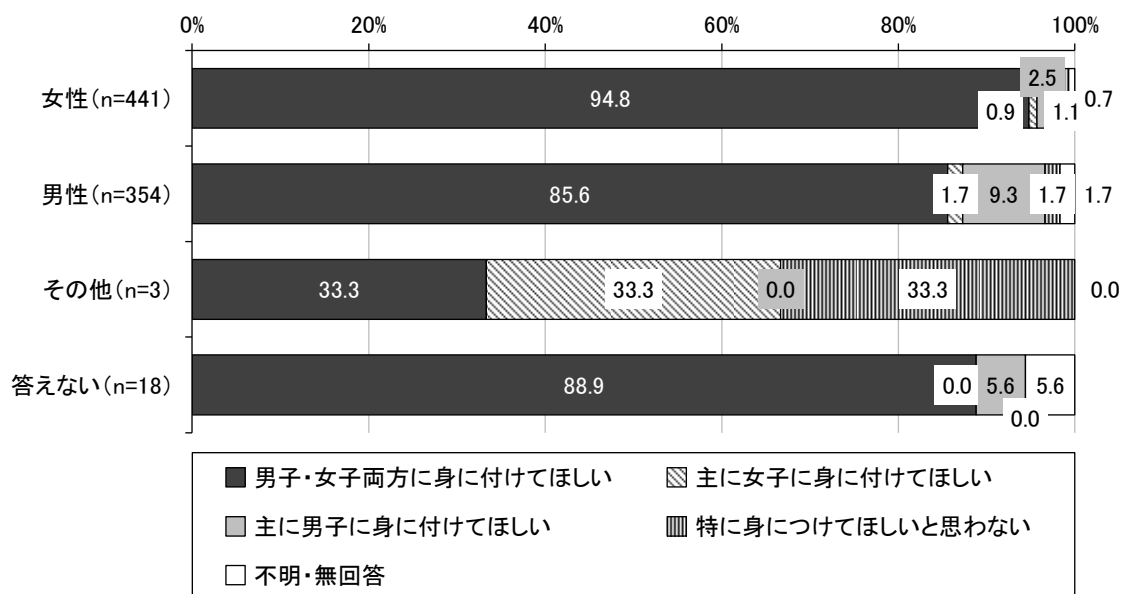


## 《② 職業能力》

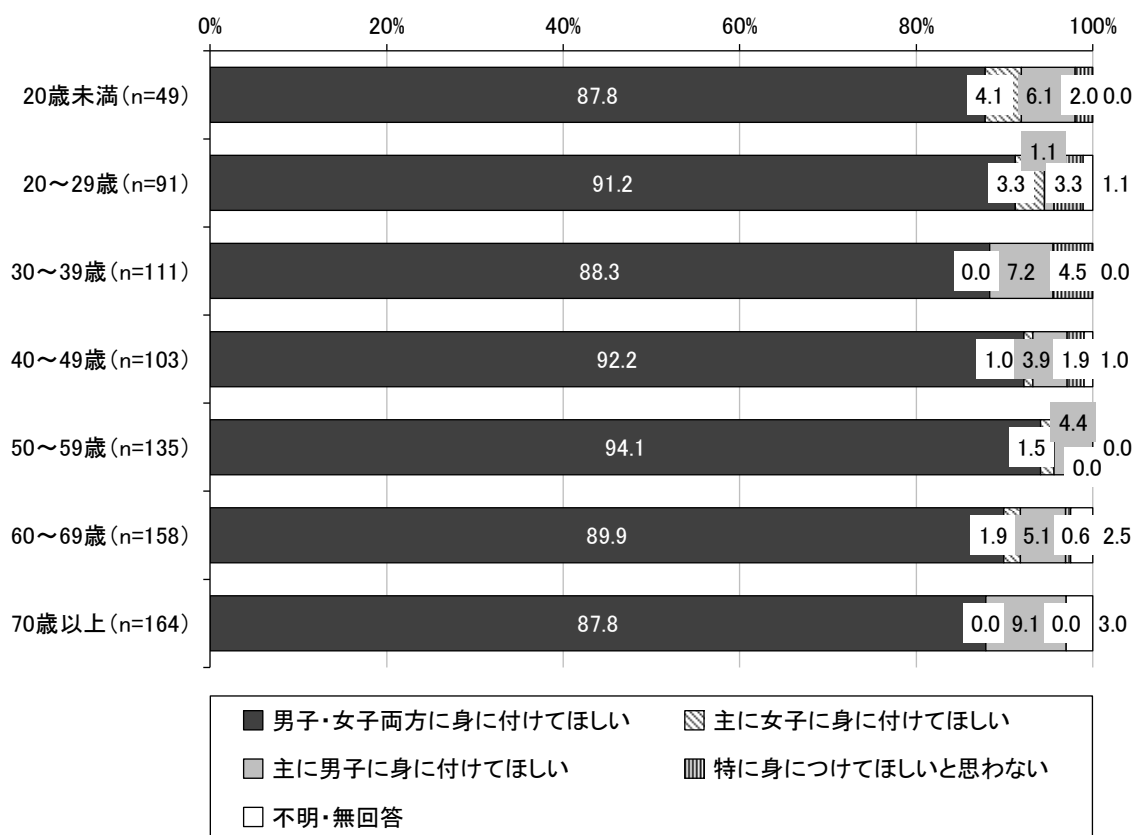
性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

### 【性別】



### 【年代別】

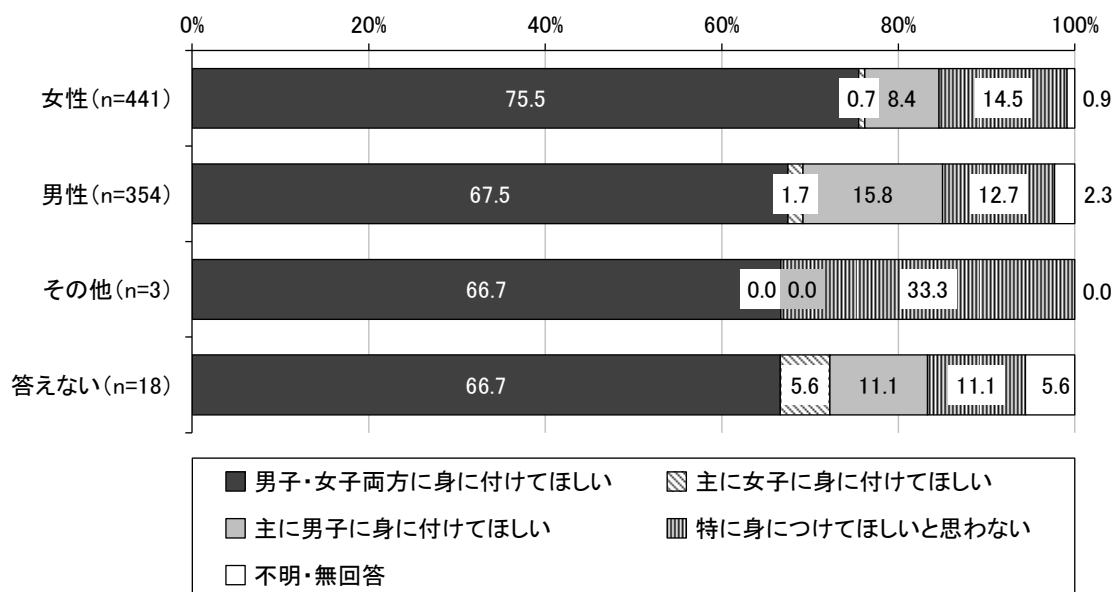


《③ リーダーシップ》

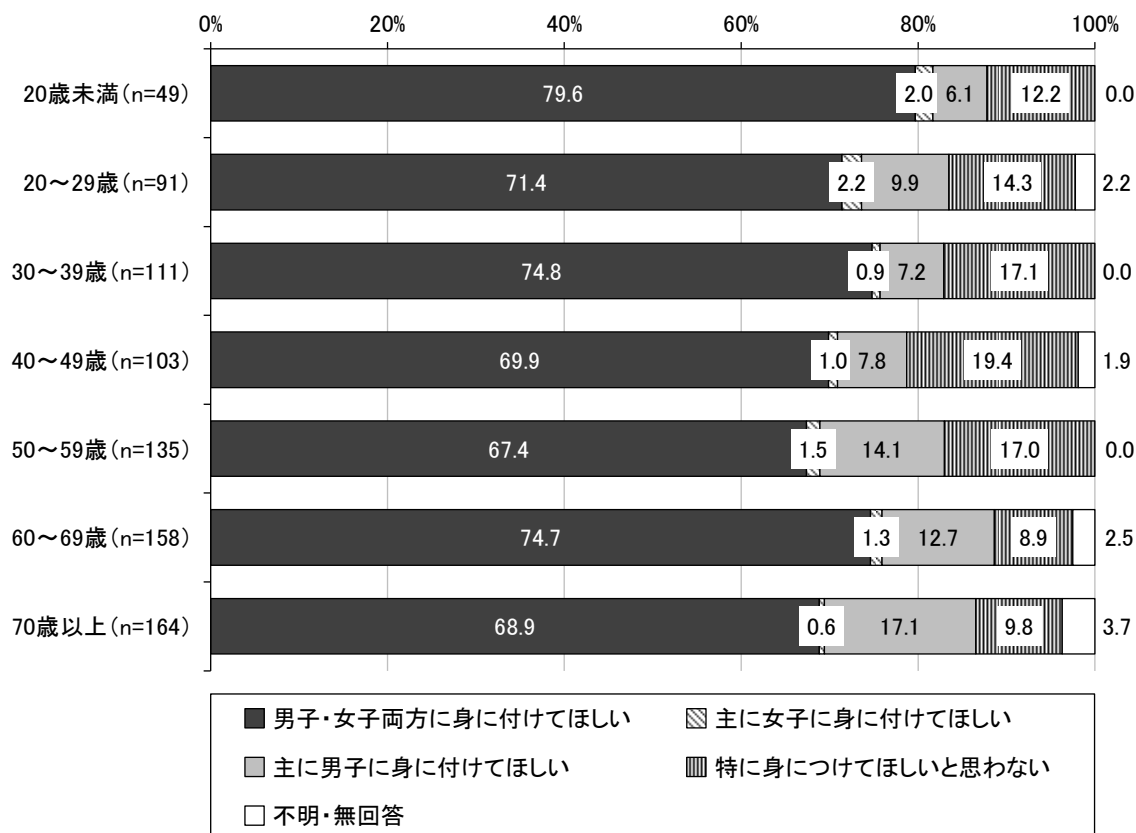
性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



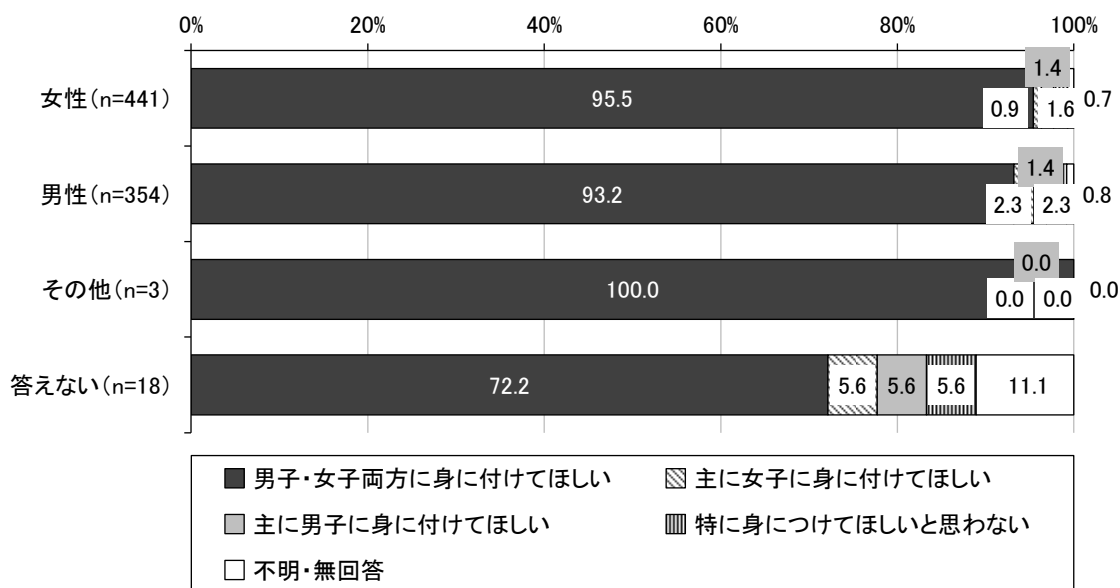
【年代別】



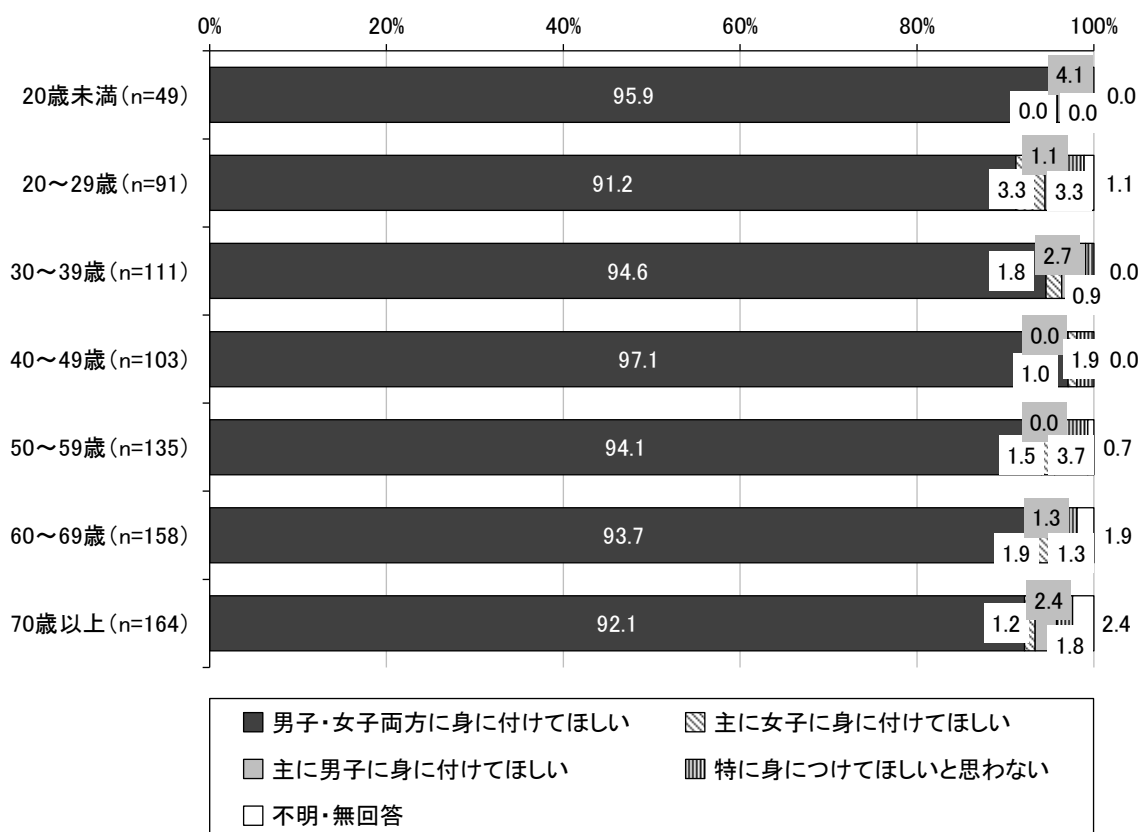
◀④ 協調性▶

性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



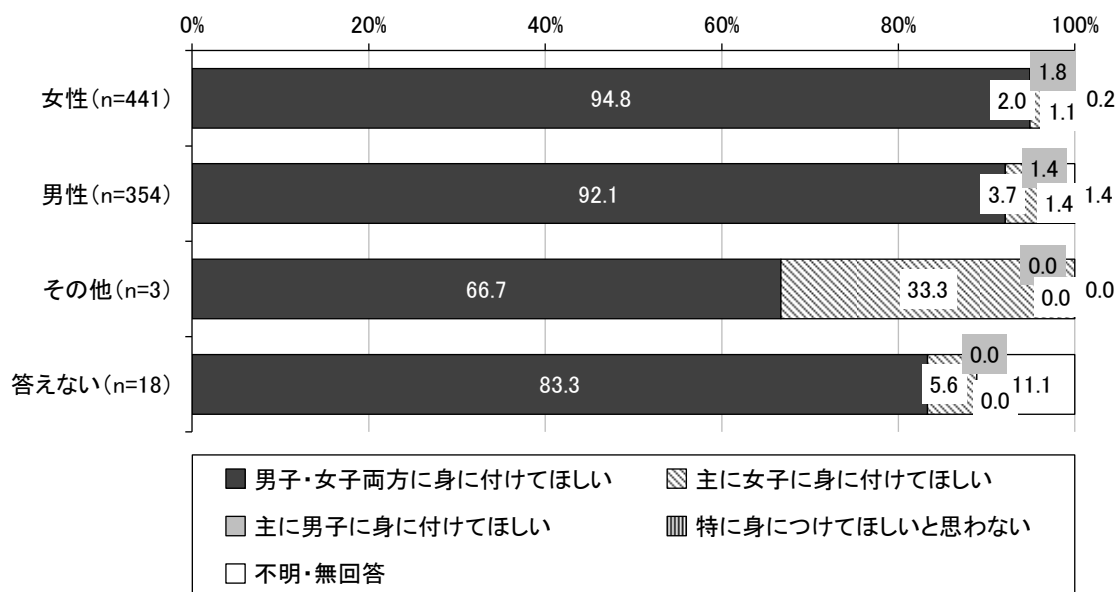
【年代別】



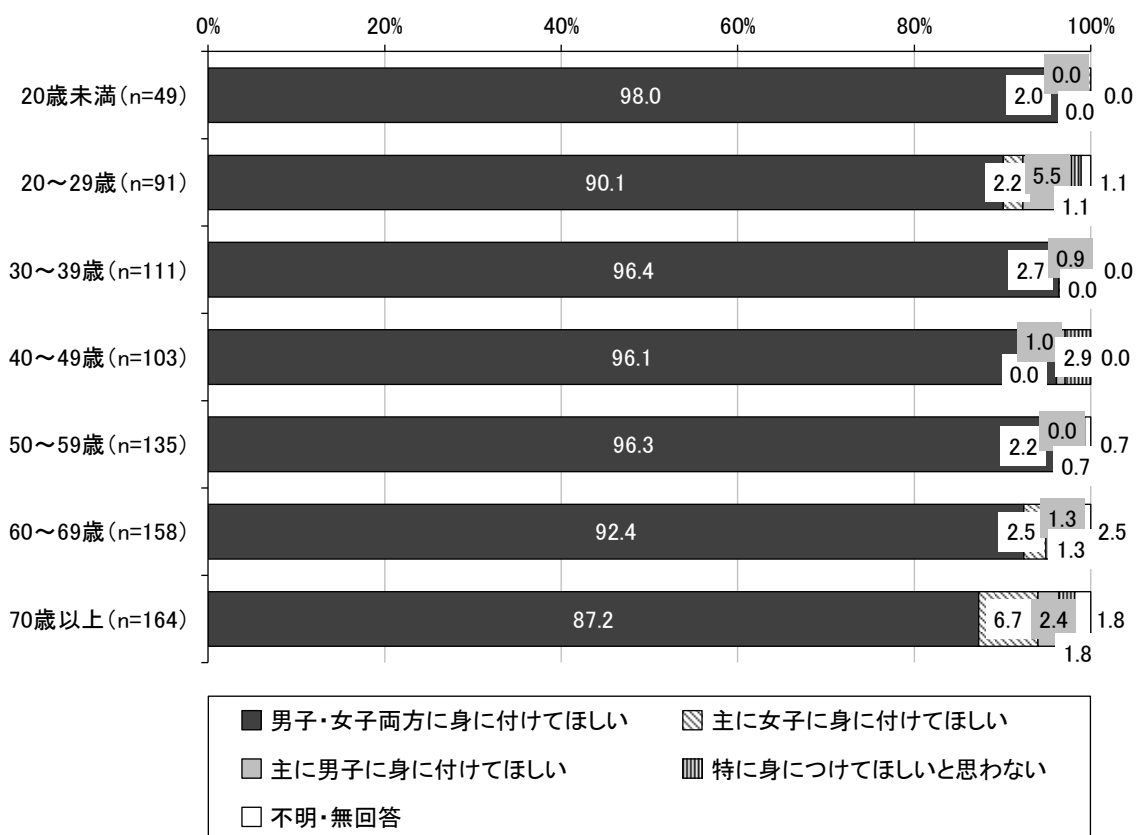
《⑤ やさしさ》

性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



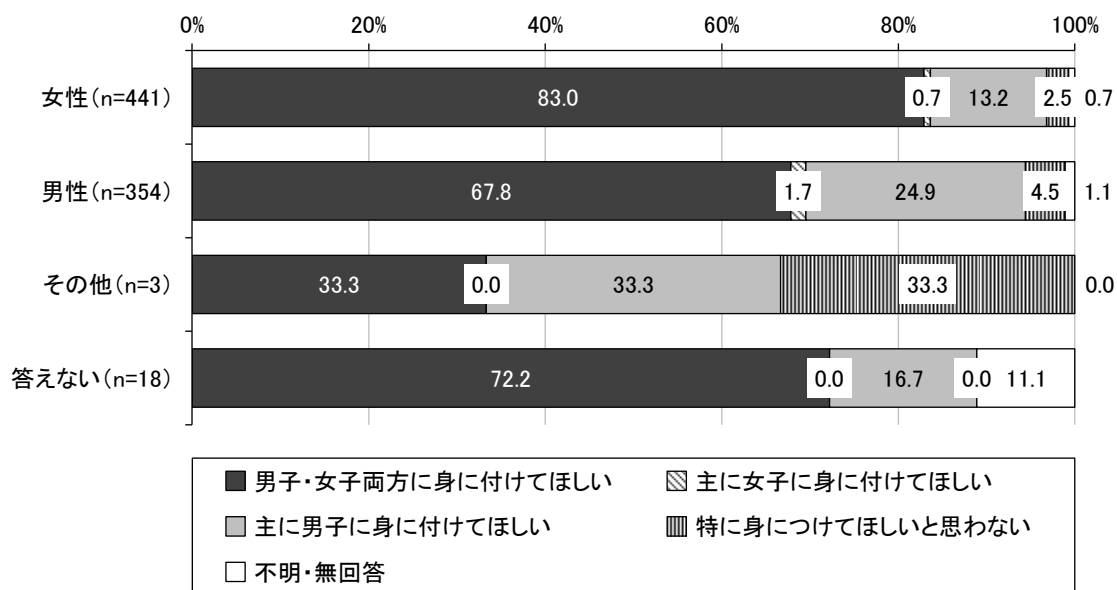
【年代別】



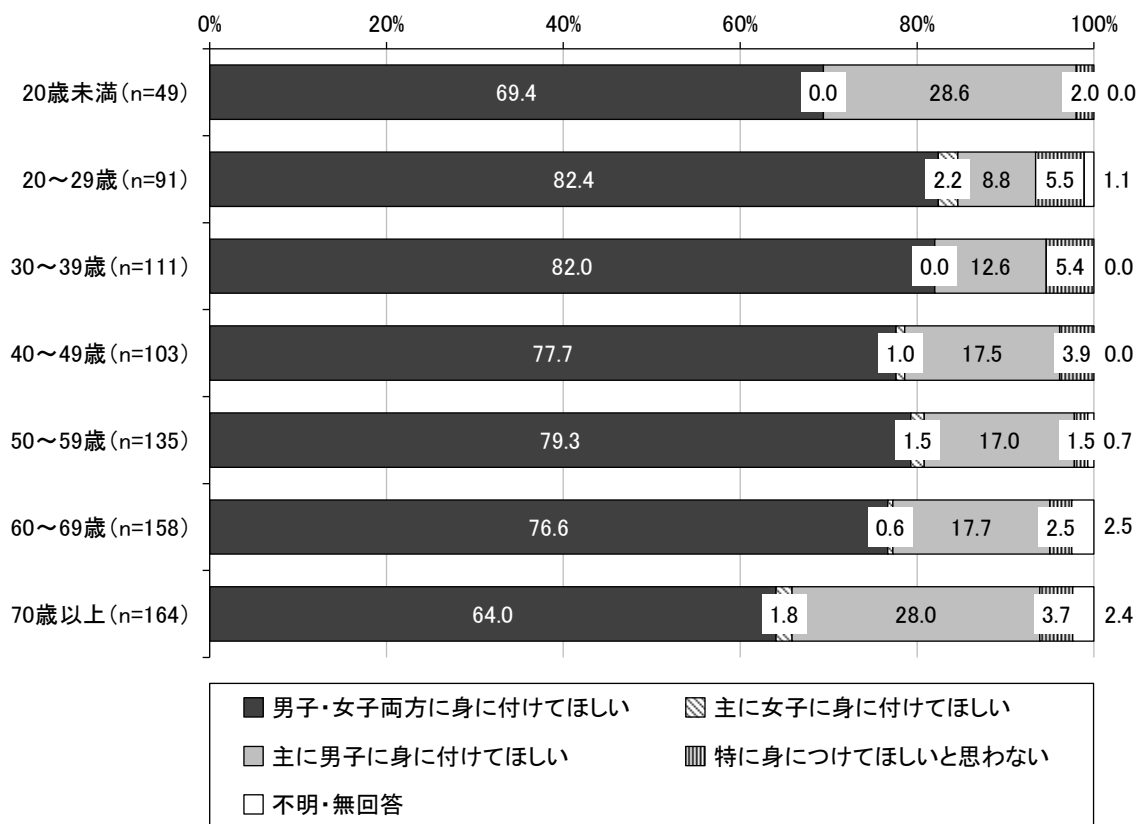
《⑥ たくましさ》

性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



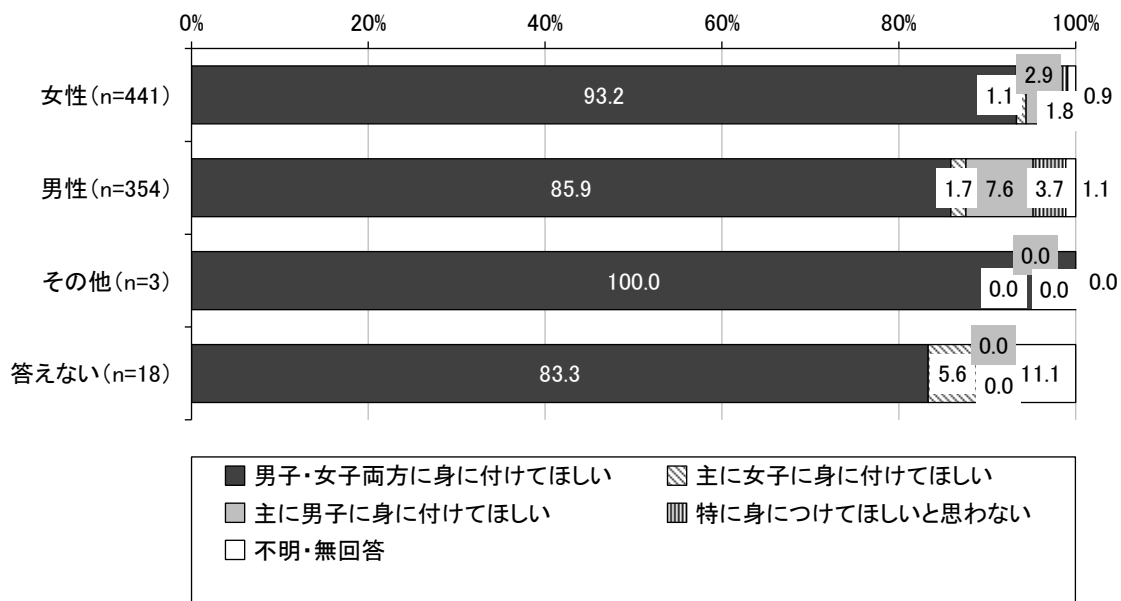
【年代別】



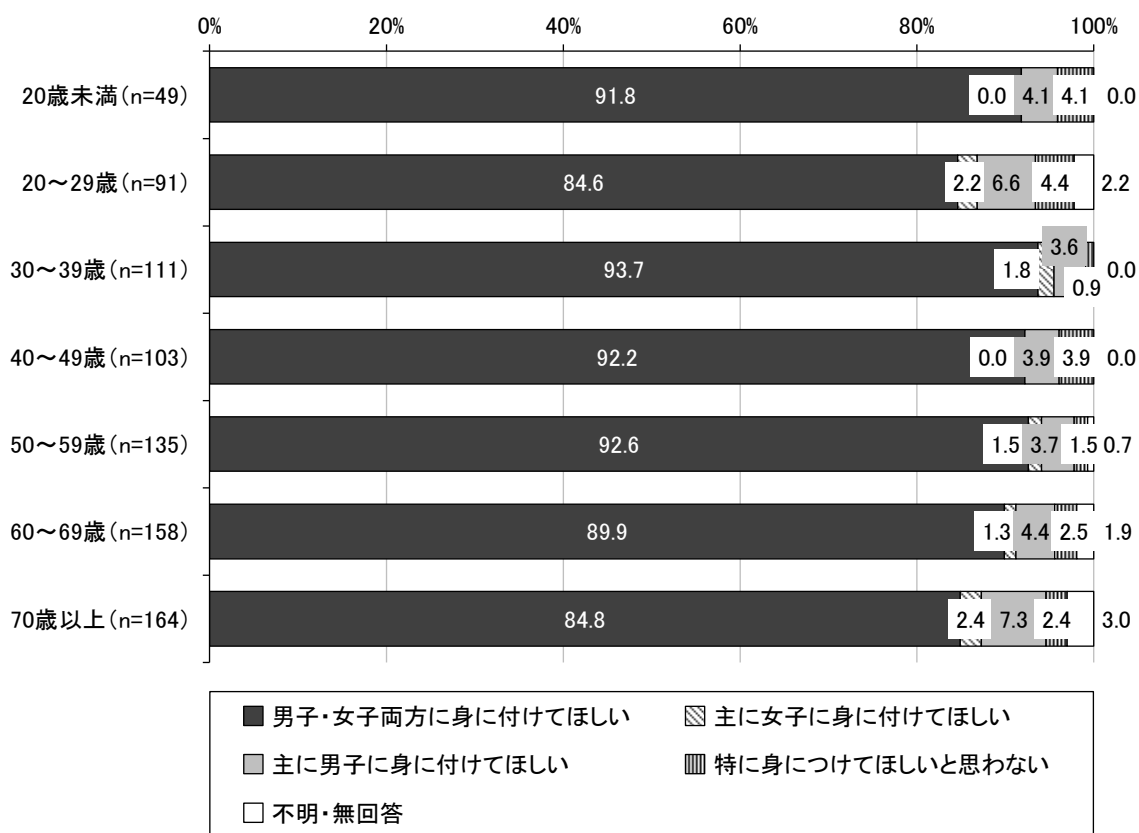
◀⑦ 忍耐力▶

性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



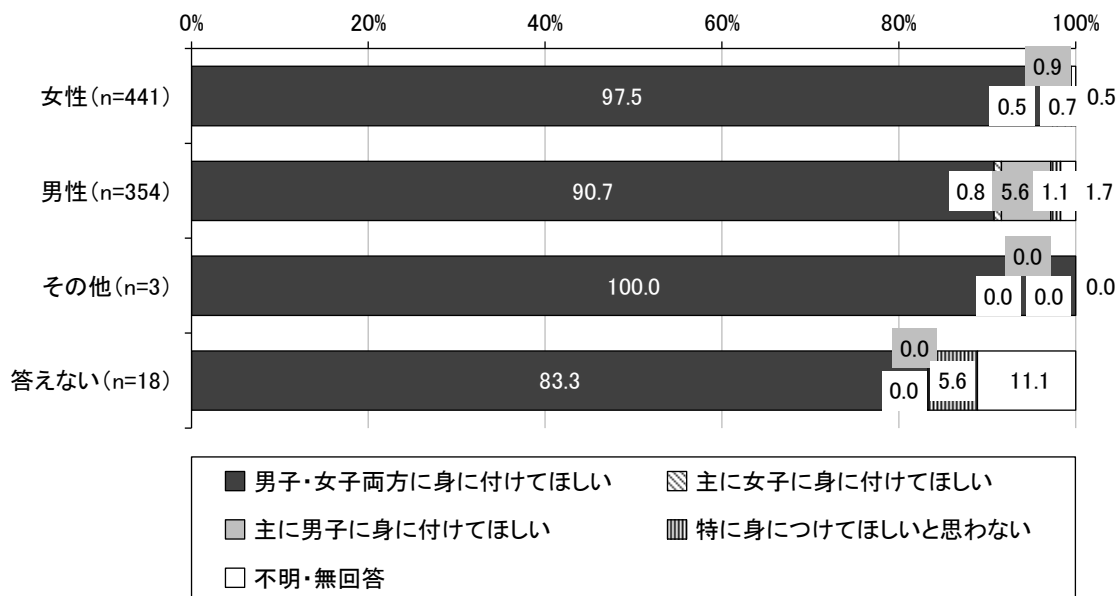
【年代別】



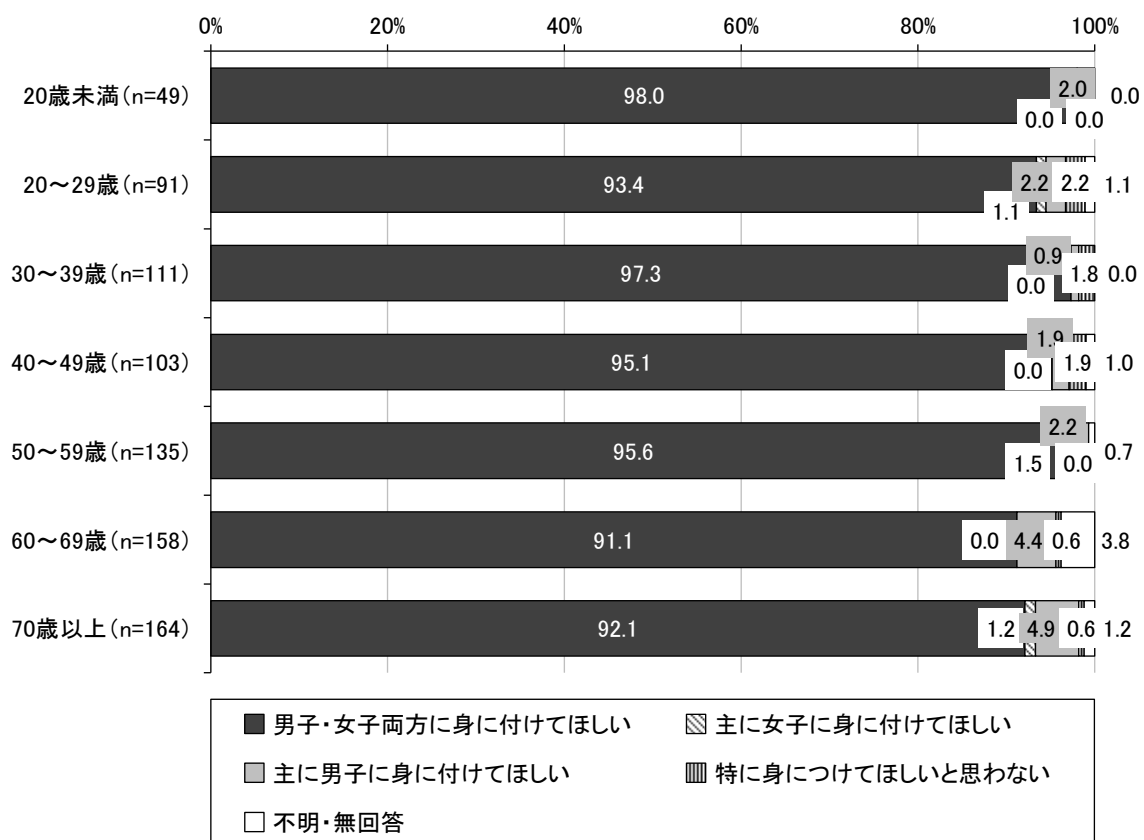
«⑧ 自立心»

性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



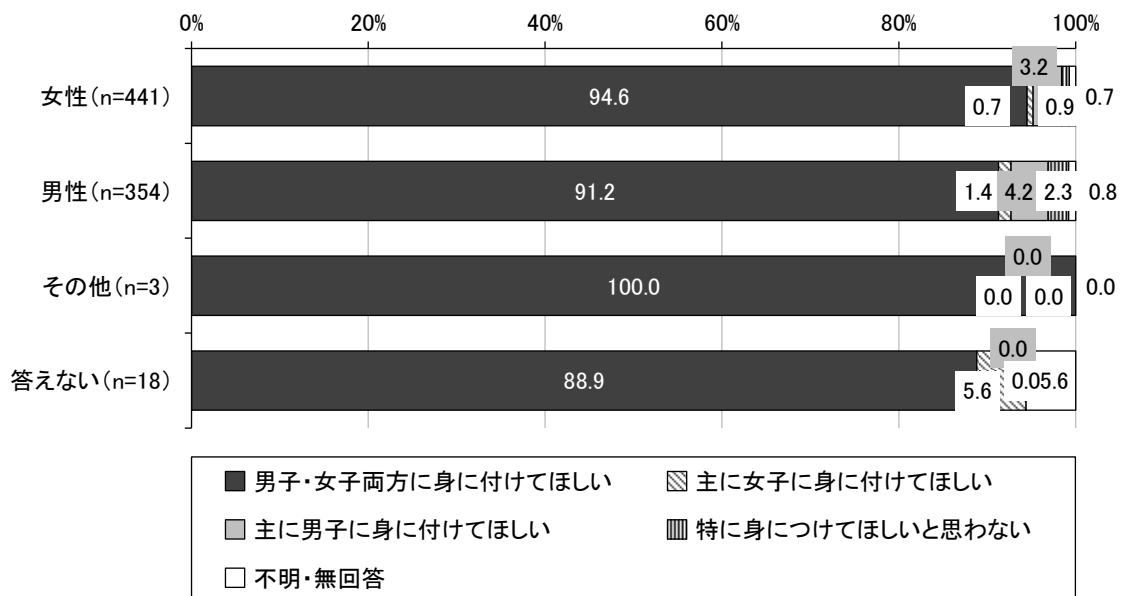
【年代別】



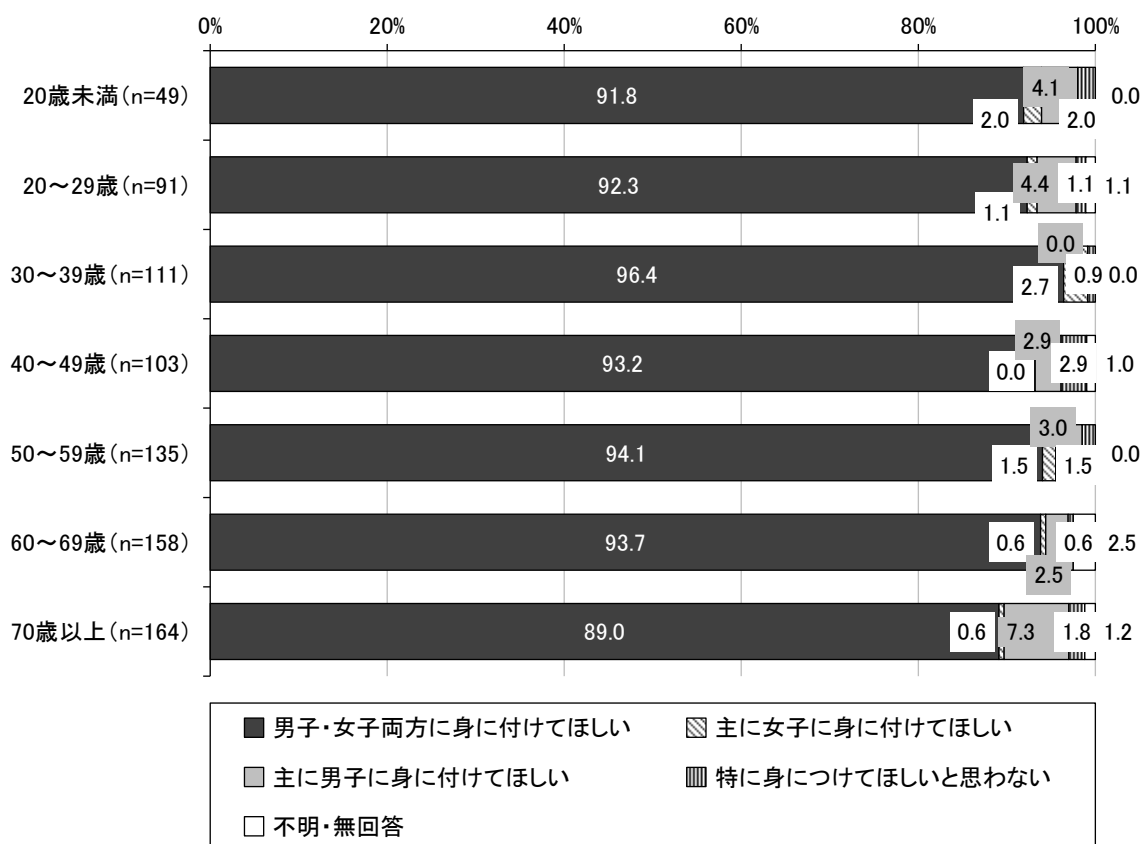
◀⑨ 実行力▶

性別でみると、男女ともに「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

【性別】



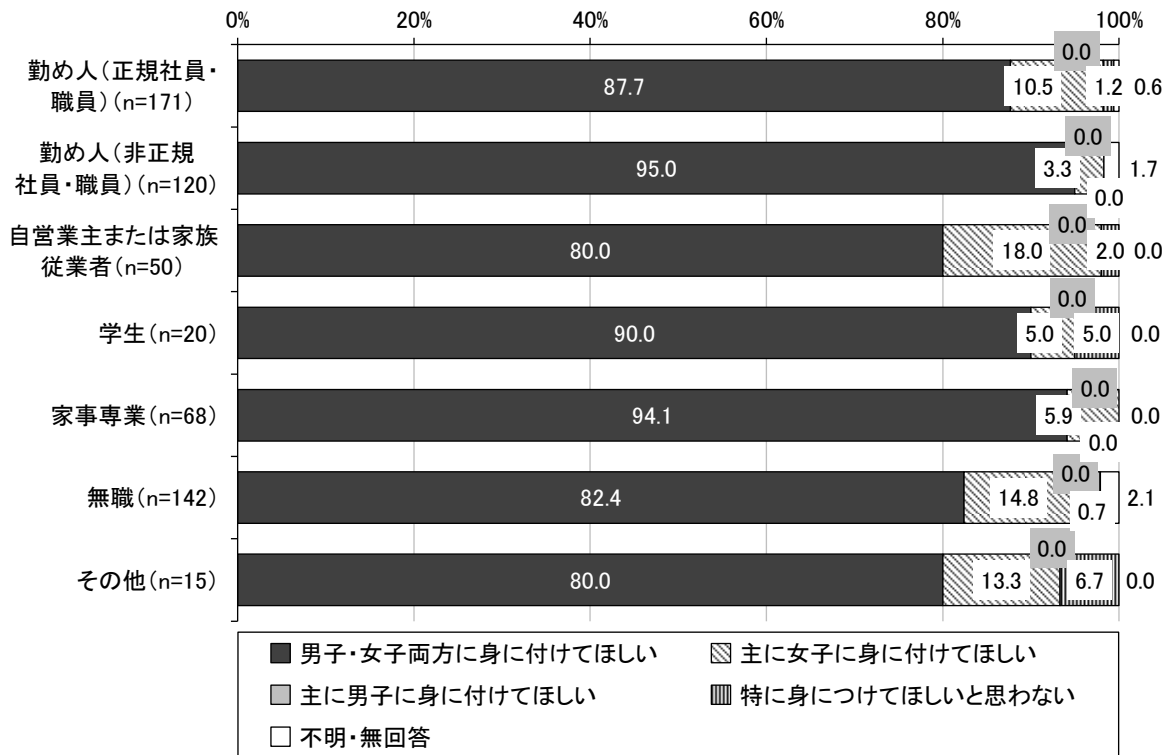
【年代別】



【職業別】

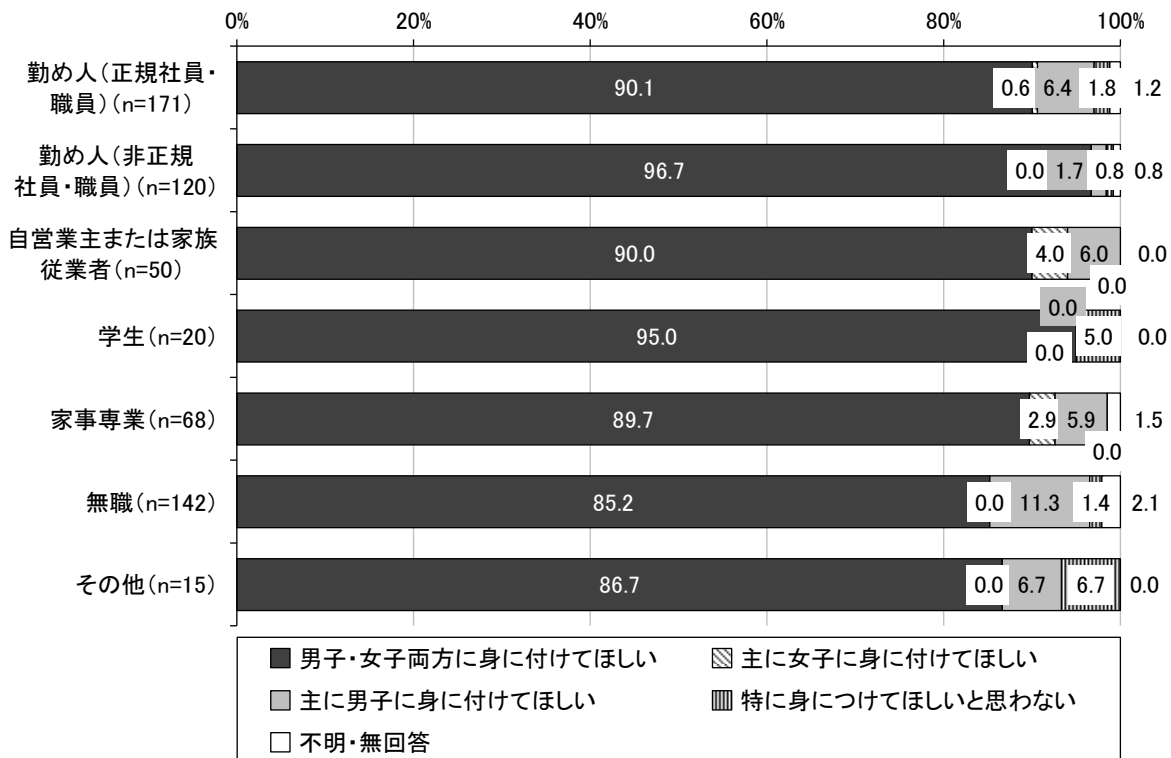
≪① 家事能力≫

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



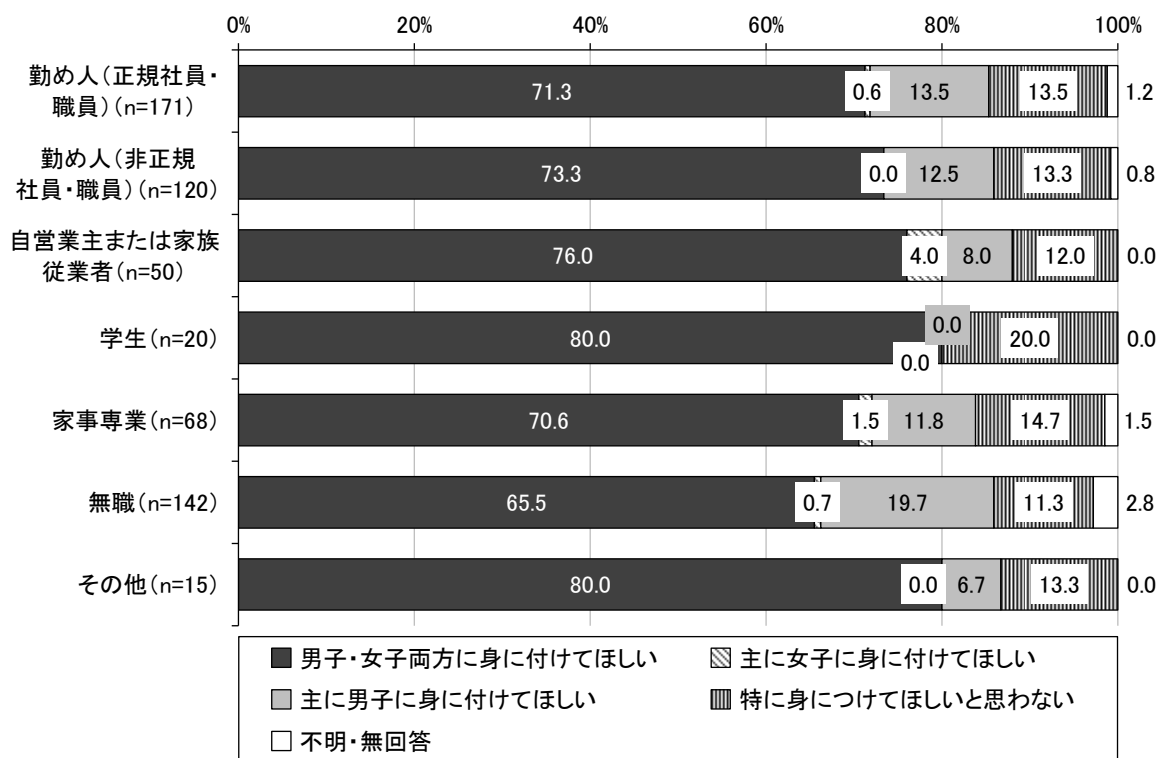
≪② 職業能力≫

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



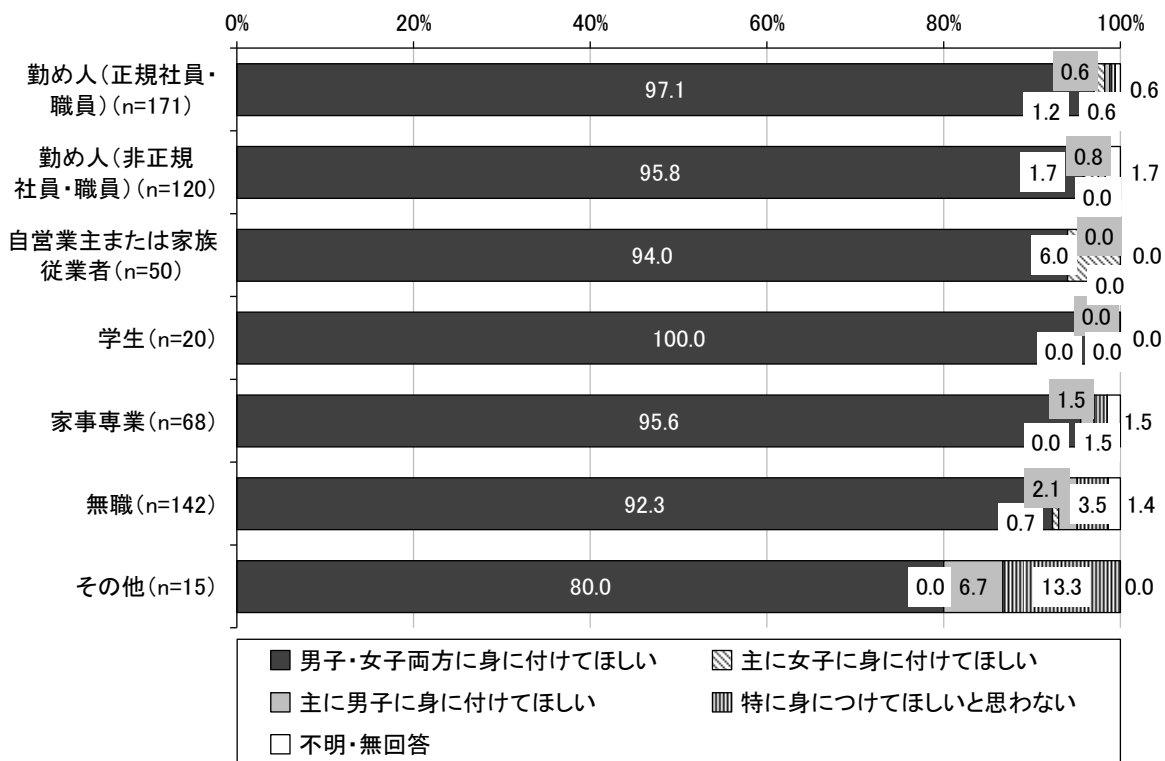
《③ リーダーシップ》

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



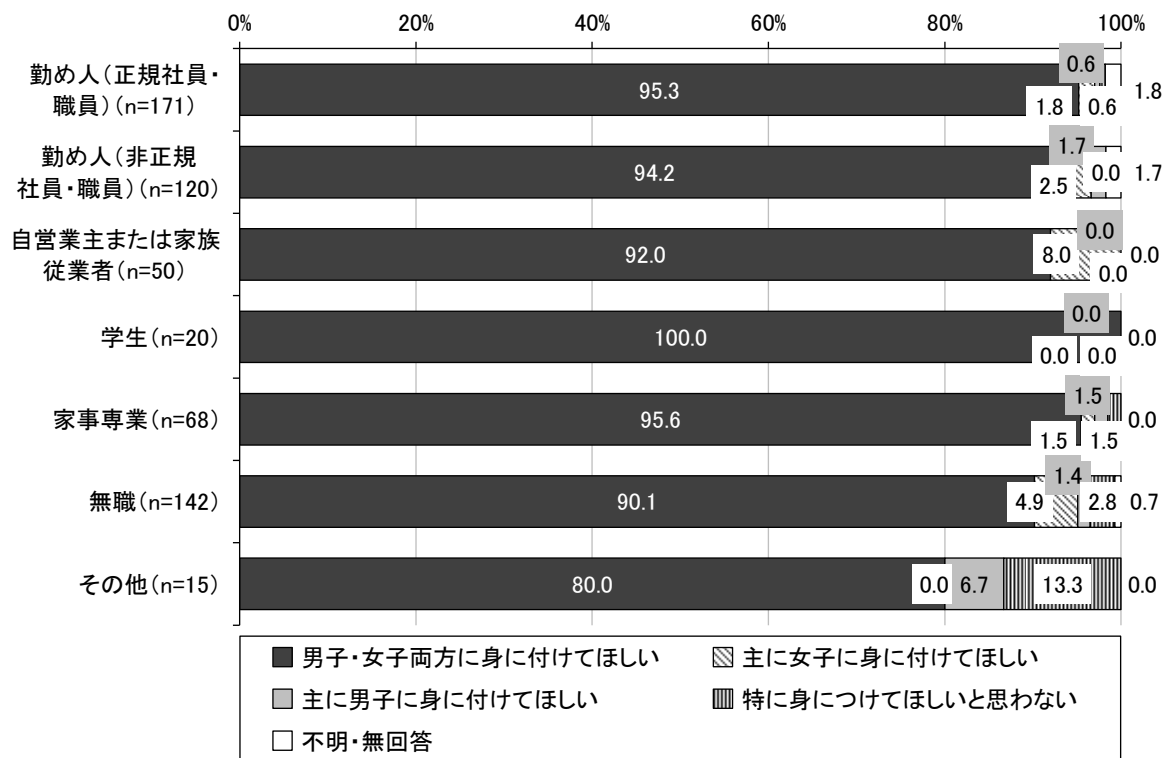
《④ 協調性》

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



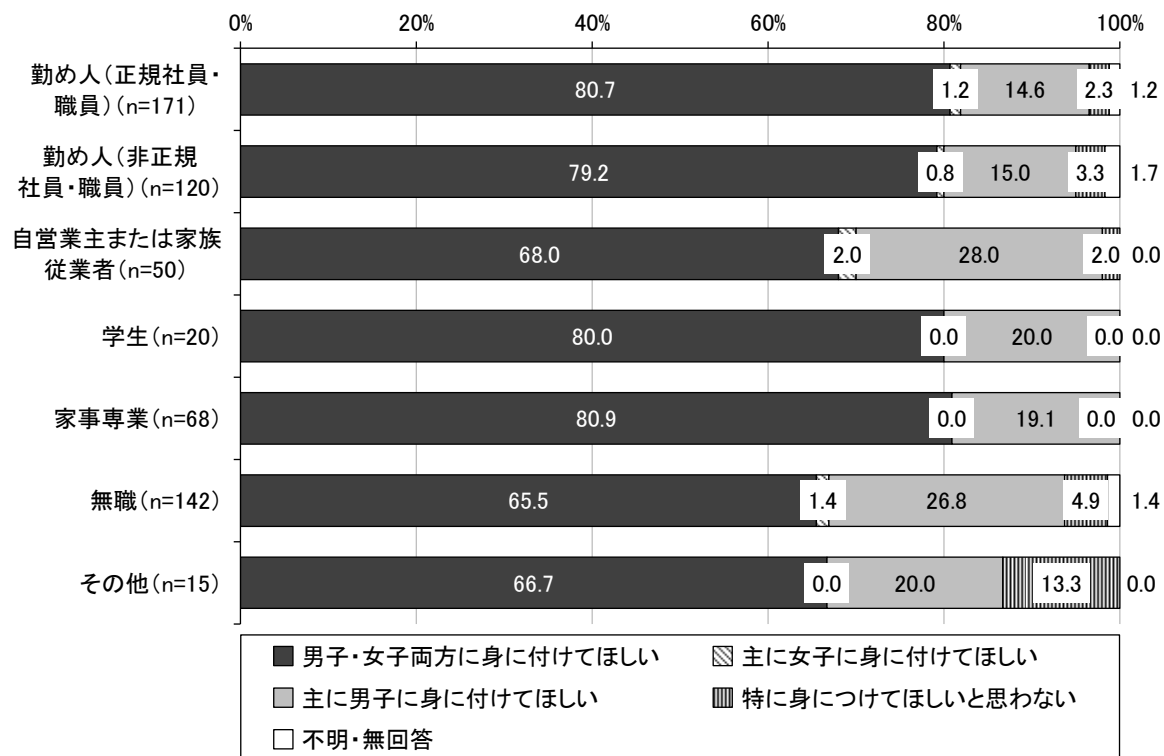
《⑤ やさしさ》

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



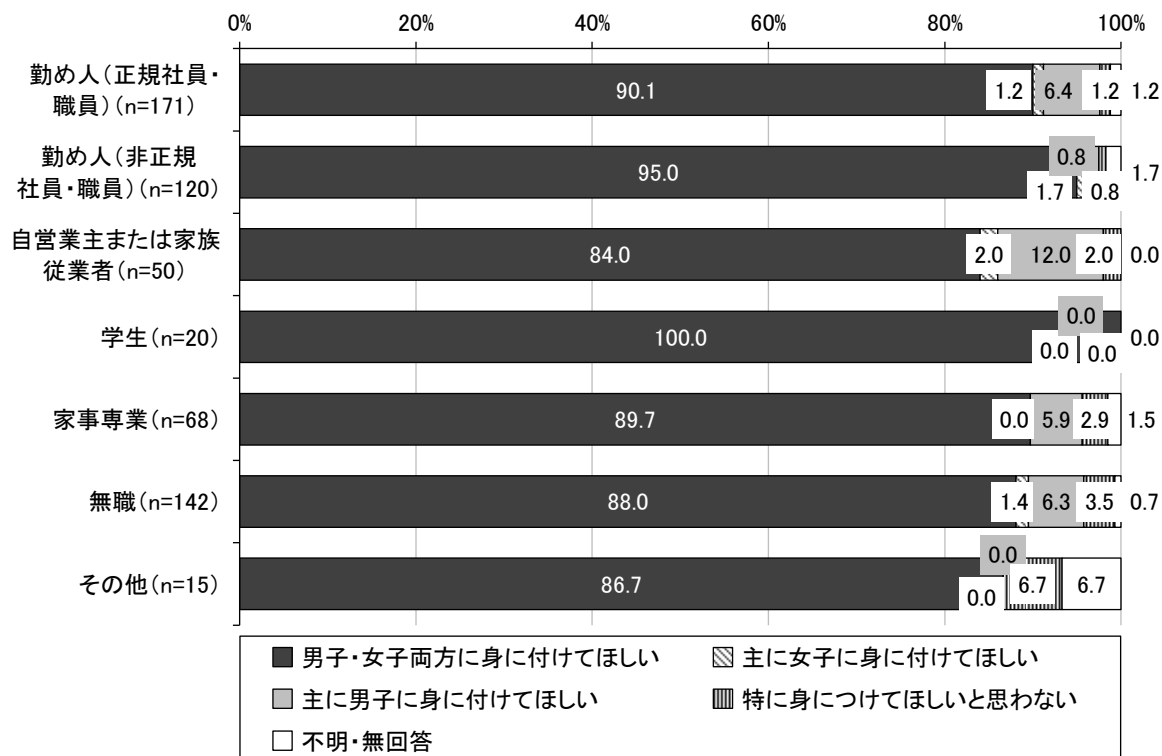
《⑥ たくましさ》

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



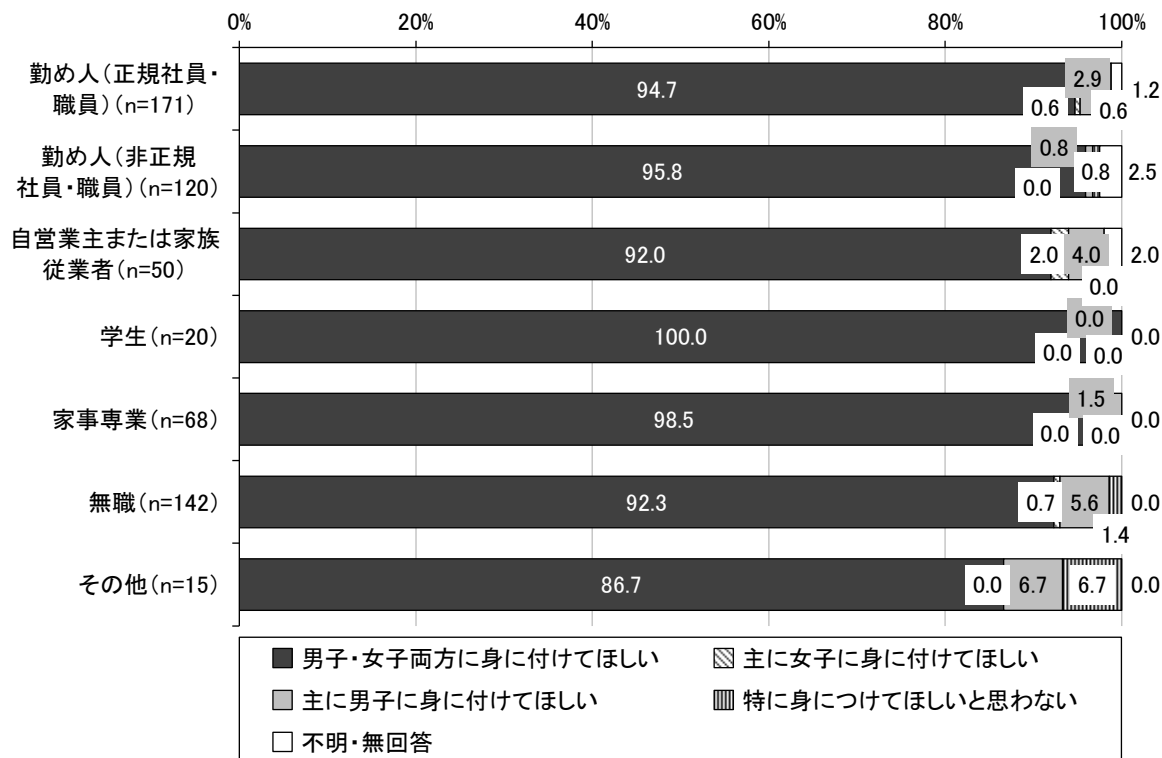
◀⑦ 忍耐力▶

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



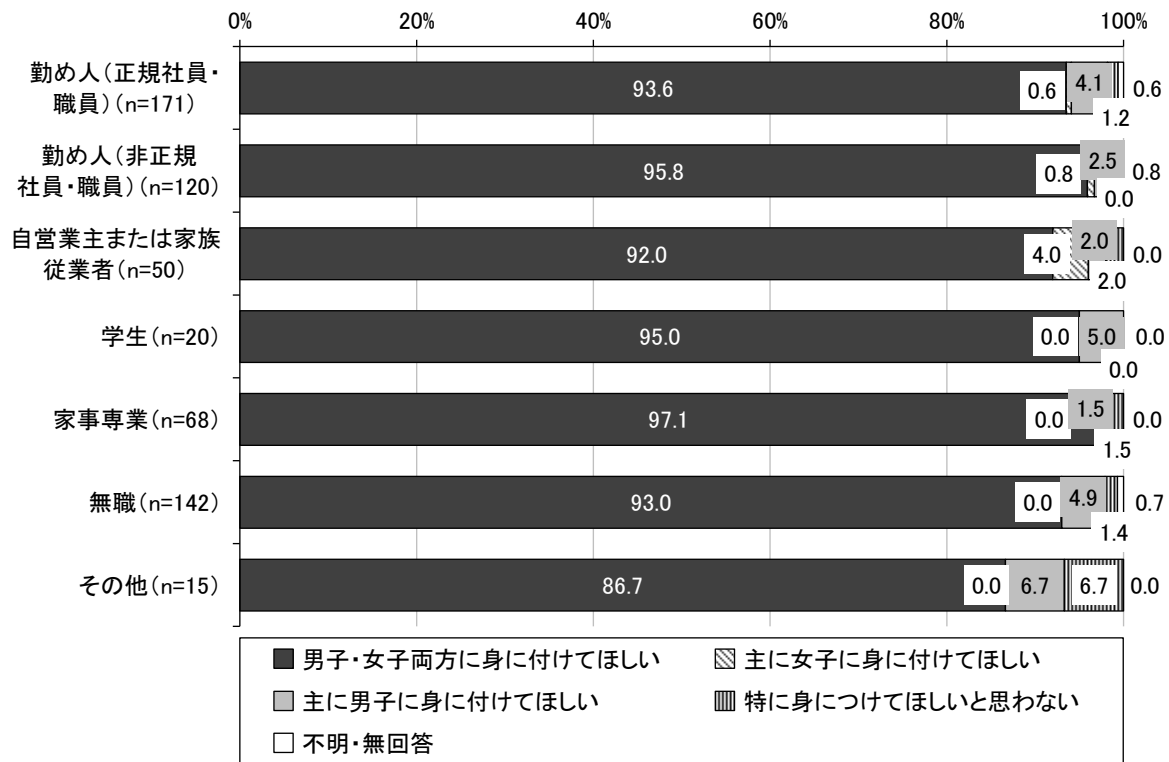
◀⑧ 自立心▶

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。



《⑨ 実行力》

職業別でみると、すべての職業で「男子・女子両方に身に付けてほしい」が最も高くなっています。

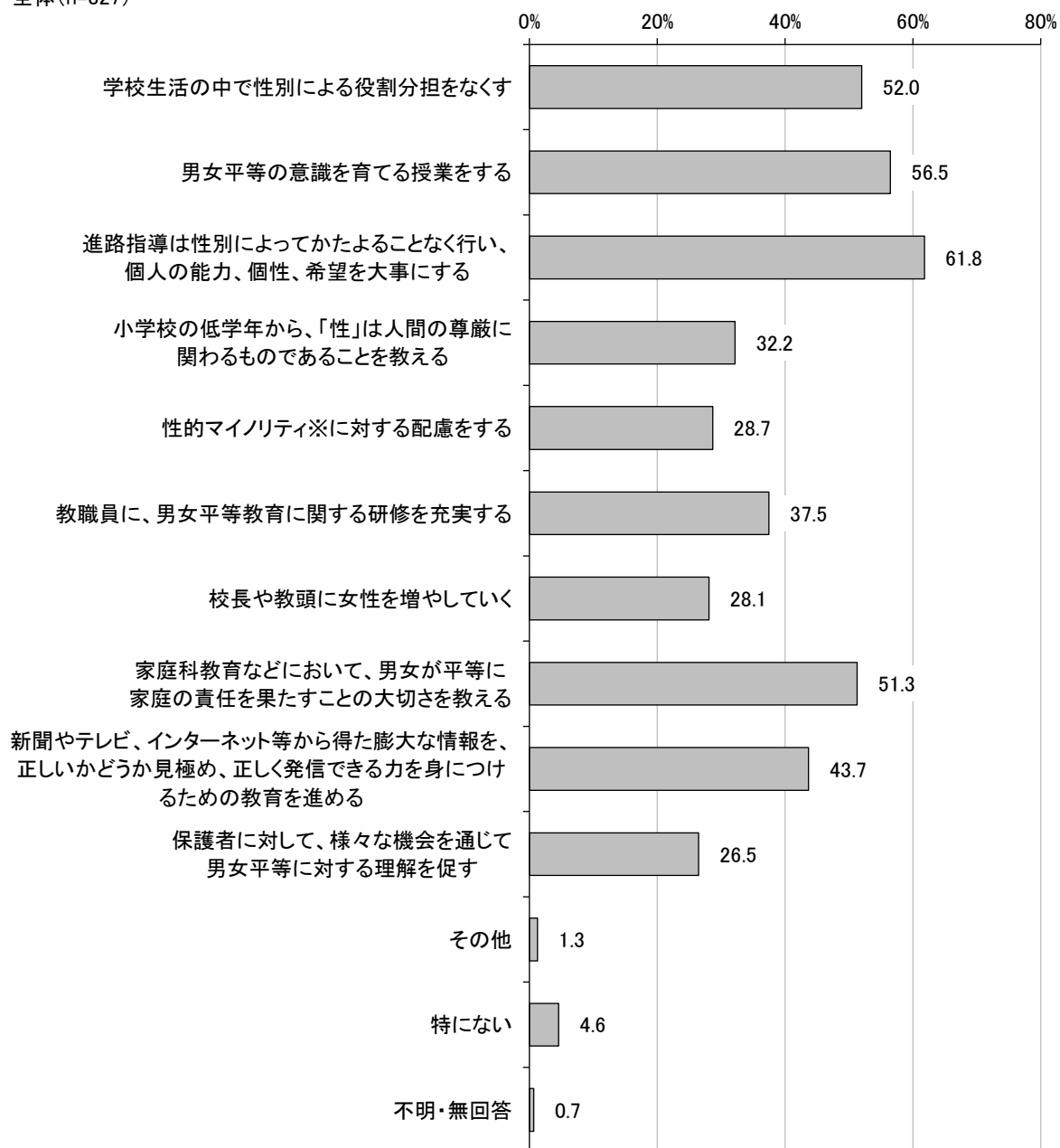


問 16 あなたは、学校で男女平等を推進するために、何が重要だと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

学校で男女平等を推進するために必要なことについてみると、「進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする」が 61.8%と最も高く、次いで「男女平等の意識を育てる授業をする」が 56.5%、「学校生活の中で性別による役割分担をなくす」が 52.0%となっています。

全体 (n=827)



※レスビアン、ゲイ等の性的少数者を表す言葉

## 【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「男女平等の意識を育てる授業をする」「進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする」、20～29歳では「男女平等の意識を育てる授業をする」、40～49歳では「家庭科教育などにおいて、男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える」、それ以外の年代では「進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする」が最も高くなっています。

単位：%		学校生活の中で性別による役割を男女平等の意識を育てる授業をする	男女平等の意識を育てる授業	進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする	進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする	小学校の低学年から、「性」に関する教育を受ける	性的マイノリティに対する配慮をする	教職員に、男女平等教育に関する研修を充実させる	校長や教頭に女性を増やしていく	家庭科教育などにおいて、男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える	家庭科教育などにおいて、男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える	最新のテレビ、インターネット等から得た膨大な情報を、正しいかどうかを見極め、正しく発信できる力をつける	新聞やテレビ、インターネット等から得た膨大な情報を、正しいかどうかを見極め、正しく発信できる力をつける	解を促す	保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す	その他	特になし	不明・無回答
性別	女性(n=441)	54.0	56.7	<b>64.6</b>	38.8	33.8	37.4	30.2	<b>57.6</b>	46.3	26.3	1.6	4.3	0.0				
	男性(n=354)	50.6	<b>55.9</b>	<b>60.2</b>	25.1	22.9	37.9	26.0	45.8	42.1	27.1	0.8	5.1	0.8				
	その他(n=3)	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0				
	答えなし(n=18)	<b>38.9</b>	<b>61.1</b>	<b>38.9</b>	16.7	16.7	27.8	33.3	27.8	27.8	22.2	0.0	5.6	5.6				
年代別	20歳未満(n=49)	40.8	<b>61.2</b>	<b>61.2</b>	38.8	40.8	36.7	30.6	38.8	36.7	26.5	0.0	4.1	0.0				
	20～29歳(n=91)	<b>49.5</b>	<b>53.8</b>	45.1	28.6	27.5	28.6	25.3	36.3	35.2	25.3	1.1	7.7	0.0				
	30～39歳(n=111)	48.6	<b>57.7</b>	<b>66.7</b>	37.8	30.6	36.9	30.6	47.7	53.2	26.1	1.8	4.5	0.0				
	40～49歳(n=103)	48.5	51.5	<b>54.4</b>	26.2	26.2	35.0	34.0	<b>56.3</b>	43.7	21.4	1.0	4.9	0.0				
	50～59歳(n=135)	<b>52.6</b>	45.9	<b>57.8</b>	23.7	26.7	33.3	26.7	48.9	36.3	20.7	2.2	4.4	0.0				
	60～69歳(n=158)	57.0	<b>63.9</b>	<b>70.3</b>	34.2	31.0	41.1	28.5	58.9	48.7	29.7	1.3	3.2	0.6				
	70歳以上(n=164)	58.5	<b>61.0</b>	<b>70.1</b>	37.8	25.6	43.9	24.4	59.8	47.0	32.9	1.2	3.7	2.4				

#### 4. セクシュアル・ハラスメント、DV※などについて

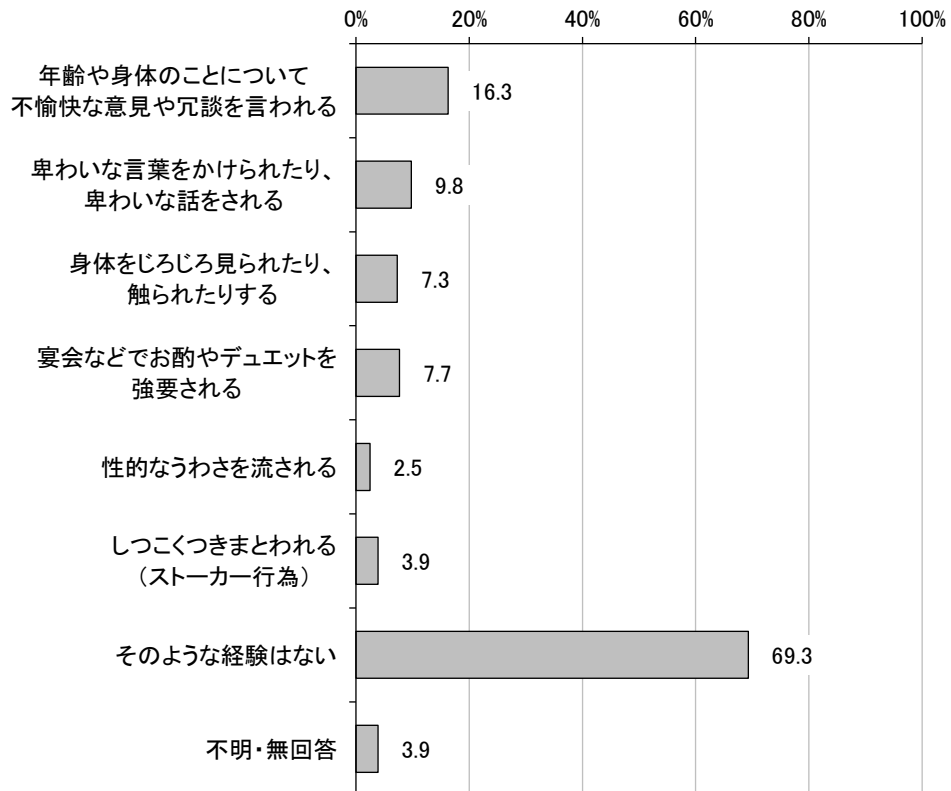
問 17 あなたは、次のようなセクシュアル・ハラスメントの被害を受けたことがありますか。

(①から④の項目ごとに、当てはまるものすべてに○)

≪① 職場≫

「①職場」におけるセクシュアル・ハラスメントの被害の有無については、「そのような経験はない」が 69.3%と最も高く、次いで「年齢や身体のことについて不愉快な意見や冗談を言われる」が 16.3%、「卑わいな言葉をかけられたり、卑わいな話をされる」が 9.8%、「卑わいな言葉をかけられたり、卑わいな話をされる」が 9.8%となっています。

全体 (n=827)



※セクシュアル・ハラスメント…性的いやがらせのことを表す言葉。職場、学校、地域活動などにおいて、相手の意に反した攻撃的で屈辱的な性的言動や勧誘により、仕事や活動をするうえで一定の不利益を与えたり、環境を悪化させることをいう。

※ドメスティック・バイオレンス (DV) …配偶者やパートナー、その他の親密な関係にある者またはあった者からの暴力のことを表す言葉。以下のような、①身体的なもの、②精神的なもの、③経済的なもの、④性的なもの、⑤社会的なものの5つに大別される。

- ①身体的なもの … 殴られる、蹴られる、物を投げつけられるなど
- ②精神的なもの … 何を言っても無視をされる、ののしられる、脅される、恥をかかせられるなど
- ③経済的なもの … 生活費を貰えない、お金を細かく管理される、外で働くことを禁じられるなど
- ④性的なもの … 望まない性的な行為を強要される、避妊してくれないなど
- ⑤社会的なもの … 人間関係や行動を監視される、家族・友人との付き合いを制限されるなど

【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「そのような経験はない」が最も高くなっています。

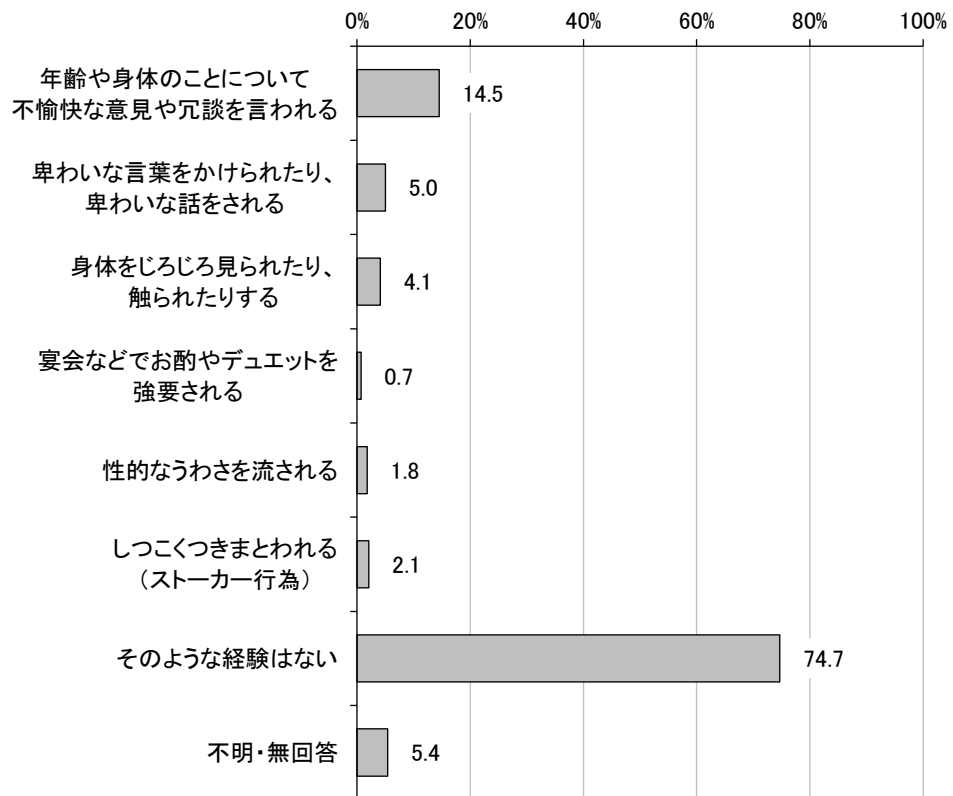
年代別でみると、すべての年代で「そのような経験はない」が最も高くなっています。

単位：%		愉快な年齢や身体の見え方や冗談を言われる	卑わいな言葉や話をかけられたり	身体をじろじろ見られたり、触られたりする	宴会などでお酌やデュエットを強要される	性的なうわさを流される	しつこくつきまとわれる（ストーカー行為）	そのような経験はない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	20.0	14.7	10.9	11.8	2.7	5.4	62.8	2.9
	男性(n=354)	11.3	4.2	2.5	2.5	2.5	1.1	79.4	4.0
	その他(n=3)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	答えない(n=18)	27.8	5.6	11.1	5.6	0.0	16.7	44.4	11.1
年代別	20歳未満(n=49)	8.2	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	85.7	6.1
	20～29歳(n=91)	7.7	9.9	5.5	2.2	3.3	1.1	78.0	2.2
	30～39歳(n=111)	25.2	16.2	11.7	8.1	5.4	6.3	60.4	1.8
	40～49歳(n=103)	25.2	16.5	12.6	10.7	2.9	9.7	62.1	0.0
	50～59歳(n=135)	17.0	8.1	7.4	14.8	2.2	2.2	69.6	0.0
	60～69歳(n=158)	22.2	10.8	8.2	8.9	3.2	5.1	64.6	2.5
	70歳以上(n=164)	4.9	4.3	2.4	4.3	0.6	1.2	76.2	11.6

## 《② 学校》

「②学校」におけるセクシュアル・ハラスメントの被害の有無については、「そのような経験はない」が74.7%と最も高く、次いで「年代や身体のことについて不愉快な意見や冗談を言われる」が14.5%、「卑わいな言葉をかけられたり、卑わいな話をされる」が5.0%となっています。

全体 (n=827)



【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「そのような経験はない」が最も高くなっています。

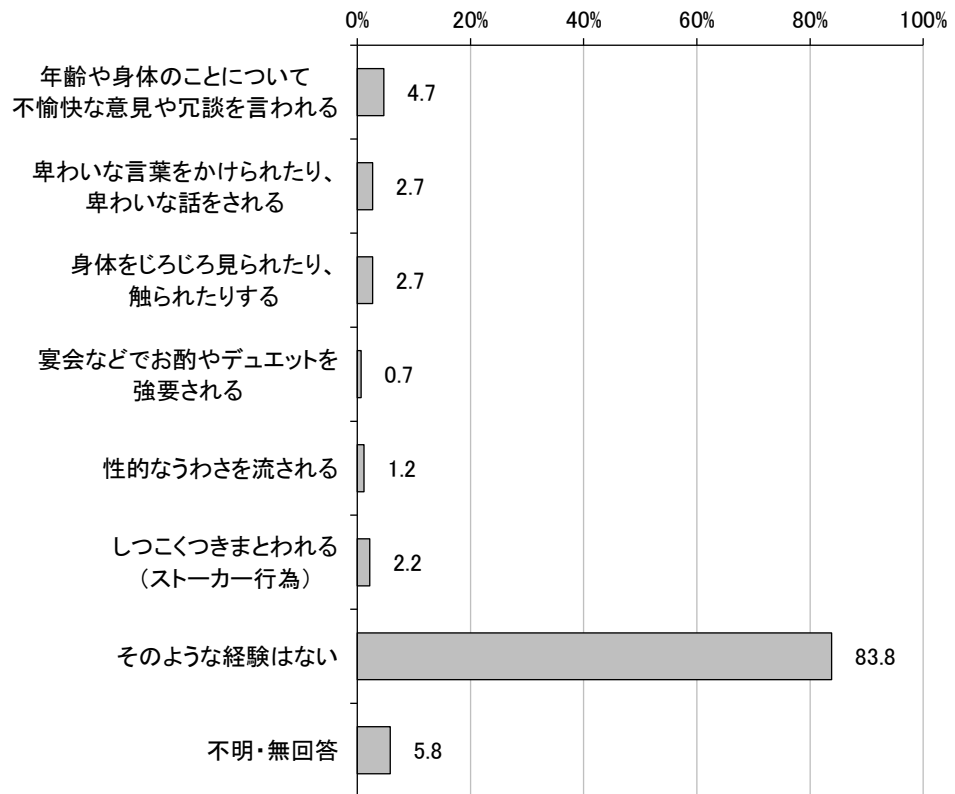
年代別でみると、すべての年代で「そのような経験はない」が最も高くなっています。

単位：%		年齢や身体のことについて不快な意見や冗談を言われる	卑しい言葉や話をかけられたり、卑しい言葉をかけられたり	身体をじろじろ見られたり、触られたりする	宴会などでお酌やデュエットを強要される	性的なうわさを流される	しつこくつきまとわれる（ストーカー行為）	そのような経験はない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	14.7	5.4	5.4	0.7	1.6	3.2	73.9	5.2
	男性(n=354)	14.4	3.1	2.0	0.8	2.3	0.8	77.4	4.5
	その他(n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	答えない(n=18)	22.2	27.8	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	5.6
年代別	20歳未満(n=49)	10.2	6.1	2.0	0.0	2.0	4.1	81.6	6.1
	20～29歳(n=91)	13.2	3.3	5.5	0.0	2.2	2.2	80.2	2.2
	30～39歳(n=111)	20.7	12.6	8.1	0.9	5.4	3.6	64.0	2.7
	40～49歳(n=103)	19.4	4.9	5.8	1.0	0.0	2.9	73.8	0.0
	50～59歳(n=135)	14.8	4.4	4.4	1.5	2.2	0.7	79.3	1.5
	60～69歳(n=158)	16.5	5.1	3.8	0.6	1.3	2.5	72.8	6.3
	70歳以上(n=164)	7.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	76.8	12.8

### 「③ 地域」

「③地域」におけるセクシュアル・ハラスメントの被害の有無については、「そのような経験はない」が83.8%と最も高く、次いで「年代や身体のことについて不愉快な意見や冗談を言われる」が4.7%、「卑わいな言葉をかけられたり、卑わいな話をされる」「身体をじろじろ見られたり、触られたりする」が同率で2.7%となっています。

全体 (n=827)



【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「そのような経験はない」が最も高くなっています。

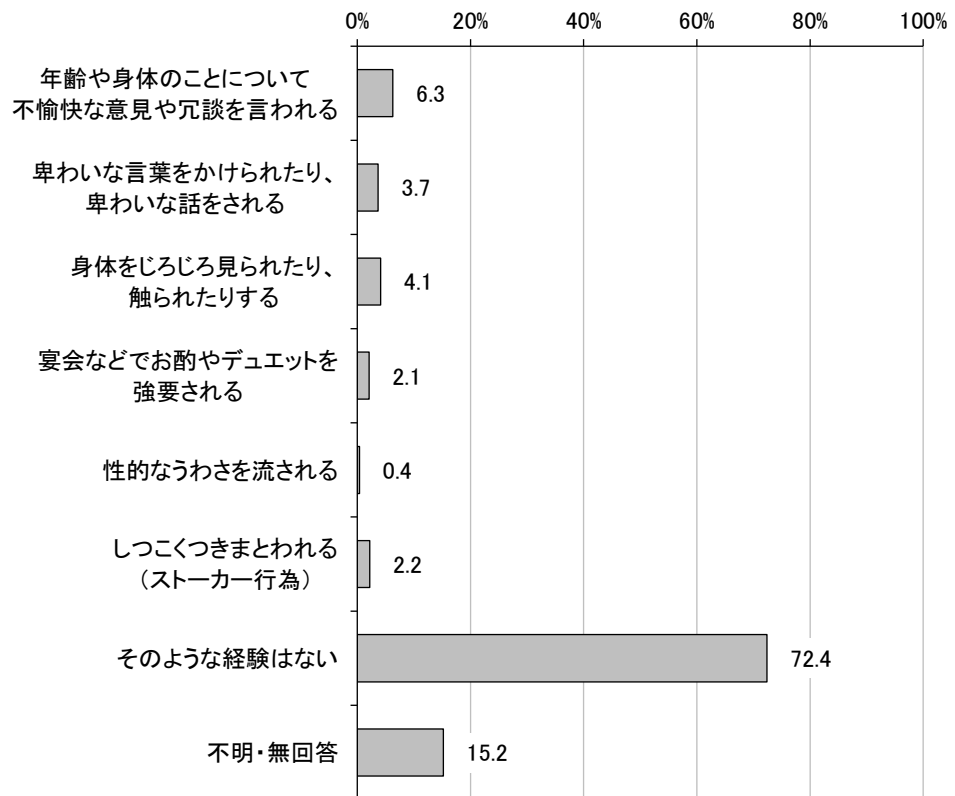
年代別でみると、すべての年代で「そのような経験はない」が最も高くなっています。

単位：%		年齢や身体のことについて不愉快な意見や冗談を言われる	卑わいな言葉や話をかけられたり、卑わいな話をされる	身体をじろじろ見られたり、触られたりする	宴会などでお酌やデュエットを強要される	性的なうわさを流される	しつこくつきまとわれる（ストーカー行為）	そのような経験はない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	6.1	4.1	4.1	0.7	1.4	2.5	80.5	6.1
	男性(n=354)	3.1	1.1	1.1	0.8	0.6	1.1	89.8	4.2
	その他(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	答えない(n=18)	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	72.2	11.1
年代別	20歳未満(n=49)	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	91.8	6.1
	20～29歳(n=91)	3.3	3.3	3.3	0.0	1.1	1.1	90.1	3.3
	30～39歳(n=111)	9.9	2.7	4.5	0.9	2.7	3.6	81.1	3.6
	40～49歳(n=103)	4.9	3.9	2.9	1.9	1.9	2.9	88.3	0.0
	50～59歳(n=135)	5.2	2.2	4.4	1.5	1.5	3.0	85.2	1.5
	60～69歳(n=158)	4.4	2.5	1.9	0.0	0.6	1.9	81.6	8.9
	70歳以上(n=164)	3.7	3.0	0.6	0.6	0.6	0.6	79.3	11.6

≪④ その他≫

「④その他」におけるセクシュアル・ハラスメントの被害の有無については、「そのような経験はない」が72.4%と最も高く、次いで「年代や身体のことについて不愉快な意見や冗談を言われる」が6.3%、「身体をじろじろ見られたり、触られたりする」が4.1%となっています。

全体 (n=827)



【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「そのような経験はない」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「そのような経験はない」が最も高くなっています。

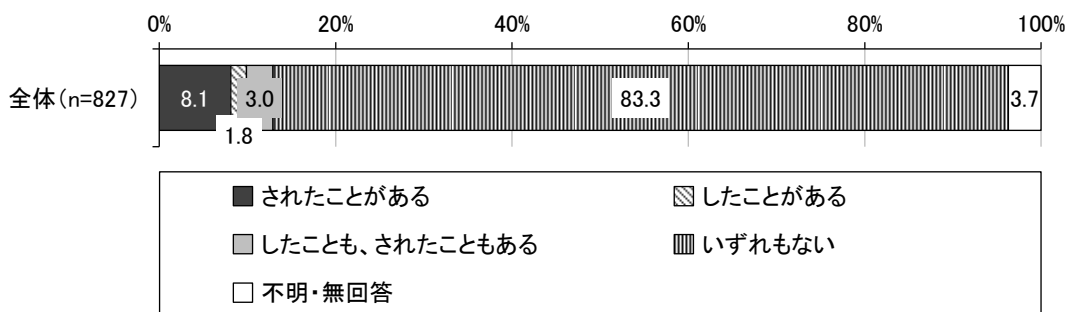
単位：%		年齢や身体の不愉快な意見や冗談を言われる	卑わいな言葉やかけられたり、卑わいな話をされる	身体をじろじろ見られたり、触られたりする	宴会などでお酌やデュエットを強要される	性的なうわさを流される	しつこくつきまとわれる（ストーカー行為）	そのような経験はない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	7.5	5.7	6.3	2.5	0.7	3.6	66.4	17.9
	男性(n=354)	4.5	1.4	1.7	1.7	0.0	0.6	81.1	10.5
	その他(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	答えない(n=18)	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	61.1	22.2
年代別	20歳未満(n=49)	2.0	0.0	4.1	0.0	0.0	4.1	83.7	8.2
	20～29歳(n=91)	1.1	3.3	2.2	3.3	0.0	0.0	85.7	6.6
	30～39歳(n=111)	8.1	9.0	8.1	0.9	1.8	7.2	74.8	6.3
	40～49歳(n=103)	8.7	3.9	4.9	1.9	1.0	1.9	76.7	9.7
	50～59歳(n=135)	9.6	4.4	5.9	3.0	0.0	2.2	70.4	11.1
	60～69歳(n=158)	8.9	3.2	4.4	3.2	0.0	0.6	67.7	20.3
	70歳以上(n=164)	3.0	1.8	0.6	1.2	0.0	1.2	65.2	27.4

問 18 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手との間で、暴力の被害・加害経験はありますか。

(①から⑤の項目ごとに、1つに○)

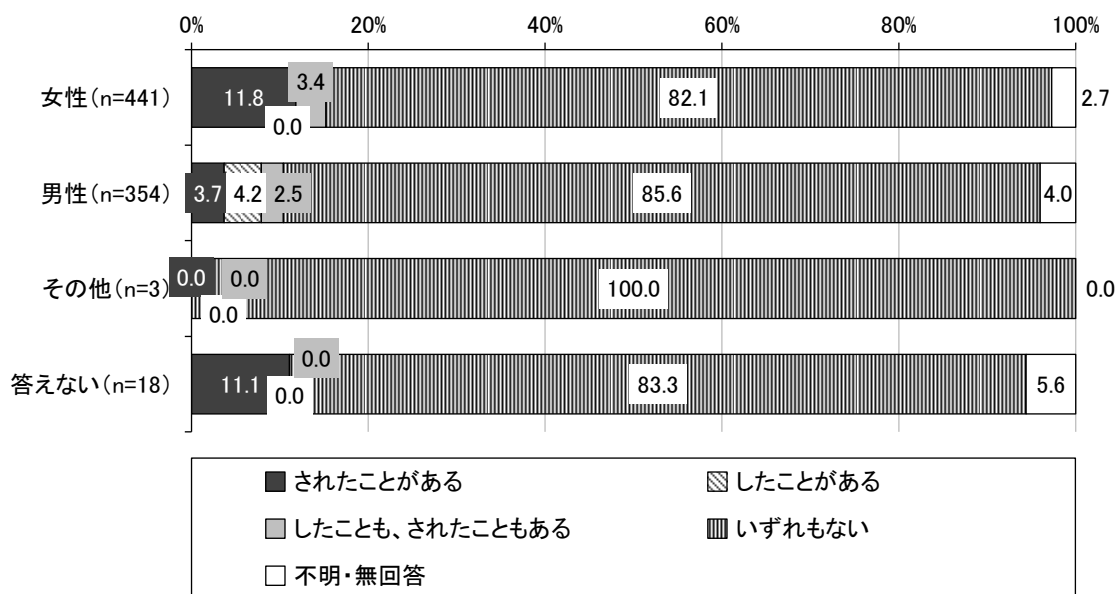
≪① 身体的な暴力≫

配偶者やパートナー、交際相手との間における「①身体的な暴力」の被害・加害経験の有無については、「いずれもない」が83.3%と最も高く、次いで「されたことがある」が8.1%、「したことも、されたこともある」が3.0%、「したことがある」が1.8%、「不明・無回答」が3.7%となっています。



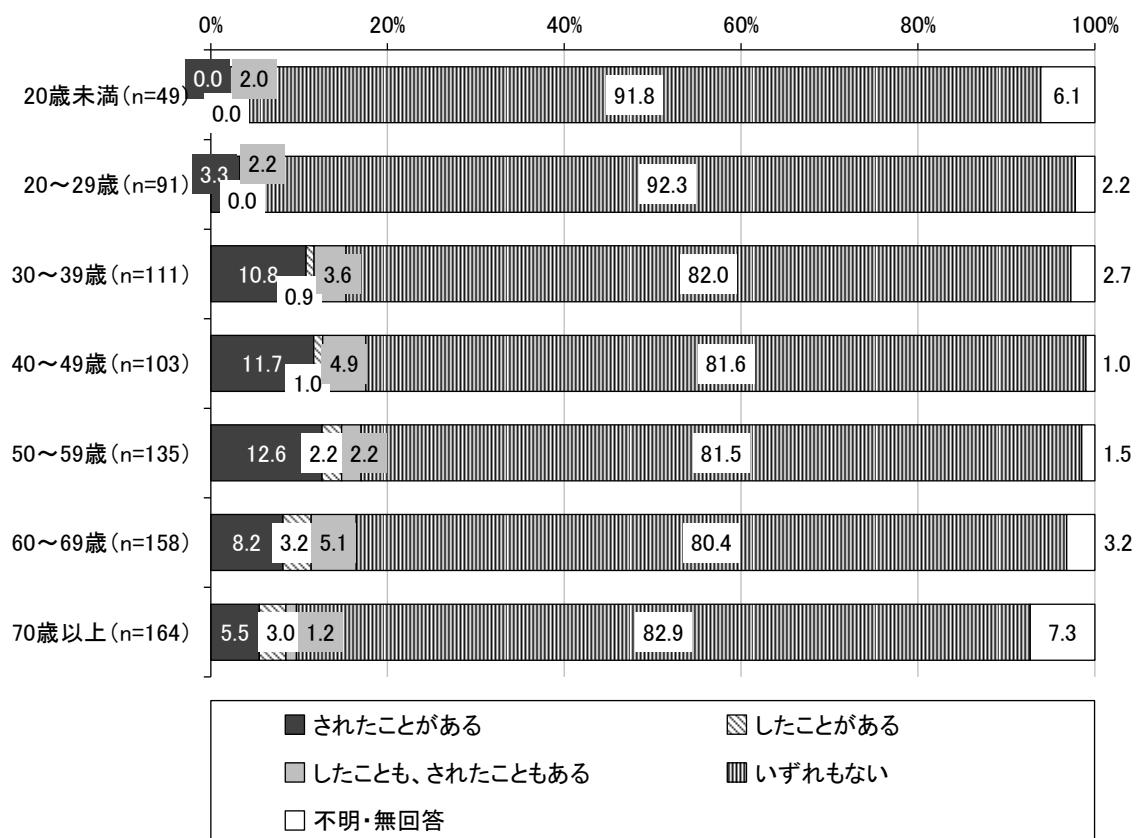
【性別】

性別でみると、男女ともに「いずれもない」が最も高くなっています。



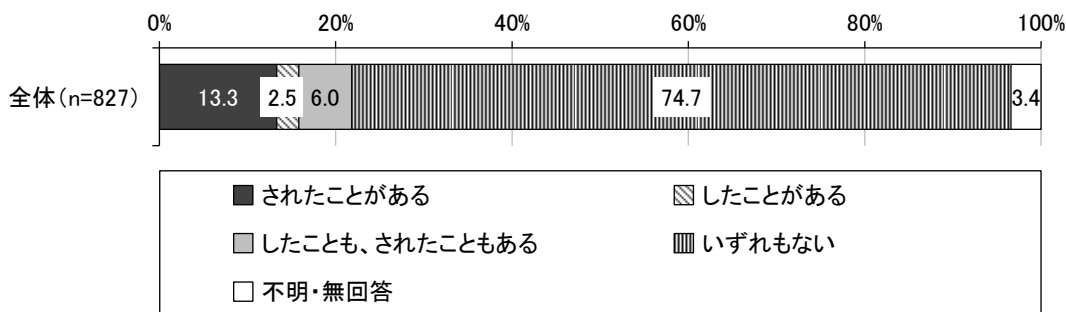
## 【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「いずれもない」が最も高くなっています。



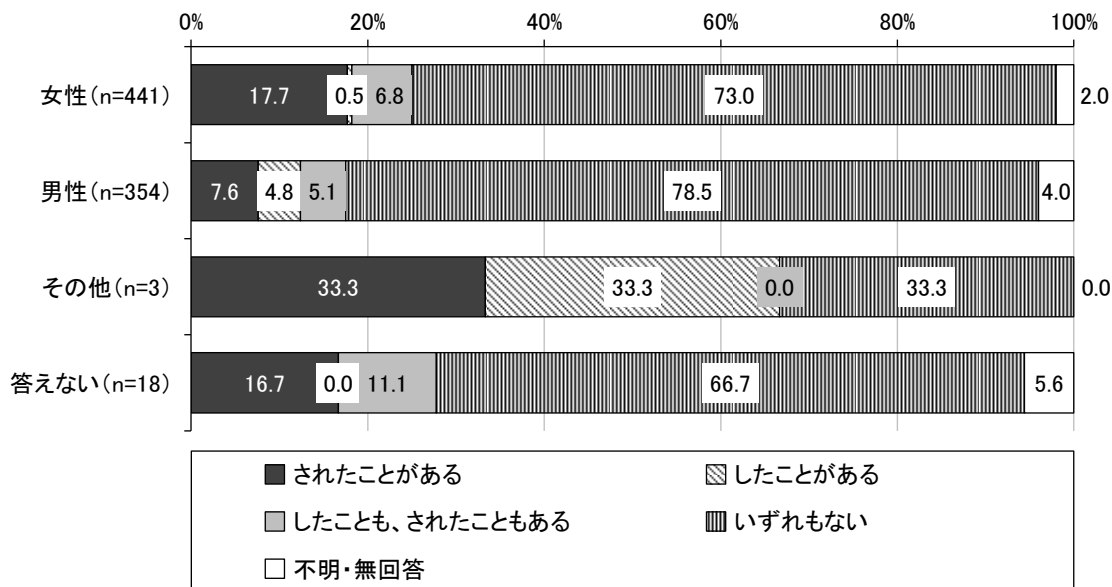
「② 精神的な暴力」

配偶者やパートナー、交際相手との間における「②精神的な暴力」の被害・加害経験の有無については、「いずれもない」が74.7%と最も高く、次いで「されたことがある」が13.3%、「したことも、されたこともある」が6.0%となっています。



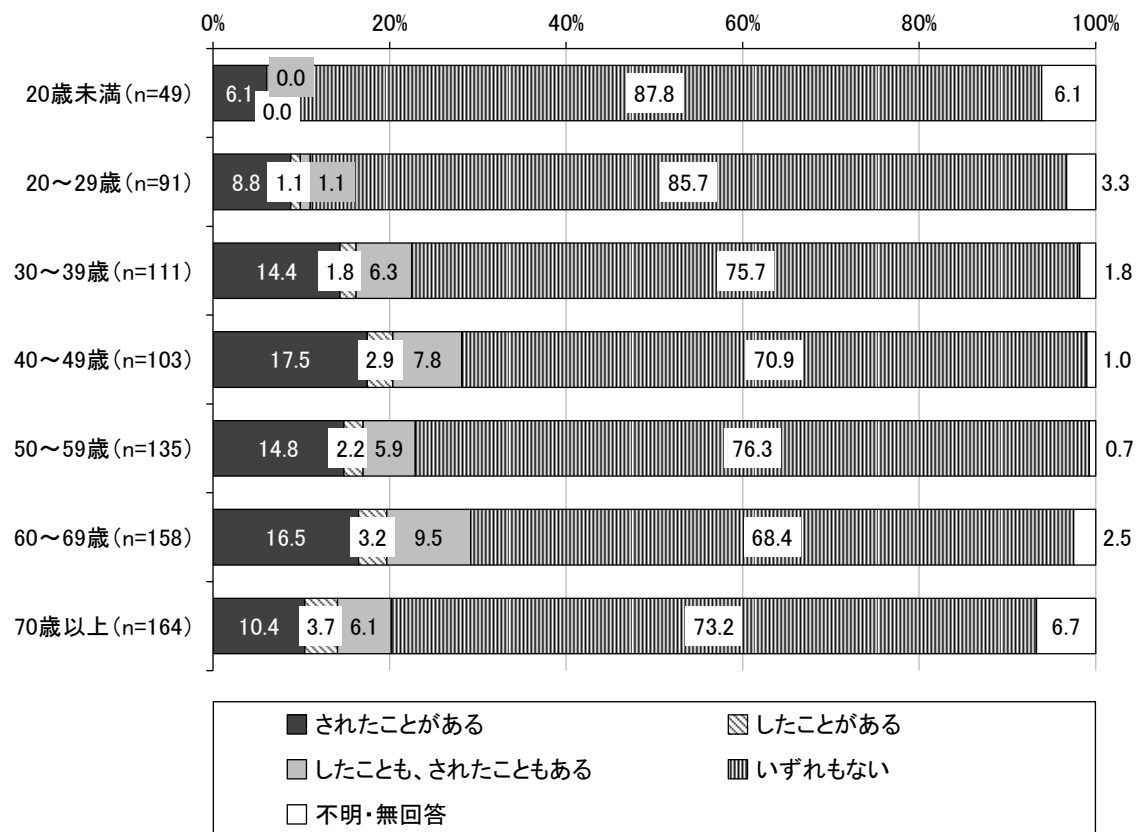
【性別】

性別でみると、男女ともに「いずれもない」が最も高くなっています。



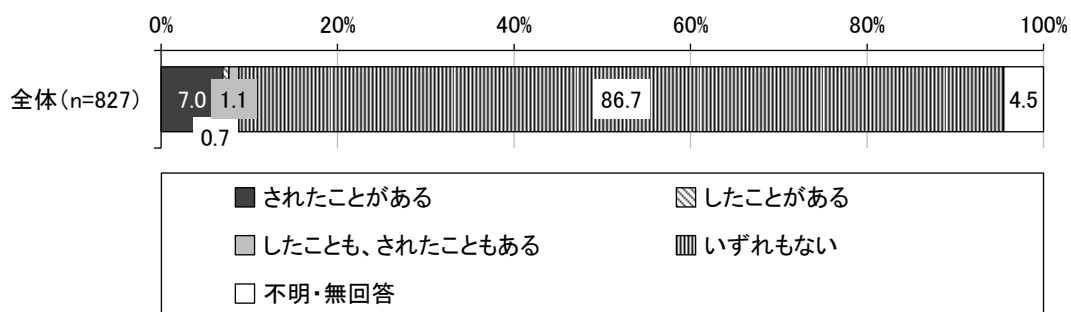
## 【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「いずれもない」が最も高くなっています。



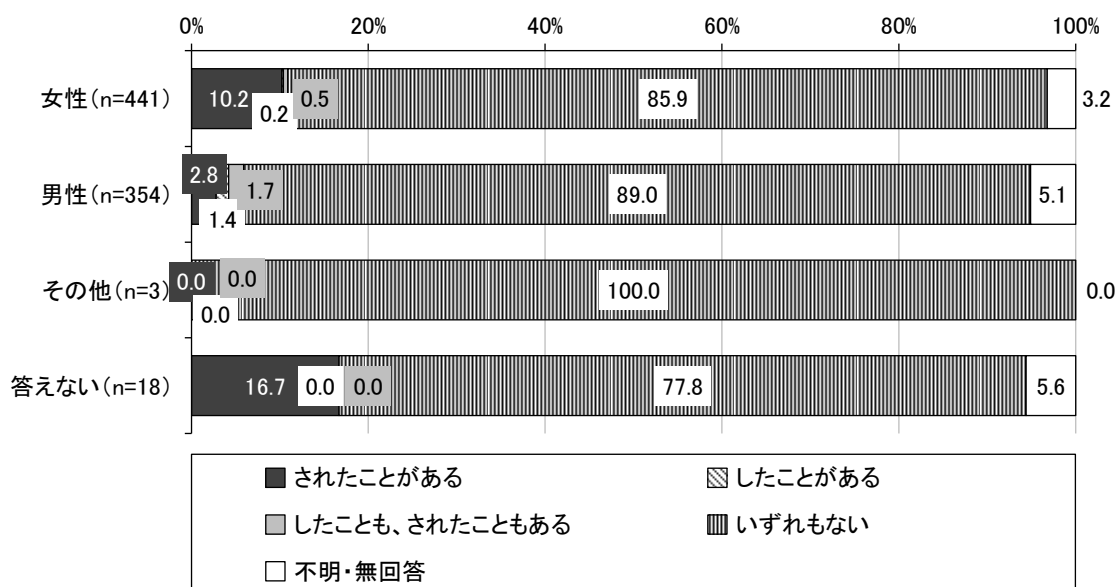
### ③ 経済的な暴力

配偶者やパートナー、交際相手との間における「③経済的な暴力」の被害・加害経験の有無については、「いずれもない」が86.7%と最も高く、次いで「されたことがある」が7.0%、「したことも、されたこともある」が1.1%、「したことがある」が4.5%、「不明・無回答」が0.7%となっています。



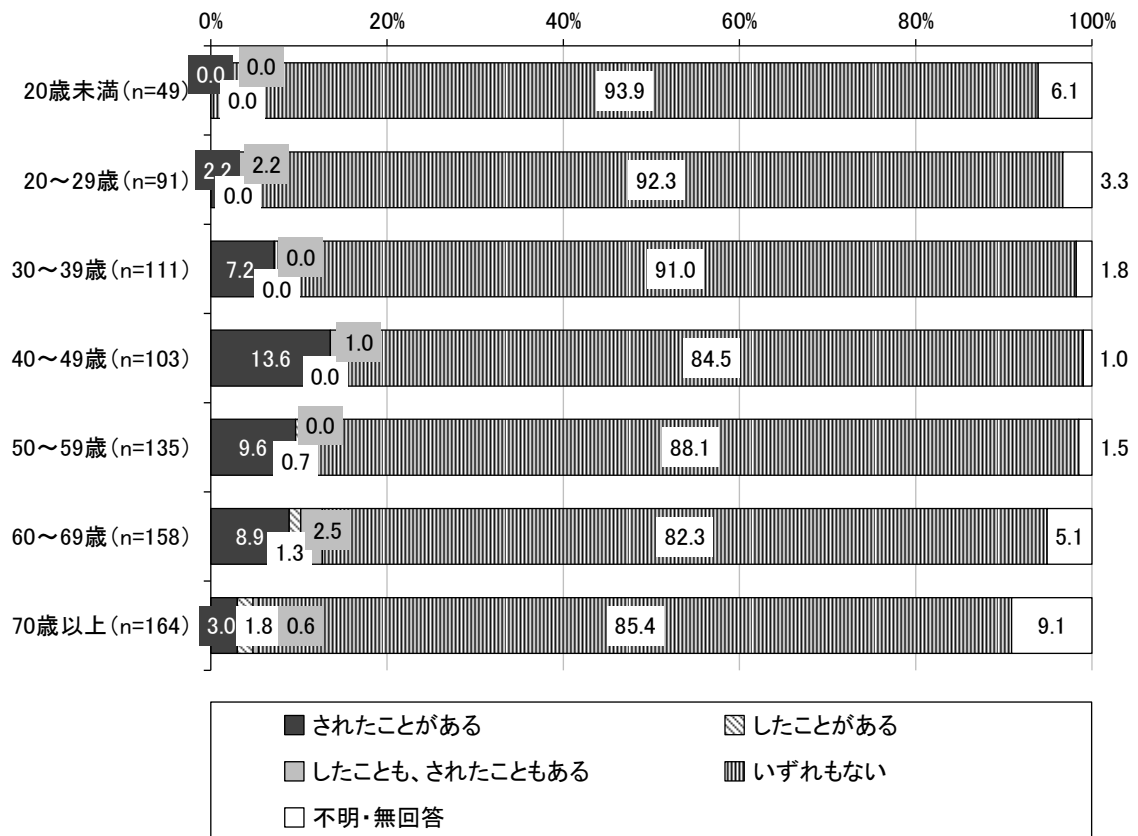
### 【性別】

性別でみると、男女ともに「いずれもない」が最も高くなっています。



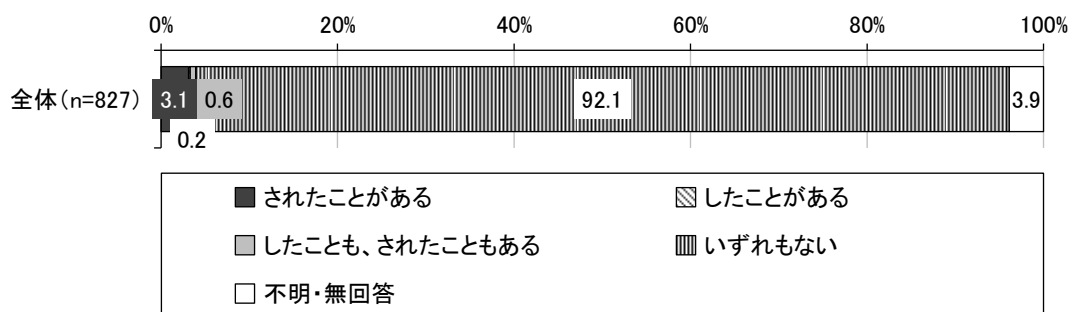
## 【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「いずれもない」が最も高くなっています。



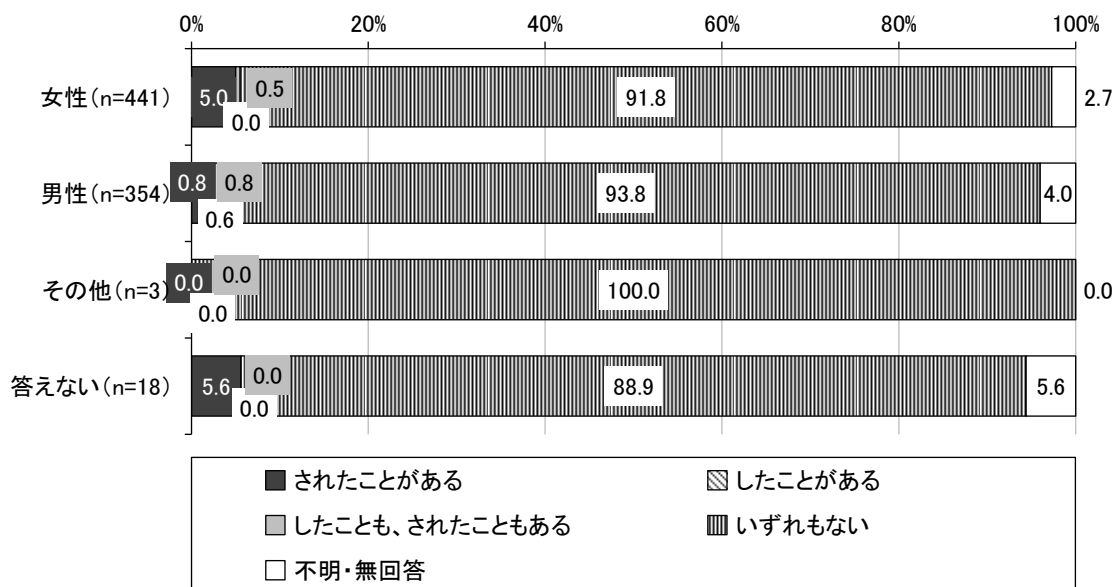
#### ④ 性的な暴力

配偶者やパートナー、交際相手との間における「④性的な暴力」の被害・加害経験の有無については、「いずれもない」が92.1%と最も高く、次いで「されたことがある」が3.1%、「したことも、されたこともある」が0.6%、「したことがある」が3.9%、「不明・無回答」が0.2%となっています。



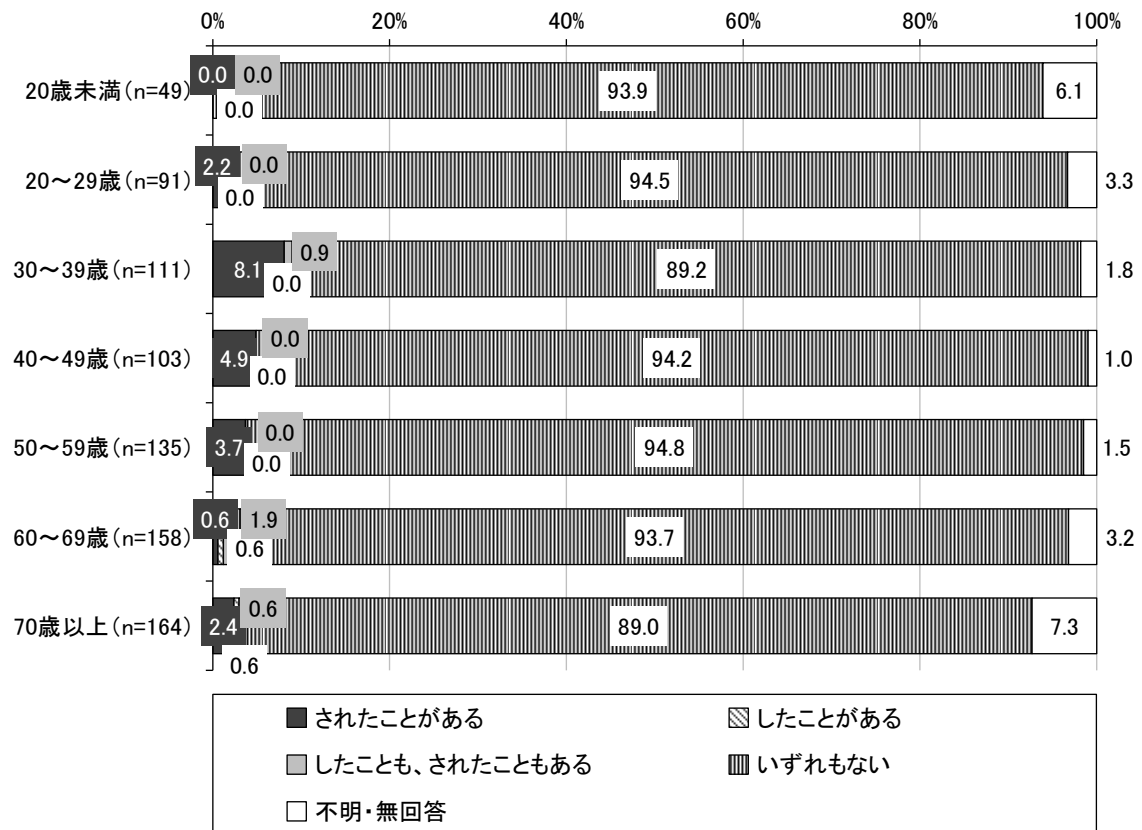
#### 【性別】

性別でみると、男女ともに「いずれもない」が最も高くなっています。



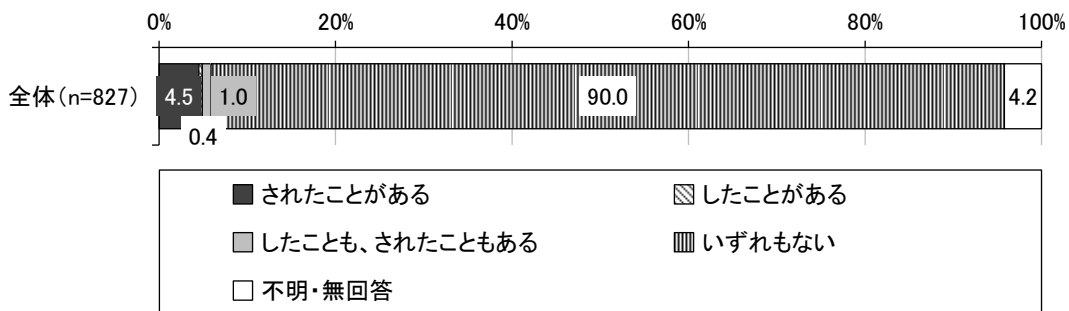
## 【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「いずれもない」が最も高くなっています。



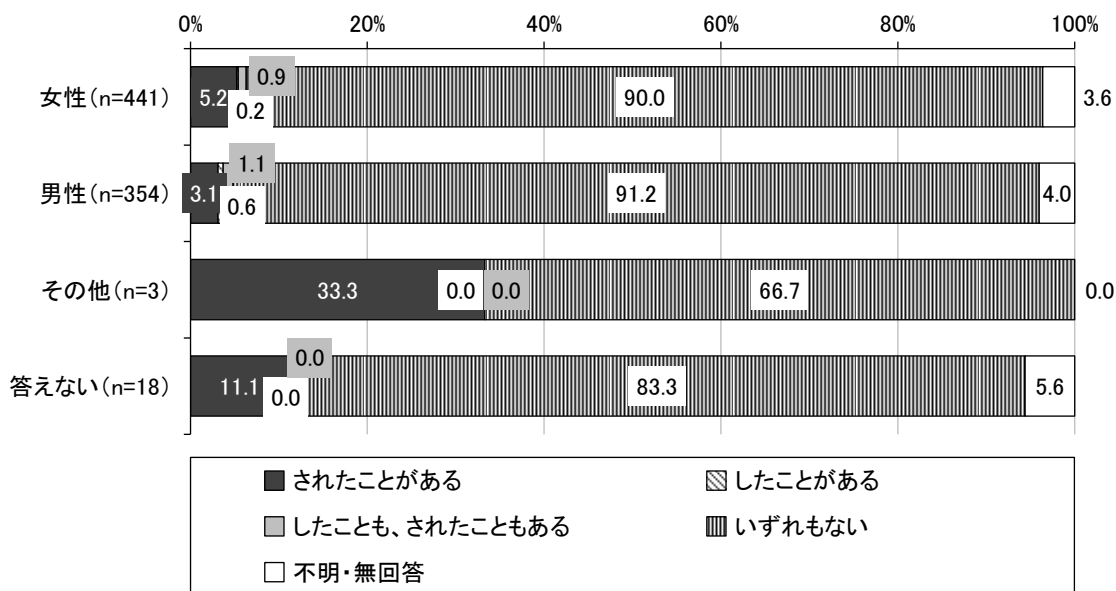
### 「⑤ 社会的な暴力」

配偶者やパートナー、交際相手との間における「⑤社会的な暴力」の被害・加害経験の有無については、「いずれもない」が90.0%と最も高く、次いで「されたことがある」が4.5%、「したことも、されたこともある」が1.0%、「したことがある」が4.2%、「不明・無回答」が0.4%となっています。



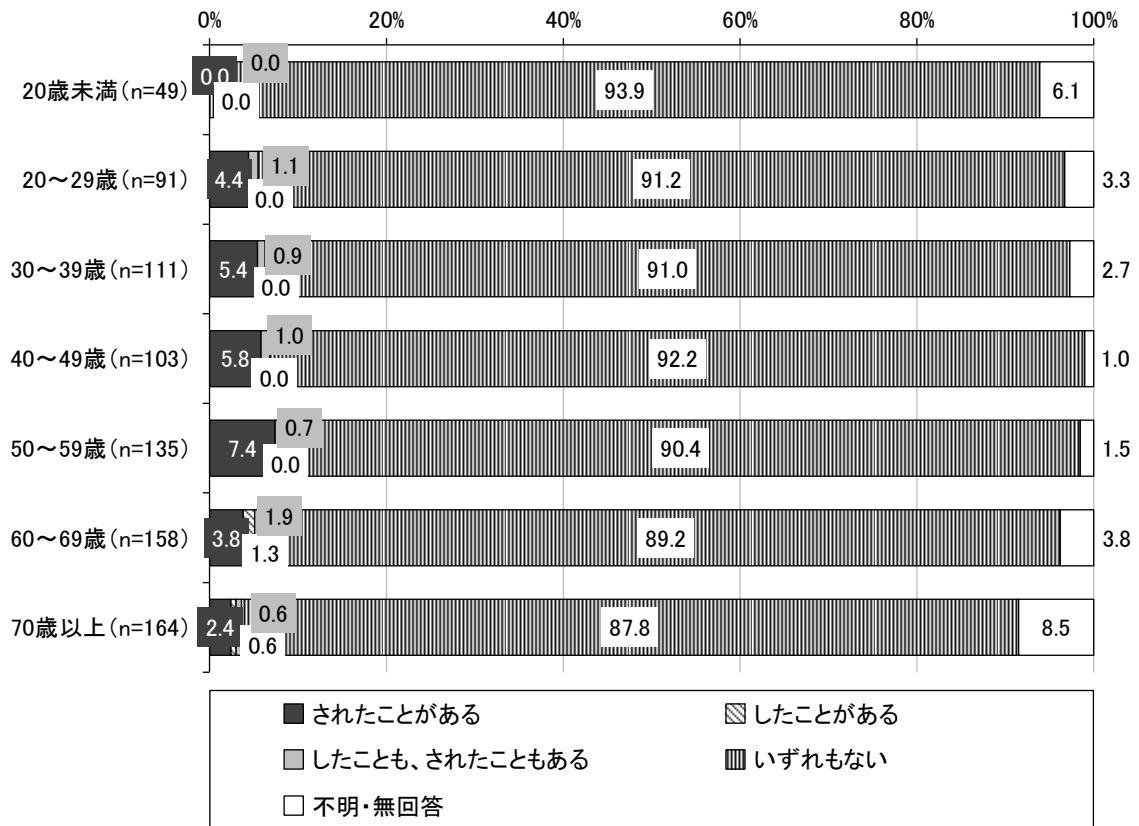
### 【性別】

性別でみると、男女ともに「いずれもない」が最も高くなっています。



## 【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「いずれもない」が最も高くなっています。

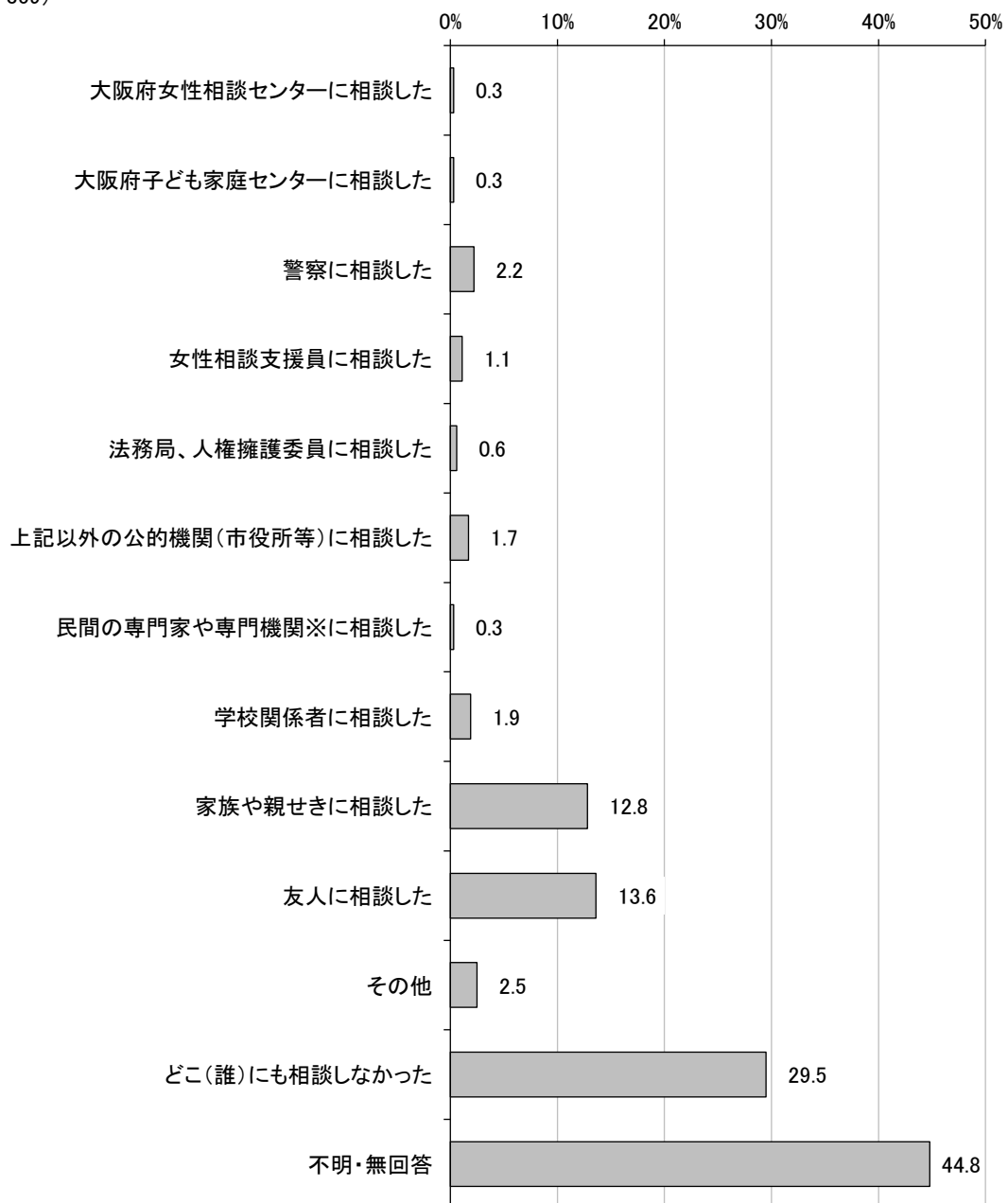


セクシュアル・ハラスメントや暴力の被害経験がある方におうかがいします。

問 19 あなたは、セクシュアル・ハラスメントや暴力の被害経験について、どこか（誰か）に相談しましたか。（当てはまるものすべてに○）

セクシュアル・ハラスメントや暴力の被害経験の相談相手についてみると、「どこ（誰）にも相談しなかった」が29.5%と最も高く、次いで「友人に相談した」が13.6%、「家族や親せきに相談した」が12.8%となっています。

全体 (n=359)



※弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど

## 【性別、年代別】

性別で見ると、男女ともに「どこ（誰）にも相談しなかった」が最も高くなっています。

年代別で見ると、20～29 歳では「家族や親せきに相談した」、それ以外の年代では「どこ（誰）にも相談しなかった」が最も高くなっています。

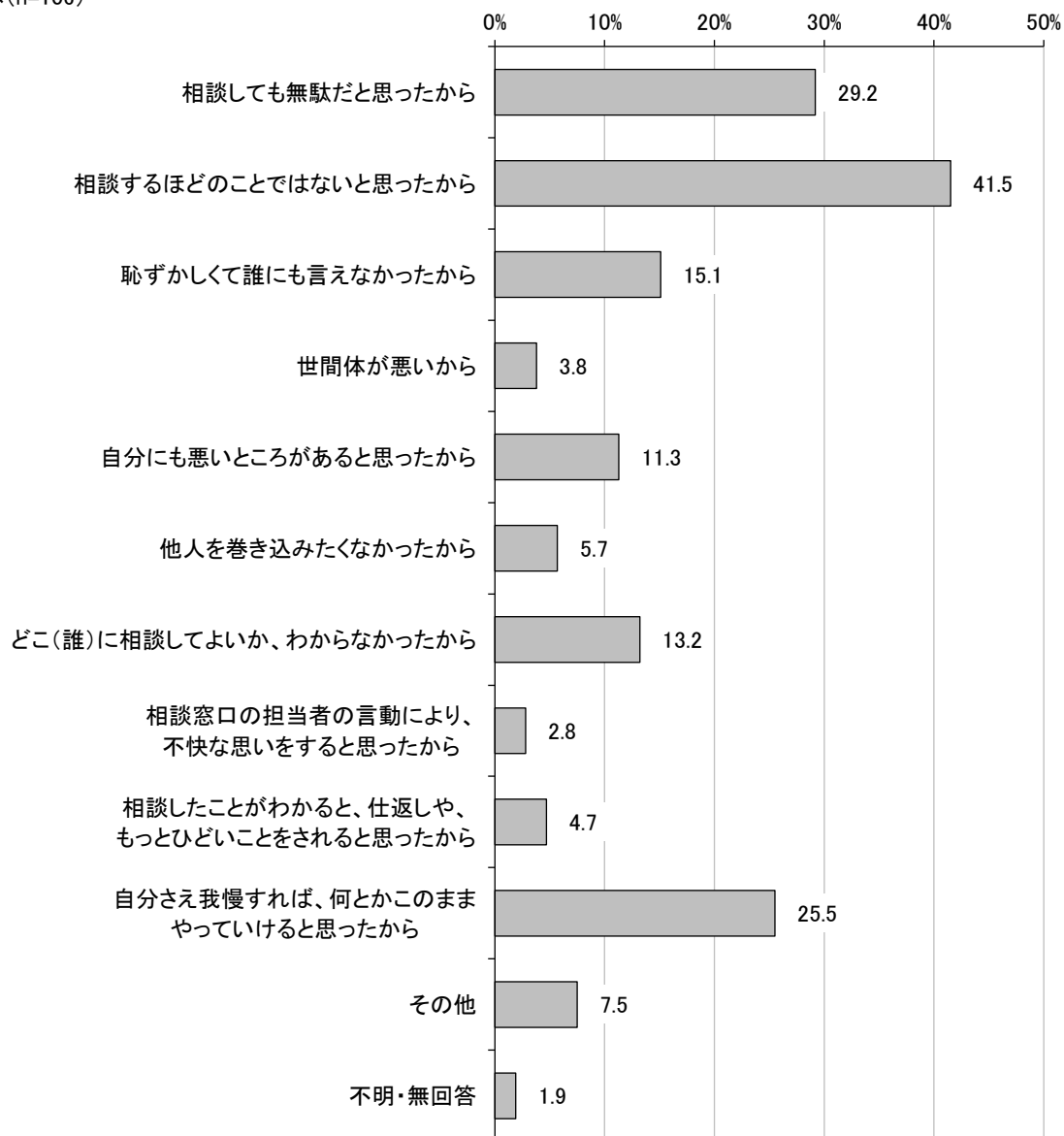
単位：%		大阪府女性相談センターに相談した	大阪府子ども家庭センターに相談した	警察に相談した	女性相談支援員に相談した	法務局、人権擁護委員に相談した	上記以外の公的機関（市役所等）に相談した	民間の専門家や専門機関に相談した	学校関係者に相談した	家族や親せきに相談した	友人に相談した	その他	たどこ（誰）にも相談しなかった	不明・無回答
性別	女性(n=233)	0.4	0.4	3.0	1.7	0.4	1.3	0.4	1.3	15.5	<b>17.2</b>	2.1	<b>30.9</b>	39.1
	男性(n=112)	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	2.7	0.0	2.7	5.4	<b>6.3</b>	2.7	<b>26.8</b>	57.1
	その他(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0	<b>50.0</b>	0.0
	答えない(n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	<b>33.3</b>	22.2	11.1	<b>33.3</b>	33.3
年代別	20歳未満(n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>10.0</b>	<b>10.0</b>	0.0	<b>70.0</b>	20.0
	20～29歳(n=34)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	5.9	<b>23.5</b>	14.7	0.0	<b>17.6</b>	47.1
	30～39歳(n=60)	1.7	1.7	3.3	0.0	0.0	1.7	0.0	3.3	<b>15.0</b>	13.3	5.0	<b>25.0</b>	46.7
	40～49歳(n=56)	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	3.6	16.1	<b>21.4</b>	3.6	<b>26.8</b>	41.1
	50～59歳(n=63)	0.0	0.0	6.3	3.2	1.6	3.2	1.6	0.0	12.7	<b>20.6</b>	3.2	<b>36.5</b>	28.6
	60～69歳(n=76)	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.6	0.0	1.3	<b>11.8</b>	9.2	2.6	<b>27.6</b>	50.0
	70歳以上(n=54)	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	0.0	<b>35.2</b>	57.4

問 19 で「どこ（誰）にも相談しなかった」を選んだ方におうかがいします。

問 20 「どこ（誰）にも相談しなかった」理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

相談しなかった理由についてみると、「相談するほどのことではないと思ったから」が 41.5%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」が 29.2%、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけるといったから」が 25.5%となっています。

全体 (n=106)



## 【性別、年代別】

性別で見ると、女性では「相談するほどのことではないと思ったから」、男性では「相談しても無駄だと思ったから」「相談するほどのことではないと思ったから」が最も高くなっています。

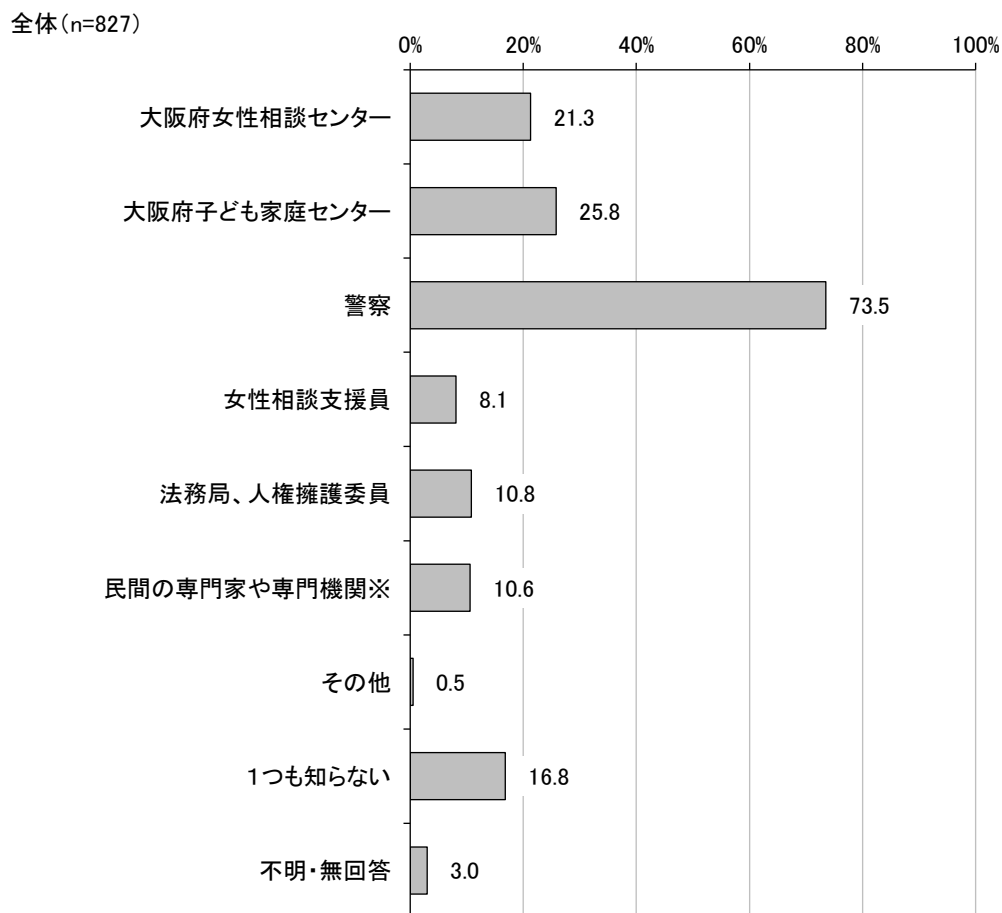
年代別で見ると、30～39歳では「相談しても無駄だと思ったから」、40～49歳では「相談するほどのことではないと思ったから」「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」、50～59歳では「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」、60歳以上では「相談するほどのことではないと思ったから」が最も高くなっています。

単位：%		ら相談しても無駄だと思ったか	と相談するほどのことではない	か恥ずかしくて誰にも言えな	世間体が悪いから	自分にも悪いところがあると	他人を巻き込みたくなかった	か、わからなかつたから	たり、不快な思いをすと思つ	返しや、もつとひどいことを仕	このままやっていると	自分さえ我慢すれば、何とか	その他	不明・無回答
性別	女性(n=72)	25.0	41.7	15.3	4.2	12.5	6.9	15.3	4.2	5.6	22.2	6.9	2.8	
	男性(n=30)	40.0	40.0	16.7	3.3	10.0	3.3	3.3	0.0	0.0	33.3	6.7	0.0	
	その他(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	答えない(n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	
年代別	20歳未満(n=7)	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	
	20～29歳(n=6)	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	
	30～39歳(n=15)	40.0	33.3	6.7	0.0	13.3	13.3	33.3	0.0	6.7	13.3	13.3	0.0	
	40～49歳(n=15)	20.0	26.7	26.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	
	50～59歳(n=23)	39.1	39.1	21.7	4.3	4.3	4.3	21.7	4.3	0.0	43.5	4.3	0.0	
	60～69歳(n=21)	14.3	52.4	14.3	0.0	14.3	0.0	9.5	0.0	9.5	38.1	9.5	4.8	
	70歳以上(n=19)	26.3	57.9	10.5	0.0	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	5.3	

問 21 次にあげるDVの相談窓口のうち、あなたが知っているものはありますか。

(当てはまるものすべてに○)

DVの相談窓口のうち、知っているものについてみると、「警察」が73.5%と最も高く、次いで「大阪府子ども家庭センター」が25.8%、「大阪府女性相談センター」が21.3%となっています。



※弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど

### 【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「警察」が最も高くなっています。

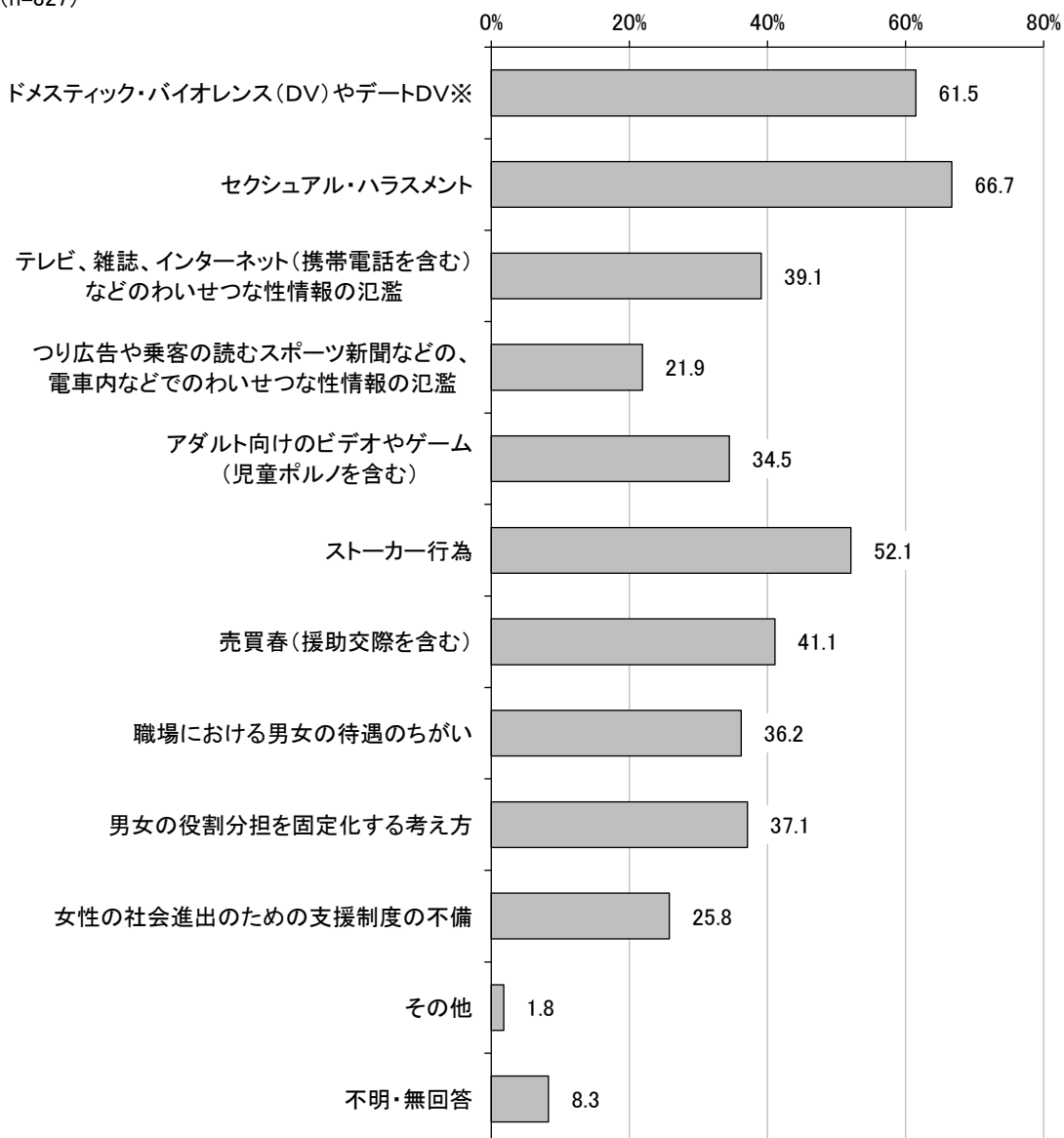
年代別でみると、すべての年代で「警察」が最も高くなっています。

単位：%		大阪府女性相談センター	大阪府子ども家庭センター	警察	女性相談支援員	法務局、人権擁護委員	民間の専門家や専門機関	その他	1つも知らない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	25.2	<b>26.5</b>	<b>73.2</b>	9.5	6.6	6.6	0.2	16.6	2.3
	男性(n=354)	16.1	<b>25.4</b>	<b>75.4</b>	6.8	16.9	15.8	0.6	16.9	2.5
	その他(n=3)	<b>66.7</b>	33.3	<b>66.7</b>	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	答えない(n=18)	<b>27.8</b>	22.2	<b>55.6</b>	0.0	0.0	11.1	0.0	<b>27.8</b>	5.6
年代別	20歳未満(n=49)	12.2	<b>30.6</b>	<b>67.3</b>	6.1	2.0	4.1	0.0	22.4	4.1
	20～29歳(n=91)	11.0	12.1	<b>72.5</b>	3.3	5.5	9.9	0.0	<b>20.9</b>	0.0
	30～39歳(n=111)	24.3	<b>35.1</b>	<b>77.5</b>	11.7	9.0	9.9	0.9	14.4	2.7
	40～49歳(n=103)	20.4	<b>28.2</b>	<b>78.6</b>	10.7	10.7	12.6	0.0	15.5	0.0
	50～59歳(n=135)	23.7	<b>28.1</b>	<b>77.8</b>	10.4	8.1	13.3	2.2	11.9	1.5
	60～69歳(n=158)	30.4	<b>31.6</b>	<b>77.8</b>	8.9	16.5	13.9	0.0	16.5	1.3
	70歳以上(n=164)	17.7	17.1	<b>65.2</b>	4.9	14.6	6.1	0.0	<b>19.5</b>	6.7

問 22 あなたは、次にあげるもののうち、女性の人権が侵害されていると思うものはありますか。  
 (当てはまるものすべてに○)

女性の人権が侵害されていると思うものについてみると、「セクシュアル・ハラスメント」が66.7%と最も高く、次いで「ドメスティック・バイオレンス（DV）やデートDV」が61.5%、「ストーカー行為」が52.1%となっています。

全体 (n=827)



※恋人からのDV

## 【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「セクシュアル・ハラスメント」が最も高くなっています。

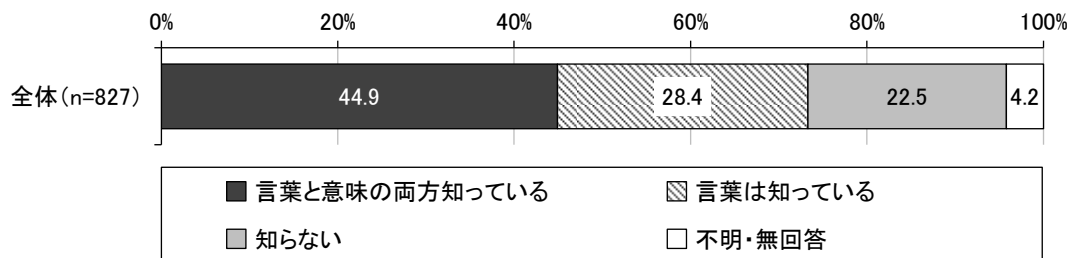
年代別でみると、70歳以上では「ストーカー行為」、それ以外の年代では「セクシュアル・ハラスメント」が最も高くなっています。

単位：%		ストメステイック・バイオレンス(DV)やデートDV	セクシュアル・ハラスメント	わいせつな性情報の氾濫	テレビ、雑誌、インターネット(携帯電話を含む)などの	つり広告や乗客の読むスポーツ新聞などの、電車内などで	アダルト向けのビデオやゲーム(児童ポルノを含む)	ストーカー行為	売買春(援助交際を含む)	職場における男女の待遇のちが	男女の役割分担を固定化する考	女性の社会進出のための支援制度の不備	その他	不明・無回答
性別	女性(n=441)	66.0	70.7	44.2	26.1	39.5	51.5	45.8	40.6	42.0	31.5	1.8	5.9	
	男性(n=354)	58.2	63.6	33.1	16.7	28.5	55.1	36.4	31.6	31.9	19.5	1.4	9.0	
	その他(n=3)	33.3	33.3	66.7	66.7	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	
	答えない(n=18)	50.0	55.6	38.9	22.2	27.8	33.3	33.3	33.3	38.9	16.7	5.6	22.2	
年代別	20歳未満(n=49)	57.1	69.4	32.7	34.7	32.7	67.3	42.9	51.0	46.9	34.7	0.0	0.0	
	20～29歳(n=91)	60.4	71.4	29.7	20.9	26.4	46.2	36.3	30.8	26.4	24.2	1.1	8.8	
	30～39歳(n=111)	68.5	72.1	37.8	25.2	27.9	55.0	46.8	45.0	36.9	20.7	5.4	5.4	
	40～49歳(n=103)	68.0	69.9	35.0	20.4	35.0	49.5	38.8	34.0	39.8	21.4	1.9	7.8	
	50～59歳(n=135)	69.6	77.8	42.2	18.5	40.0	48.1	35.6	28.1	34.8	23.0	2.2	3.7	
	60～69歳(n=158)	63.3	65.8	46.8	25.9	40.5	55.7	44.9	35.4	39.9	32.3	1.9	7.0	
	70歳以上(n=164)	48.8	51.8	42.1	16.5	35.4	52.4	43.3	38.4	38.4	27.4	0.0	14.0	

## 5. 多様な性について

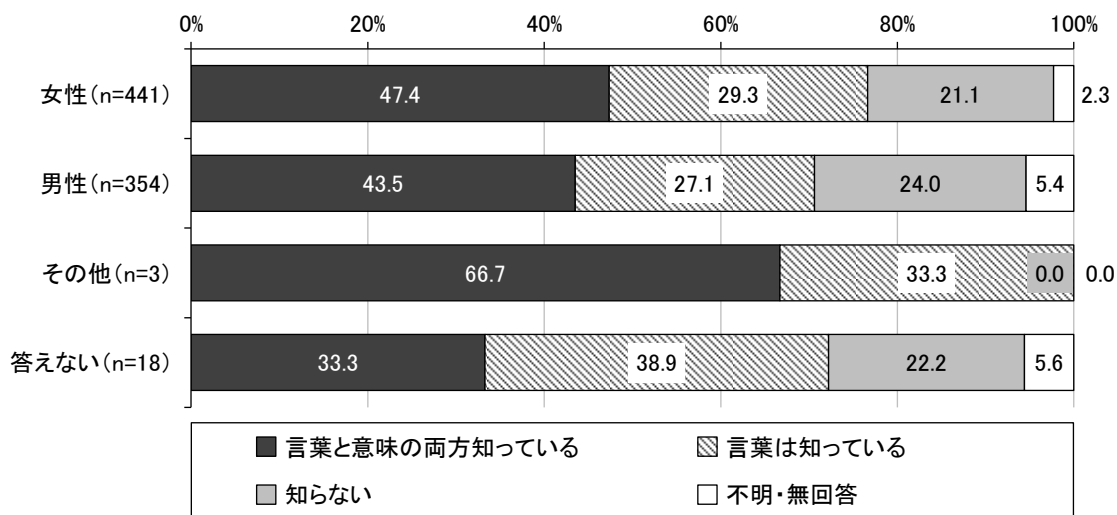
### 問 23 あなたは、「LGBTQ」という言葉を知っていますか。(1つに〇)

「LGBTQ」という言葉の認知度についてみると、「言葉と意味の両方知っている」が44.9%と最も高く、次いで「言葉は知っている」が28.4%、「知らない」が22.5%となっています。



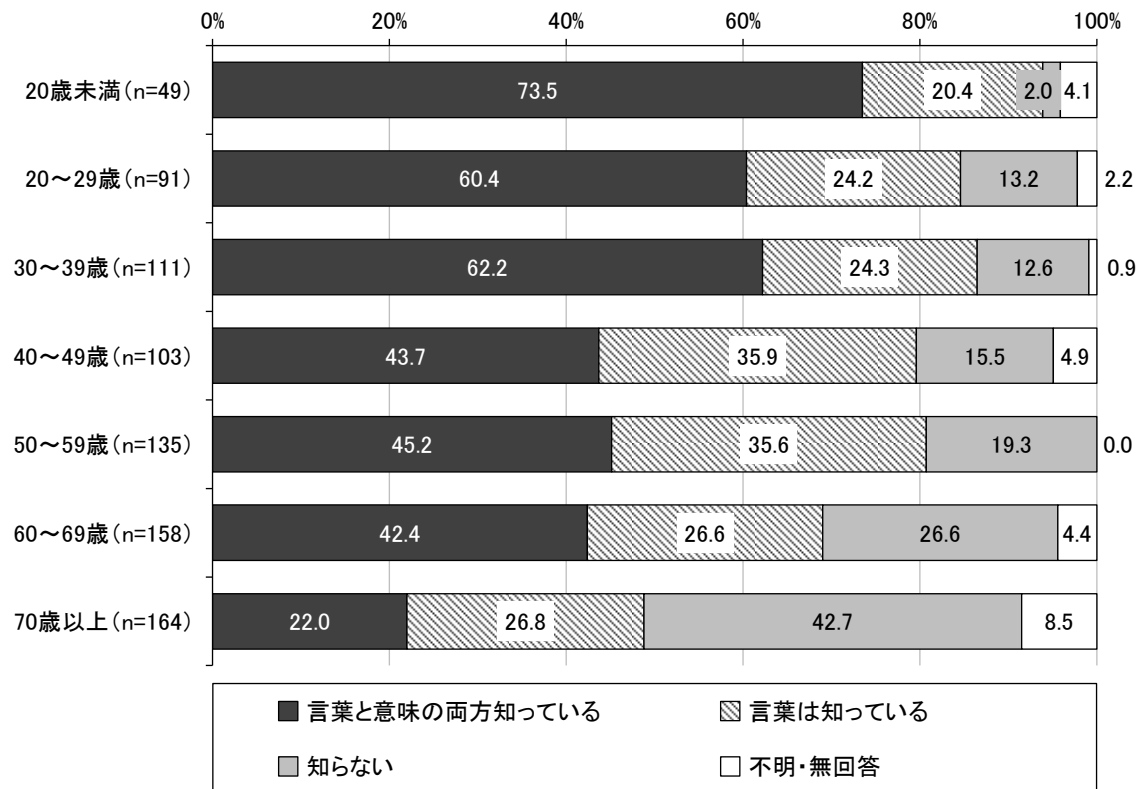
#### 【性別】

性別でみると、男女ともに「言葉と意味の両方知っている」が最も高くなっています。



### 【年代別】

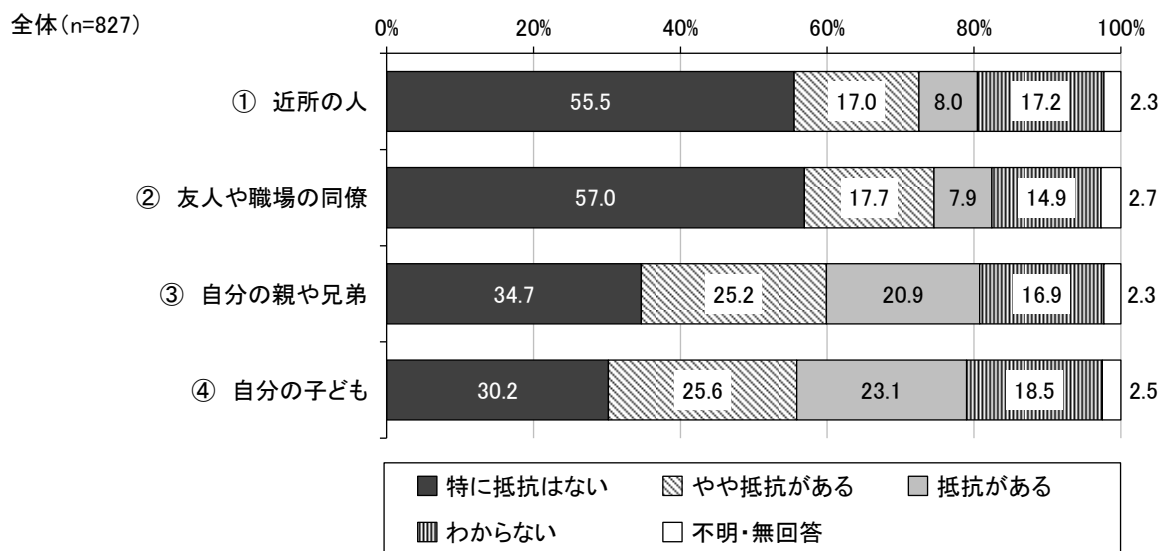
年代別でみると、70歳以上では「知らない」、それ以外の年代では「言葉と意味の両方知っている」が最も高くなっています。



**問 24 家族や友人等、あなたの身近な人が性的マイノリティ (LGBTQ) だとしたらどう思いますか。**

兄弟やお子さんがない方もお答えください。(①から④の項目ごとに、1つに○)

身近な人が性的マイノリティ (LGBTQ) だとしたらどう思うかについてみると、「特に抵抗はない」がすべての項目で最も高く、[①近所の人] [②友人や職場の同僚] で5割以上となっています。一方、[③自分の親や兄弟] [④自分の子ども] で『抵抗がある』が「特に抵抗はない」を上回っています。



※ 『抵抗がある』…「やや抵抗がある」「抵抗がある」の合計

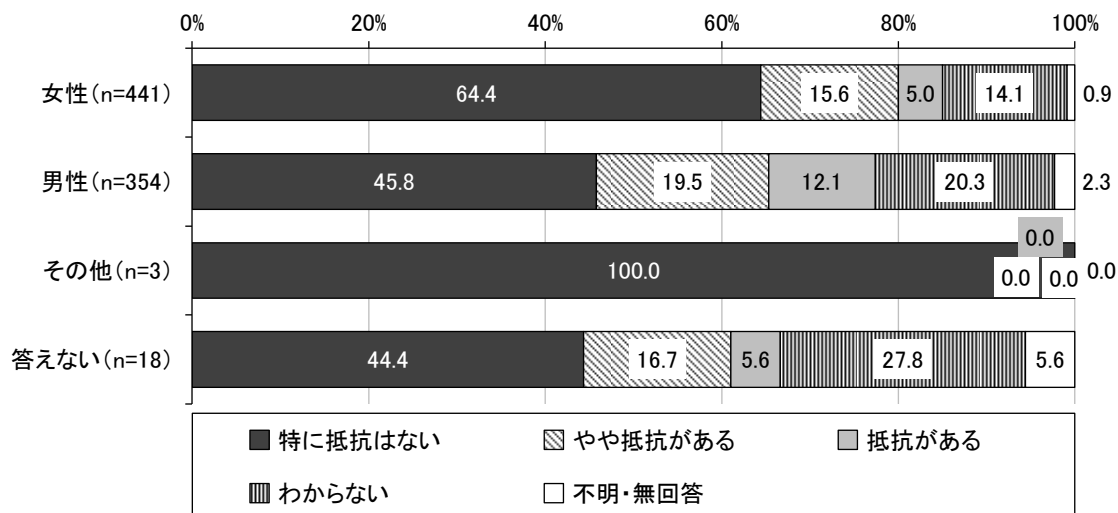
## 【性別、年代別】

### ≪① 近所の人≫

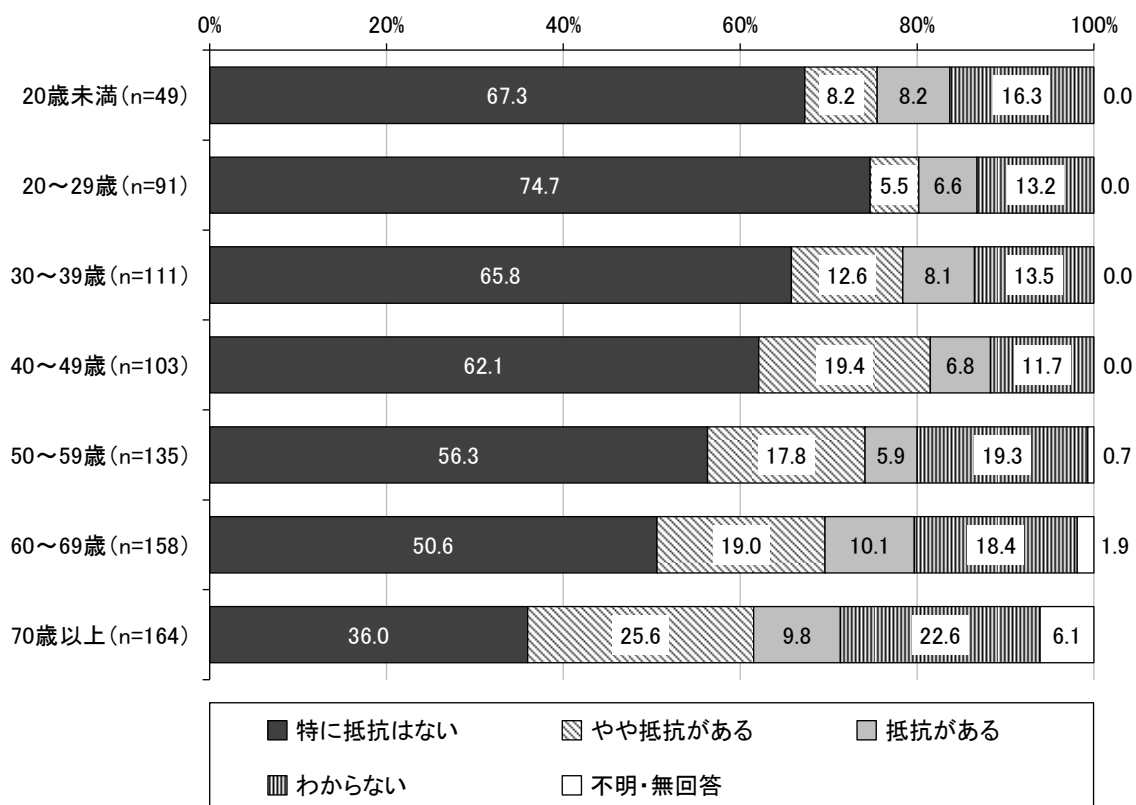
性別で見ると、男女ともに「特に抵抗はない」が最も高くなっています。

年代別で見ると、すべての年代で「特に抵抗はない」が最も高くなっています。

## 【性別】



## 【年代別】

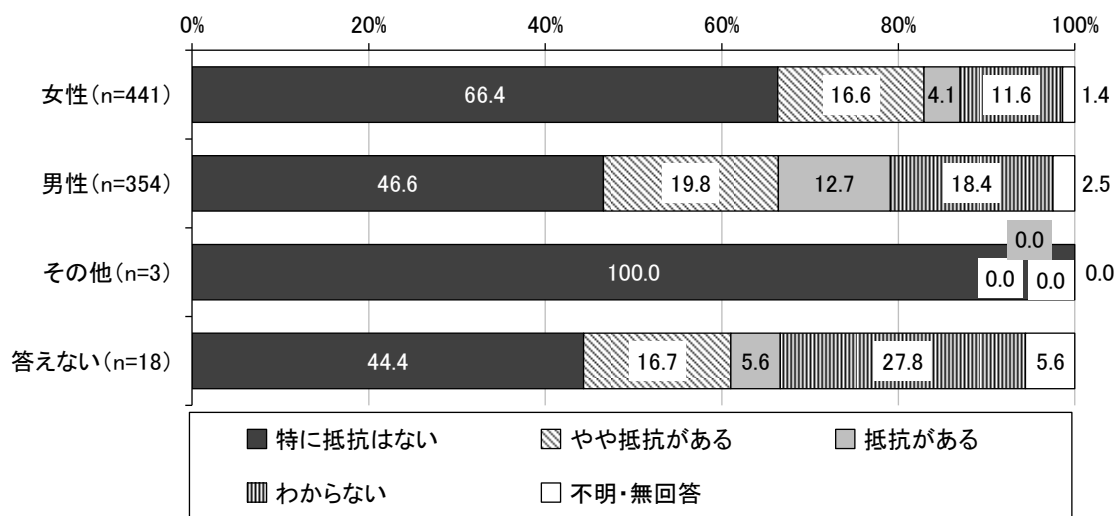


≪② 友人や職場の同僚≫

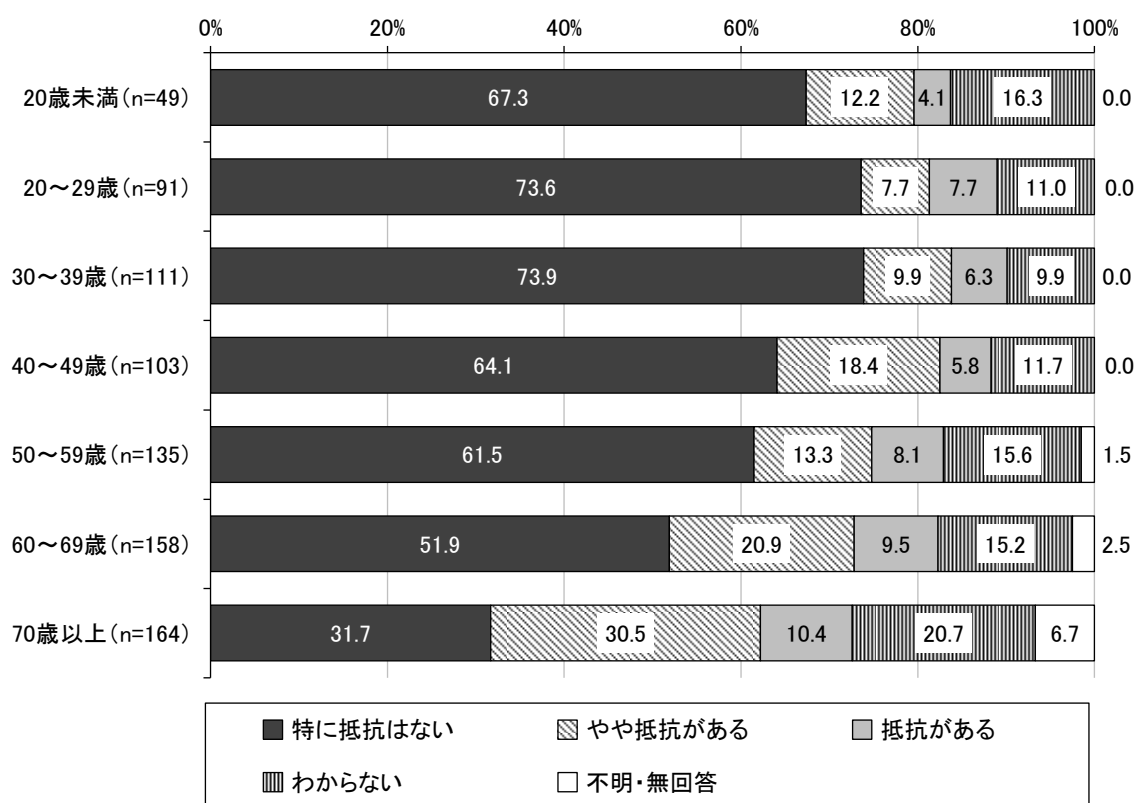
性別でみると、男女ともに「特に抵抗はない」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「特に抵抗はない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

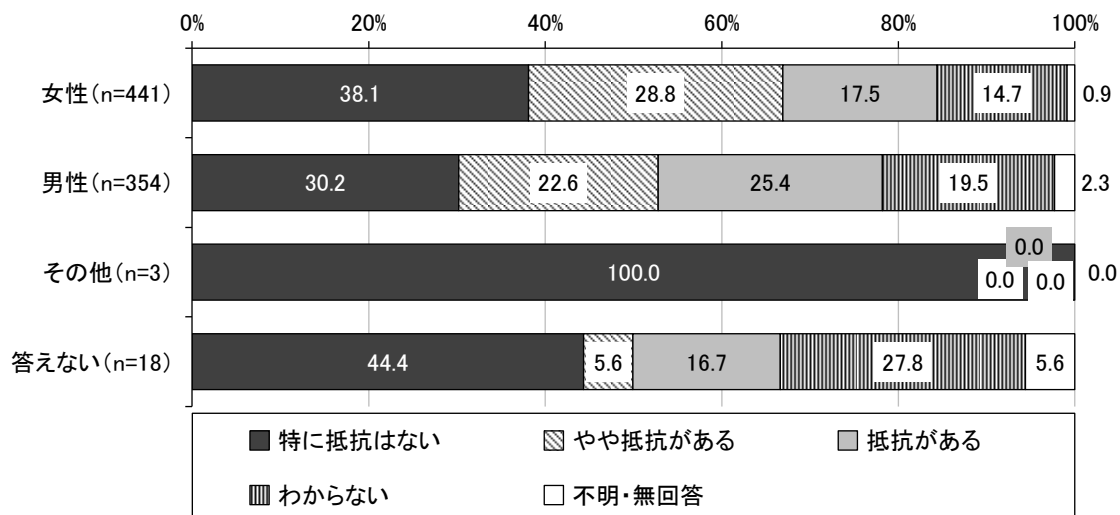


«③ 自分の親や兄弟»

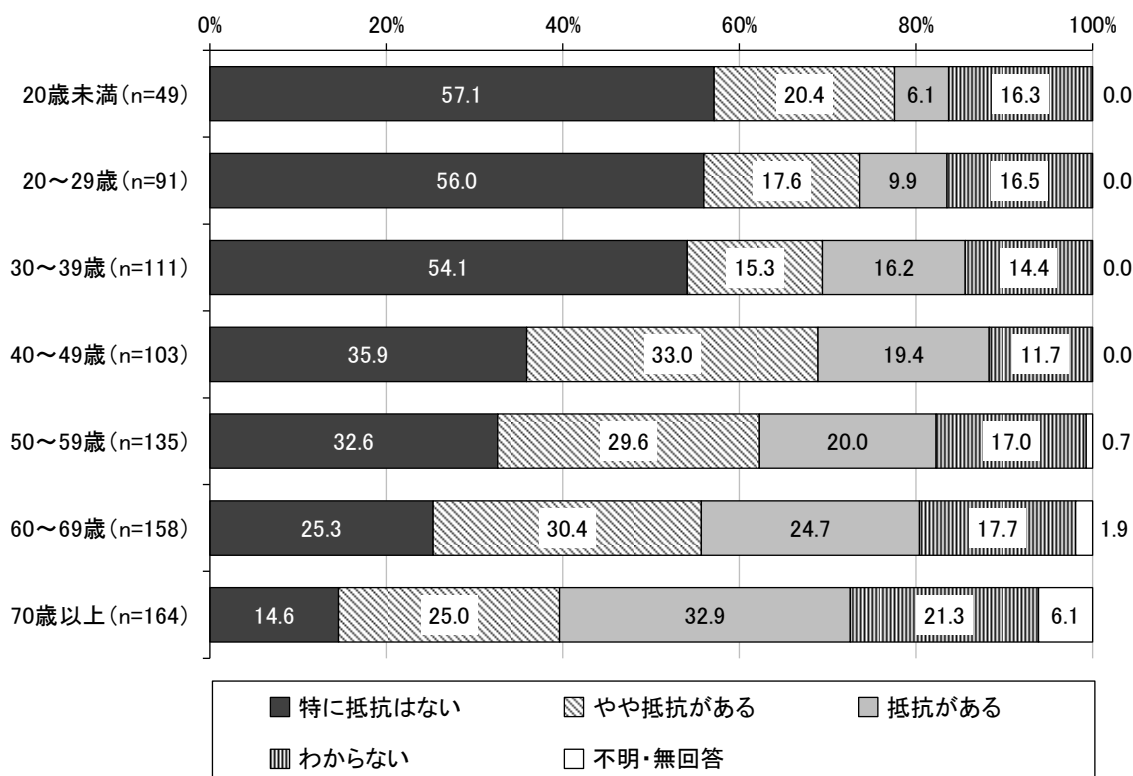
性別でみると、男女ともに「特に抵抗はない」が最も高くなっています。

年代別でみると、60～69歳では「やや抵抗がある」、70歳以上では「抵抗がある」、それ以外の年代では「特に抵抗はない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

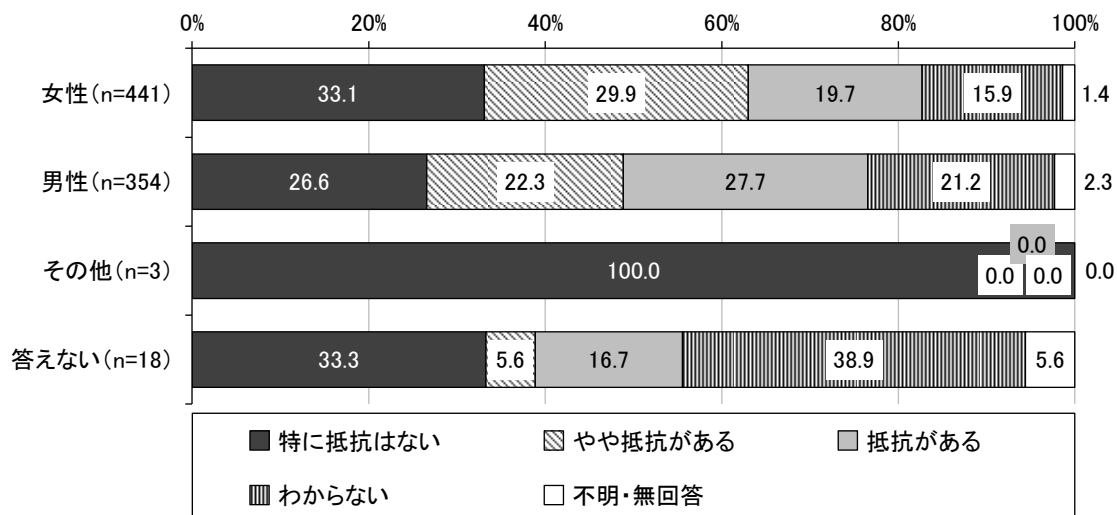


◀④ 自分子ども▶

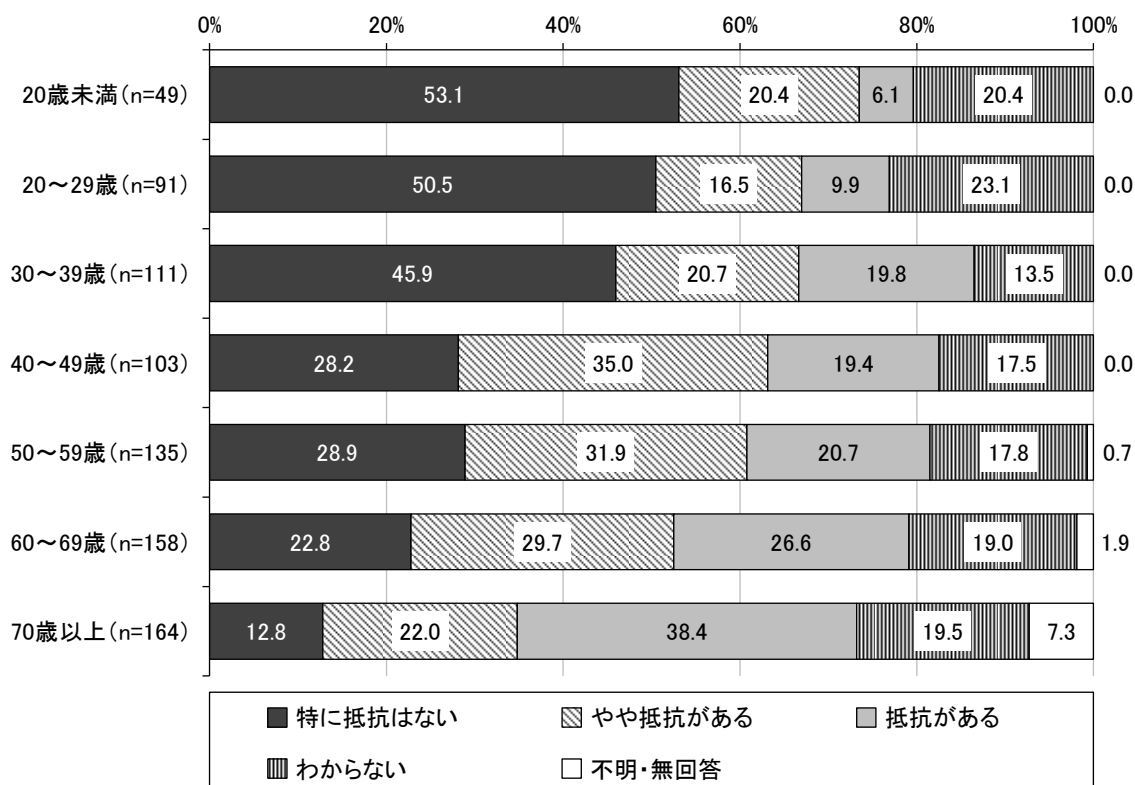
性別でみると、女性では「特に抵抗はない」、男性では「抵抗がある」が最も高くなっています。

年代別でみると、40～49歳、50～59歳、60～69歳では「やや抵抗がある」、70歳以上では「抵抗がある」、それ以外の年代では「特に抵抗はない」が最も高くなっています。

【性別】



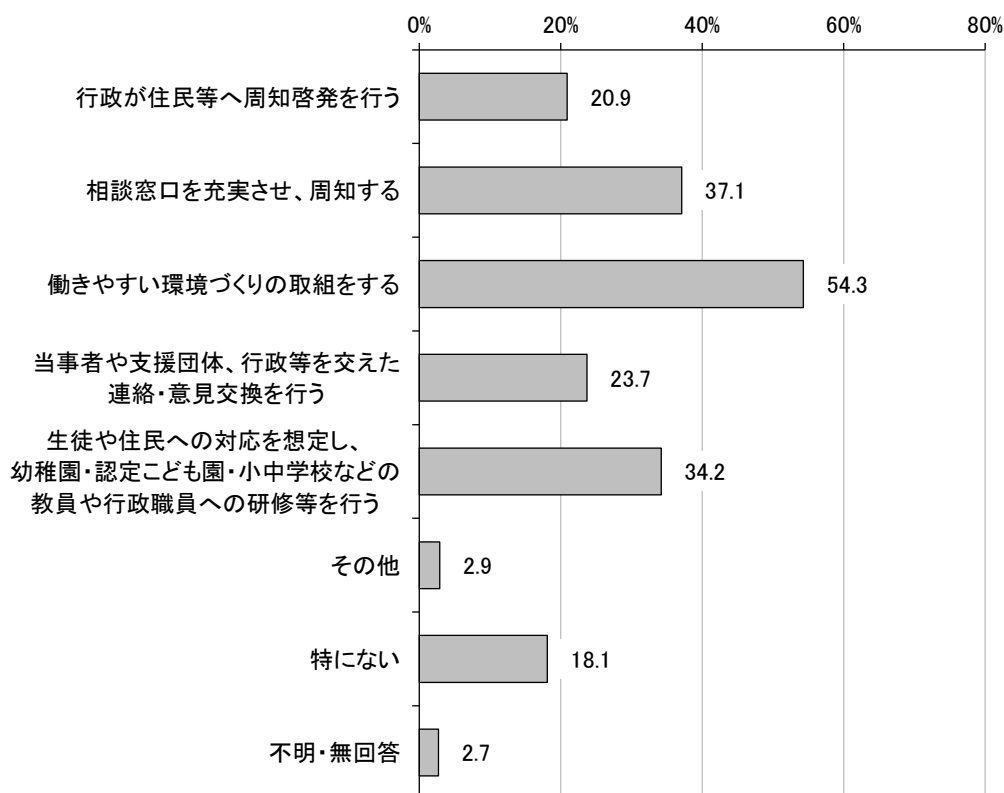
【年代別】



**問 25 あなたは、性的マイノリティの方々への偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために、どのような対策が必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)**

性的マイノリティの方々が生活しやすくなるための対策についてみると、「働きやすい環境づくりの取組をする」が54.3%と最も高く、次いで「相談窓口を充実させ、周知する」が37.1%、「生徒や住民への対応を想定し、幼稚園・認定こども園・小中学校などの教員や行政職員への研修等を行う」が34.2%となっています。

全体(n=827)



### 【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「働きやすい環境づくりの取組をする」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「相談窓口を充実させ、周知する」、それ以外の年代では「働きやすい環境づくりの取組をする」が最も高くなっています。

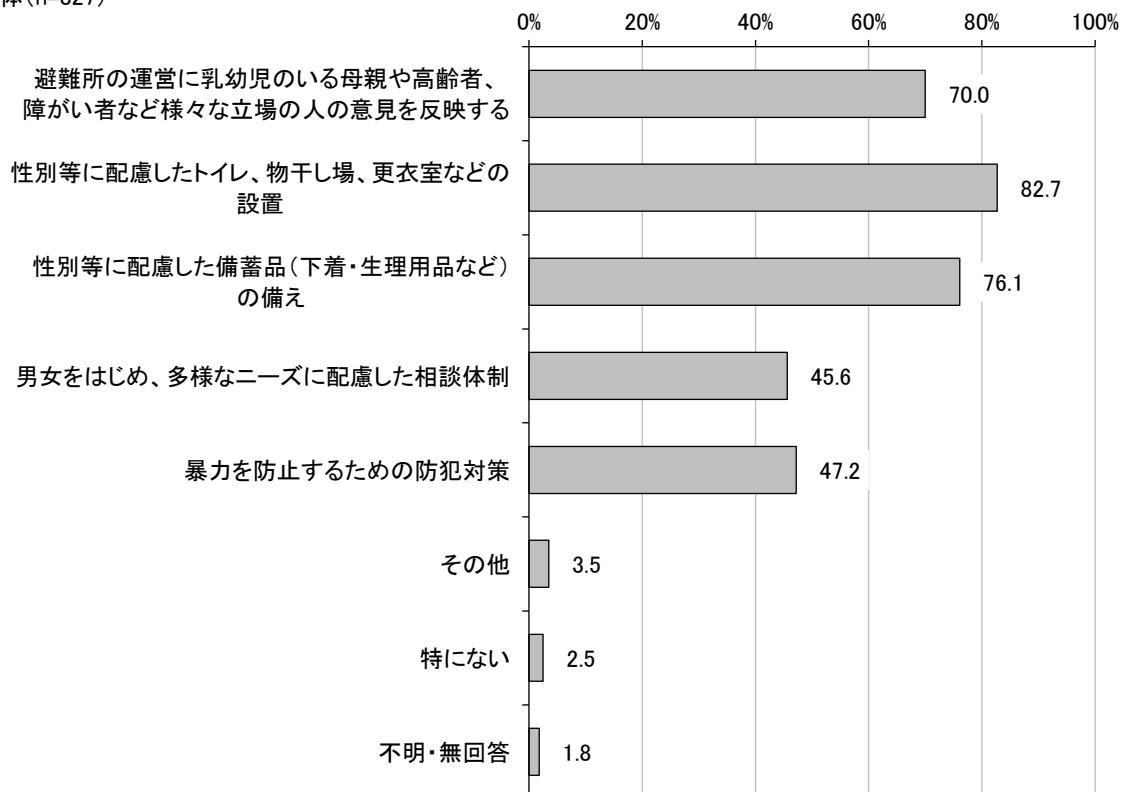
単位：%		行政が住民等へ周知啓発を行う	相談窓口を充実させ、周知する	働きやすい環境づくりの取組をする	当事者や支援団体、行政等と交えた連絡・意見交換を行う	小・中学校などの教員や行政職員への研修等を行う	生徒や住民への対応を想定し、幼稚園・認定こども園・小学校などの対応を行う	その他	特になし	不明・無回答
性別	女性(n=441)	17.5	37.9	<b>58.3</b>	26.1	<b>38.5</b>	2.0	17.0	1.1	
	男性(n=354)	26.3	<b>37.0</b>	<b>51.1</b>	21.8	29.9	3.1	19.2	2.8	
	その他(n=3)	33.3	33.3	<b>100.0</b>	<b>66.7</b>	<b>66.7</b>	33.3	0.0	0.0	
	答えない(n=18)	5.6	22.2	<b>33.3</b>	0.0	22.2	5.6	<b>33.3</b>	16.7	
年代別	20歳未満(n=49)	22.4	<b>38.8</b>	<b>69.4</b>	22.4	32.7	4.1	12.2	0.0	
	20～29歳(n=91)	17.6	<b>36.3</b>	<b>52.7</b>	18.7	33.0	3.3	24.2	1.1	
	30～39歳(n=111)	18.9	33.3	<b>56.8</b>	22.5	<b>43.2</b>	5.4	23.4	0.9	
	40～49歳(n=103)	17.5	<b>33.0</b>	<b>55.3</b>	27.2	<b>33.0</b>	1.9	19.4	1.0	
	50～59歳(n=135)	23.7	33.3	<b>57.0</b>	24.4	<b>35.6</b>	2.2	19.3	1.5	
	60～69歳(n=158)	19.6	<b>38.0</b>	<b>58.9</b>	21.5	34.8	2.5	11.4	1.9	
	70歳以上(n=164)	25.0	<b>45.7</b>	<b>44.5</b>	28.0	29.3	1.2	18.3	6.1	

## 6. 災害対策などについて

問 26 あなたは、災害時の避難所において快適に過ごすために、どのようなことが必要だと思えますか。(当てはまるものすべてに○)

災害時の避難所において快適に過ごすために必要なことについてみると、「性別等に配慮したトイレ、物干し場、更衣室などの設置」が 82.7%と最も高く、次いで「性別等に配慮した備蓄品（下着・生理用品など）の備え」が 76.1%、「避難所の運営に乳幼児のいる母親や高齢者、障がい者など様々な立場の人の意見を反映する」が 70.0%となっています。

全体 (n=827)



### 【性別、年代別】

性別で見ると、男女ともに「性別等に配慮したトイレ、物干し場、更衣室などの設置」が最も高くなっています。

年代別で見ると、20～29 歳では「性別等に配慮したトイレ、物干し場、更衣室などの設置」「性別等に配慮した備蓄品（下着・生理用品など）の備え」、30～39 歳では「性別等に配慮した備蓄品（下着・生理用品など）の備え」、それ以外の年代では「性別等に配慮したトイレ、物干し場、更衣室などの設置」が最も高くなっています。

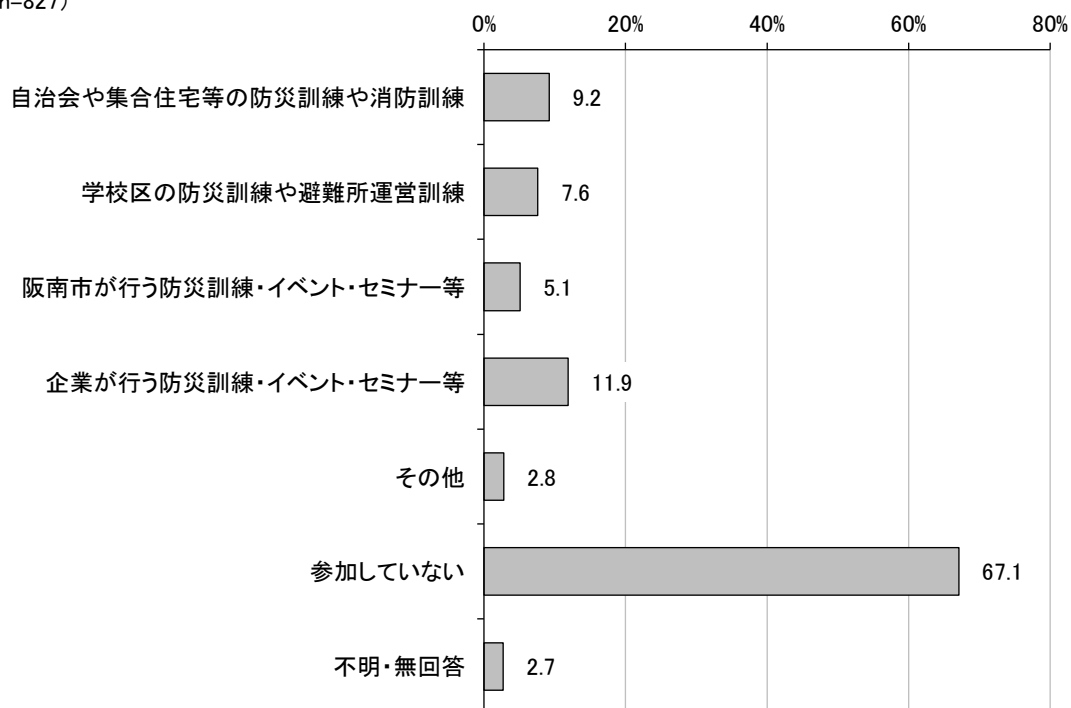
単位：%		様々な立場の者、人の意見が反映	避難所の運営に乳幼児のいない	性別等に配慮したトイレ、物干し場、更衣室などの設置	性別等に配慮した備蓄品（下着・生理用品など）の備え	男女をはじめ、多様なニーズに配慮した相談、体制	暴力を防止するための防犯対策	その他	特になし	不明・無回答
性別	女性(n=441)	73.5	<b>85.0</b>	<b>80.5</b>	48.1	46.7	3.9	2.9	0.2	
	男性(n=354)	67.2	<b>81.1</b>	<b>71.8</b>	43.5	48.6	2.8	2.3	2.0	
	その他(n=3)	33.3	66.7	<b>100.0</b>	33.3	<b>100.0</b>	33.3	0.0	0.0	
	答えない(n=18)	<b>66.7</b>	<b>77.8</b>	<b>66.7</b>	33.3	44.4	5.6	0.0	16.7	
年代別	20歳未満(n=49)	67.3	<b>79.6</b>	<b>77.6</b>	38.8	49.0	6.1	2.0	0.0	
	20～29歳(n=91)	60.4	<b>73.6</b>	<b>73.6</b>	34.1	48.4	3.3	7.7	2.2	
	30～39歳(n=111)	62.2	<b>80.2</b>	<b>82.9</b>	42.3	64.0	5.4	1.8	0.9	
	40～49歳(n=103)	66.0	<b>86.4</b>	<b>84.5</b>	45.6	55.3	2.9	2.9	1.0	
	50～59歳(n=135)	<b>73.3</b>	<b>86.7</b>	70.4	45.2	42.2	2.2	1.5	0.0	
	60～69歳(n=158)	75.3	<b>84.8</b>	<b>75.9</b>	51.3	45.6	2.5	1.3	1.9	
	70歳以上(n=164)	<b>79.3</b>	<b>85.4</b>	75.0	51.2	37.2	3.7	2.4	2.4	

問 27 あなたは、ここ2、3年で防災に関する取組に参加したことはありますか。

(当てはまるものすべてに○)

ここ2、3年で防災に関する取組に参加したことについてみると、「参加していない」が67.1%と最も高く、次いで「企業が行う防災訓練・イベント・セミナー等」が11.9%、「自治会や集合住宅等の防災訓練や消防訓練」が9.2%となっています。

全体 (n=827)



### 【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「参加していない」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「学区の防災訓練や避難所運営訓練」、それ以外の年代では「参加していない」が最も高くなっています。

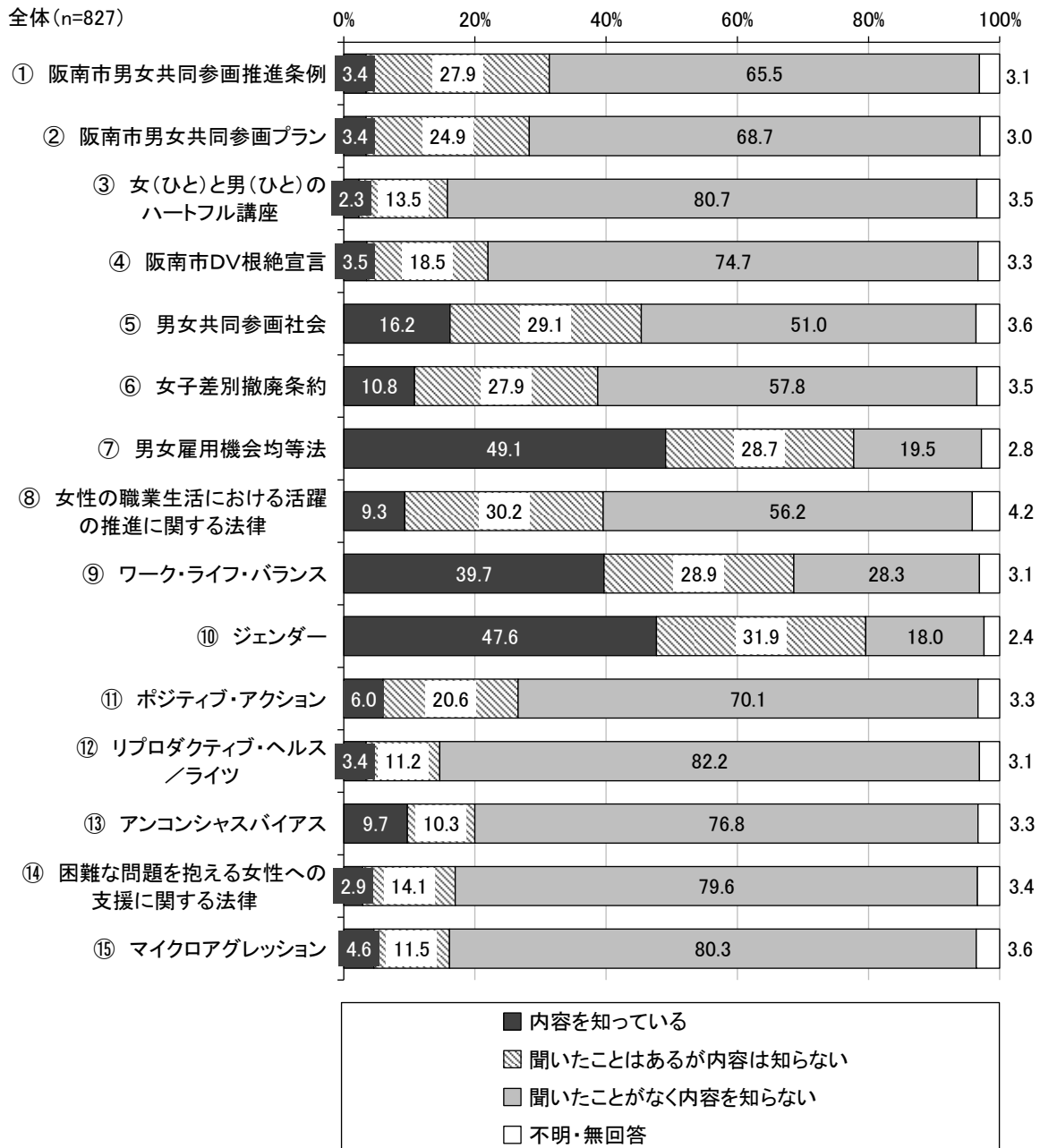
単位：%		自治会や集合住宅等の防災訓練や消防訓練	学区の防災訓練や避難所運営訓練	阪南市が行う防災訓練・イベント・セミナー等	企業が行う防災訓練・イベント・セミナー等	その他	参加していない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	8.6	<b>9.5</b>	6.1	8.4	3.2	<b>69.6</b>	0.5
	男性(n=354)	10.5	5.9	4.2	<b>16.4</b>	2.3	<b>64.4</b>	3.7
	その他(n=3)	0.0	0.0	0.0	<b>33.3</b>	0.0	<b>66.7</b>	0.0
	答えない(n=18)	0.0	0.0	0.0	<b>11.1</b>	0.0	<b>77.8</b>	11.1
年代別	20歳未満(n=49)	4.1	<b>44.9</b>	4.1	6.1	2.0	<b>42.9</b>	0.0
	20～29歳(n=91)	7.7	<b>13.2</b>	2.2	9.9	5.5	<b>67.0</b>	4.4
	30～39歳(n=111)	3.6	8.1	6.3	<b>11.7</b>	1.8	<b>72.1</b>	0.9
	40～49歳(n=103)	6.8	2.9	7.8	<b>11.7</b>	2.9	<b>72.8</b>	1.0
	50～59歳(n=135)	9.6	0.7	2.2	<b>17.0</b>	1.5	<b>70.4</b>	0.7
	60～69歳(n=158)	11.4	5.7	8.2	<b>16.5</b>	4.4	<b>60.8</b>	2.5
	70歳以上(n=164)	<b>14.0</b>	3.7	3.7	6.7	1.8	<b>72.6</b>	3.7

## 7. 男女共同参画に関する施策全般について

問 28 あなたは、次にあげるもののうち、知っている言葉はありますか。

(①から⑮の項目ごとに、1つに○)

男女共同参画に関する言葉の認知度についてみると、「内容を知っている」が〔⑦ 男女雇用機会均等法〕〔⑨ワーク・ライフ・バランス〕〔⑩ジェンダー〕で約3割～5割近くと高くなっています。一方、「聞いたことがなく内容を知らない」が〔⑦ 男女雇用機会均等法〕〔⑨ワーク・ライフ・バランス〕〔⑩ジェンダー〕を除くすべての項目で最も高くなっています。



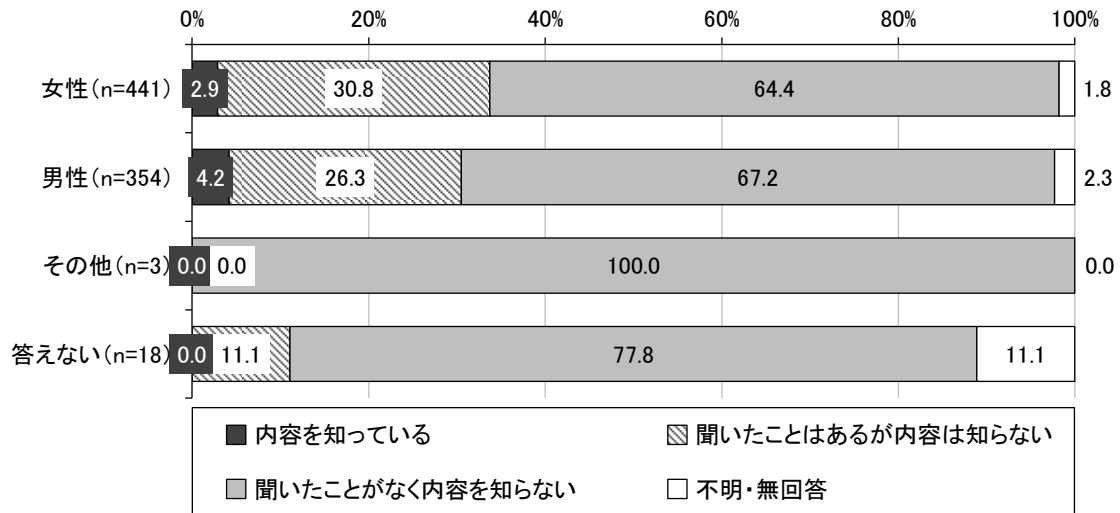
【性別、年代別】

≪① 阪南市男女共同参画推進条例≫

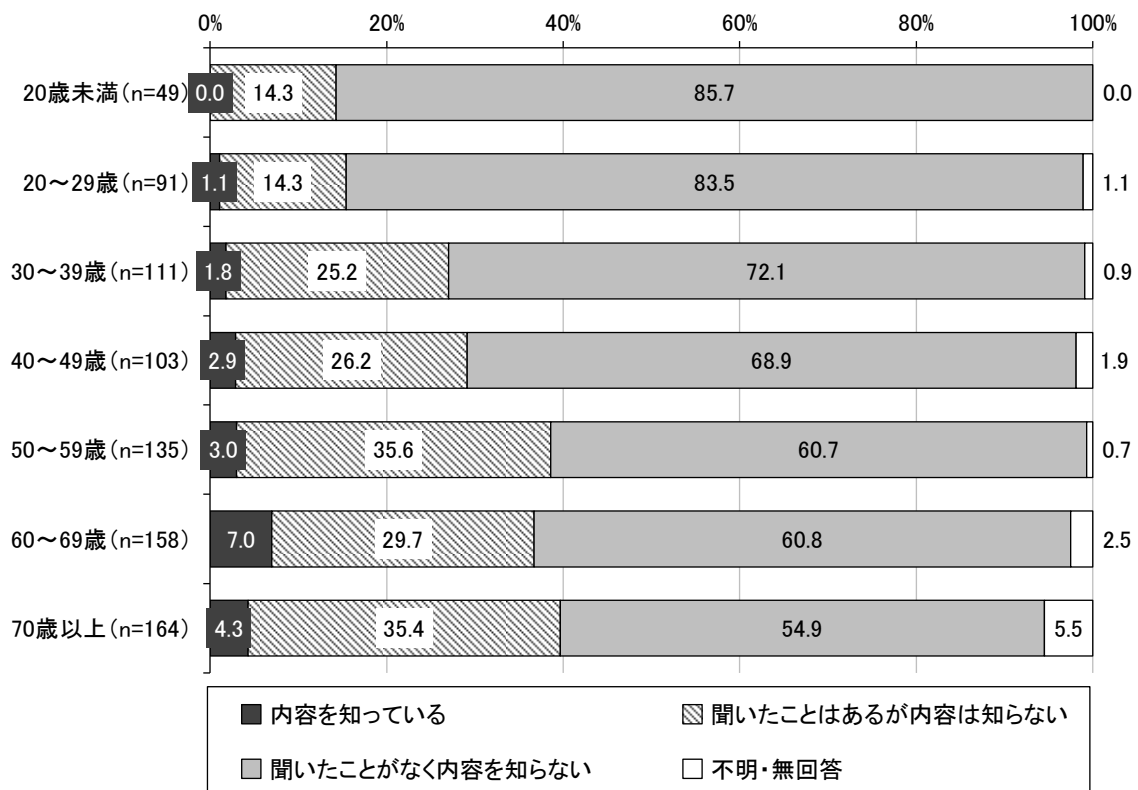
性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



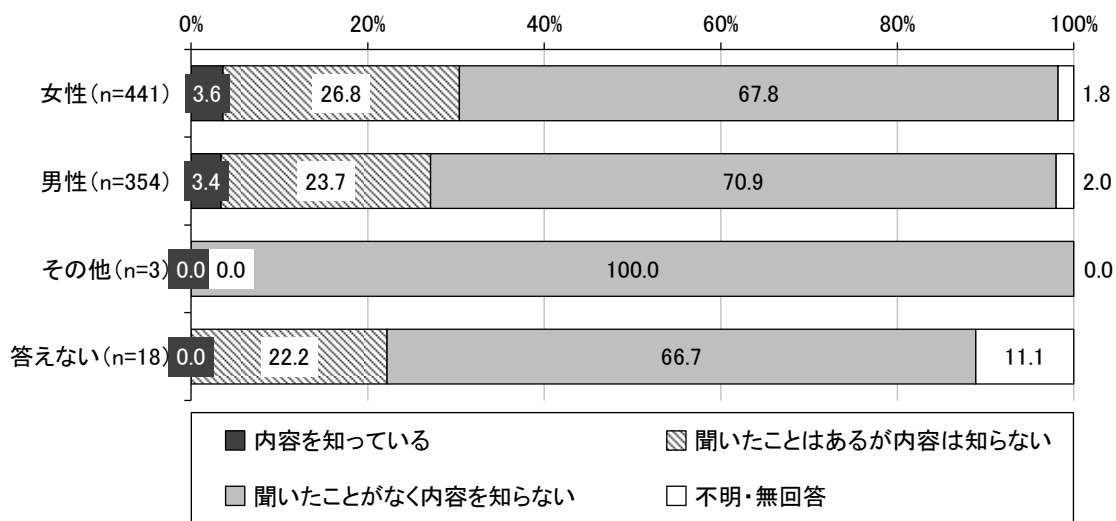
【年代別】



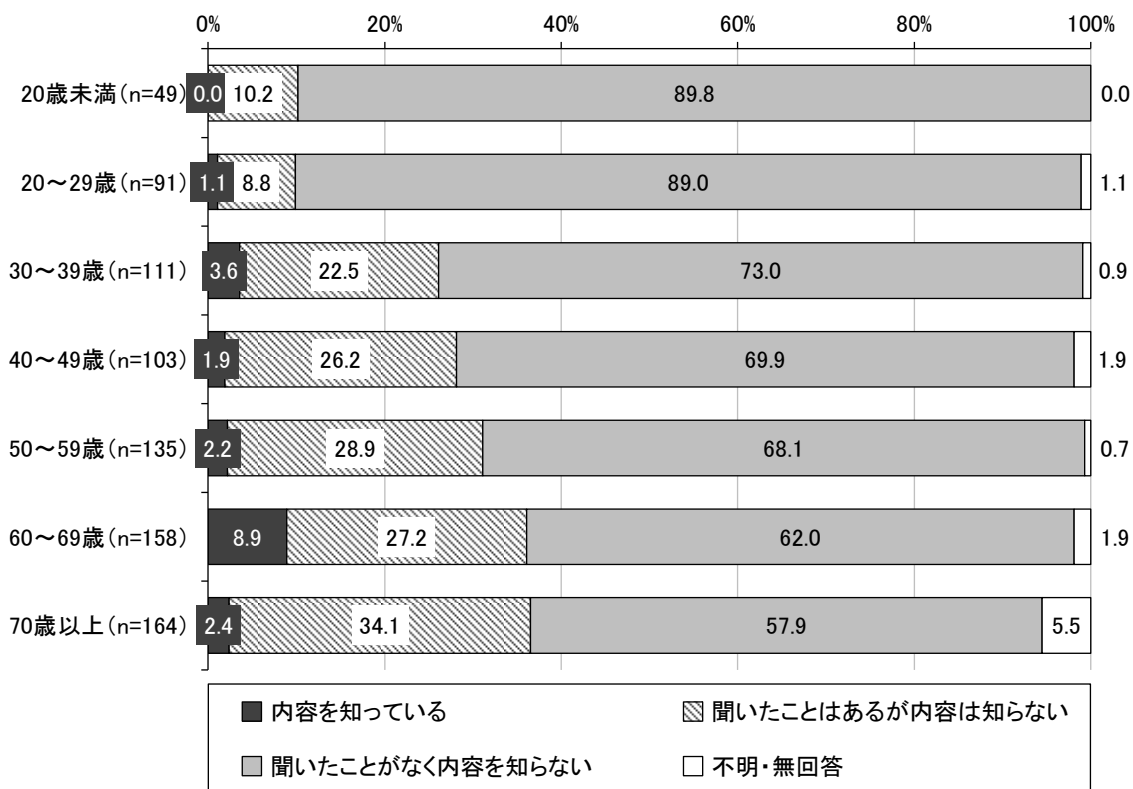
≪② 阪南市男女共同参画プラン≫

性別で見ると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。  
 年代別で見ると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



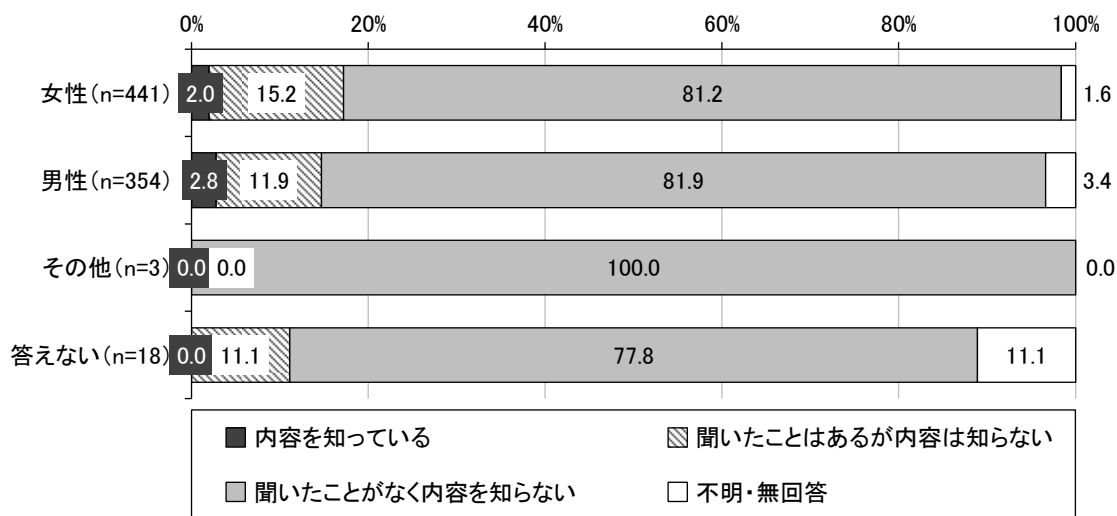
【年代別】



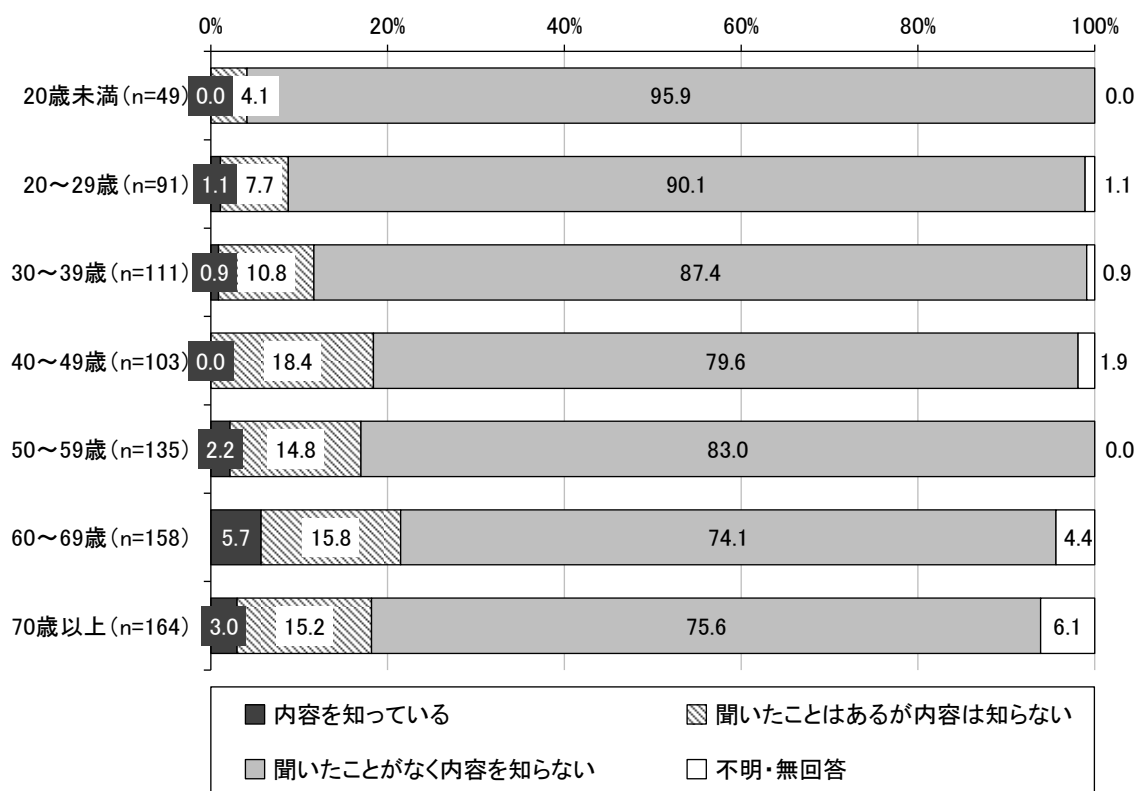
《③ 女（ひと）と男（ひと）のハートフル講座》

性別で見ると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。  
 年代別で見ると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



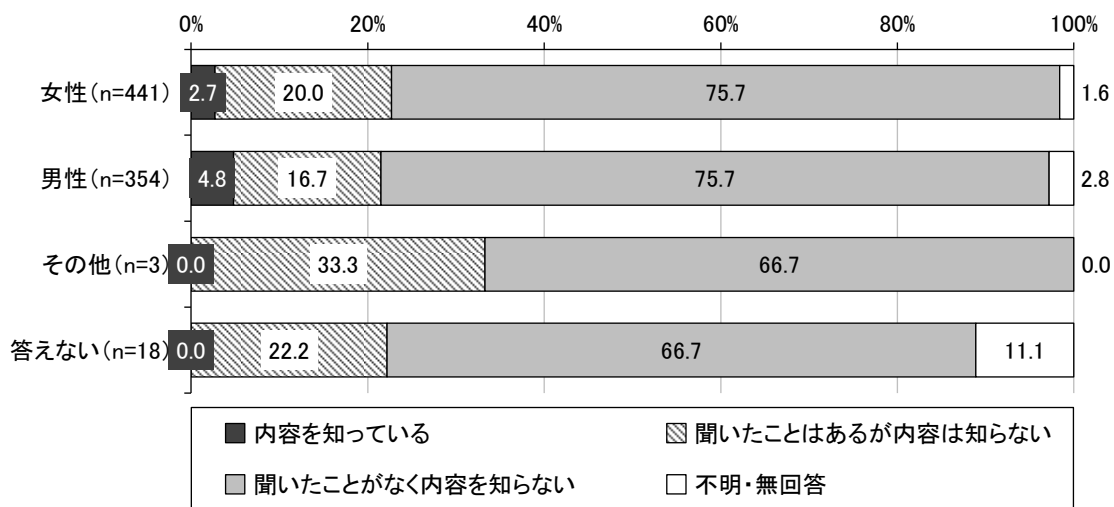
【年代別】



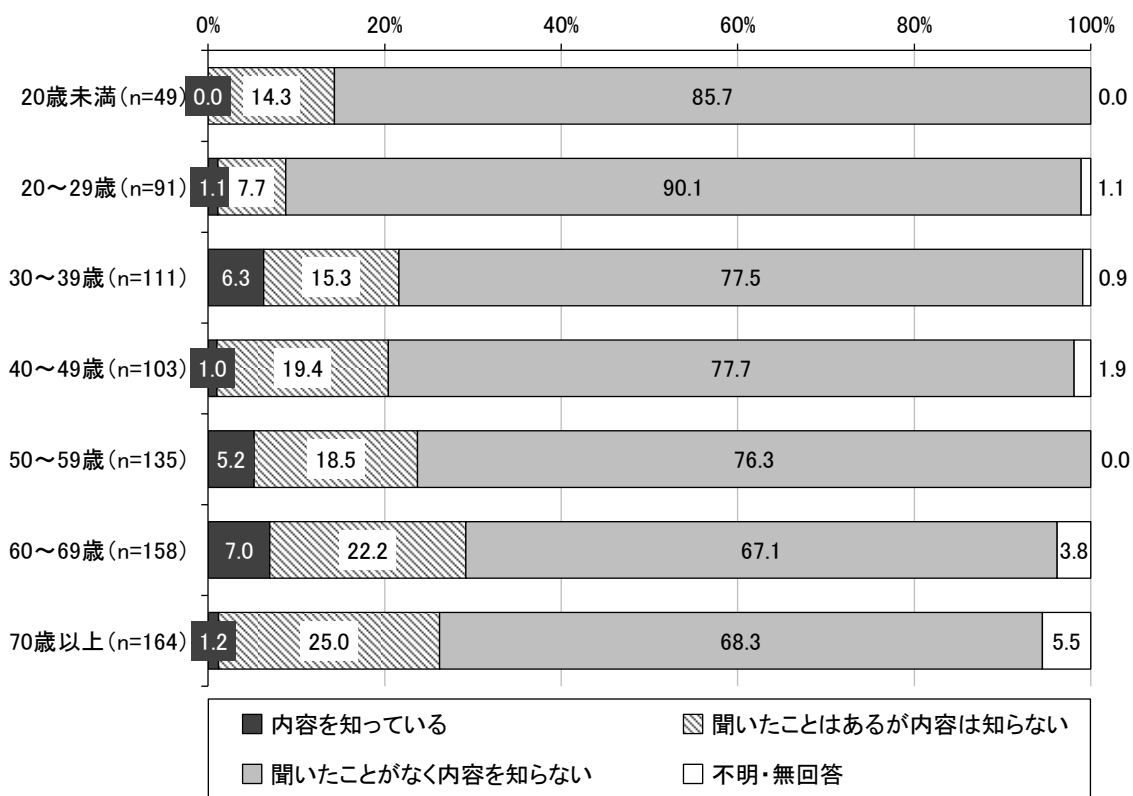
◀④ 阪南市DV根絶宣言▶

性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

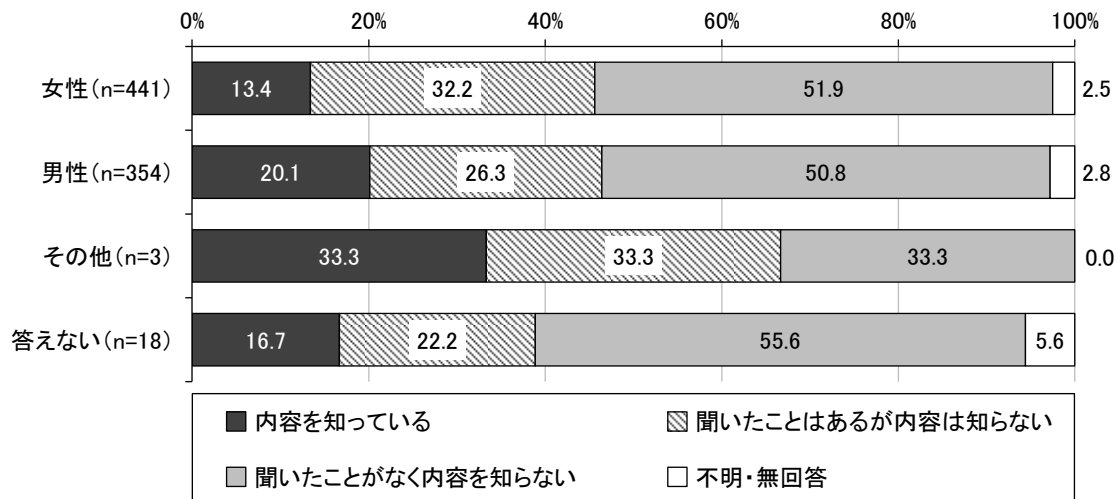


«⑤ 男女共同参画社会»

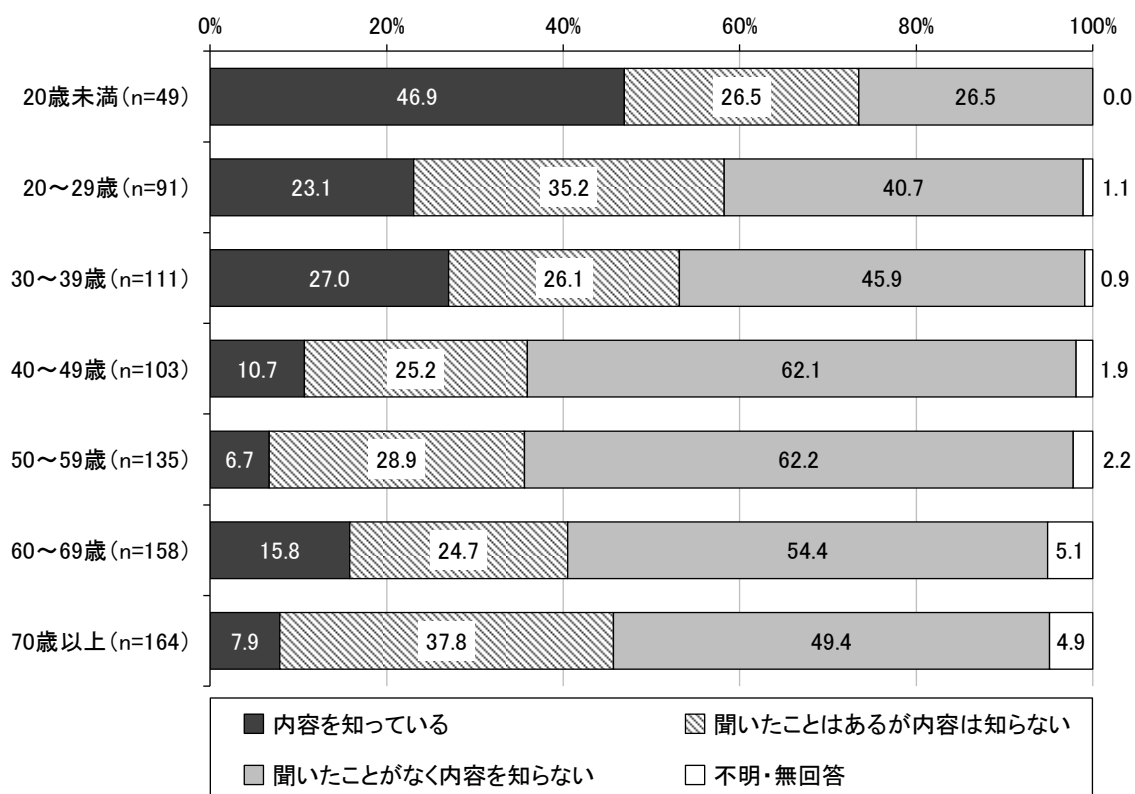
性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「内容を知っている」、それ以外の年代では「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

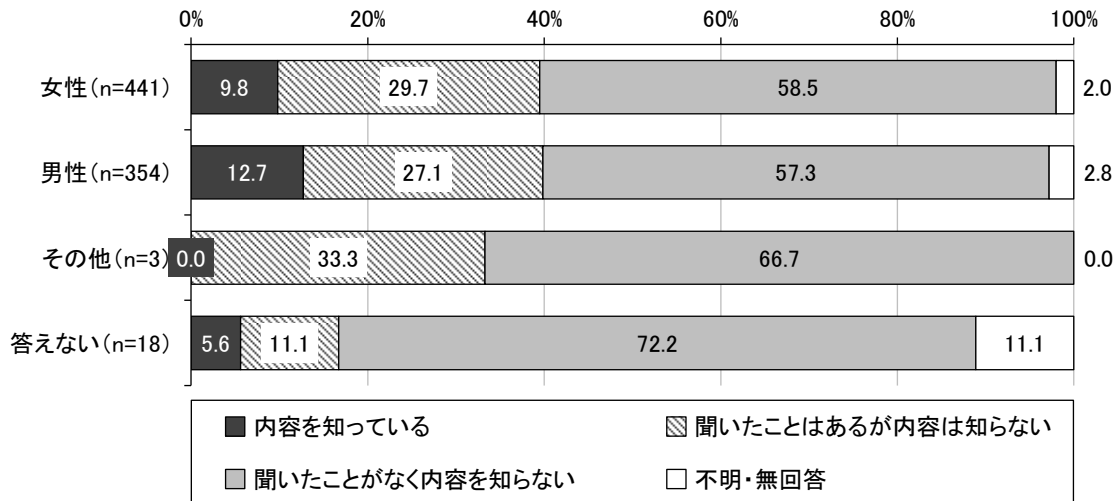


「女子差別撤廃条約」

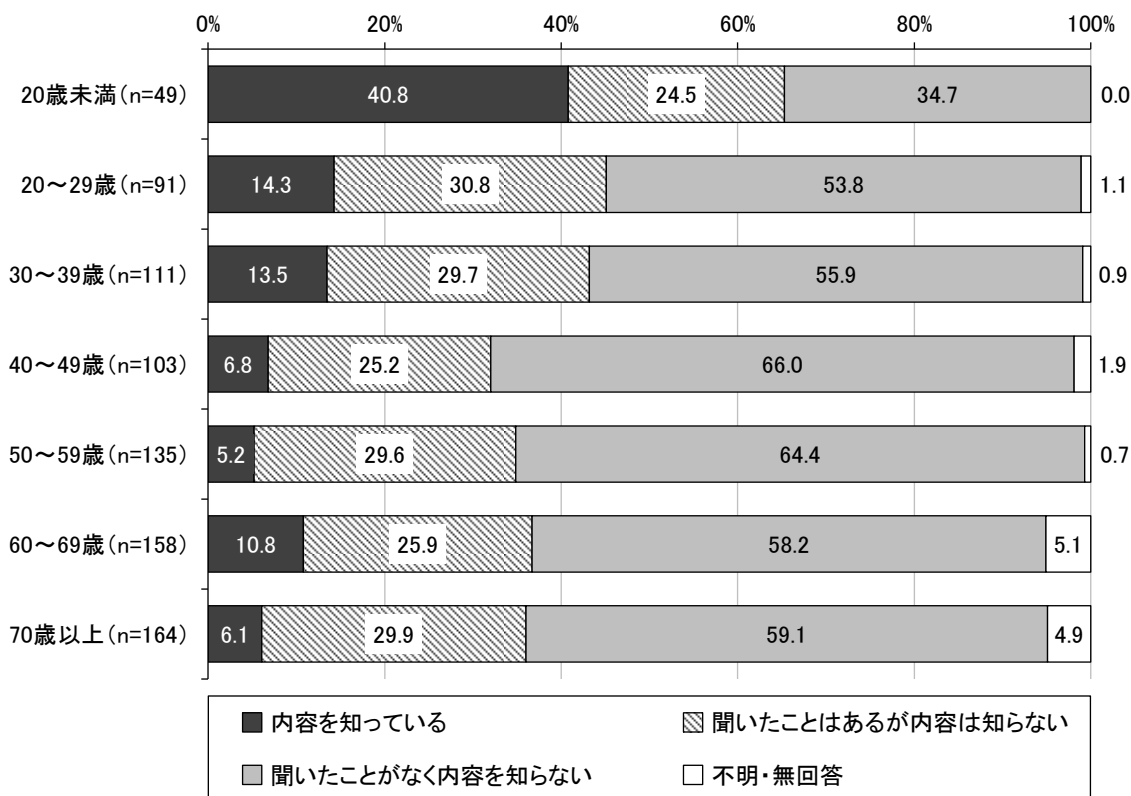
性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「内容を知っている」、それ以外の年代では「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



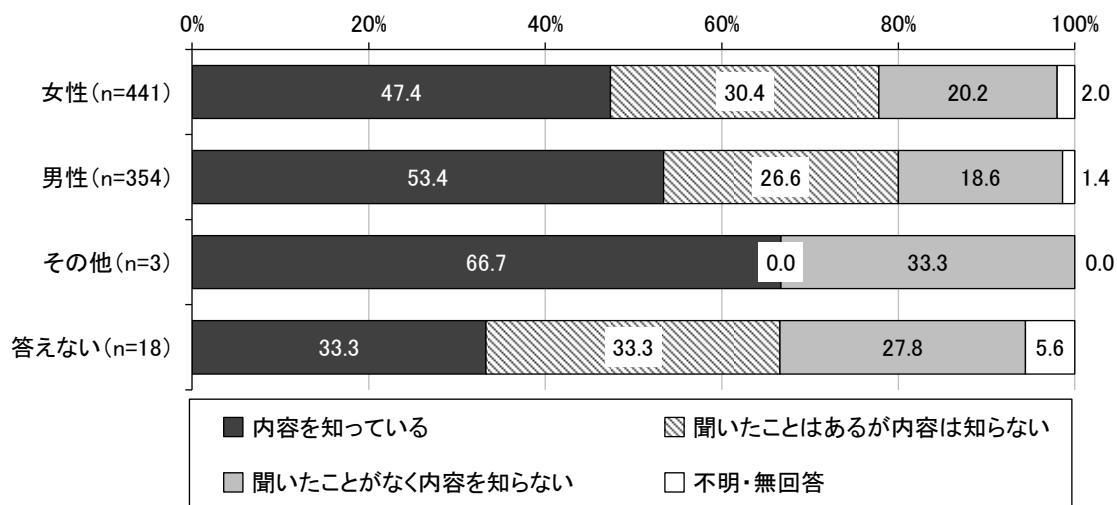
【年代別】



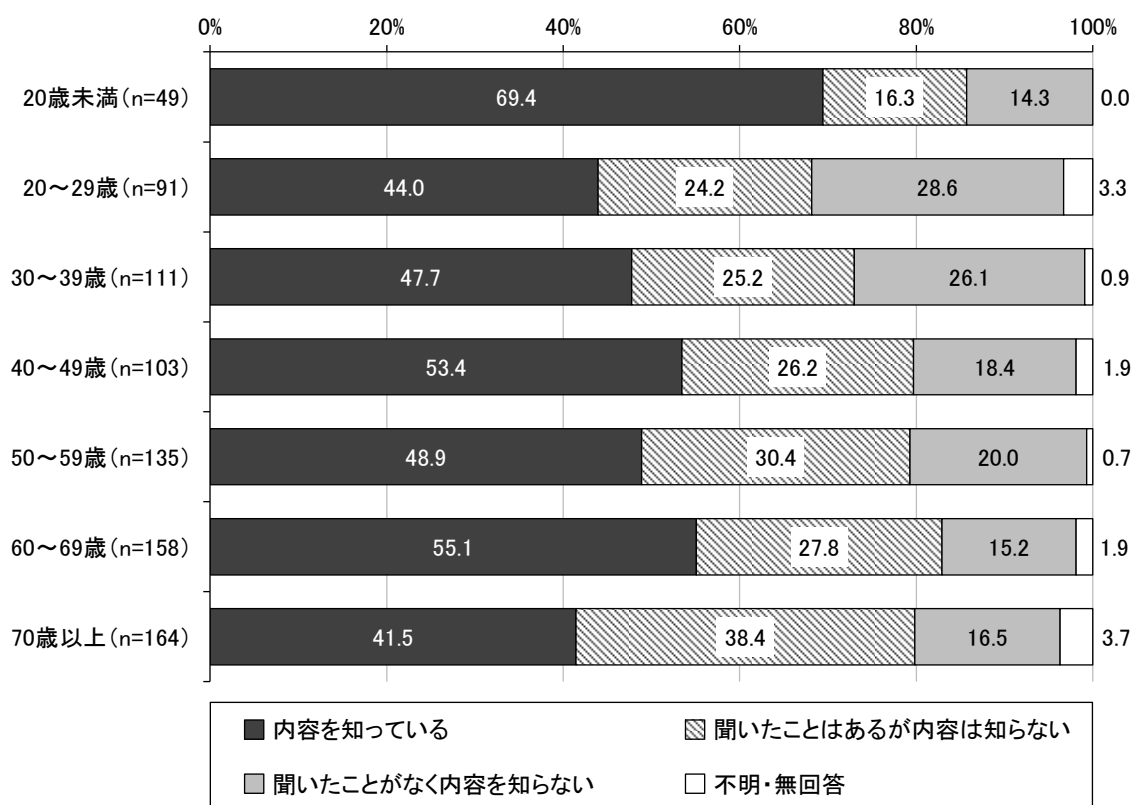
◀⑦ 男女雇用機会均等法▶

性別でみると、男女ともに「内容を知っている」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「内容を知っている」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

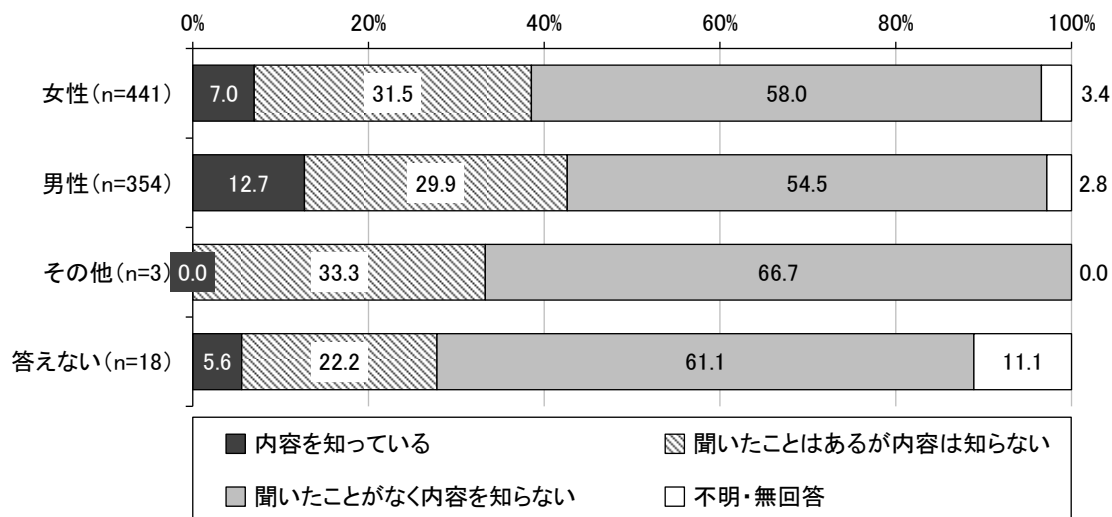


◀⑧ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律▶

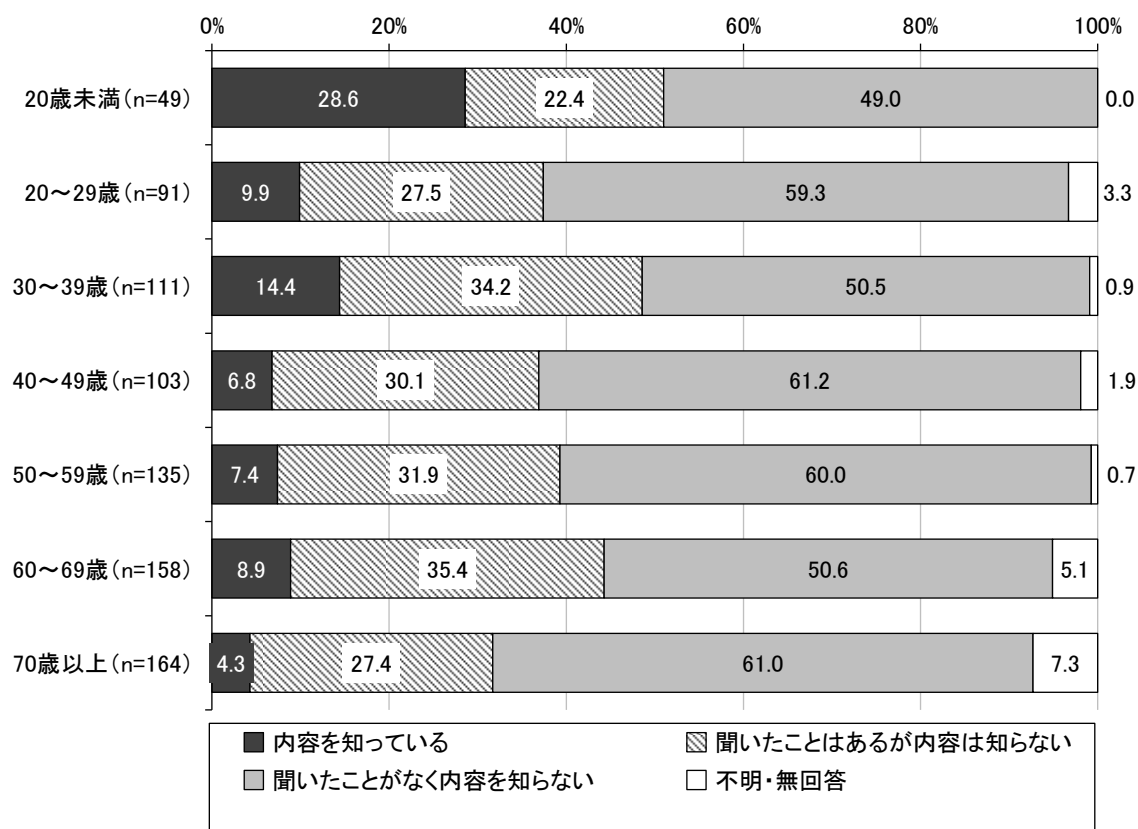
性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

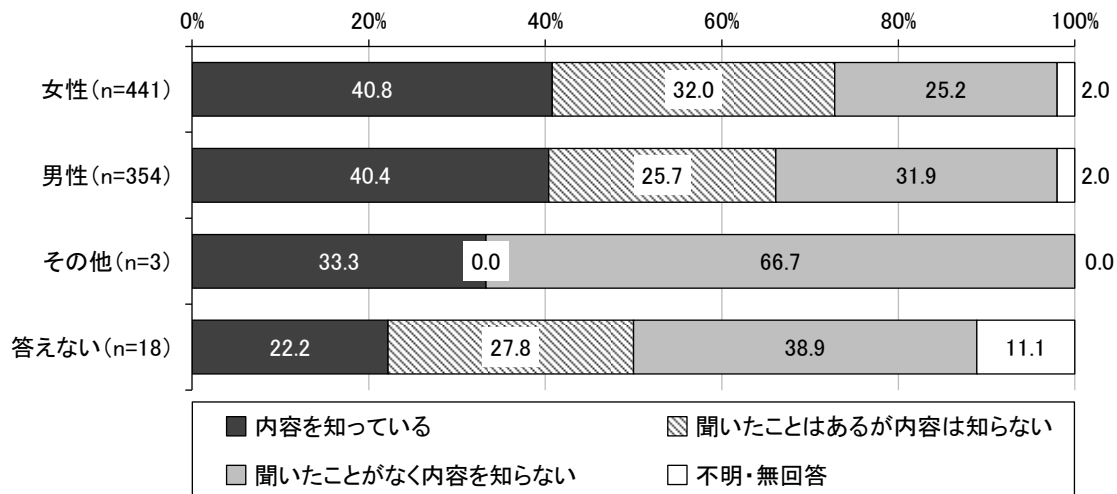


### ◀⑨ ワーク・ライフ・バランス▶

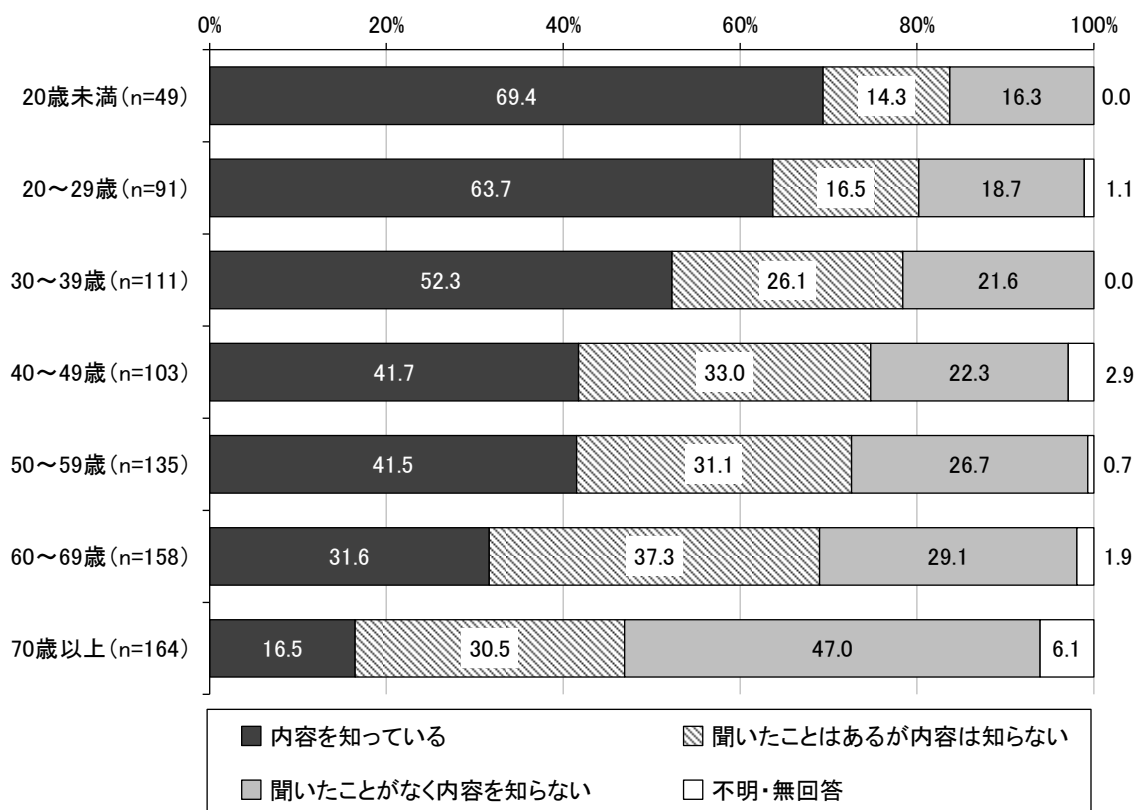
性別でみると、男女ともに「内容を知っている」が最も高くなっています。

年代別でみると、60～69歳では「聞いたことはあるが内容は知らない」、70歳以上では「聞いたことがなく内容を知らない」、それ以外の年代では「内容を知っている」が最も高くなっています。

#### 【性別】



#### 【年代別】

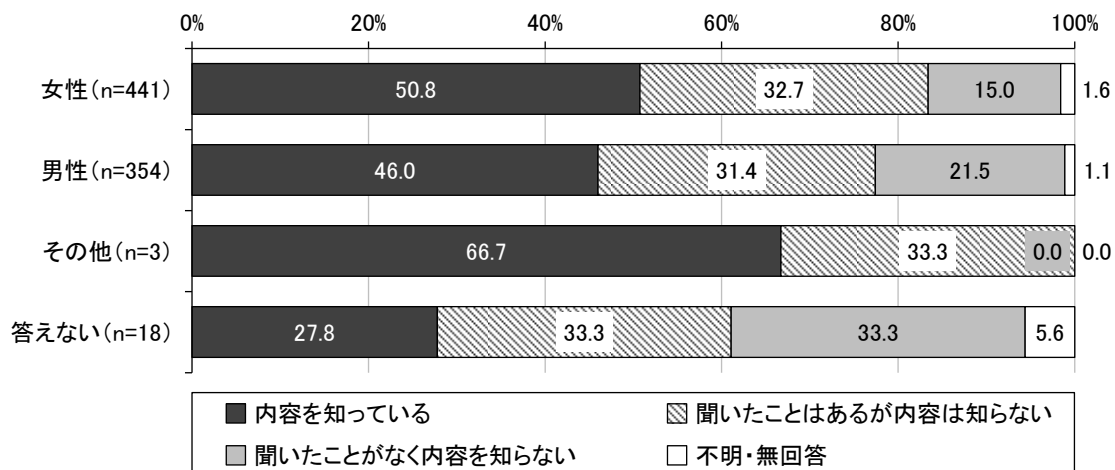


«⑩ ジェンダー»

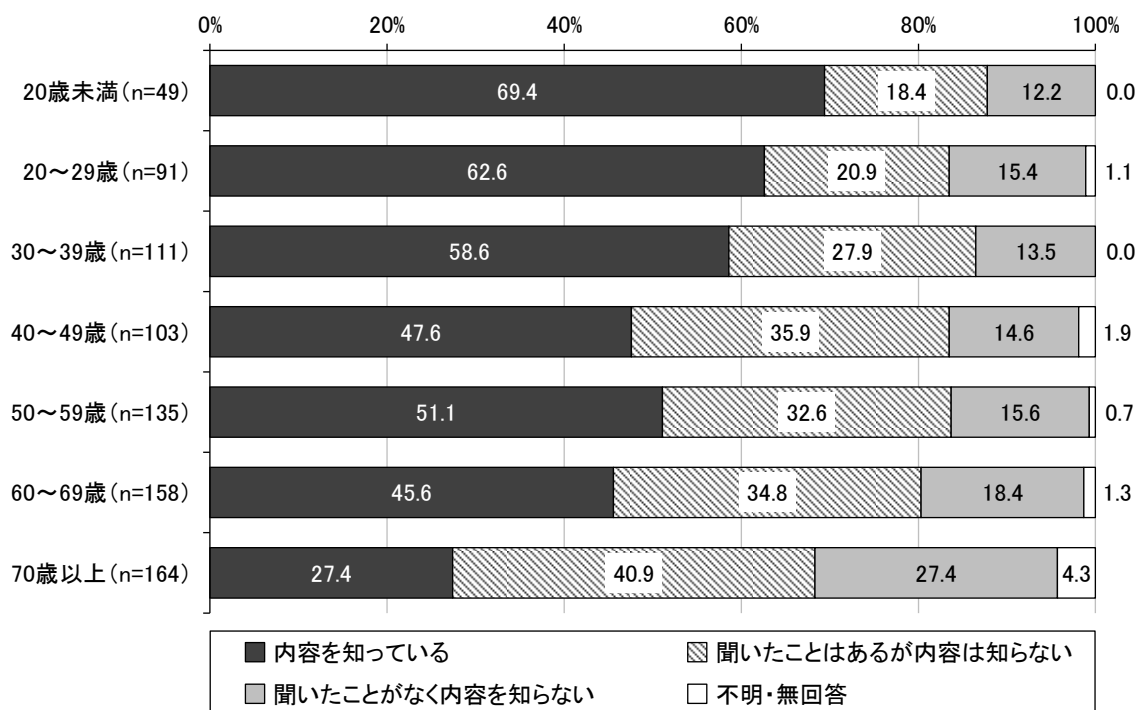
性別でみると、男女ともに「内容を知っている」が最も高くなっています。

年代別でみると、70歳以上では「聞いたことはあるが内容は知らない」、それ以外の年代では「内容を知っている」が最も高くなっています。

【性別】



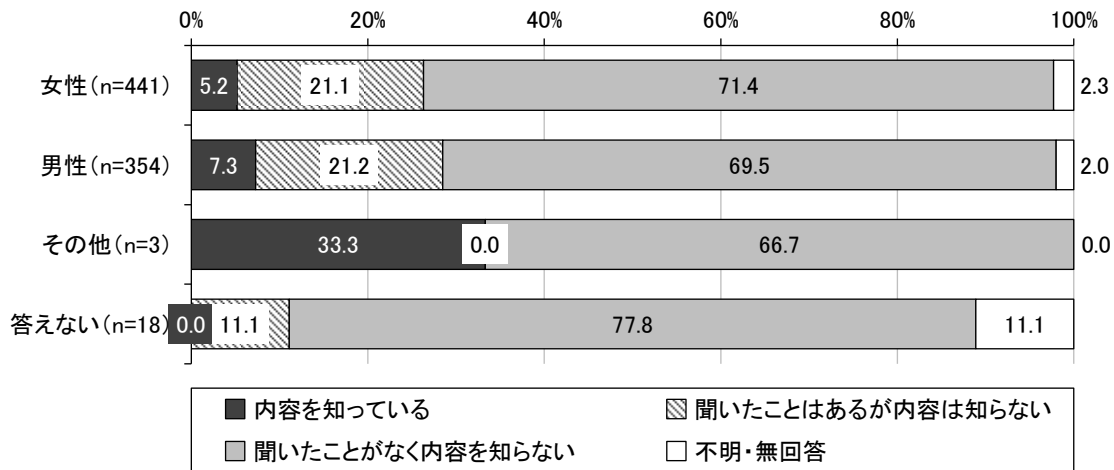
【年代別】



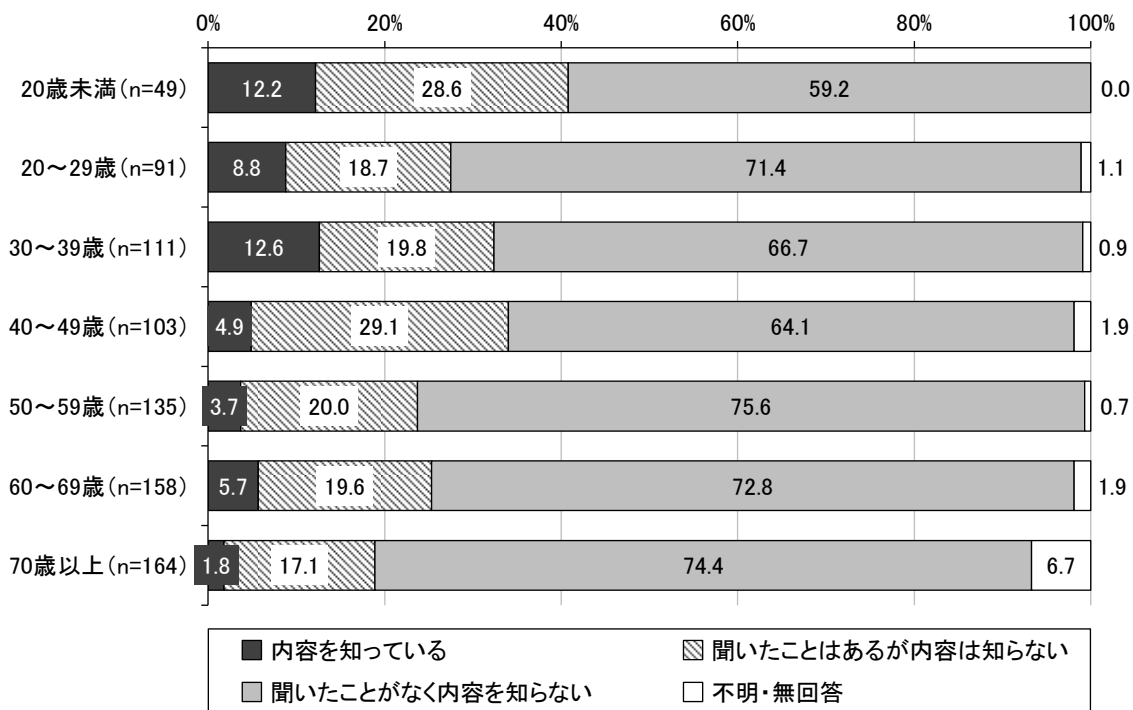
◀⑪ ポジティブ・アクション▶

性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



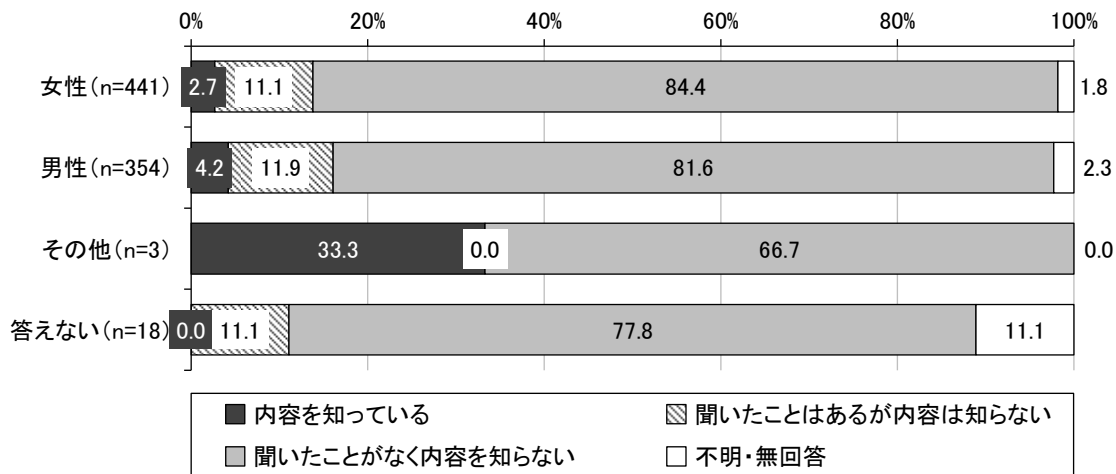
【年代別】



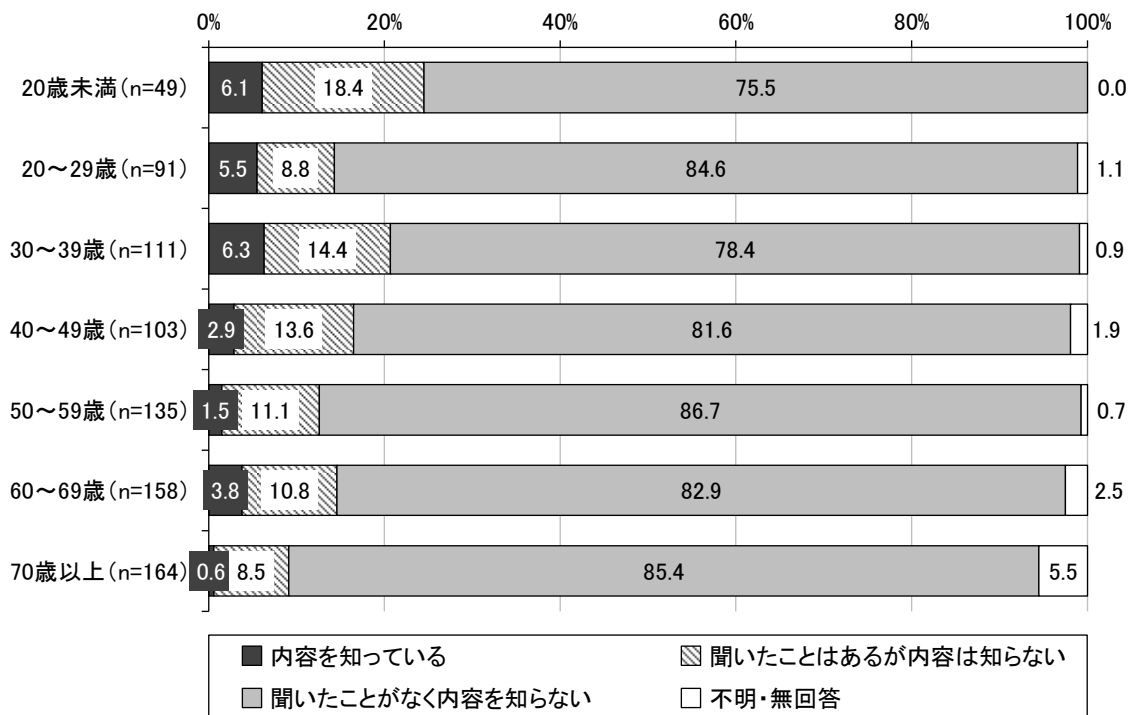
《⑫ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ》

性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



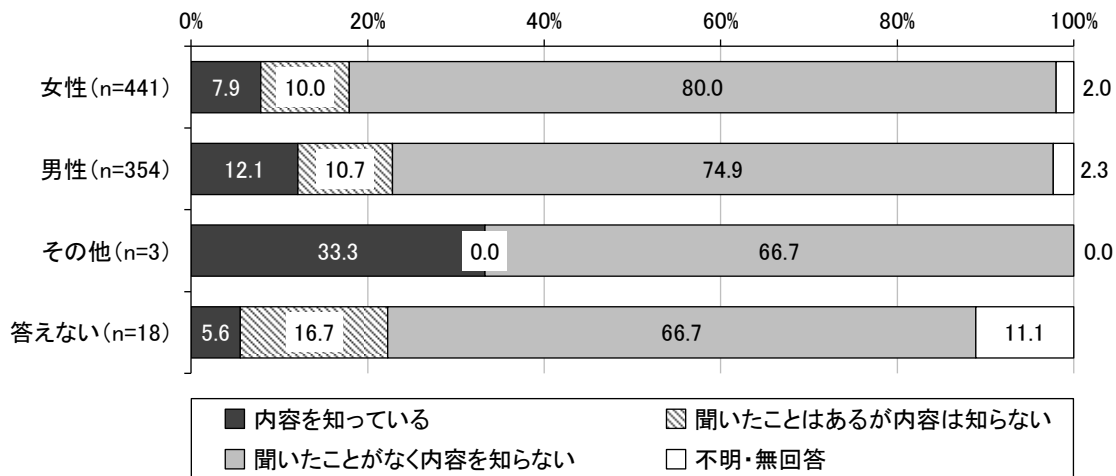
【年代別】



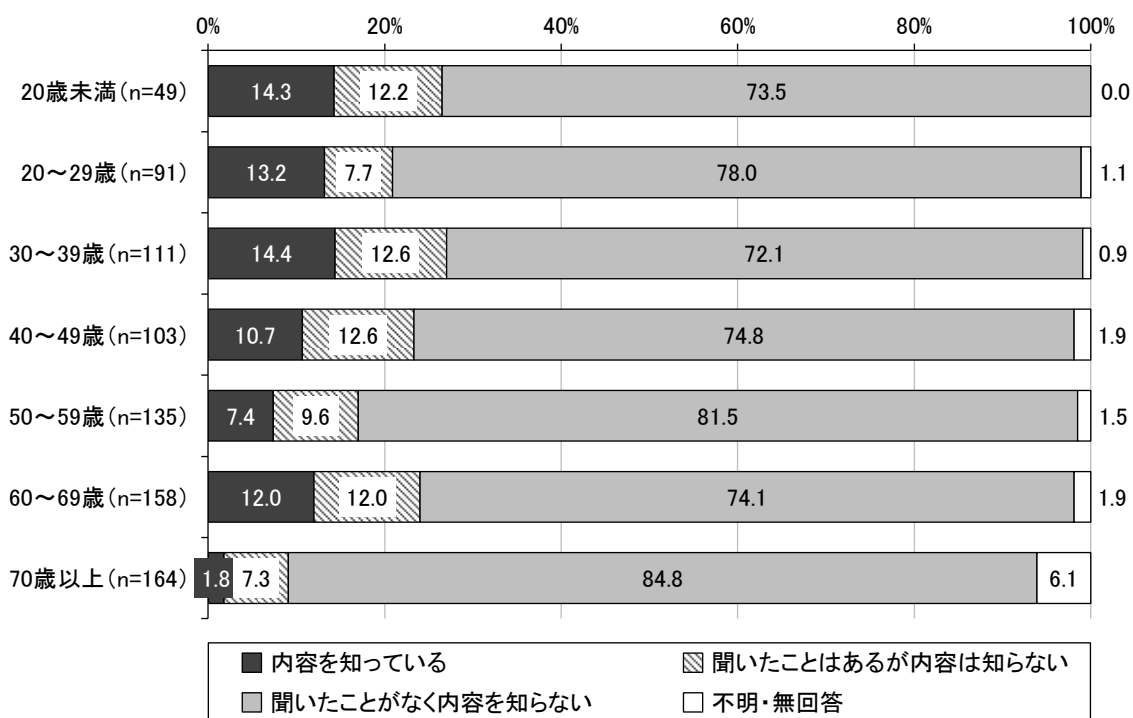
◀⑬ アンコンシャスバイアス▶

性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

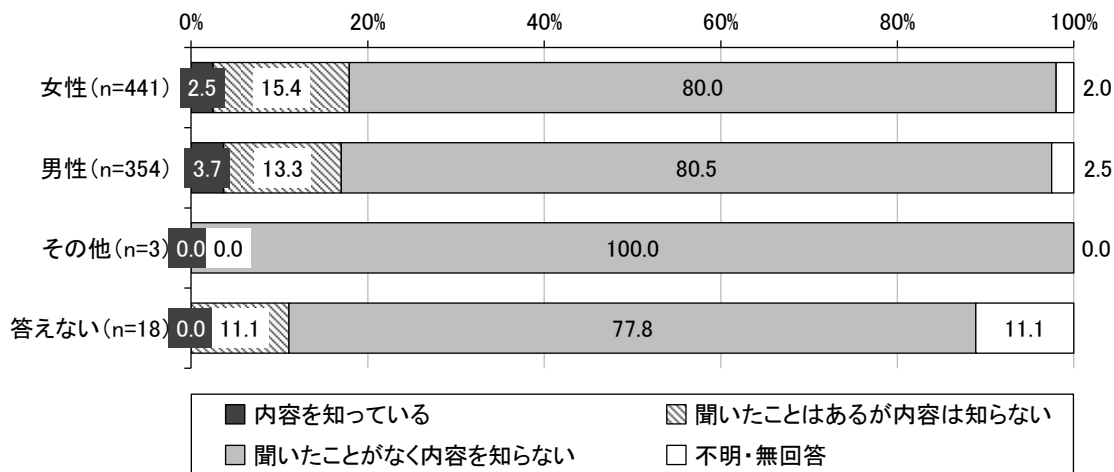


◀⑭ 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律▶

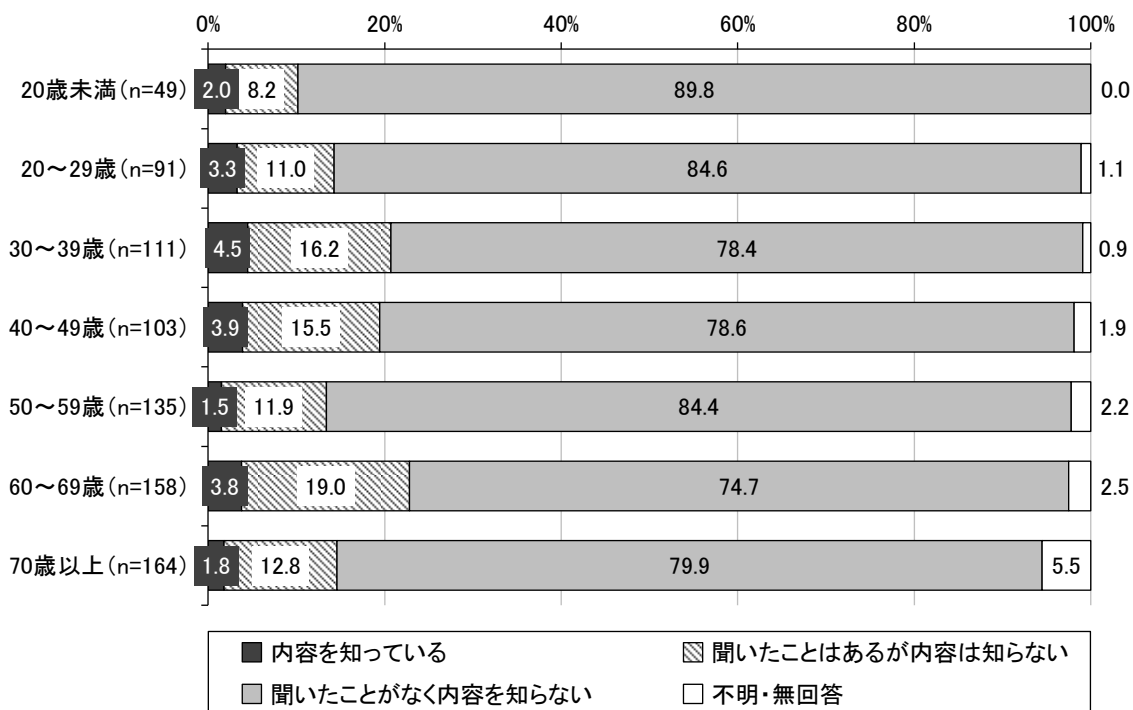
性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



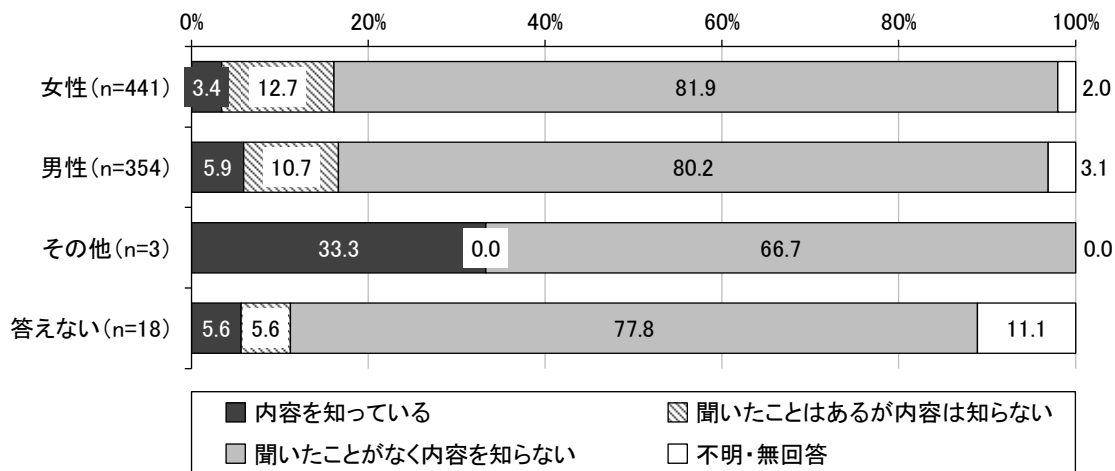
【年代別】



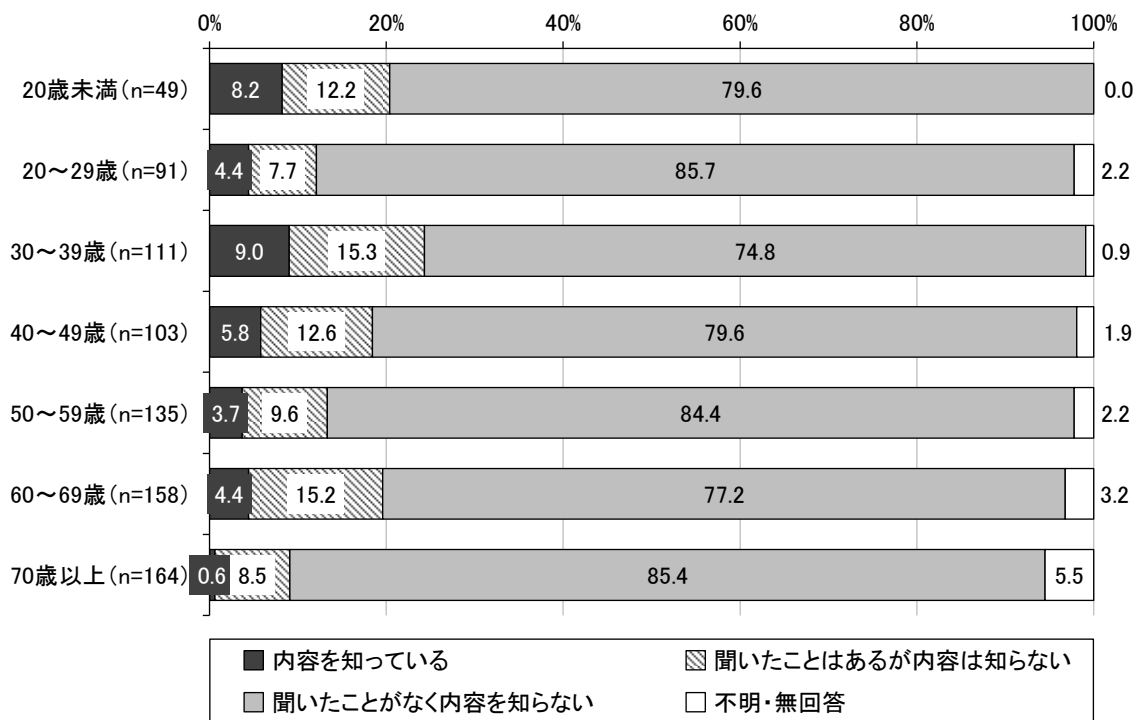
◀⑮ マイクロアグレッション▶

性別でみると、男女ともに「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。  
 年代別でみると、すべての年代で「聞いたことがなく内容を知らない」が最も高くなっています。

【性別】



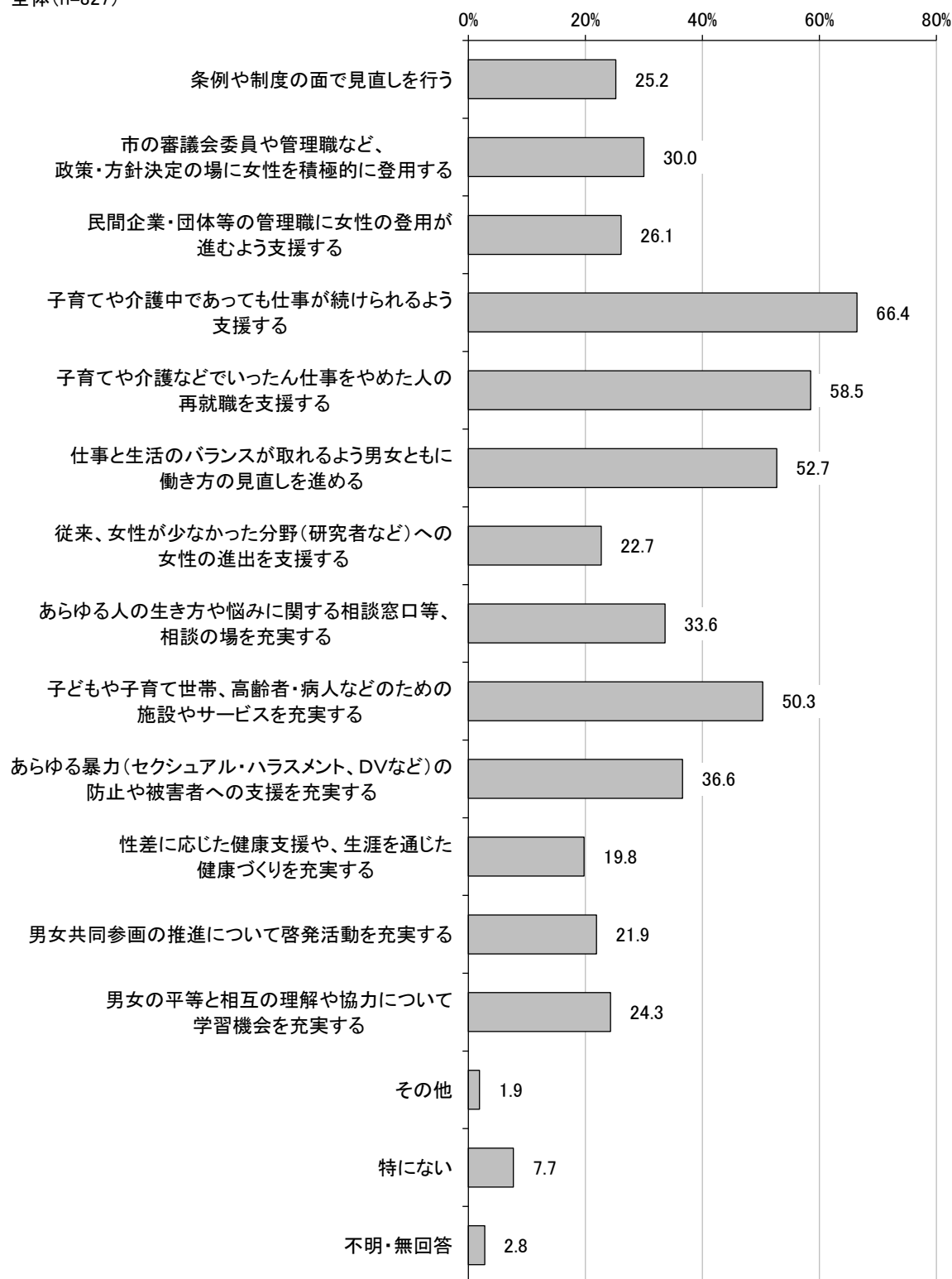
【年代別】



**問 29 あなたは、男女共同参画の推進のために、阪南市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（当てはまるものすべてに○）**

男女共同参画の推進のために、阪南市が今後力を入れていくべきことについてみると、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が 66.4%と最も高く、次いで「子育てや介護などでいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」が 58.5%、「仕事と生活のバランスが取れるよう男女ともに働き方の見直しを進める」が 52.7%となっています。

全体 (n=827)



【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が最も高くなっています。

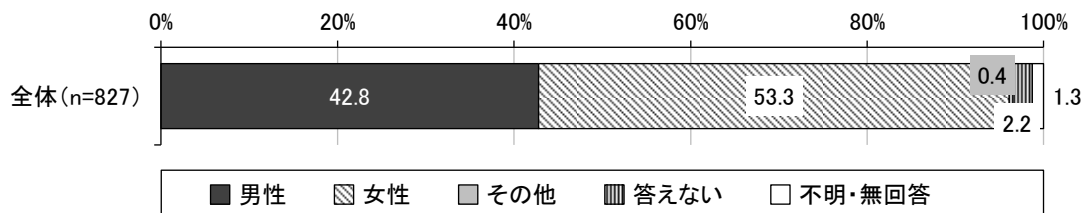
年代別でみると、70歳以上では「子育てや介護などでいったん仕事をやめた人の再就職を支援する」、それ以外の年代では「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が最も高くなっています。

単位: %		行 条 例 や 制 度 の 面 で 見 直 し を	性 の 積 極 的 に 登 用 す る	市 の 審 議 会 委 員 や 管 理 職 な ら ぬ	民 間 企 業 ・ 団 体 等 の 管 理 職 に 登 用 す る	事 が 続 け ら れ る よ う 支 援 す る	子 育 て や 介 護 中 で あ っ て も 仕 事 が 続 け ら れ る よ う 支 援 す る	子 育 て や 介 護 中 で あ っ て も 仕 事 が 続 け ら れ る よ う 支 援 す る	子 育 て や 介 護 中 で あ っ て も 仕 事 が 続 け ら れ る よ う 支 援 す る	直 し を 進 め る	仕 事 と 生 活 の バ ラ ン ス が 取 れ る よ う に 働 き 方 の 見 直 し を 進 め る	出 を 支 援 す る	従 来 、 女 性 が 少 な か っ た 分 野 へ の 女 性 の 進 出 を 支 援 す る	関 心 を 充 た す る	あ ら ゆ る 人 の 生 き 方 や 悩 み に 関 心 を 充 た す る	サ ー ビ ス を 充 た す る	子 ど も や 子 育 て 世 帯 、 高 齢 者 ・ 病 人 な ど の た め の 施 設 や サ ー ビ ス を 充 た す る	を 充 た す る	あ ら ゆ る 暴 力 （ セ ク シ ュ ア ル ・ ハ ラ ス メ ン ト 、 D V な ど ） の 防 止 や 被 害 者 へ の 支 援 を 充 た す る	性 差 に 応 じ た 健 康 支 援 や 、 生 涯 を 通 じ た 健 康 つ く り を 充 た す る	啓 発 活 動 を 充 た す る	男 女 共 同 参 画 の 推 進 に つ い て	男 女 の 平 等 と 相 互 の 理 解 や 協 力 に つ い て 学 習 機 会 を 充 た す る	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
性別	女性(n=441)	27.0	32.9	29.3	<b>72.1</b>	<b>61.2</b>	56.5	26.8	37.6	56.5	39.7	21.8	22.0	26.5	1.8	6.6	1.6									
	男性(n=354)	24.6	28.0	24.0	<b>62.1</b>	<b>57.3</b>	50.6	18.6	29.4	45.5	34.7	18.6	22.6	21.8	2.0	9.0	1.7									
	その他(n=3)	33.3	33.3	<b>66.7</b>	33.3	<b>66.7</b>	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	<b>66.7</b>	33.3	33.3	0.0									
	答えない(n=18)	5.6	11.1	0.0	<b>50.0</b>	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	16.7	<b>33.3</b>	27.8	16.7	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1									
年代別	20歳未満(n=49)	36.7	26.5	28.6	<b>65.3</b>	<b>63.3</b>	<b>63.3</b>	32.7	40.8	53.1	49.0	34.7	24.5	44.9	0.0	12.2	0.0									
	20～29歳(n=91)	22.0	26.4	14.3	<b>63.7</b>	<b>58.2</b>	<b>58.2</b>	15.4	33.0	44.0	37.4	15.4	17.6	23.1	1.1	11.0	1.1									
	30～39歳(n=111)	28.8	25.2	25.2	<b>73.0</b>	57.7	<b>64.0</b>	26.1	36.0	54.1	41.4	25.2	23.4	27.9	1.8	10.8	0.0									
	40～49歳(n=103)	18.4	22.3	28.2	<b>68.0</b>	<b>59.2</b>	53.4	18.4	24.3	43.7	37.9	14.6	18.4	21.4	2.9	10.7	1.9									
	50～59歳(n=135)	20.7	25.9	24.4	<b>67.4</b>	51.9	<b>55.6</b>	23.7	31.1	50.4	41.5	16.3	15.6	20.7	3.0	7.4	0.7									
	60～69歳(n=158)	33.5	38.6	31.6	<b>67.7</b>	<b>58.9</b>	53.8	24.7	35.4	51.9	38.0	19.6	21.5	24.7	1.9	4.4	2.5									
	70歳以上(n=164)	23.2	38.4	28.7	<b>65.2</b>	<b>65.9</b>	39.6	23.2	38.4	56.7	26.2	22.0	31.1	21.3	1.8	4.3	4.9									

## 8. あなたご自身について

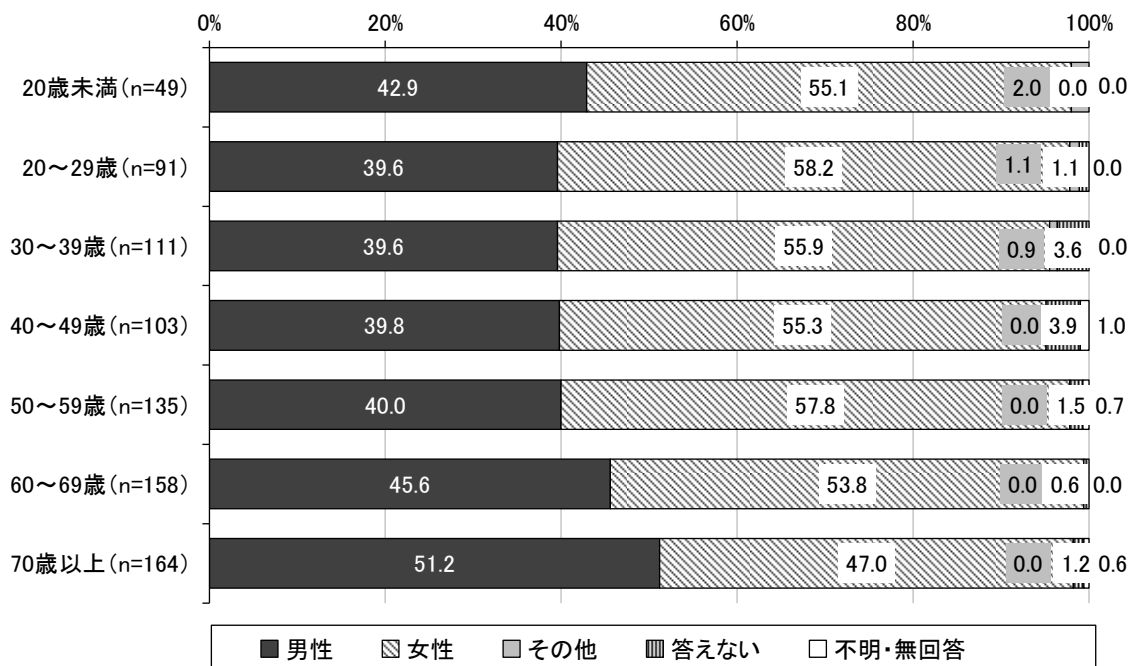
### 問 30 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別についてみると、「女性」が53.3%と最も高く、次いで「男性」が42.8%、「答えない」が2.2%、「その他」が0.4%となっています。



### 【年代別】

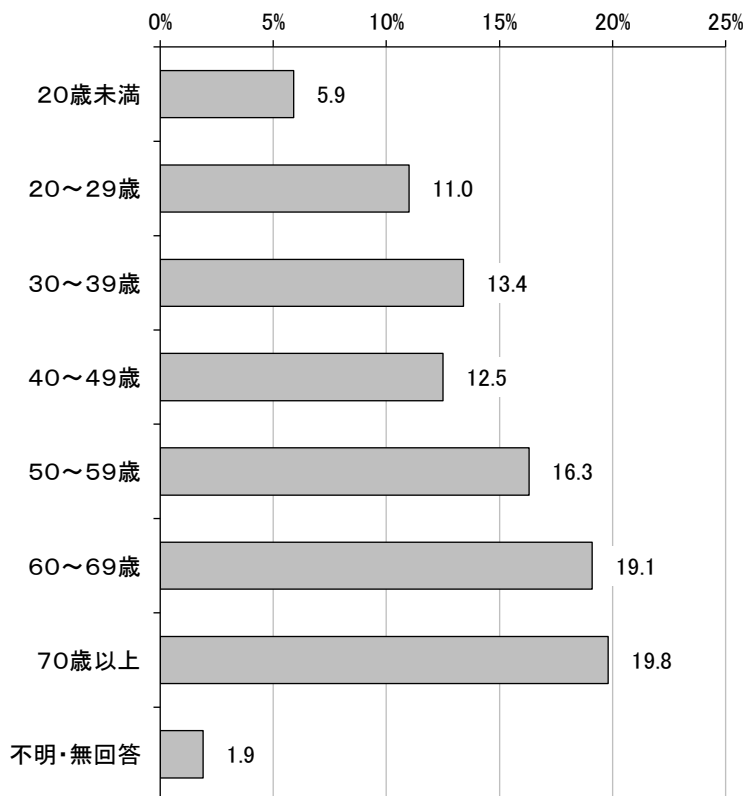
年代別でみると、70歳以上では「男性」、それ以外の年代では「女性」が最も高くなっています。



**問 31 あなたの年代を教えてください。(1つに〇)**

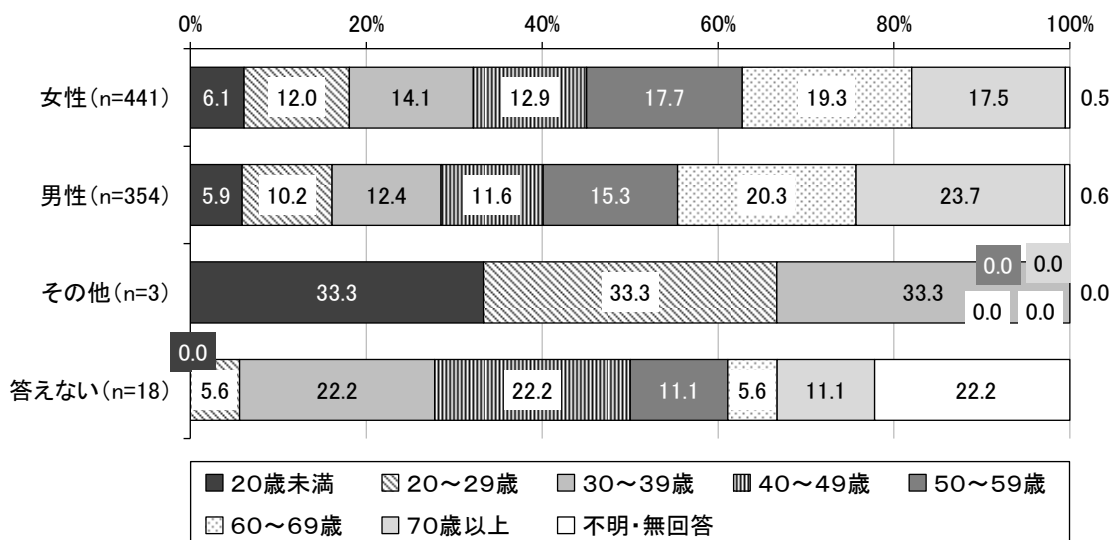
年代についてみると、「70歳以上」が19.8%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.1%、「50～59歳」が16.3%となっています。

全体(n=827)



**【性別】**

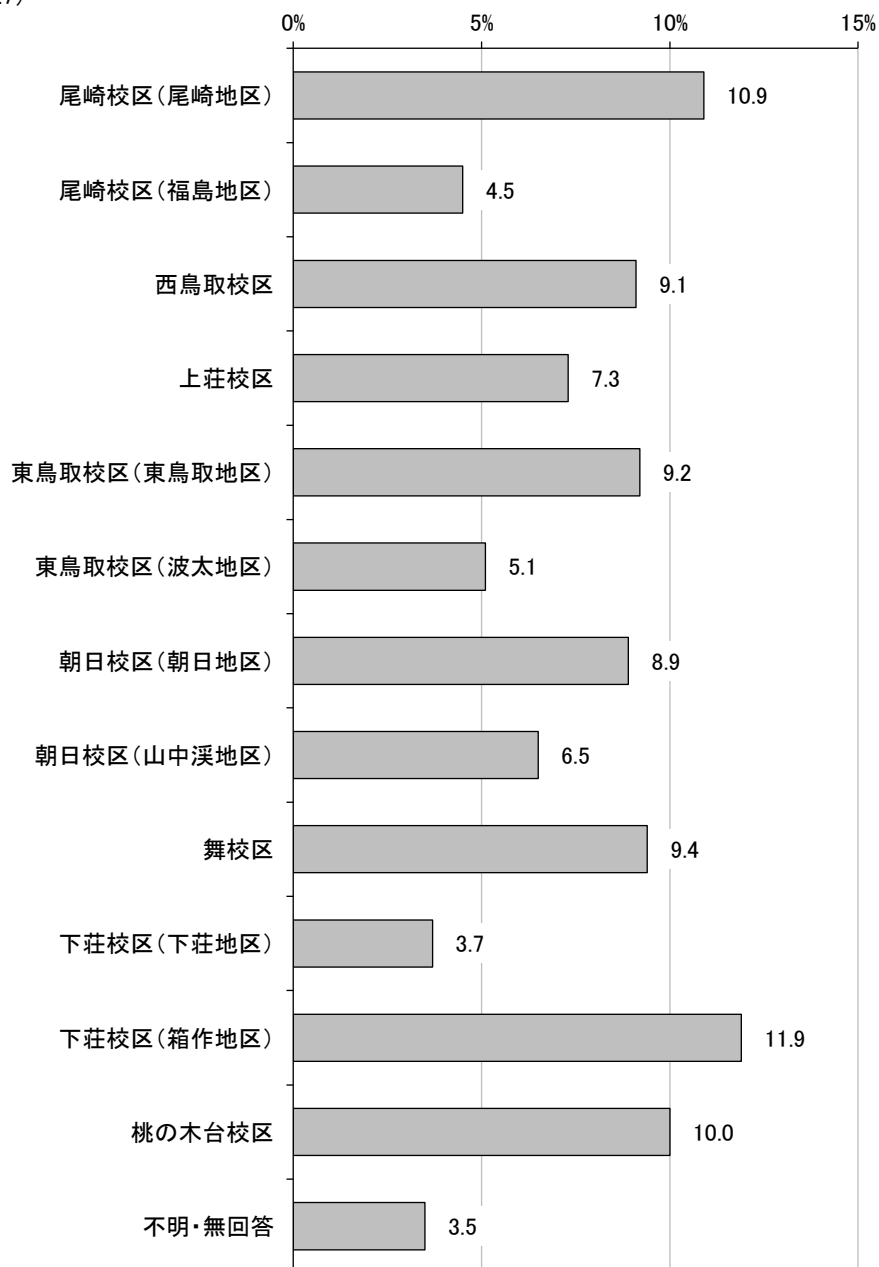
性別でみると、女性では「60～69歳」、男性では「70歳以上」が最も高くなっています。



問 32 あなたの現在お住まいの小学校区を教えてください。(1つに〇)

小学校区についてみると、「下荘校区(箱作地区)」が 11.9%と最も高く、次いで「尾崎校区(尾崎地区)」が 10.9%、「桃の木台校区」が 10.0%となっています。

全体(n=827)



### 【性別、年代別】

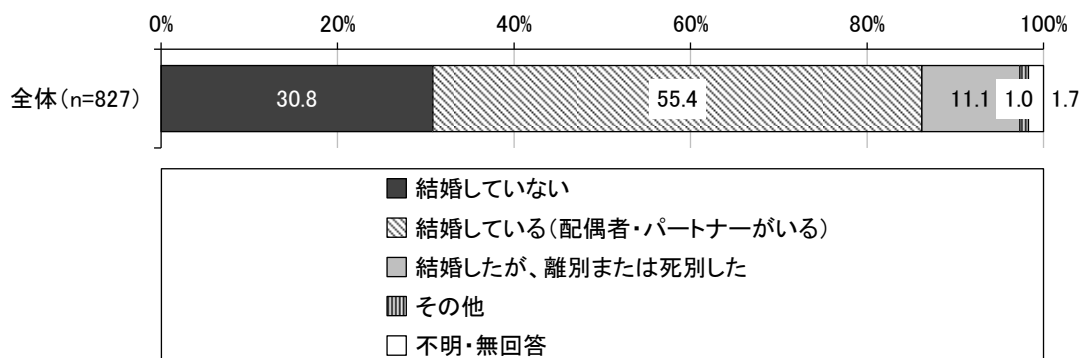
性別でみると、女性では「舞校区」「下荘校区（箱作地区）」「桃の木台校区」、男性では「下荘校区（箱作地区）」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満、50～59歳では「朝日校区（朝日地区）」、20～29歳、60～69歳では「尾崎校区（尾崎地区）」、30～39歳では「桃の木台校区」、40～49歳では「舞校区」「下荘校区（箱作地区）」、70歳以上では「下荘校区（箱作地区）」が最も高くなっています。

単位：%		尾崎校区 （尾崎地区）	尾崎校区 （福島地区）	西鳥取校区	上荘校区	東鳥取校区 （東鳥取地区）	東鳥取校区 （波太地区）	朝日校区 （朝日地区）	朝日校区 （山中溪地区）	舞校区	下荘校区 （下荘地区）	下荘校区 （箱作地区）	桃の木台校区	不明・無回答
性別	女性(n=441)	10.2	5.0	8.4	7.7	10.0	4.1	10.4	5.2	<b>10.9</b>	4.1	<b>10.9</b>	<b>10.9</b>	2.3
	男性(n=354)	<b>11.6</b>	4.2	10.7	6.5	8.5	5.6	7.6	8.2	8.5	3.4	<b>13.8</b>	9.6	1.7
	その他(n=3)	<b>33.3</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>33.3</b>	0.0	33.3
	答えない(n=18)	<b>16.7</b>	0.0	0.0	<b>16.7</b>	5.6	<b>16.7</b>	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	5.6	16.7
年代別	20歳未満(n=49)	4.1	8.2	4.1	<b>14.3</b>	12.2	0.0	<b>16.3</b>	2.0	8.2	4.1	12.2	<b>14.3</b>	0.0
	20～29歳(n=91)	<b>14.3</b>	3.3	<b>13.2</b>	7.7	4.4	3.3	7.7	5.5	6.6	3.3	11.0	12.1	7.7
	30～39歳(n=111)	11.7	2.7	11.7	5.4	<b>12.6</b>	2.7	9.0	7.2	10.8	1.8	9.0	<b>13.5</b>	1.8
	40～49歳(n=103)	7.8	6.8	7.8	2.9	8.7	10.7	7.8	4.9	<b>13.6</b>	2.9	<b>13.6</b>	10.7	1.9
	50～59歳(n=135)	10.4	3.7	8.9	8.9	<b>11.1</b>	5.2	<b>11.9</b>	5.2	8.9	4.4	<b>11.1</b>	8.9	1.5
	60～69歳(n=158)	<b>13.3</b>	2.5	10.1	8.2	<b>11.4</b>	4.4	8.2	7.6	10.1	7.6	10.1	6.3	0.0
	70歳以上(n=164)	<b>11.0</b>	6.7	7.3	6.7	6.1	5.5	7.3	9.8	8.5	1.8	<b>16.5</b>	9.8	3.0

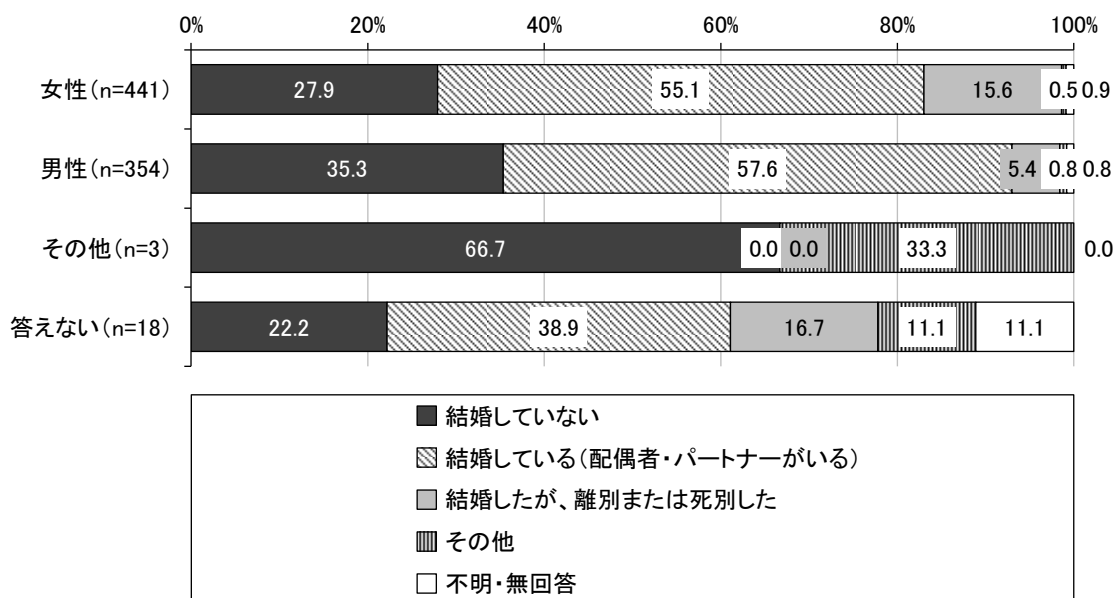
**問 33 あなたは結婚（事実婚を含む）していますか。（1つに○）**

結婚（事実婚を含む）していますかについてみると、「結婚している（配偶者・パートナーがいる）」が55.4%と最も高く、次いで「結婚していない」が30.8%、「結婚したが、離別または死別した」が11.1%となっています。



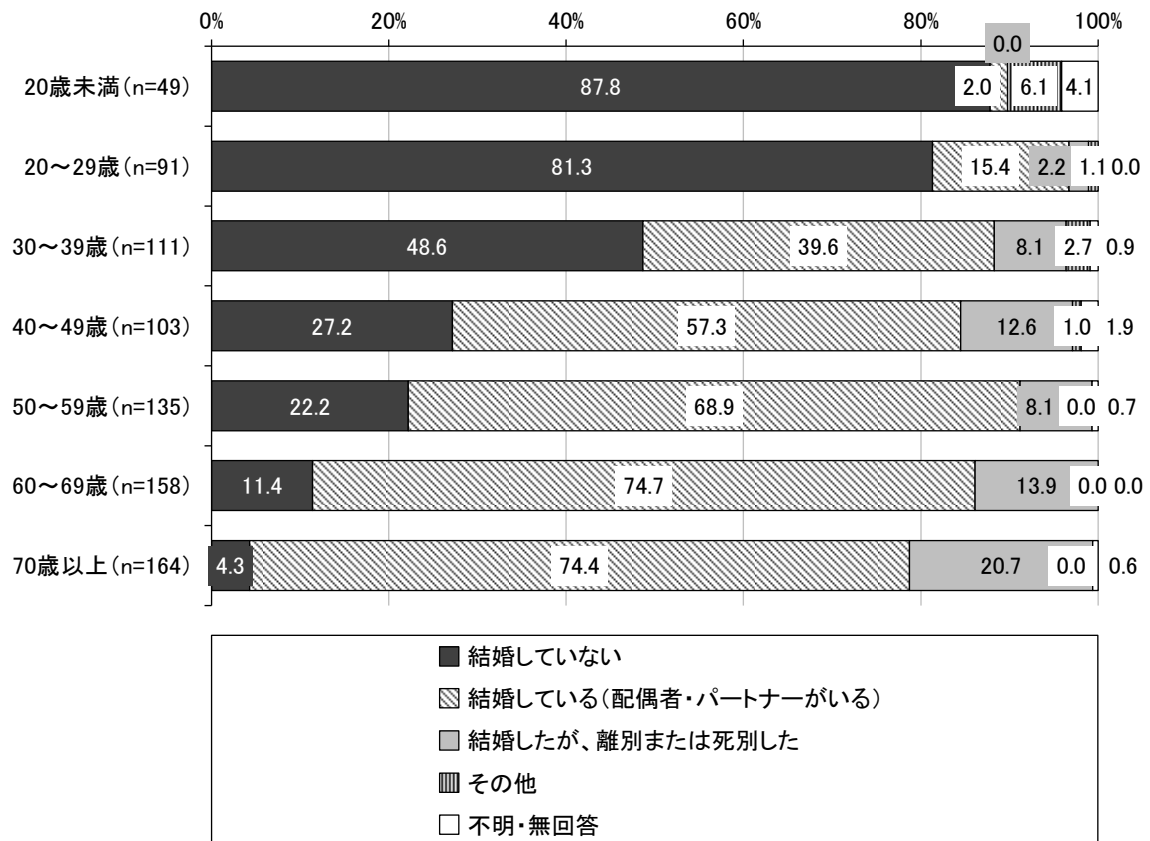
**【性別】**

性別でみると、男女ともに「結婚している（配偶者・パートナーがいる）」が最も高くなっています。



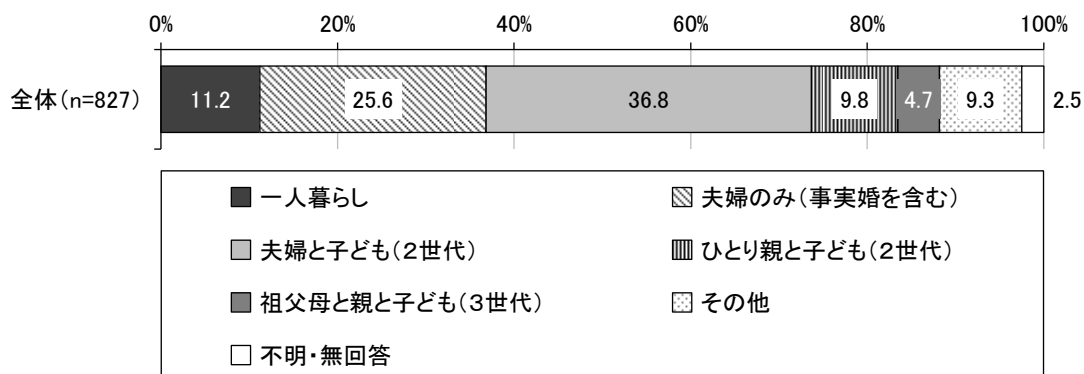
## 【年代別】

年代別でみると、20歳未満、20～29歳、30～39歳では「結婚していない」、それ以外の年代では「結婚している（配偶者・パートナーがいる）」が最も高くなっています。



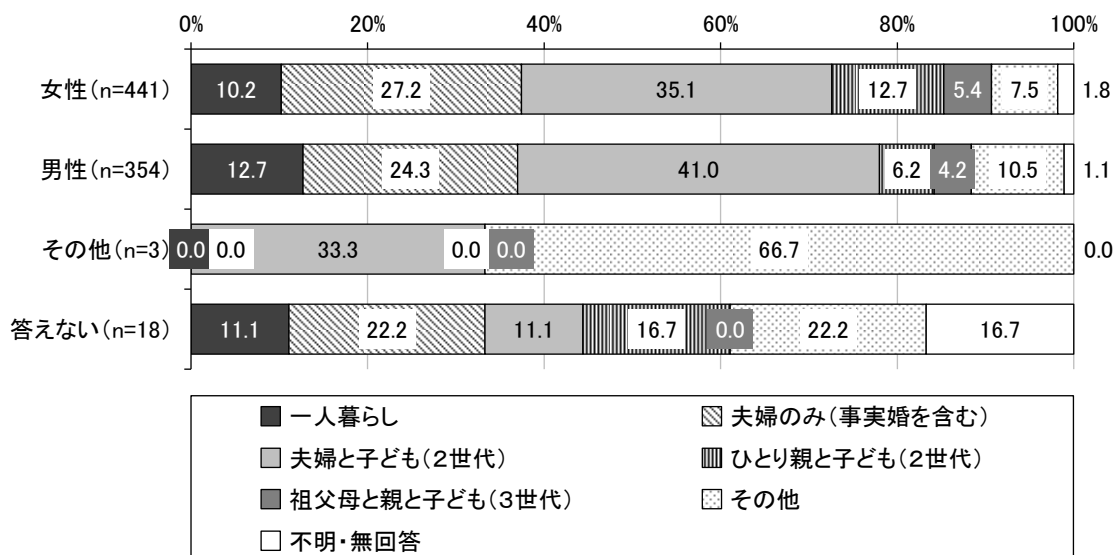
### 問 34 あなたの世帯構成を教えてください。(1つに○)

世帯構成についてみると、「夫婦と子ども(2世代)」が36.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ(事実婚を含む)」が25.6%、「一人暮らし」が11.2%となっています。



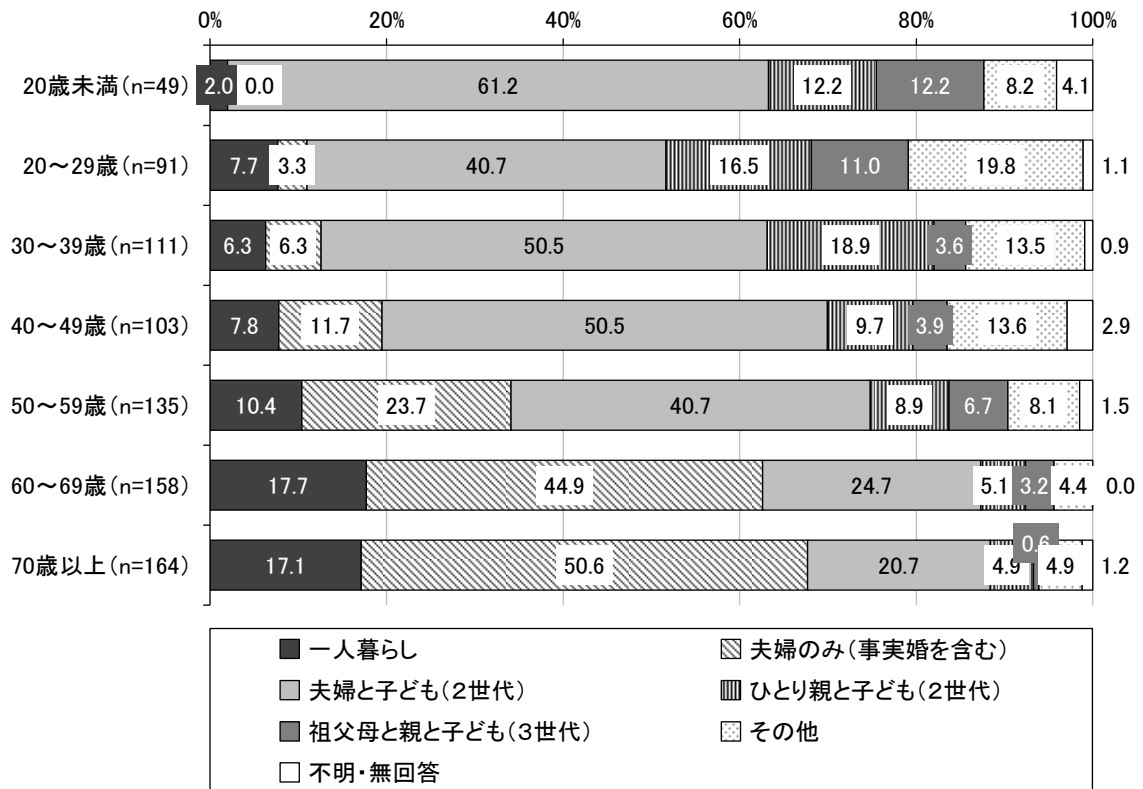
#### 【性別】

性別でみると、男女ともに「夫婦と子ども(2世代)」が最も高くなっています。



## 【年代別】

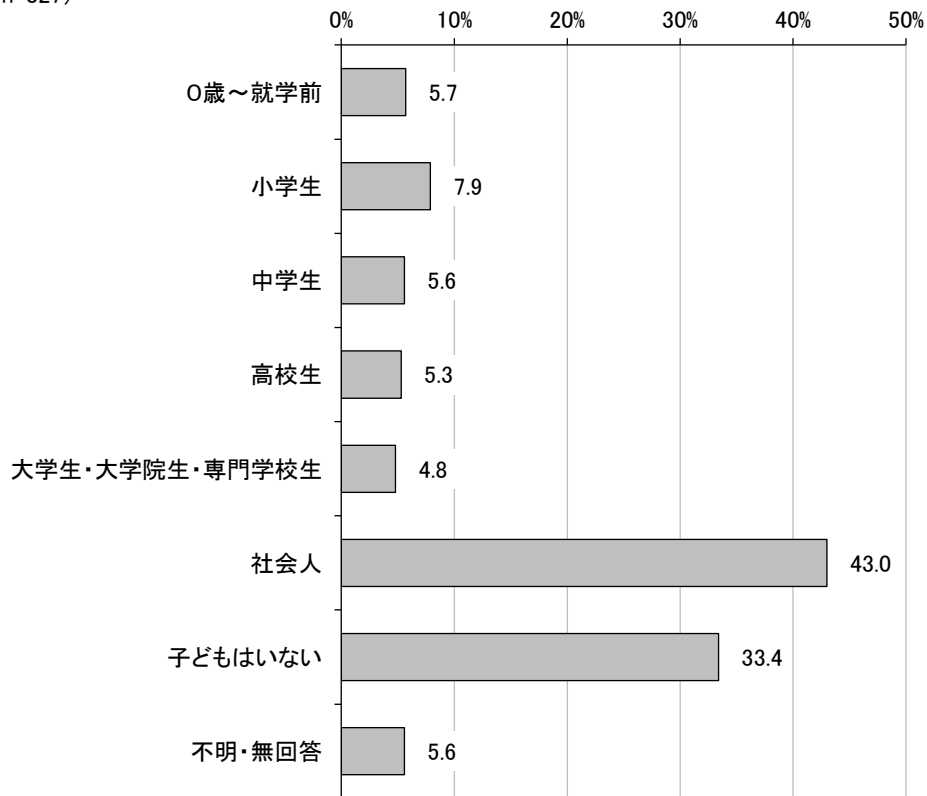
年代別でみると、60歳以上では「夫婦のみ（事実婚を含む）」、それ以外の年代では「夫婦と子ども（2世代）」が最も高くなっています。



**問 35** お子さんの状況を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

お子さんの状況についてみると、「社会人」が43.0%と最も高く、次いで「子どもはいない」が33.4%、「小学生」が7.9%となっています。

全体(n=827)



【性別、年代別】

性別でみると、男女ともに「社会人」が最も高くなっています。

年代別でみると、50歳以上では「社会人」、それ以外の年代では「子どもはいない」が最も高くなっています。

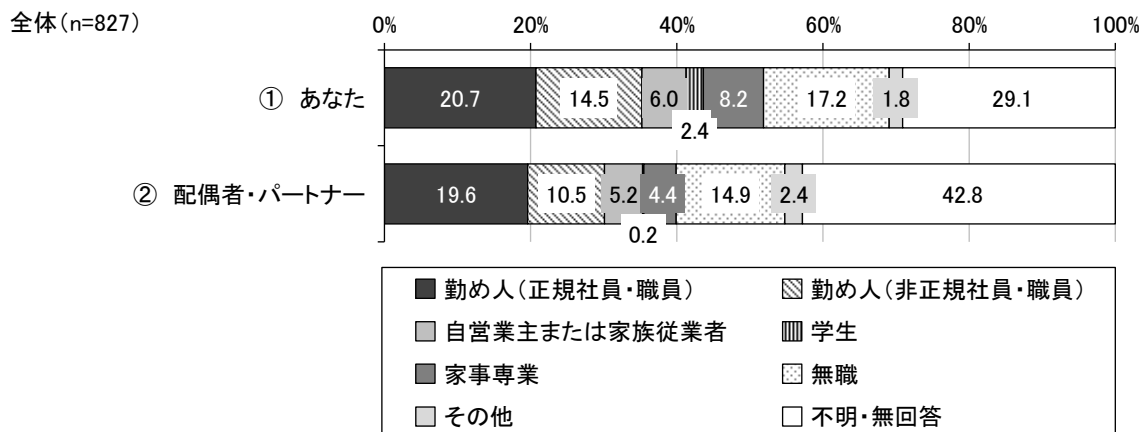
単位：%		0歳～就学前	小学生	中学生	高校生	大学生・大学院生・専門学校生	社会人	子どもはいない	不明・無回答
性別	女性(n=441)	5.7	9.3	6.1	5.4	5.2	<b>43.5</b>	<b>31.7</b>	5.0
	男性(n=354)	6.2	5.9	4.5	4.8	4.0	<b>43.8</b>	<b>35.6</b>	4.8
	その他(n=3)	0.0	0.0	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	0.0	<b>66.7</b>	0.0
	答えない(n=18)	0.0	16.7	11.1	11.1	11.1	<b>33.3</b>	<b>27.8</b>	11.1
年代別	20歳未満(n=49)	2.0	2.0	12.2	<b>26.5</b>	6.1	0.0	<b>61.2</b>	10.2
	20～29歳(n=91)	<b>11.0</b>	3.3	0.0	0.0	1.1	2.2	<b>74.7</b>	8.8
	30～39歳(n=111)	20.7	<b>24.3</b>	2.7	3.6	0.0	0.9	<b>59.5</b>	2.7
	40～49歳(n=103)	9.7	<b>24.3</b>	18.4	11.7	9.7	13.6	<b>37.9</b>	2.9
	50～59歳(n=135)	0.7	5.2	11.9	9.6	16.3	<b>54.1</b>	<b>24.4</b>	1.5
	60～69歳(n=158)	1.3	0.6	0.0	1.3	1.3	<b>79.1</b>	<b>15.2</b>	3.2
	70歳以上(n=164)	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	<b>82.9</b>	<b>9.8</b>	6.7

問 36 あなたと配偶者・パートナー（いる方のみ）の現在のご職業について教えてください。

（①と②の項目ごとに、1つに○）

「①あなた」についてみると、「勤め人（正規社員・職員）」が20.7%と最も高く、次いで「無職」が17.2%、「勤め人（非正規社員・職員）」が14.5%となっています。

「②配偶者・パートナー」についてみると、「勤め人（正規社員・職員）」が19.6%と最も高く、次いで「無職」が14.9%、「勤め人（非正規社員・職員）」が10.5%となっています。

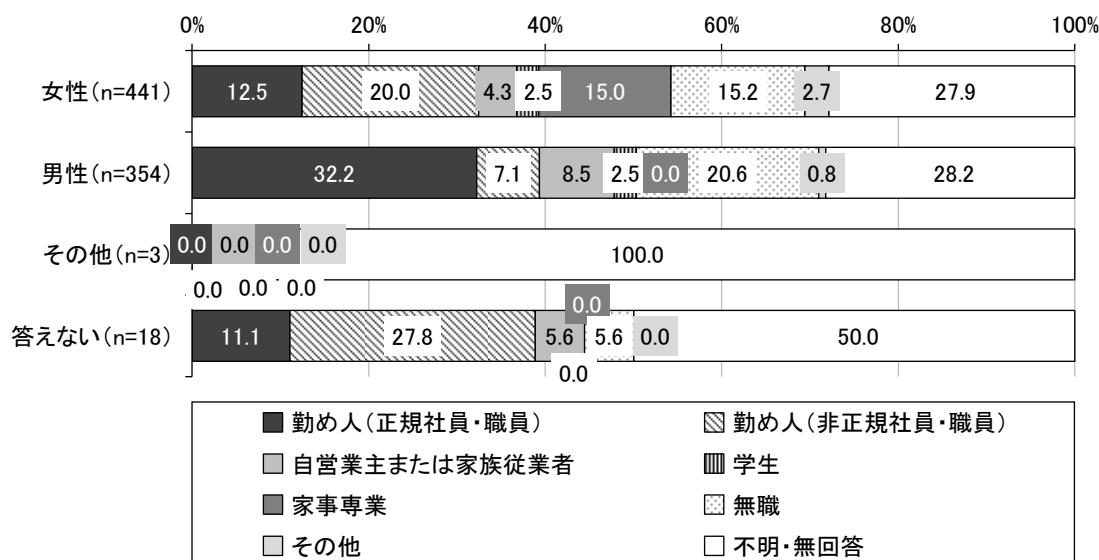


「① あなた」

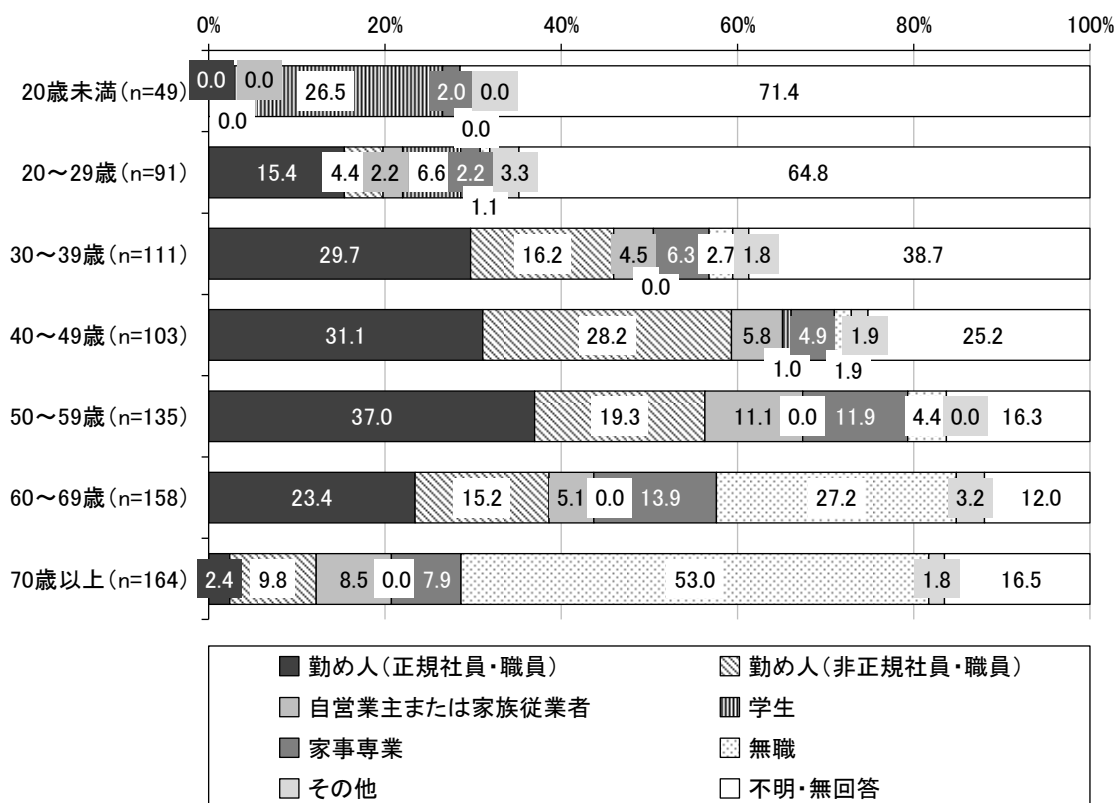
性別でみると、女性では「勤め人（非正規社員・職員）」、男性では「勤め人（正規社員・職員）」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「学生」、60歳以上では「無職」、それ以外の年代では「勤め人（正規社員・職員）」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】

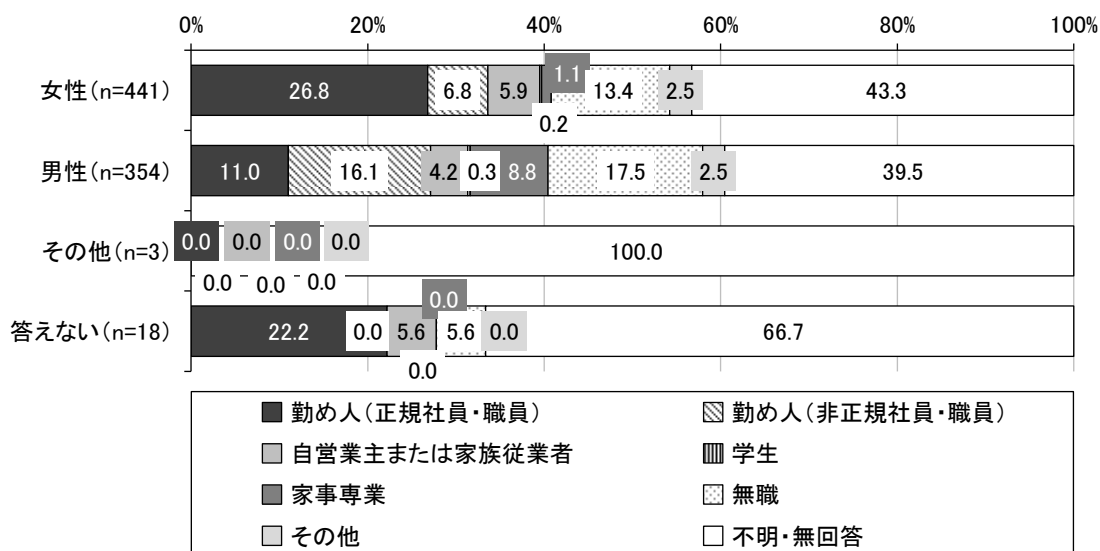


《② 配偶者・パートナー》

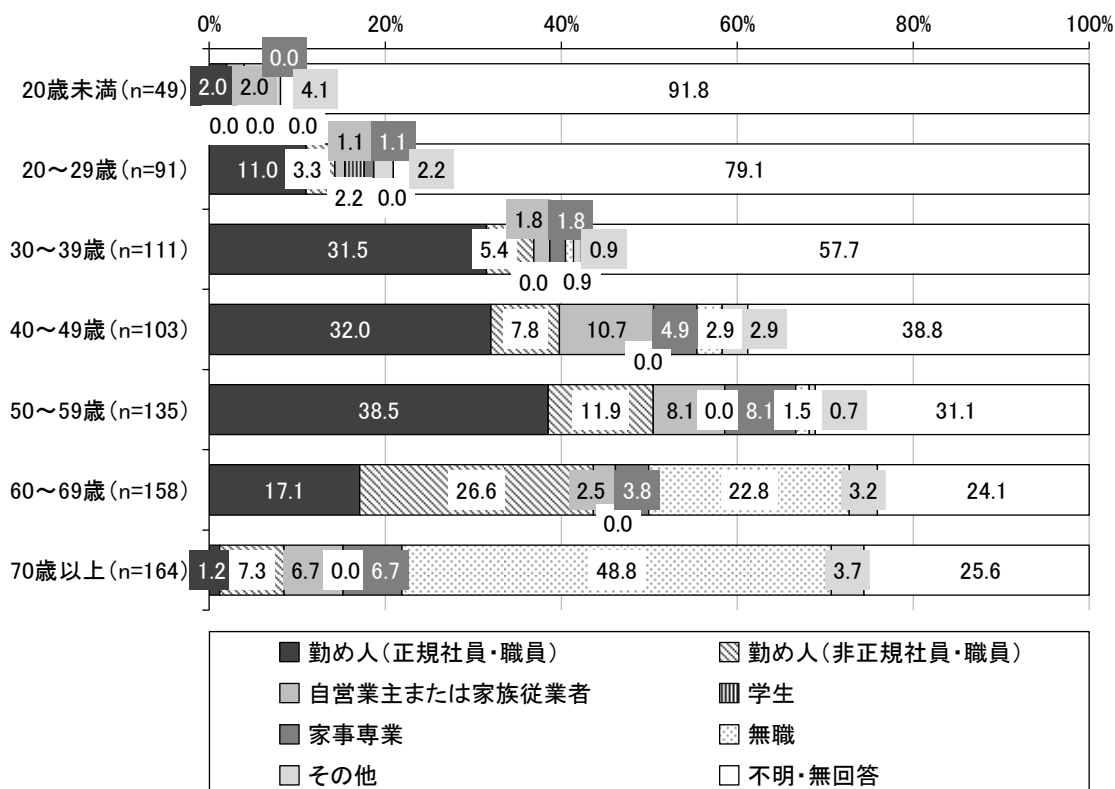
性別でみると、女性では「勤め人（正規社員・職員）」、男性では「無職」が最も高くなっています。

年代別でみると、20歳未満では「その他」、60～69歳では「勤め人（非正規社員・職員）」、70歳以上では「無職」、それ以外の年代では「勤め人（正規社員・職員）」が最も高くなっています。

【性別】



【年代別】



阪南市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
結果報告書

発行：阪南市 総務部 人権推進課  
TEL：072-489-4505

発行年月：令和8年3月